

MAIL PUBLISHER

Mobile Edition

機能説明マニュアル

本システムの機能全般について説明しています。操作手順マニュアルに記載されていない、サービスの概要や各機能の詳細について確認したいときにお読みください。

知りたいことの探し方

■ 目次から探す

3 ページ

配信できるメールの種類、会員データの活用方法など、機能別に探すことができます。

■ 索引から探す

230 ページ

メール配信、テンプレートなど、キーワードから探すことができます。

メール配信や会員データの管理の操作説明については、『操作手順マニュアル』をご覧ください。

サイトやチャネルの設定手順については『サイト構築マニュアル』をご覧ください。

免責事項

- 本書の一部または全部を、無断で転載または複製することは固くお断りします。
- 本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書は技術情報と操作手順の提供を目的としております。
本書の記載内容を守らない運用や操作から生じた損害、または本書を用いた運用や操作から生じた付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断、記憶内容の変化・消失など)に関して、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の作成に当たっては万全を期しておりますが、内容に関連して発生した損害などについては、その責任を負いかねますのでご了承ください。
- もしご不審の点や誤り、記載漏れなどにお気づきのことがございましたら、弊社またはご契約頂きました弊社販売代理店にご連絡ください。

商標について

- Microsoft、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本書中に表記されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標、登録商標、商品名です。また、本文中に®、™マークは省略されています。

略称について

- 本書では「Windows Internet Explorer」および「Microsoft Internet Explorer」を「Internet Explorer」と表記します。
- 本書では「Microsoft Edge」を「Edge」と表記します。
- 本書では「Mozilla Firefox」を「Firefox」と表記します。

目次

免責事項	2
商標について	2
略称について	2
目次.....	3
改訂履歴	15
はじめに	17
マニュアルの読み方	17
対象読者の定義	17
マニュアルの構成.....	17
マークの意味	18
記号の意味.....	19
ご利用の前に.....	20
申し込み内容の確認について.....	20
サイト ID について	20
弊社からのお知らせについて.....	20
1 MailPublisher Mobile Edition について.....	21
1-1 概要	21
1-2 動作環境	22

1-3	問い合わせ先	23
2	管理者の構成	25
2-1	管理者と管理対象	25
2-2	ロールの種類	27
2-2-1	ロールとは	27
2-2-2	ロールに設定できる機能	28
2-3	パスワード	30
2-3-1	パスワードポリシー	30
2-3-2	パスワードの再設定	31
2-3-3	トークンコードとは	32
2-4	ログイン	33
2-4-1	ログイン時の注意事項	33
2-4-2	ログインできないとき	34
2-4-3	成り代わり	34
2-5	ログアウト	36
2-5-1	ログアウト時の注意事項	36
2-5-2	自動ログアウト	36
3	サイトの管理	37
3-1	サイトの階層	37
3-1-1	サイト	37
3-1-2	グループフォルダ	38
3-1-3	グループ	38
3-1-4	チャンネル	38
3-2	データベースの構造	39

3-2-1	サイト層のデータベース	41
3-2-2	チャンネル層のデータベース	41
3-3	カテゴリ	42
3-4	テーブル定義	43
3-4-1	サイトのテーブル定義(フィールド)	43
3-4-2	カテゴリのテーブル定義(フィールド)	44
3-4-3	フィールド型	45
3-4-4	入力項目	45
3-5	シリアル型	47
3-5-1	シリアル型の概要	47
3-5-2	インポートによるシリアル型付与	47
3-6	隠しフィールド	48
3-7	ドキュメント	49
3-8	会員登録の方法	50
3-9	返信メール	52
3-10	応答画面	53
3-11	チャンネル	55
3-12	QR コード	57
3-13	携帯での登録ドキュメントの制約	58
3-13-1	各入力項目における制約条件	58
3-13-2	パラメータ全体長の制約条件	58
3-13-3	HTML 表示可能容量の制約条件	59
4	リモートフォーム機能	61
4-1	リモートフォーム機能の概要	61

4-2	URL とパラメータの送信	62
4-2-1	登録用リモートフォーム.....	62
4-2-2	解除用リモートフォーム.....	64
4-3	リモートフォームで利用できる POST 値	65
4-3-1	email 型.....	65
4-3-2	文字列型	65
4-3-3	数値型	66
4-3-4	日付型	66
4-3-5	パスワード型	66
4-3-6	ラジオボタン型	67
4-3-7	セレクトボックス型	67
4-3-8	チェックボックス型	68
4-3-9	隠しフィールド型	68
4-3-10	シリアル型	68
4-4	リクエストへのレスポンス設定	69
4-4-1	登録リクエストに対するレスポンス設定.....	69
4-4-2	退会リクエストに対するレスポンス設定.....	71
4-4-3	お礼メールの利用	72
5	メールの配信	73
5-1	メール配信の流れ	73
5-2	配信できるメールの種類	74
5-2-1	TEXT メール	74
5-2-2	HTML メール	74
5-2-3	携帯(旧通常)メール.....	75
5-2-4	デコメール.....	75
5-2-5	イベントメール	75

5-2-6	プロフィールメール	76
5-3	送信者アドレスと返信先アドレス	77
5-3-1	送信者 (FROM)	78
5-3-2	返信先 (REPLY-TO)	78
5-3-3	テスト送信アドレス	78
5-4	その他のメール種別	79
5-4-1	下書きメール	79
5-4-2	予約済みメール	81
5-4-3	配信済みメール	81
5-4-4	記事グループ	81
5-5	メールの配信対象	82
5-6	クリックカウント	83
5-6-1	クリックカウントの概要	83
5-6-2	配信される URL	84
5-6-3	設定時の注意事項	85
5-6-4	集計データの確認	86
5-7	コンバージョン	88
5-7-1	コンバージョンの概要	88
5-7-2	コンバージョン達成ページ側で必要な設定	90
5-7-3	集計データの確認	93
5-8	即時配信	94
5-9	送信できるキャリア	95
5-9-1	パソコン	95
5-9-2	携帯端末 (フィーチャーフォン)	95
5-9-3	スマートフォン (画像読み込み型)	95
5-9-4	スマートフォン (画像添付型)	95

5-10	配信キャリアと絵文字	97
5-10-1	配信キャリア	97
5-10-2	Unicode 絵文字	99
5-11	イベントメールの日付条件	100
5-11-1	対象フィールドの年月日に対し、指定した期間[前に迎えた]に 設定した場合	102
5-11-2	対象フィールドの年月日に対し、指定した期間[後に迎える]に 設定した場合	103
5-11-3	[毎月 1 日時点で 1 ヶ月以内に迎える会員を選んで、毎月 1 日 に配信する]に設定した場合	104
5-12	プロフィール収集	105
5-12-1	プロフィール収集の流れ	106
5-12-2	プロフィール収集の準備	107
5-12-2-1	収集したい属性項目のフィールド定義	107
5-12-2-2	回答画面の作成	107
5-12-2-3	応答画面とお礼メール	108
5-12-3	プロフィール収集の結果を参照する	108
5-13	配信結果	109
5-13-1	配信数	109
5-13-2	配信状況	109
5-13-3	成功数(成功率)	109
5-13-4	致命的エラー	109
5-13-5	致命的でないエラー	111
5-13-6	開封確認	114
5-13-7	ワンクリック購読解除	116
5-13-7-1	配信除外数	117
5-13-7-2	購読解除数	117
5-14	データの保持期間	119
5-14-1	致命的エラーの保持期間	119

5-14-2	致命的でないエラーの保持期間.....	119
5-14-3	クリックカウント・コンバージョン・開封確認の保持期間.....	120
5-14-1	ワンクリック購読解除の保持期間.....	120
5-14-2	操作ログの保持期間.....	120
5-14-3	一括更新・一括登録・一括削除・書き出し結果の保持期間.....	121
5-15	文字化け.....	122
5-15-1	文字化け原因の分析に必要な情報.....	122
5-15-2	キャリア別文字化けの主原因.....	123
5-15-2-1	全キャリア・パソコン共通.....	123
5-15-2-2	docomo.....	123
5-15-2-3	au.....	123
5-15-2-4	SoftBank(Disney 含む).....	124
5-16	送信ドメイン認証.....	125
5-16-1	SPF 検証結果表示機能.....	125
5-16-2	DKIM 検証結果表示機能.....	126
5-16-3	DMARC レコード設定状況および DMARC 認証結果表示機能.....	127
5-16-4	送信ドメイン認証(DKIM 署名/DMARC)管理機能.....	129
5-16-5	DMARC 対応.....	129
5-17	ワンクリック購読解除.....	131
5-17-1	ワンクリック購読解除用ヘッダ情報(List-Unsubscribe・List-Unsubscribe-Post)の自動設定.....	132
5-17-2	ワンクリック購読解除した対象者の自動除外.....	134
5-17-3	購読解除アドレスの管理.....	135
5-17-4	独自購読解除 URL へのパラメータ差込.....	136
5-18	フィードバックループ(FBL).....	137
5-18-1	フィードバックループ(FBL)とは.....	137
5-18-2	Postmaster Tools「FBL ダッシュボード」利用イメージ.....	138

5-19	メールのセキュリティ.....	139
5-19-1	STARTTLS	139
6	テンプレート.....	141
6-1	テンプレートとは	141
6-2	テンプレートの種類.....	142
6-2-1	宛先	142
6-2-2	本文	144
6-2-3	送信者／返信先.....	145
6-2-4	件名	146
6-2-5	デコメール画像.....	147
6-2-6	クリックカウント URL.....	148
6-2-7	テスト送信アドレス.....	149
6-2-8	会員検索/抽出条件	149
6-2-9	配信解除表示	149
6-2-10	登録解除先(List-Unsubscribe ヘッダ)	150
6-2-11	配信通知設定	151
7	会員管理.....	153
7-1	会員データの活用方法	153
7-2	サイト一括更新/複数チャネルの一括登録	154
7-2-1	サイト一括更新/複数チャネルの一括登録の概要.....	154
7-2-2	サイト層からの一括登録・更新時に登録・更新されるデータ	154
7-2-3	サイト層からの一括登録・更新用のファイル形式.....	156
7-2-4	CSV ファイル作成時の注意事項.....	159
7-2-5	サイト層からの一括登録・更新時のエラーメッセージ	160
7-3	チャネル一括登録・更新.....	162

7-3-1	チャネル一括登録・更新の概要.....	162
7-3-2	チャネル一括登録・更新時に登録・更新されるデータ	162
7-3-3	チャネル一括登録・更新用のファイル形式	163
7-3-4	CSV ファイル作成時の注意事項.....	165
7-3-5	チャネル一括登録・更新時のエラーメッセージ.....	166
7-3-6	外部データベースとの連携	167
7-4	書き出し.....	169
7-4-1	書き出しの概要	169
7-4-2	抽出条件	170
7-4-3	ファイル形式とファイルの内容.....	172
7-5	データの検索・修正	174
7-5-1	検索の概要.....	175
7-5-2	修正の概要.....	175
7-5-3	メールアドレスの変更	176
7-6	メールアドレスの制限	177
7-6-1	登録可能なメールアドレス	177
7-6-1-1	メールアドレスのフォーマット.....	177
7-6-1-2	ユーザー部	177
7-6-1-3	ドメイン部	177
7-7	管理画面からの会員登録	178
7-7-1	登録できる対象	178
7-7-2	会員登録時の注意事項.....	178
7-8	一括削除	179
7-8-1	一括削除の概要.....	179
7-8-2	削除用ファイルのファイル形式.....	180
7-8-3	一括削除時のエラー.....	180
7-9	配信状態フラグ	182

7-9-1	配信状態フラグとは	182
7-9-2	配信状態フラグの管理	182
7-9-3	配信状態フラグの変更	183
7-10	登録日・更新日の更新タイミング	184
7-10-1	CSV ファイルの項目ラベル	184
7-10-2	更新タイミング	184
7-11	スマートフォン種別	186
7-12	ユーザーエージェント	187
7-13	仮登録管理	188
7-14	購読解除アドレス管理	189
7-14-1	購読解除アドレスの一覧表示・検索	189
7-14-2	購読解除アドレスの削除（自動除外の停止）	190
7-14-3	購読解除アドレスのダウンロード	191
7-14-3-1	ダウンロードファイル仕様	191
7-14-3-2	ダウンロードファイル出力項目	191
8	レポート	193
8-1	レポートについて	193
8-2	ユニークアドレス数	194
8-2-1	集計対象	194
8-2-2	確認できる集計結果	194
8-2-3	レポートの見方	195
8-3	延べアドレス数	197
8-3-1	集計対象	197
8-3-2	確認できる集計結果	197
8-3-3	レポートの見方	198

8-4	チャネル.....	200
8-4-1	集計対象	200
8-4-2	レポートの見方.....	200
8-4-3	会員数推移の比較.....	201
8-5	配信数.....	202
8-5-1	集計対象	202
8-5-2	集計期間	202
8-5-3	レポートの見方.....	202
8-6	クリックカウント.....	204
8-6-1	集計対象	204
8-6-2	集計期間と URL 指定	204
8-6-3	確認できる集計結果.....	204
9	サイト情報	207
9-1	サイト情報について	207
9-2	サイト情報で照会できる項目	207
10	メールに関する基礎情報.....	209
10-1	パソコン向け	209
10-2	docomo.....	210
10-3	au	211
10-4	SoftBank (Disney 含む).....	212
10-5	SoftBank 版 iPhone (@i.softbank.jp) 向け.....	213
10-6	WILLCOM 向けの制限事項	213
10-7	携帯キャリアとされるドメイン	214

用語集	217
索引	230

改訂履歴

日付	版	改訂内容
2011.5.25	1 版発行	
2011.8.30	2 版発行	2011 年 8 月バージョンアップの追加機能を反映
2011.11.28	3 版発行	2011 年 11 月バージョンアップの追加機能を反映
2012.2.28	4 版発行	2012 年 2 月バージョンアップの追加機能を反映
2012.4.19	4.1 版発行	一部詳細説明を追記
2012.6.27	5 版発行	2012 年 6 月バージョンアップの追加機能を反映
2012.10.30	6 版発行	2012 年 10 月バージョンアップの追加機能を反映
2013.2.26	7 版発行	2013 年 2 月バージョンアップの追加機能を反映
2013.6.25	8 版発行	2013 年 6 月バージョンアップの追加機能を反映
2013.11.28	9 版発行	2013 年 11 月バージョンアップの追加機能を反映
2014.5.8	10 版発行	2014 年 5 月バージョンアップの追加機能を反映
2014.7.24	11 版発行	2014 年 7 月バージョンアップの追加機能を反映
2014.10.15	12 版発行	動作環境の詳細内容を追記
2014.12.10	13 版発行	一部リンク URL を最新に変更等
2015.2.18	14 版発行	内容をブラッシュアップ、誤植修正
2015.4.15	15 版発行	一部詳細説明を追記、内容をブラッシュアップ
2015.6.17	16 版発行	内容をブラッシュアップ、誤植修正
2015.10.15	17 版発行	2015 年 10 月バージョンアップの追加機能を反映 動作環境に Windows 版 Internet Explorer 11 を追記 内容をブラッシュアップ、誤植修正
2016.3.24	18 版発行	2016 年 3 月バージョンアップの追加機能を反映 動作環境に Windows 10、Edge を追記
2016.8.25	19 版発行	一部ファイルのサンプル追加、内容をブラッシュアップ、誤植修正
2016.10.27	20 版発行	自動ログアウトの内容を追記
2016.11.30	21 版発行	トークンコードの内容を追記
2017.3.23	22 版発行	2017 年 3 月バージョンアップの追加機能を反映
2017.6.29	23 版発行	社名変更に伴う修正
2017.11.16	24 版発行	2017 年 11 月バージョンアップの追加機能を反映

日付	版	改訂内容
2018.3.23	25 版発行	2018 年 3 月バージョンアップの追加機能を反映（au.com 対応）
2018.4.25	26 版発行	2018 年 4 月バージョンアップの追加機能を反映
2018.9.4	27 版発行	ユーザーインターフェースの改善を反映
2019.3.19	28 版発行	内容をブラッシュアップ、誤植修正
2019.9.18	29 版発行	2019 年 9 月バージョンアップの追加機能を反映（送信者/返信先テンプレートの表示先選択、一括即時配信、各種一覧表示改善、他
2019.11.1	30 版発行	社名変更に伴う修正
2020.1.21	31 版発行	2020 年 1 月バージョンアップの追加機能を反映（Chrome80 対応）
2020.3.23	32 版発行	2020 年 3 月バージョンアップの追加機能を反映（携帯向け Unicode 絵文字配信、他）
2020.5.7	33 版発行	STARTTLS について追記
2021.1.28	34 版発行	2021 年 1 月バージョンアップの追加機能を反映（無効アカウント解除）、内容をブラッシュアップ
2021.5.25	35 版発行	2021 年 5 月バージョンアップの追加機能を反映（不適切なメールアドレスの自動除外）、サービスロゴ変更、内容をブラッシュアップ
2021.10.19	36 版発行	2021 年 10 月バージョンアップの追加機能を反映（開封確認 Web ビーコン URL の SSL 化）、内容をブラッシュアップ
2024.1.18	37 版発行	2024 年 1 月バージョンアップの追加機能を反映（ワンクリック購読解除用ヘッダ情報（List-Unsubscribe・List-Unsubscribe-Post）の自動補完、ワンクリック購読解除した対象者の自動除外、購読解除情報の管理、独自購読解除 URL へのパラメータ差込）
2024.9.17	38 版発行	2024 年 9 月バージョンアップを反映（購読解除用 URL のメール本文差し込み、ワンクリック購読解除による配信除外件数表示、フィードバックループ（FBL）対応に伴う「Feedback-ID」ヘッダ付加、その他 UI 改善等）、内容をブラッシュアップ
2025.4.10	39 版発行	DMARC レポートの提供案内を更新、ユーザーポータル移行に伴う修正

はじめに

このたびは、「MailPublisher Mobile Edition」（以降、本システムと記載します）をご利用いただき、誠にありがとうございます。

本システムを効果的にご利用いただくために、ご使用前に本マニュアルをよくお読みいただき、十分理解されてからお取り扱いください。

マニュアルの読み方

対象読者の定義

本マニュアルは、本システムを操作してメールの配信などを行う管理者を対象に作成しています。

以下の経験および知識があることを前提にしています。

- インターネット、携帯電話向けを含むメール送受信の概念を理解していること。
- Windows の基本的な操作経験（起動と終了、エクスプローラを使ってのファイルの閲覧、コピー、移動、削除）があること。
- ウェブブラウザの基本的な操作経験（起動と終了、Web ページの閲覧、ファイルのダウンロード）があること。
- Microsoft Excel、Windows のメモ帳の基本的な操作経験（起動と終了、CSV ファイルの編集と保存）があること。
- ファイルの圧縮/解凍の操作経験があること。

サイト全体の管理を担う管理者の方は、開設に伴う設定支援サービスにてサイト構築作業が終了している場合でも、ご利用前に必ず『MailPublisher Mobile Edition サイト構築マニュアル』をご確認ください。『MailPublisher Mobile Edition サイト構成マニュアル』には運用に当たって必要なサイトの構成や、会員空メール登録に関する設定・変更方法などが記載されています。

マニュアルの構成

本マニュアルは以下の章立てで構成されています。

1. **MailPublisher Mobile Edition について**
本章では、本システムの概要について説明しています。
2. **管理者の構成**
本章では、本システムの管理区分やパスワードの管理について説明しています。

3. サイトの管理

本章では、本システムの管理構造、および利用できる機能について説明しています。

4. リモートフォーム機能

本章では、リモートフォーム機能の概要と設定方法について説明しています。

5. メールの配信

本章では、配信できるメールの種類や配信対象の設定について説明しています。

6. テンプレート

本章では、テンプレートの種類と用途について説明しています。

7. 会員データの管理

本章では、一括登録・更新や書き出しの概要や、データ管理に関する機能について説明しています。

8. レポート

本章では、本システムが出力できるレポートの種類について説明しています。

9. サイト情報

本章では、本システムで照会できるサイトの設定情報や契約情報について説明しています。

10. メールに関する基礎情報

本章では、本システムに登録可能なメールアドレスや各キャリアでの制限事項について説明しています。

マークの意味



注意

本システムの操作について必ず守っていただきたい注意事項や、制限事項について記載しています。誤った操作を行った場合、操作に支障をきたす場合があります。



重要

本システムの操作について知っておいていただきたい重要事項や、制限事項について記載しています。



参考

説明の補足事項や、操作を行ううえでポイントとなる内容について記載しています。

記号の意味

記号	説明	例
[]	画面上で操作するボタンやキーボードのキー、画面の名称を示すときに使用しています。	• [OK] ボタンをクリックします。 • キーボードの [Ctrl] キーを押します。 • [名前を付けて保存] 画面が表示されます。
→	階層化されたメニューの操作順を示すときに使用しています。	• メニューから [管理者] (1) → [新規作成] (2) をクリックします。
「 」	参照先のタイトル、強調する語句を示すときに使用しています。	• 「5-2 配信できるメールの種類 (74 ページ)」をご参照ください。 • 「@」以降のドメインを入力してください。
『 』	ほかのマニュアルを参照するときのマニュアル名を示すときに使用しています。	• 『MailPublisher Mobile Edition 機能説明マニュアル』をご参照ください。
” ”	入力する文字や値を示すときに使用しています。	• パスワードに”ember”を入力します。
()	直前の文や語を補足する内容を示すときに使用しています。	• アカウント種別 (管理者またはオペレーター)

ご利用の前に

申し込み内容の確認について

お手元のご利用申込書の控え、およびサポートセンターよりメールでお送りした「サイト開設のお知らせ」に記載されている以下の内容をご確認ください。

- 操作画面 URL（「サイト開設のお知らせ」に記載されています。）
- 初期管理者アカウントのパスワード（「サイト開設のお知らせ」に記載されています。）
- 初期管理者アカウントの ID（「ご利用申込書」に記載されています。）
- 各種設定・オプションの申し込み状況（「ご利用申込書」に記載されています。）



参考

本システムからのサイト情報照会

[マニュアル/各情報]-[サイト情報]メニューより、サイト設定・契約情報の一部を照会することができます。

サイト ID について

サイト ID はお問い合わせの際に必要となります。以下の方法でご確認ください。

- 操作画面（ログイン後）左上のサイト ID 表示箇所を見る。
- 操作画面（ログイン前）URL の該当部分を見る。（[https://mpme.jp/\[サイト ID\]/index.php](https://mpme.jp/[サイト ID]/index.php)）
- ご利用申込書の記載を見る。

弊社からのお知らせについて

メンテナンス、システム障害など、重要なお知らせをメールでお送りしています。ご利用申込書にご記入いただいた連絡先欄のメールアドレスに通知を行います。異動、退職などで、連絡先の変更が必要になった場合、変更届を担当営業までご提出ください。変更届は本システムの「マニュアル/各情報」メニューからダウンロードできます。

連絡先変更のご連絡がないために、サポート情報の連絡が不達となった場合、弊社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

1

MailPublisher Mobile Edition について

1-1 概要

本システムは、データを階層的に管理し、会員の受信環境に対応したメール作成・配信を行える ASP サービスです。

◆ 会員の情報を階層的に管理

複数のデータベースを利用して、管理者ごとやカテゴリごとに会員の情報を階層的に管理できます。会員の組織形態に合わせた管理体系の設定が可能です。

◆ 携帯端末向けに最適なメール配信

携帯端末向けに絵文字を使ったメール、デコメールなど、会員の受信環境に合ったメールを作成できます。また、「空メール」や「QR コード」を利用して簡単に会員登録が行えます。

1-2 動作環境

本システムの動作環境は以下のとおりです。

表 1-1

項目	内容
ウェブブラウザ	Windows 版 Internet Explorer - Windows 8.1 — Internet Explorer 11 - Windows 10 — Internet Explorer 11、Edge Windows 版 Firefox Mac 版 Firefox ※Firefox は Windows/Mac 共に最新バージョンでの利用を推奨しております。 なお、最新バージョンであっても正式バージョンでない場合（ベータ版など）は正常動作しない可能性がありますので、ご注意ください
ウェブブラウザの設定	JavaScript：有効 Cookie：有効 HTTP1.1：有効



注意

- 上記以外のウェブブラウザでは正常に動作しません。
- ウェブブラウザによって動作が異なる場合がありますが、本システムの機能はご利用頂けます。
- 操作中に本システムへのアクセス元となっている IP が切り替わるような環境でのご使用はしないでください。
- ウェブブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。
- 複数のウィンドウやタブを開いて使用しないでください。複数のウィンドウやタブからアクセスするとセッションが競合し、誤動作の原因となります。

1-3 問い合わせ先

本書をご参照のうえで不明な点がある場合は、本システムにログインし、メニューの［マニュアル/各情報］→［FAQ］をご確認ください。よくある質問の解決方法などが確認できます。

FAQを確認しても解決しない場合は、下記サポート窓口までお問い合わせください。

直接契約の場合

エンバーポイント サポートセンター

連絡先：MailPublisher Mobile Edition 管理画面左下（ログイン後）をご参照ください。

販売店経由での契約の場合

各販売店窓口

連絡先：契約書・申込書などをご参照ください。

2

管理者の構成

2-1 管理者と管理対象

本システムでは、システムを運用する人を管理者と呼びます。管理者は、管理の対象となる管理区分を必ず持ち、所属する区分によって「サイト管理者」、「グループフォルダ管理者」「グループ管理者」、「チャンネル管理者」に分けられます。管理者は所属する管理区分を操作できます。

また、本システムでメール配信やチャンネルの作成などの操作をするには、管理者に操作を実行する「ロール」が与えられている必要があります。

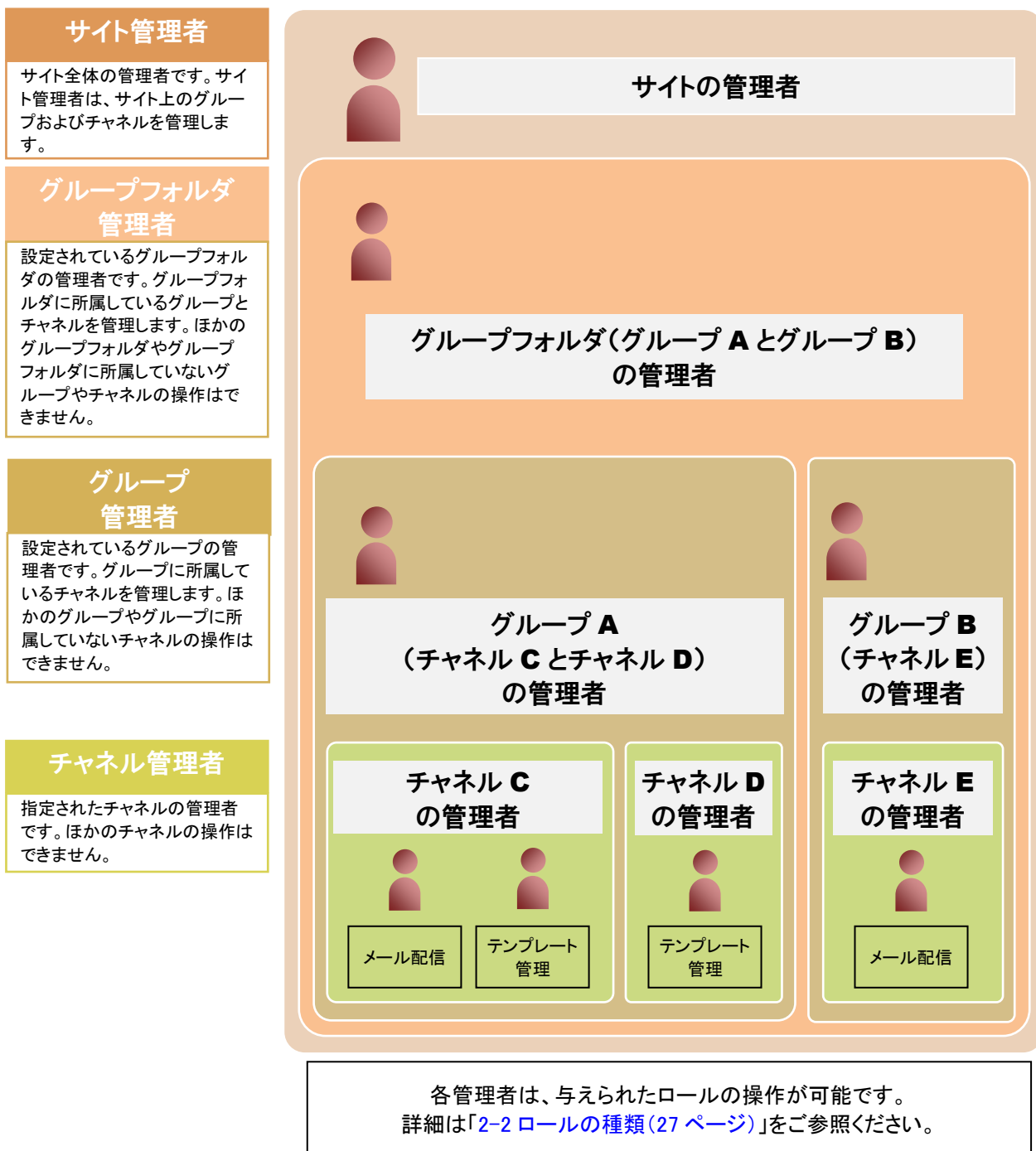


図 2-1

重要

管理者アカウントは第三者に漏えいしないように、厳重に管理してください。

2-2 ロールの種類

2-2-1 ロールとは

本システムでは、作業する管理者の誤操作による必要な項目の削除や会員データの抹消など、致命的なダメージを避けるため、管理者の職制やスキルに応じた「ロール」を設定して、使用できる機能を制限できます。

設定した「ロール」を管理者アカウントに割り当てることにより、管理者が実際に使用できる機能を指定できます。

ロールは管理者アカウントに対して与えられるため、管理者アカウントを作成する前に設定する必要があります。

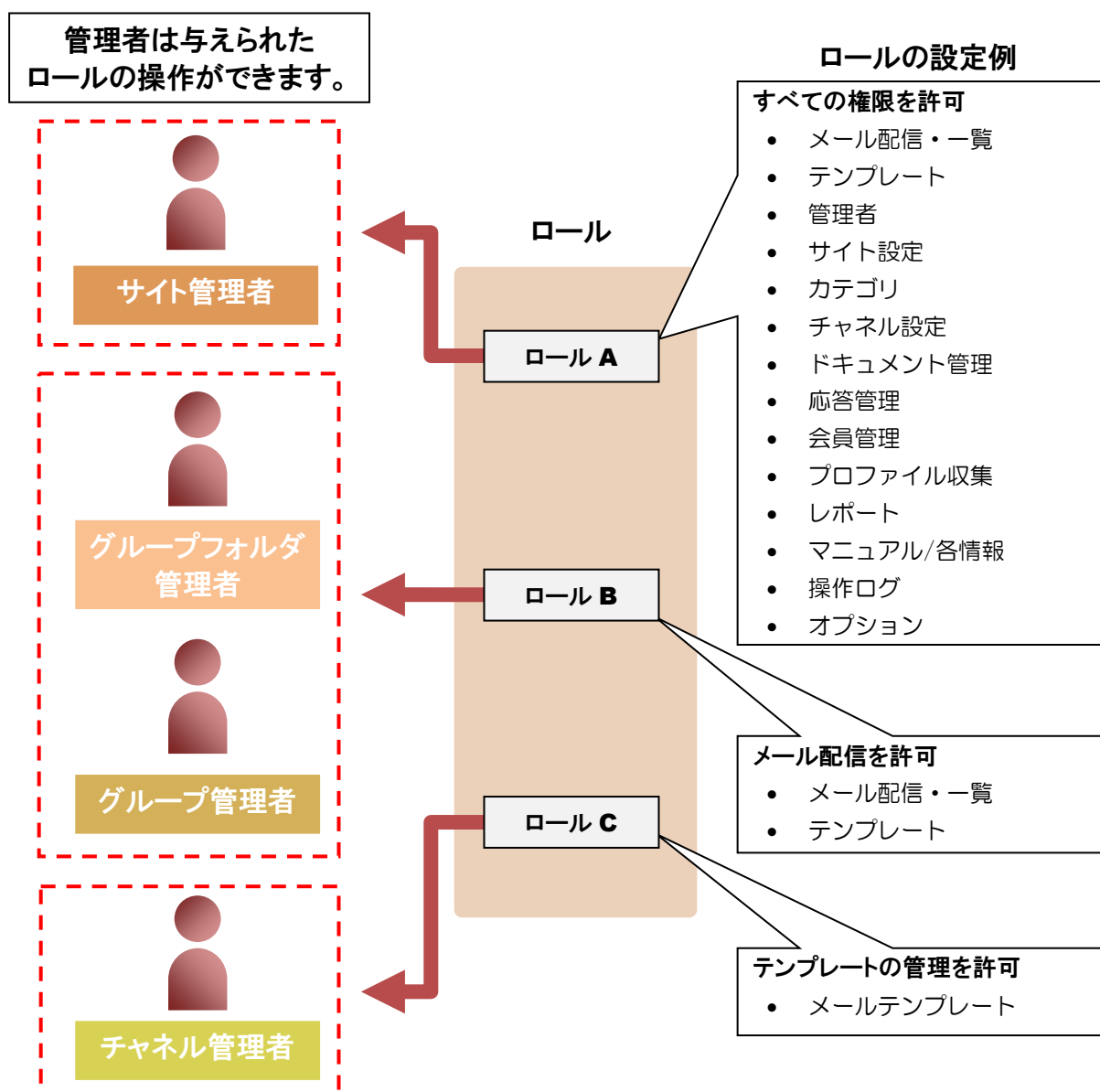


図 2-2

2-2-2 ロールに設定できる機能

ロールに設定できる機能は、本システムのメニューに合わせて分類されています。機能名称と、その機能に属する操作内容は、以下のとおりです。

表 2-1

メニュー	実行できる操作
メール配信・一覧	- 各種メールの新規作成、配信設定、配信予約 - 予約済みメール、配信済みメールの実施状況の確認 - 配信済みメールでのエラー数、クリックカウント、コンバージョンデータの CSV ファイルダウンロード
テンプレート	- 各テンプレートの新規作成、編集、削除 - デコメール画像の登録、削除 - クリックカウント URL の新規作成、削除 - テスト送信アドレスの新規作成、削除 - 配信対象選択に使用するための会員検索・抽出 - メール本文に挿入する配信解除表示の編集
管理者	- 管理者の登録、編集、削除 - ロールの新規作成、削除 - 無効化された管理者の解除
サイト設定	- グループフォルダの新規作成、修正、削除（グループフォルダ管理者より上位の管理者のみ） - グループの新規作成、修正、削除（グループ管理者より上位の管理者） - サイトのテーブル定義（サイト管理者のみ） - サイトの公開、修正（サイト管理者のみ） - シリアル型フィールドの定義（サイト管理者のみ）
カテゴリ	- カテゴリの新規作成（グループ管理者より上位の管理者） - カテゴリのテーブル定義
チャンネル設定	- チャンネルの新規作成（グループ管理者より上位の管理者） - QR コードの作成（サイト管理者のみ）
ドキュメント管理	ドキュメントの新規作成、編集、公開
応答管理	- 返信メールの新規登録、修正、削除 - 回答画面の新規登録、修正、削除
会員管理	- サイトの一括更新（サイト管理者のみ） - 複数チャンネル一括登録（サイト管理者のみ） - チャンネルの一括登録・更新 - データの書き出し - チャンネルに登録されているデータの一括削除 - チャンネルに登録されているデータの検索・修正 - チャンネルへのデータ登録 - 仮登録状況の確認（サイト管理者のみ）

メニュー	実行できる操作
プロフィール収集	説明の閲覧
レポート	- ユニークアドレス数の確認（グループ管理者より上位の管理者） - 延べアドレス数の確認 - チャネルの確認 - 配信数の確認、CSV ファイルのダウンロード - クリックカウントの確認、クリックカウント集計結果の CSV ファイルのダウンロード
便利機能	便利機能の確認
マニュアル/各情報	- マニュアル、FAQ の確認 - 各種申請書のダウンロード
操作ログ	各種操作のログの確認（サイト管理者のみ）
オプション	リモートフォームの管理

警告

「管理者」権限を持つ管理者 ID をすべて削除してしまうと、そのサイトでアカウントの追加を行える管理者がいなくなります。管理者 ID の削除は、必ず、「管理者」権限を持つ ID を追加してから行ってください。誤って管理者 ID を削除した場合は、サポート窓口までお問い合わせください。

重要

機能に属する操作のすべてが、設定する権限の対象になります。たとえば、権限に「管理者」の機能を設定する場合、実行を許可する操作から「管理者の登録」だけを外すという設定はできません。

2-3 パスワード

2-3-1 パスワードポリシー

パスワードポリシーとは、セキュリティを保持するための、パスワードに関する基本的なルールです。パスワードポリシーを変更することはできません。

◆ パスワード強度

半角英大文字・半角英小文字・半角数字・半角記号のそれぞれを最低 1 文字以上使用し、8 文字以上 20 文字以下で設定します。ID と同じ文字列を含めることはできません。

パスワードに使用可能な記号は以下のとおりです。

「!」、「"」、「#」、「\$」、「%」、「&」、「'」、「(」、「)」、「*」、「+」、「,」、「-」、「.」、「/」、「:」、「;」、「<」、「=」、「>」、「?」、「@」、「[」、「¥」、「]」、「^」、「_」、「`」、「{」、「|」、「}」、「~」

◆ パスワードの有効期間

パスワードの有効期間は 90 日です。最後にパスワードを変更した日から 90 日以降にログインすると、パスワードの変更画面が表示されます。パスワードを変更すると、ログインできます。パスワードの最終更新日は、管理者ごとに管理されます。

◆ パスワードの使用履歴

過去 13 回分と同じパスワードは使用できません。また、パスワード変更後 24 時間は再度パスワードを変更することができません。

◆ 初期パスワード

管理者アカウント作成時に設定された初期パスワードは必ず変更する必要があります。管理者アカウント作成後に初めてログインすると、パスワードの変更画面が表示されます。パスワードを変更すると、ログインできます。

◆ アカウントロック

パスワード、トークンコードを 5 回連続で間違えると 30 分間ログインができなくなります。

◆ 未使用アカウントの無効化

60 日以上ログインしていない管理者は無効化され、使用できなくなります。解除を希望される場合はサポートセンターまでお問い合わせください。120 日以上ログインしていない管理者は完全に削除され、復活させることもできなくなります。削除後に同一 ID の管理者が必要となった場合は、改めて作成してください。



参考

管理者アカウントが無効化される前と、削除される前に、注意喚起するリマインドメールが配信されます。

2-3-2 パスワードの再設定

パスワードは、[管理者] メニューから再設定できます。サイト管理者で、[管理者] メニューの操作権限を与えられている管理者は、すべての管理者のパスワードについて、再設定できます。



注意

この画面では、現在ログインしているアカウント(ID)のパスワード変更は行えません。

現在ログインしているアカウント(ID)のパスワード変更を行うには[左メニュー]→[パスワード変更]から行ってください。

詳細については『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「1-3-1 自分のパスワードを変更する場合」』をご参照ください。



参考

パスワードを失念してログインできなくなった場合、ログイン画面に表示されているパスワード再設定用のリンクから再設定することもできます。

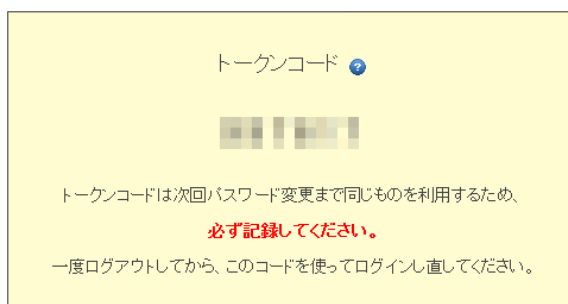
2-3-3 トークンコードとは

トークンコードとは、セキュリティを保持するために設定されるログインID、パスワードと同様にログイン時の必須要素の1つです。

初回登録時及びパスワードが変更されたタイミングで発行されシステム側でランダムな数値（6桁）が発行されます。
有効期限は、パスワードと同じタイミング（最大で90日）です。

パスワード変更及び、トークンコード発行についての詳細は『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「1-3 パスワードを変更する」』をご参照ください。

◆ トークンコードの発行画面



[ログアウト](#)

図 2-3

◆ トークンコードの入力画面



図 2-4



参考

「外部システム連携用アカウント」については、トークンコードは対象外となります。

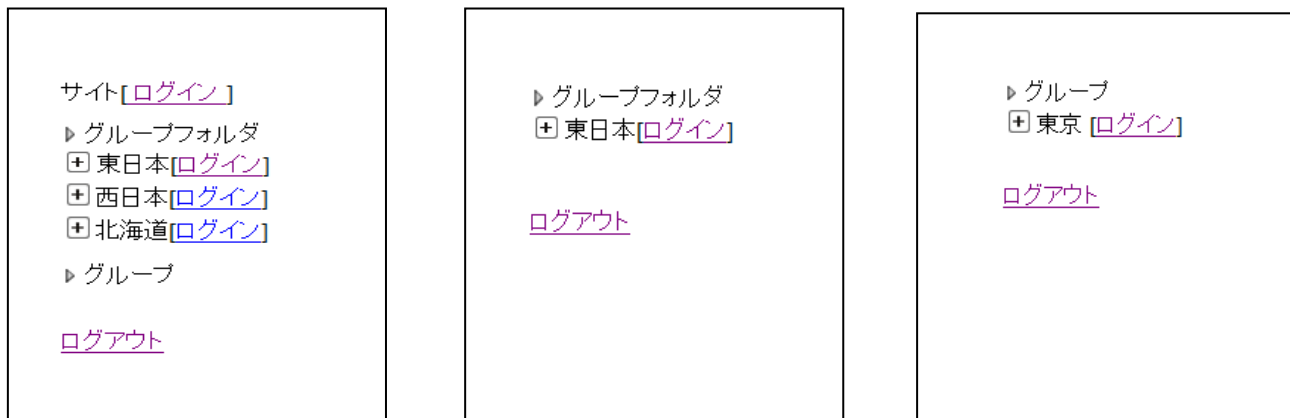
2-4 ログイン

本システムを使用するには、以下の URL にアクセスしてログインします。

https://mpme.jp/ [サイト ID] /index.php

サイト管理者、グループフォルダ管理者、またはグループ管理者でログインすると、管理区分の選択画面が表示されます。この画面では、管理者がログインできる管理区分だけが表示されます。

ログインする管理区分をクリックすると、操作画面が表示されます。



サイト管理者としてログインした場合、すべてのグループフォルダとグループ、チャンネルが表示されます。

グループフォルダ管理者としてログインした場合、指定されているグループフォルダとグループフォルダに所属するグループとチャンネルだけが表示されます。

グループ管理者としてログインした場合、指定されているグループとグループに所属するチャンネルだけが表示されます。

図 2-5

なお、チャンネル管理者でログインすると、操作画面が表示されます。

2-4-1 ログイン時の注意事項

◆ ログイン時の認証について

ログイン ID やパスワード、トークンコードを誤って入力すると、エラーメッセージが表示され、認証に失敗します。

認証失敗を 5 回繰り返すと、アカウントがロックされて 30 分間ログインできなくなります。

また、60 日間ログインが行われていない場合は、アカウント無効化（使用不可）とし、120 日間ログインが行われていない場合は、アカウントが削除されます。

◆ IP 制限設定について

オプションの「アクセス IP 制限設定」を申し込んでいる場合、設定された IP アドレス以外からはアクセスできません。設定の有無は[サイト情報]より確認することができます。

◆ 複数ウィンドウ・タブの使用について

複数のウィンドウやタブを開いて使用しないでください。複数のウィンドウやタブからアクセスするとセッションが競合してしまい、誤作動が発生する場合があります。

2-4-2 ログインできないとき

◆ パスワード・トークンコードを忘れた場合

パスワードやトークンコードを忘れた場合、管理画面上で再設定を行うことができます。

パスワードやトークンコード再発行の詳細については『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「1-1 ログインする」』をご参照ください。

◆ アカウントが無効化(ロック)されてログインできない場合

◆ アカウントが無効化(ロック)されてしまった場合、管理画面上で、他の管理者に無効化の解除を依頼することができます。

アカウント無効化解除依頼の詳細については『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「5-4-1 無効化(ロック)解除依頼」』をご参照ください。

2-4-3 成り代わり

成り代わりとは、上位の管理者が下位の管理者の管理区分にログインすることをいいます。

上位の管理者に与えられているロールは、成り代わりでログインした場合も同じロールが与えられます。

◆ 成り代わりを使用する場合について

グループ固有またはチャンネル固有のテンプレートの追加・変更・削除・確認をする場合、グループフォルダ管理者、グループ管理者またはチャンネル管理者に成り代わり、該当の管理区分にログインします。

◆ 成り代わりできる管理区分

サイト管理者は、サイト内のすべての管理者(グループフォルダ、グループおよびチャンネル)として成り代わりできます。

グループフォルダ管理者は、グループフォルダに所属する管理者(グループおよびチャンネル)として成り代わりできます。

グループ管理者は、グループに所属するチャンネルの管理者として成り代わりできます。

チャンネル管理者は、下位の管理区分がないため、成り代わりはできません。

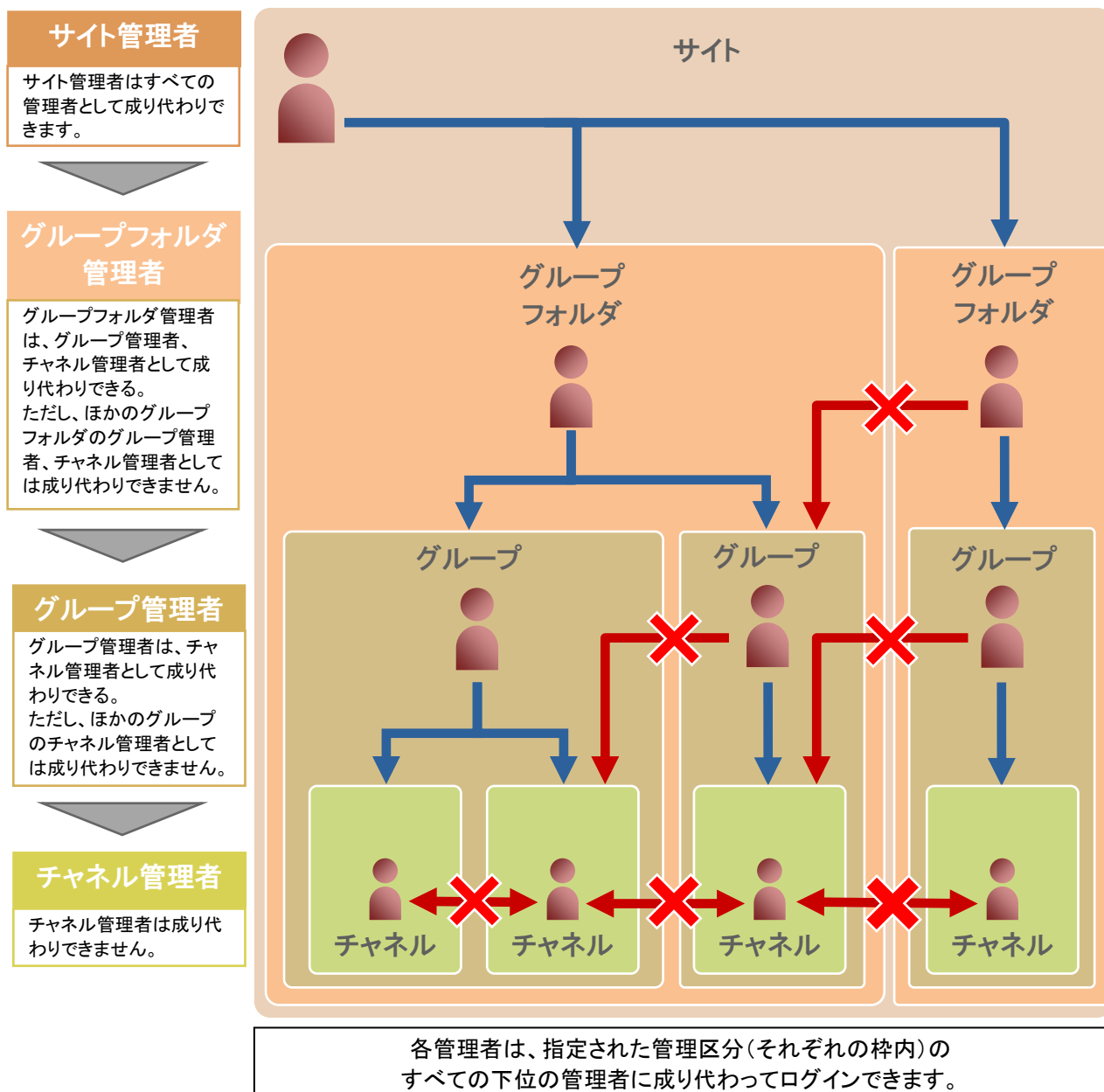


図 2-6

2-5 ログアウト

2-5-1 ログアウト時の注意事項

◆ 操作完了時のログアウトについて

操作が完了したら必ずログアウトしてください。ログアウトしないと、ログイン状態が継続するため不正使用されるおそれがあります。

操作画面でログアウトすると、管理区分の選択画面に戻ります。この状態では完全にログアウトされていません。管理区分の選択画面でも必ずログアウトしてください。

◆ 適用前の設定情報について

ログアウトすると、入力途中のメール本文や適用前の設定情報などが失われます。ログアウトする前に、変更した設定は必ず適用したうえでログアウトしてください。

2-5-2 自動ログアウト

本システムは、ログイン後、最後の操作（画面の遷移を伴う操作）から一定時間を経過すると自動的にログアウトされます。

ログアウト前にはダイアログが表示されます。

ログアウトすると、入力途中のメール本文や適用前の設定情報などが失われます。途中退席などでしばらく操作しない場合は、必ず下書き登録や更新、適用などの保存を行ってください。

自動ログアウトの詳細については『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「1-2-1 自動ログアウトについて」』をご参照ください。

3

サイトの管理

3-1 サイトの階層

本システムは階層的な複数の管理区分でデータを管理します。管理区分内のデータにもとづいて、会員情報を収集し、効率的なメールが配信を実現できます。また管理区分ごとに、管理者を設定できます。

以下の図は、階層を利用したサイト構築例です。

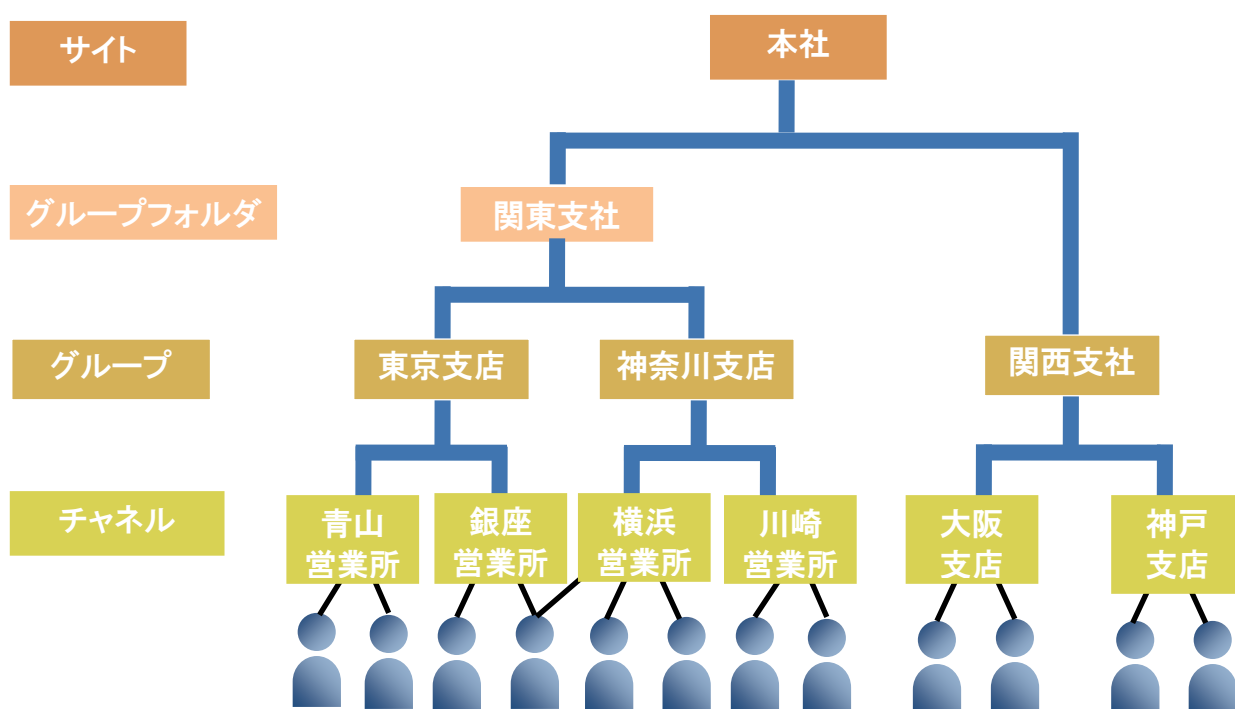


図 3-1

3-1-1 サイト

サイトは管理区分を統括する最上位に位置します。すべてのチャンネルが管理対象で、各チャンネルに登録されているすべての会員を配信対象にできます。

3-1-2 グループフォルダ

グループフォルダは 1 つ以上のグループを管理対象とする管理区分です。管理下のグループに登録されているすべてのチャンネルが配信の対象となります。

グループフォルダの作成は必須ではありません。関連するグループをまとめて管理する場合に設定してください。

グループとグループフォルダを組み合わせることにより、より複雑な管理体系を構築できます。

3-1-3 グループ

グループは 1 つ以上のチャンネルを管理する管理区分です。グループはサイト内に最低 1 つは設定する必要があります。

管理下のチャンネルに登録されているすべての会員を配信対象にできます。グループ管理者は、グループに所属するチャンネルを操作できます。

3-1-4 チャンネル

チャンネルは、サイトの最下位に位置する管理区分です。チャンネルはサイト内に最低 1 つは設定する必要があります。

会員の情報は、チャンネル経由で登録されます。登録された会員の情報は、チャンネルのデータベースに蓄積されると同時に、サイトのデータベースにも蓄積されます。1 人の会員が複数のチャンネルに所属することもできます。

3-2 データベースの構造

本システムでは、4 つの管理区分をサイト層とチャンネル層に分けて、それぞれの層のデータベースで会員情報を管理します。

サイト層にはサイト、グループフォルダ、およびグループが属し、サイト全体のデータベースでサイト属性情報を管理します。

チャンネル層にはチャンネルだけが属し、チャンネルごとのデータベースでチャンネル属性情報を管理します。

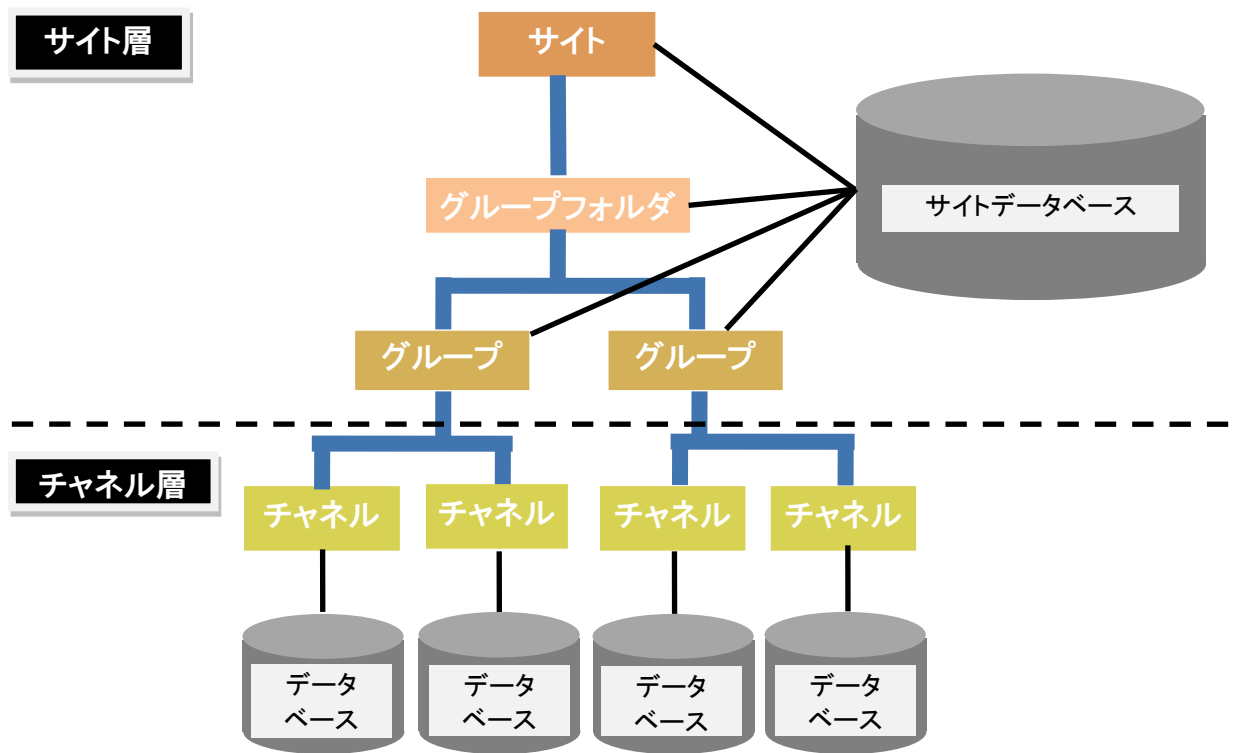


図 3-2

3-2-1 サイト層のデータベース

サイト層は、サイト層独自のデータベースを持ちます。このデータベースに登録される会員情報は、管理下のチャンネルに登録されているユニークなメールアドレスに対応するデータです。複数のチャンネルに同じメールアドレスが登録されている場合は、重複を除いて管理します。

メールアドレスごとに収集される会員の情報（会員属性項目報）は、サイトのデータベースに対して設定することになります。会員が複数のチャンネルに登録していても、サイト全体で共通の情報を収集するだけで済む場合は、サイトのテーブル定義として項目を設定します。

例）「生年月日」、「性別」など、会員が同じなら変わらない情報

サイト層の管理者は、サイトのデータベースに登録されている会員の属性情報を、配信の際の配信対象抽出や文面への差し込みに利用することができます。

サイト管理者は、配信対象と同じくサイトのデータベースの全会員の属性情報が利用可能です。

サイト層に属する管理区分のグループフォルダ、グループの管理者は、サイトのデータベースのうち、配信対象となる会員の属性情報を利用することができます。

サイト層（に属する管理対象）の管理者は、チャンネル層のデータベースの内容を配信に利用することはできません。

3-2-2 チャンネル層のデータベース

各チャンネルはそれぞれ独立した会員属性のデータベースを持ちます。データベースに登録される会員は、配信対象と同じく該当チャンネルに登録している会員です。会員の登録しているチャンネルごとに異なる情報を収集したい場合は、チャンネル層で管理します。収集する属性は、チャンネルの属するカテゴリのデータベース設定にもとづきます。その場合はカテゴリのテーブル定義として項目を設定します。

例）「利用店舗」、「メール配信の有無」など、同じ会員でも登録するチャンネルにより変わる可能性がある情報

チャンネルのデータベースに登録されている会員の属性情報を配信の際の配信対象抽出や、文面の差し込みに利用することができます。

チャンネル層には、チャンネルの数だけのデータベースが存在します。あるチャンネルの管理者は、別のチャンネルのデータベースの内容を参照したり、利用することはできません。

サイトのデータベースで、チャンネル層からの参照を許可した会員属性情報の項目は、チャンネルのデータベースの項目と同じように、配信の際に利用することができます。



参考

サイト層では、会員が同じなら変わらない属性（生年月日や性別など）を共通項目として管理します。チャンネル層では、チャンネルごとに独自の属性項目を設定して管理します。属性項目の利用方法などについて詳しくは、「[3-4 テーブル定義（43 ページ）](#)」をご参照ください。

3-3 カテゴリ

チャンネルごとに収集する会員情報の属性項目を設定するためには、カテゴリを作成してテーブル定義を行います。テーブルには、収集する情報の種類に合ったフィールドを必要なだけ作成します。

収集された情報は、チャンネルが属するカテゴリのテーブル定義を引き継いで、チャンネルデータベースで管理されます。

カテゴリは、グループやグループフォルダといった管理区分に関係なく、チャンネルを束ねることができます。カテゴリはサイト内に最低 1 つは設定する必要があります。チャンネルは必ずカテゴリに属さなくてはなりません。ただし、カテゴリには管理者は設定できません。

複数のカテゴリを設けて、階層的な管理構造を拡張すると、より柔軟な管理体系を構築できます。

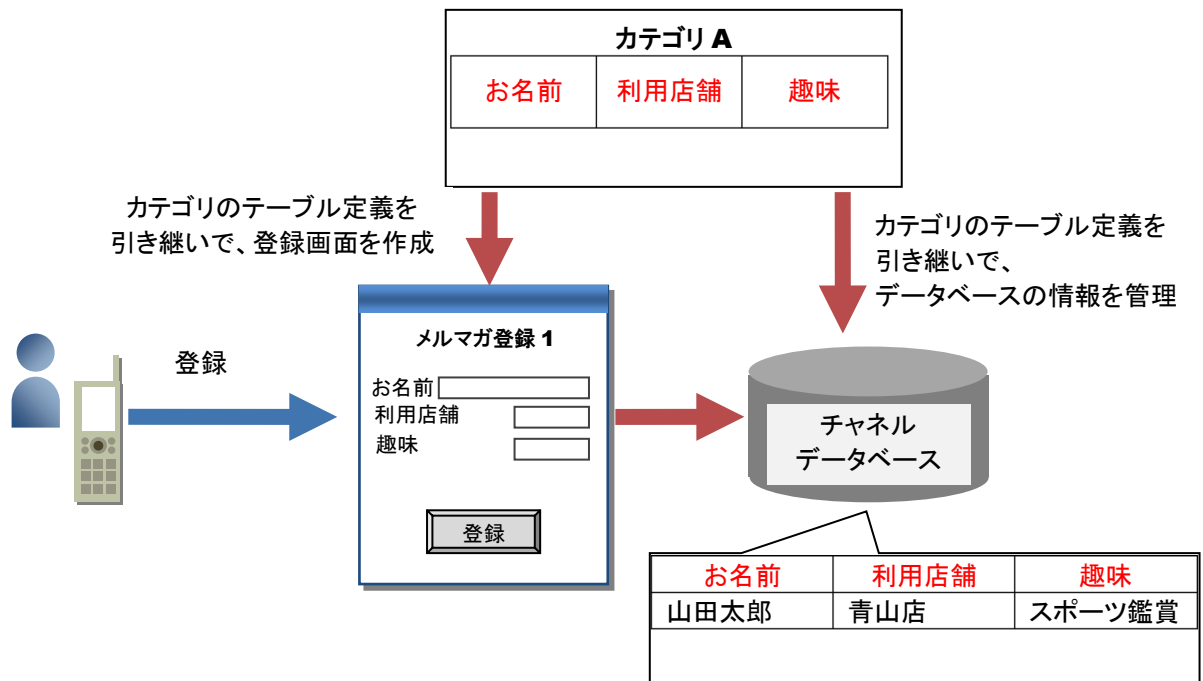


図 3-3

3-4 テーブル定義

3-4-1 サイトのテーブル定義(フィールド)

サイト層で管理する属性項目を、サイト層のデータベースに定義します。

サイト層のデータベースに登録された会員属性項目は、以下の用途に利用できます。

- サイト層の管理者がメールを配信する際の抽出条件やイベントメールの条件
- サイト層の管理者による書き出し
- サイト層でのプロフィール収集の受け皿

また、サイト層のデータベースに登録された会員属性項目のうち、チャンネル管理者に利用を許可した項目については、以下の用途にも利用できます。

- チャンネルの管理者がメールを配信する際の抽出条件やイベントメールの条件
- チャンネルの管理者による書き出し
- チャンネルでのプロフィール収集の受け皿(会員の回答した属性値はサイトのデータベースに収納されます。)

サイトのテーブル定義では、以下の情報を登録します。

表 3-1

項目名	内容	
フィールド ID	フィールド ID を設定します。半角英数字かアンダーバー (_) を 14 文字以内で入力します。 すでに使われている項目 ID と同一のものは設定できません。	
フィールドラベル	フィールドラベルを設定します。登録やプロフィール収集の入力画面 (ドキュメント) で表示されます。	
フィールドビュー	文字列	任意の文字列を入力する場合に使用します。文字列で入力できる文字数は、半角/全角ともに 255 文字までです。 設定数の上限は 60 個です。 ※以下も文字列に含まれます。 ・パスワード、ラジオボタン、セレクトボックス、チェックボックス、隠しフィールド、シリアル 例) 氏名
	数値	任意の数字を入力する場合に使用します。数字で入力できる文字数は、半角 10 桁までです。 設定数の上限は 30 個です。 例) 年齢
	日付	日付を入力する場合に使用します。YYYYMMDD (年 (4 桁)、月 (2 桁)、日 (2 桁) の順) の形式で入力できます。

項目名	内容
	設定数の上限は 10 個です。
パスワード	パスワードの設定など、入力した文字をマスキング（非表示化）させる場合に使用します。入力文字は「●」で表示されます。半角英数・記号で入力できます。以下の記号が使用できます。 「!」、「~」、「#」、「\$」、「%」、「&」、「'」、「(」、「)」、「*」、「+」、「,」、「-」、「.」、「/」、「:」、「;」、「<」、「=」、「>」、「?」、「@」、「[」、「¥」、「]」、「^」、「_」、「`」、「{」、「 」、「}」、「~」
ラジオボタン	複数の選択肢から項目を 1 つのみ選ぶ場合に使用します。比較的少ない選択肢から選ばせるのに向いています。 リストアイテムは半角/全角ともに 255 文字までです。 例) 性別
セレクトボックス	プルダウンリストにある複数の選択肢の中から 1 つを選ぶ場合に使用します。 選択肢の項目が多い場合に向いています。 リストアイテムは半角/全角ともに 255 文字までです。 例) 居住都道府県
チェックボックス	単一選択肢の選択、非選択をする項目を設定する場合に使用します。 複数の選択肢から、任意の複数の選択肢を選択する場合は、チェックボックスを選択肢の数だけ設定します。詳細は、『MailPublisher Mobile Edition サイト構築マニュアル「5-3-5 複数選択項目を作成する」』をご参照ください。
隠しフィールド	入力欄は表示せず、ドキュメント設定であらかじめ指定した値を自動的に登録します。 会員には意識させず、管理者側で指定の属性値を登録させるような場合に使用します。詳細は、「 3-6 隠しフィールド（48 ページ） 」をご参照ください。
シリアル	入力欄は表示せず、ドキュメント設定であらかじめ指定したシリアル型の値を取得して、連番を付与する場合に使用します。 シリアルは、事前にシリアル型フィールドの設定をしておく必要があります。シリアル型については、「 3-5 シリアル型（47 ページ） 」をご参照ください。

3-4-2 カテゴリのテーブル定義(フィールド)

チャンネルのデータベースは、チャンネルが属するカテゴリのテーブル定義をコピーして作成されます。

このため、チャンネルを作成する前にカテゴリのテーブル定義で必要な属性値を定義しておく必要があります。

カテゴリのテーブル定義で設定する内容はサイトのテーブル定義と同じです。「[3-4-1 サイトのテーブル定義（フィールド）（43 ページ）](#)」をご参照ください。

**注意**

ただしチャンネルにおけるフィールドの設定上限数は以下ようになります。

■文字列: 30 個

※以下も文字列に含まれる

・パスワード、ラジオボタン、セレクトボックス、チェックボックス、隠しフィールド、シリアル

■数値: 15 個

■日付: 5 個

3-4-3 フィールド型

フィールド型はサイトのテーブル定義と同じです。「[3-4-1 サイトのテーブル定義\(フィールド\) \(43 ページ\)](#)」をご参照ください。

3-4-4 入力項目

サイトのテーブル定義、およびカテゴリのテーブル定義では、フィールド定義画面で新規追加をクリックすると、さらに詳細な設定を行うフィールドプロパティ設定画面が表示されます。

フィールドプロパティは、以下の表に示す項目があります。設定したフィールドビューによって、表示される項目が異なります。

表 3-2

入力項目名	内容	
フィールド ID フィールドラベル フィールドビュー	フィールド ID、フィールドラベルは設定した値が表示されます。フィールドラベルは変更できます。フィールドビューは、実際の入力要素の形式に変換されて表示されます。	
フィールド型	設定したフィールドビューにより自動的に決まるデータ形式を表示しています。変更することはできません。	
プロパティ	以下の設定項目が、設定内容に応じて表示されます。	
	文字幅	表示する入力欄の幅を設定します。
	最大文字数	入力できる最大文字数を設定します。入力できる文字数は、項目によって異なります。
	コメント	項目の入力欄の下にコメント（説明）を表示させる場合、コメントを設定します。256 文字以内で入力します。HTML タグは入力できません。
	エラーメッセージ	項目の入力欄で指定以外の内容が入力された場合に表示するエラーメッセージを設定します。 (例) 半角 10 文字以内で入力します。 設定しない場合、デフォルトのメッセージが表示されます。
	前文字/後文字	項目の入力欄の前後にコメントを表示する場合、表示するコメントを設定します。

入力項目名	内容	
入力規則	以下の設定項目が、設定内容に応じて表示されます。	
	必須	入力必須項目にするかどうかを設定します。 必ず入力させる項目の場合、チェックを付けます。
	英数字のみ	日本語の入力を許可するかどうかを設定します。 チェックを付けると、半角アルファベット（大文字・小文字）と数字のみ登録できます。
	istyle	携帯での文字入力の際に、入力文字の種別をあらかじめ指定することができます。文字入力方法を選択する操作の必要がなくなります。 docomo、au、SoftBank（Disney 含む）の場合に使用できます。パソコンやその他の携帯端末では設定は無効になります。
	最小値/最大値	入力できる数値の最小値と最大値を設定します。
	ユニーク制約	入力された内容に対し、ほかの会員のデータとの重複を許可するかどうかを設定します。 チェックを付けると、同項目がほかの会員のデータと重複している場合にエラーが表示され、登録されません。
	過去を許さない	「日付型」の場合、登録日に対して過去の日付の入力を許可するかどうかを設定します。 チェックを付けると、当日よりも前の日付が入力されるとエラーが表示され、登録できません。
	未来を許さない	「日付型」の場合、登録日に対して未来の日付の入力を許可するかどうかを設定します。 チェックを付けると、当日よりもあとの日付が入力されるとエラーが表示され、登録できません。
	選択データ	項目表示形式が、ラジオボタン・セレクトボックスの場合、会員が選択できる項目を増やす場合に使用します。 [リストアイテムを追加する] : クリックすると、選択肢が追加されます。 [入力欄] : 表示する項目名を入力します。 [削除] : クリックすると、選択肢を削除します。一番上の選択肢は削除できません。



注意

〔選択データ〕について

- 選択データの値に「波ダッシュ(U+301C)」は利用できません。

3-5 シリアル型

3-5-1 シリアル型の概要

シリアル型とは、会員の登録が完了した時点で、会員の情報に会員番号などの通し番号を自動的に付与する機能です。会員が登録画面から登録を行ったときに、指定した値から始まる通し番号を付与します。

この項目を使用するには、事前にサイトでシリアル型を作成する必要があります。

詳細は『MailPublisher Mobile Edition サイト構築マニュアル「5-5 シリアル型を管理する」』をご参照ください。

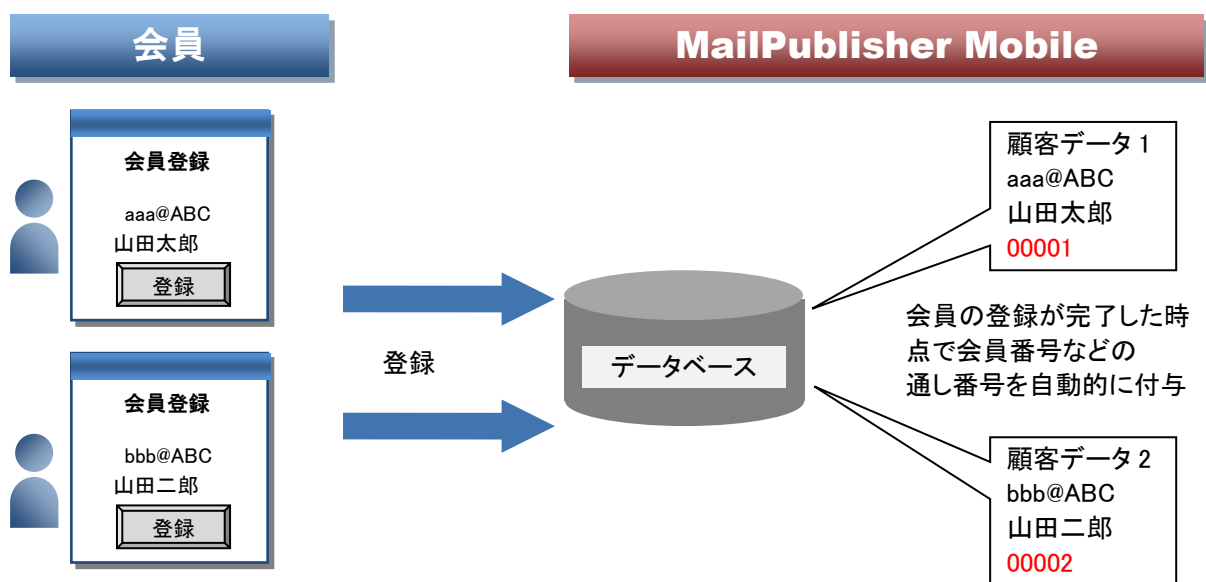


図 3-4

3-5-2 インポートによるシリアル型付与

シリアル型は登録画面からの登録以外に、インポート機能を使用して付与することもできます。詳細は『MailPublisher Mobile Edition サイト構築マニュアル「5-5 シリアル型を管理する」』をご参照ください。

3-6 隠しフィールド

会員の登録画面上に入力欄は表示させず、あらかじめ指定した値を自動的に付与する機能です。会員が登録画面から登録を行ったときに、指定した値を付与します。

◆ 隠しフィールド利用例

会員が登録画面から登録した情報と、管理者がインポートで登録した情報とを識別します。

隠しフィールドに「フォーム登録」という値が付与されるように設定しておきます。管理者がインポートで登録するときは、このフィールドを空欄のままにしておきます。この結果、会員が登録画面から登録した情報のみに「フォーム登録」と付与され、データを識別できます。

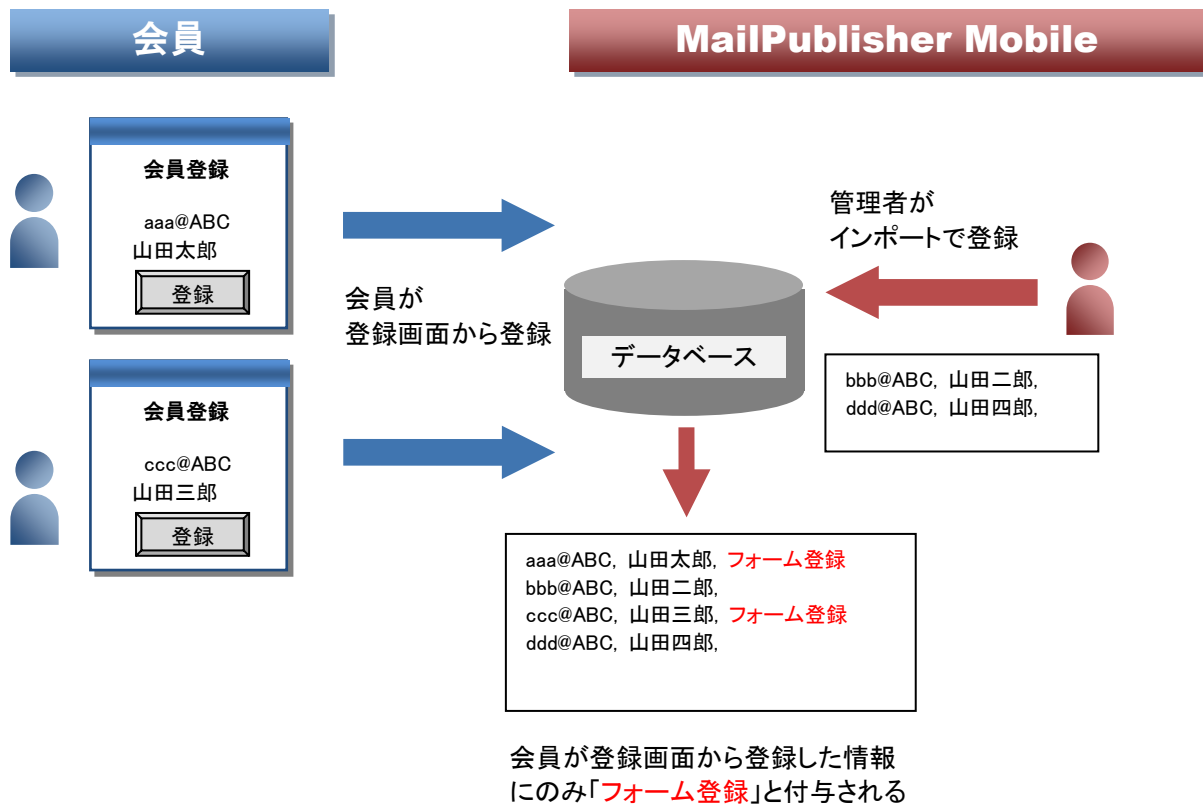


図 3-5

3-7 ドキュメント

ドキュメントとは、会員が会員登録や回答を行うときに入力する画面のフォームのことです。

フォームとして使用する入力項目は、サイトやカテゴリのテーブル定義がもとになります。事前に定義した属性項目フィールドから、フォーム上に表示させるフィールドを選択し、表示順を指定してドキュメントを作成します。

下の図は、ドキュメントのフォーム例です。

図 3-6

ドキュメントには次の2種類があります。

◆ サイトドキュメント

サイトデータベースに定義された属性項目フィールドを用いて作成します。サイトでのプロフィール収集の際に用います。

◆ カテゴリ(チャンネル)ドキュメント

チャンネル層の参照を許可したサイトデータベースの属性項目フィールドと、カテゴリデータベースに定義された属性項目フィールドを用いて作成します。

会員登録とチャンネルでのプロフィール収集の際に用います。

会員登録に当たっては、カテゴリ（チャンネル）ドキュメントを作成します。



参考

スマートフォン種別の自動設定

本システムでは、「docomo」「au」「SoftBank」「PC」のメールアドレスの場合、登録時・登録情報変更時に、登録に利用した端末（ユーザーエージェント）からスマートフォンかどうかを自動的に判別し、スマートフォン種別を設定します。ただし、SoftBank 版 iPhone (i.softbank.jp) は除きます（スマートフォン種別は設定されません）。

3-8 会員登録の方法

本システムでは、チャンネルに対する会員からの空メールによる登録や退会を受け付けることができます。会員が登録用のメールアドレスに空メールを送信すると、会員のメールアドレスを仮登録状態にして登録入力画面の URL を記載したメールを自動返信します。会員が、記載された URL にアクセスし、登録情報を入力することで登録が完了します。

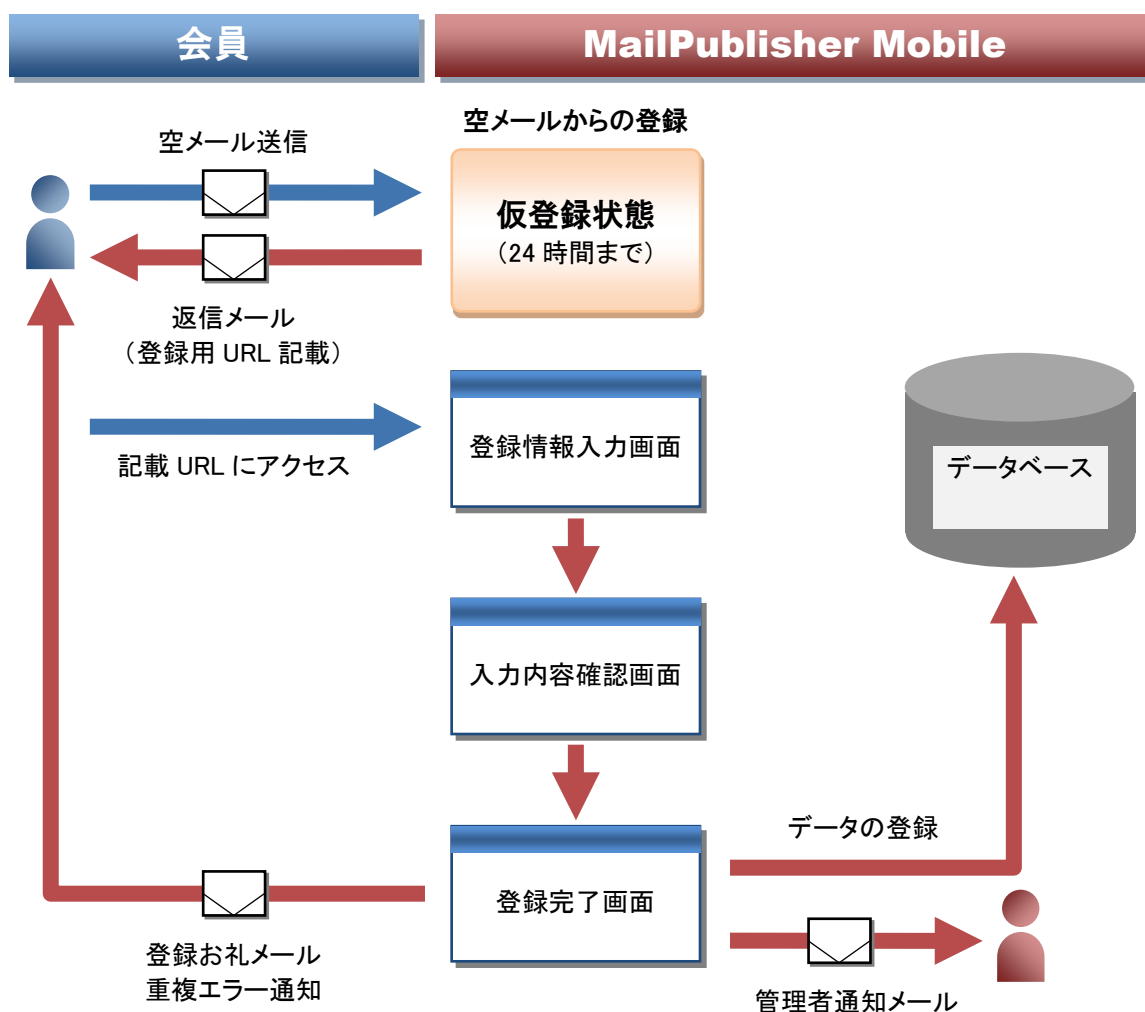


図 3-7

また登録操作を終えたあと、改めて返信メール記載の URL にアクセスしても、仮登録が解除されているので、エラーとなり登録は行えません。

すでに仮登録状態にあるメールアドレスから、再度登録用のアドレスに空メールが届いても無視されます。

また、すでにチャンネルに登録されているメールアドレスから、登録用のアドレスに空メールが届いた場合には、重複エラーメールを返信するとともに、送信元のメールアドレスを 24 時間の返信ブロック対象とします。以後重ねて空メールが送られても、返信は送りません。24 時間以内に本登録されなかった場合、仮登録状態は解除され、未登録の状態に戻ります。

これらはいたずらやウイルス由来のメールにより、第三者に不要なメールが多量に届くのを防ぐためです。ブロックはチャンネルごとに独立しています。また仮登録も各チャンネル独立で行われます。



参考

スマートフォン種別の自動設定

本システムでは、「docomo」「au」「SoftBank」「PC」のメールアドレスの場合、登録時・登録情報変更時に、登録に利用した端末（ユーザーエージェント）からスマートフォンかどうかを自動的に判別し、スマートフォン種別を設定します。

ただし、SoftBank 版 iPhone (i.softbank.jp) は除きます（スマートフォン種別は設定されません）。

3-9 返信メール

ユーザーからのメールに対してシステムが自動的に返信するメールを作成します。返信メール設定の詳細については、『MailPublisher Mobile Edition サイト構築マニュアル「7 返信メールを設定する」』をご参照ください。

◆ 通常メール

通常メールは、空メールに対する返信用のメールです。通常メールには、お礼と登録入力画面の URL を記載します。

通常メールは、登録用のドキュメントごとに作成する必要があります。通常メールの登録用ドキュメントはカテゴリごとに設定するため、通常メールはチャンネルの属するカテゴリの数だけ必要です。

◆ お礼メール

登録完了後のお礼メールです。

お礼メールはカテゴリとは関係ないため、作成したお礼メールはカテゴリが違うチャンネルでも使用することができます。

◆ 退会メール

退会メールは、空メールによる退会を受け付ける場合に退会入力画面の URL を記載するメールです。空メールによる退会を受け付けるには、退会メールを作成します。

◆ 退会お礼メール

退会する会員に対するお礼のメールです。

退会お礼メールが必要な場合だけ作成します。

◆ 重複時エラーメール

登録済みの会員からの登録要求に対するエラーメールです。

重複時エラーメールは、グループやカテゴリに関係なく設定できますので、サイト全体で 1 つ作成してください。

3-10 応答画面

本システムが会員に対して表示する画面を設定します。

通常は、サイト構築時にすべての画面に初期設定が行われています。初期設定のまま使用する場合、操作する必要はありません。

応答画面には以下の種類があります。

◆ 登録処理

空メールの返信で誘導される登録画面です。登録画面のヘッダ部分について設定を行います。ドキュメント管理メニューで設定を行った入力項目部分は、「%%FORM%%」と表記された部分と置き換えられます。

複数作成でき、チャンネルごとに表示させる設定を選択できます。



参考

スマートフォン種別の自動設定

本システムでは、「docomo」「au」「SoftBank」「PC」のメールアドレスの場合、登録時・登録情報変更時に、登録に利用した端末（ユーザーエージェント）からスマートフォンかどうかを自動的に判別し、スマートフォン種別を設定します。

ただし、SoftBank 版 iPhone (i.softbank.jp) は除きます（スマートフォン種別は設定されません）。

◆ 登録完了

登録が完了したあとに表示される画面です。

複数作成でき、チャンネルごとに表示させる設定を選択できます。

◆ 登録エラー

回答内容にエラーがあった場合に表示される画面です。

複数作成でき、チャンネルごとに表示させる設定を選択できます。

◆ 登録済エラー

すでに登録手続きを行っていた場合（返信メールの URL を再度開いてしまった場合）に表示される画面です。

サイトに 1 つだけ登録できます。すでに登録されている画面設定を修正することはできますが、新たに追加することや削除することはできません。

◆ 退会処理

仮退会方式で、空メールの返信で誘導される退会画面です。「%%FORM%%」と表記された部分が「退会」ボタンに置き換えられます。

複数作成でき、チャンネルごとに表示させる設定を選択できます。

仮退会方式について詳細は「[7-13 仮登録管理（188 ページ）](#)」をご参照ください。

◆ 退会手続き完了

仮退会方式で、退会操作を行ったあとに表示される画面です。
複数作成でき、チャンネルごとに表示させる設定を選択できます。

◆ 退会エラー

仮退会方式で、退会操作に際してエラーがあった場合に表示される画面です。
複数作成でき、チャンネルごとに表示させる設定を選択できます。

◆ 退会済エラー

仮退会方式で、すでに退会手続きを行っていた場合（返信メールの URL を再度開いてしまった場合）に表示される画面です。
サイトに 1 つだけ登録できます。すでに登録されている画面設定を修正することはできますが、新たに追加することや削除することはできません。

◆ プロファイル収集

プロフィールメールに記載の URL を開いたときに表示される回答画面です。
登録画面のヘッダ部分について設定を行います。ドキュメント管理メニューで設定を行った入力項目部分は、「%%FORM%%」と表記された部分と置き換えられます。
複数作成でき、プロフィールメールごとに表示させる設定を選択できます。

◆ プロファイル登録完了

プロフィール収集の回答が完了したあとに表示される画面です。
複数作成でき、プロフィールメールごとに表示させる設定を選択できます。

◆ プロファイルエラー

プロフィール収集において、回答内容にエラーがあった場合に表示される画面です。
複数作成でき、チャンネルごとに表示させる設定を選択できます。

◆ プロファイル済エラー

プロフィール収集の回答に際してエラーがあった場合（プロフィールメール記載の URL を再度開いてしまった場合）に表示される画面です。
サイトに 1 つだけ登録できます。すでに登録されている画面設定を修正することはできますが、新たに追加することや削除することはできません。

◆ システムエラー

サイトに 1 つだけ登録できます。すでに登録されている画面設定を修正することはできますが、新たに追加することや削除することはできません。

◆ 閲覧可能ページ

お知らせ画面などを表示するときに使用する画面です。差し込み表示はできません。

3-11 チャネル

チャネルは所属するグループとカテゴリを決定してから作成します。

チャネルの公開後は、一部の内容しか修正できません。また、チャネルは登録されている会員および管理者がいる場合、削除できません。

チャネルを作成する場合、所属するグループ名およびカテゴリを設定したあと、以下の情報を登録します。

表 3-3

入力項目名	内容	
基本	コード	システムが自動的に付与する番号です。変更できますが、重複はできません。
	名称	チャネルに割り当てる名称です。
	登録後の状態	作成したチャネルをシステムに登録したあとの状態を指定します。次の3つの状態から選択できます。 [公開しない上にメールアドレスも登録しない]： チャネルは作成されますが名称とコードのみが登録され、非公開状態となります。会員登録、退会用の設定は行わないので会員登録も受け付けません。ただし、会員登録を受け付けない状態のまま、配信のみのチャネルとして公開することができます。また必要な項目を設定して、会員登録を受け付ける設定に修正することもできます。 [今すぐ公開しない]： チャネルの作成後、[適用]ボタンを押しても登録用アドレスに送られた空メールに対する登録処理は有効になりません。 [今すぐ公開する]： チャネルの作成後、[適用]ボタンを押した直後から登録用アドレスに送られた空メールに対して登録処理を行う状態になります。
登録用	以下のような項目からなります。フィールドビューによって、表示される項目が異なります。	
	アドレス	チャネルに対する登録用空メールの宛先アドレスを設定します。サイトコード+ピリオドに続けて任意の英数字を設定できますが、重複はできません。必要がなければ初期値のままでかまいません。
	返信メール	登録用アドレスに送られた空メールに対して返信するメールを、返信メールで作成した通常メールの中から選択します。
	完了画面	登録完了後に表示する画面を選択します。初期状態で default が選択できます。内容の変更は応答画面メニューで行います。
	登録画面	登録ドキュメントと組み合わせる画面を選択します。初期状態で default が選択できます。内容の変更は応答画面メニューで行います。
	登録エラー画面	登録時のエラー画面を選択します。初期状態で default が選択できます。内容の変更は応答画面メニューで行います。
	お礼メール	登録完了後に送信するお礼メールを、返信メールメニューで作成したお礼メールの中から選択します。[無し]を選択すれば、送信されません。

入力項目名	内容	
	重複時エラーメール	すでに登録しているユーザーから登録用アドレスに送信された空メールに対する返信です。返信メールメニューで作成した重複時エラーメールから選択します。
退会用	以下のような項目からなります。フィールドビューによって、表示される項目が異なります。	
	アドレス	チャンネルに対する退会用空メールの宛先アドレスを設定します。サイトコード+ピリオドに続けて任意の英数字を設定できますが、重複はできません。必要がなければ初期値のままでもかまいません。
	退会メール	退会用アドレスに送られた空メールに対して返信するメールを、返信メールで作成した退会メールの中から選択します。 退会完了後に表示する画面を選択します。初期状態で default だけが選択できます。内容の変更は応答画面メニューで行います。
	完了画面	退会完了後に表示する画面を選択します。初期状態で default だけが選択できます。内容の変更は応答画面メニューで行います。
	退会画面	退会ドキュメントと組み合わせる画面を選択します。初期状態で default が選択できます。内容の変更は応答画面メニューで行います。
	退会エラー画面	退会時のエラー画面を選択します。初期状態で default が選択できます。内容の変更は応答画面メニューで行います。
	退会お礼メール	退会完了後に送信するお礼メールを、返信メールメニューで作成したお礼メールの中から選択します。[無し]を選択すれば、送信されません。

3-12 QRコード

本システムでは、登録用アドレスのQRコードを作成できます。

QRコードメニューでは、作成した各チャンネルの登録用アドレスと、その説明文を含んだQRコードを、一括して表示することができます。

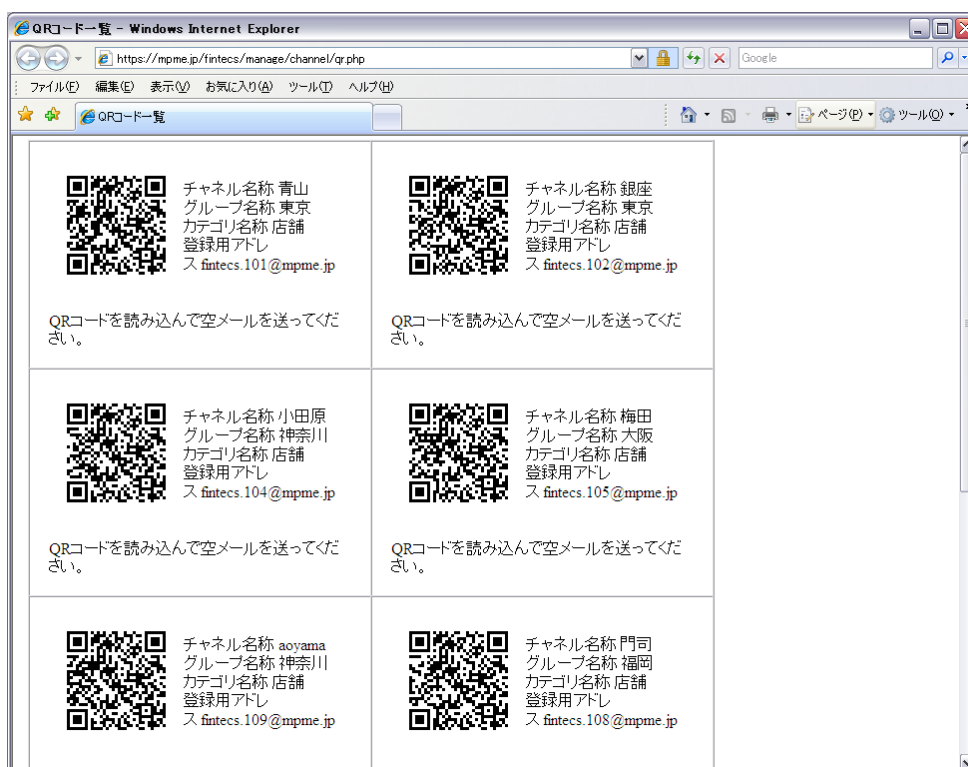


図 3-8

3-13 携帯での登録ドキュメントの制約

パソコンのブラウザに比べ、携帯のブラウザは表示可能なページサイズをはじめ、様々な制約があります。このため、登録用のドキュメントを作成する際に注意が必要です。



参考

本節で説明する内容は、すべて docomo の携帯端末を基準として説明しています。

3-13-1 各入力項目における制約条件

携帯端末では、入力内容や表示できる入力項目数によって、以下の制約があります。

表 3-4

制約の対象	制約内容
文字列・数字・パスワード	文字幅：半角 14 文字まで認識されます。半角 15 文字以上は無視されます。 最大文字数：半角 196 文字まで認識されます。
選択肢	30 項目まで認識されます。
登録用ドキュメントに設定できる入力項目数	最大 10 項目まで設定できます（隠し属性項目を含む）。

3-13-2 パラメータ全体長の制約条件

パラメータ全体長とは、登録用ドキュメントから本システムに送信するデータサイズです。携帯端末の場合、送信できるパラメータ全体長は、以下のように制限されます。

登録ドキュメントを作成するときには、会員から返信されるデータがパラメータ全体長の上限を超えないように注意してください。

◆ 送信できるパラメータ全体長

携帯端末の場合、登録画面から入力する属性値のパラメータ全体長の上限は、256 バイト（半角 256 文字）までです。このうち、登録画面内に必ず必要となる「登録」ボタンは 60 バイト使用するため、実際に使用できるパラメータ全体長は 196 バイト（半角 196 文字）までとなります。

◆ 各項目で使用するバイト数

登録画面内の項目は、1 項目につき 13 バイト使用します。また、項目に入力された文字は入力された文字数分使用することになります。（13 バイト＋入力文字数）

選択項目の場合、表記されている選択肢の文字数分を使用することになります。（13 バイト＋選択肢の表記文字数）

◆ 登録する情報を日本語で入力する場合

入力・選択項目を問わず、登録する情報が日本語の場合、入力・選択される全角文字数の3倍のバイト数が必要となります。

もし「野球」を登録する場合、2文字×3となるため6バイト使用することになります。

3-13-3 HTML 表示可能容量の制約条件

HTML で表示する場合、最大で5キロバイト（全角2,500文字）までの上限があります。推奨は2キロバイト（全角1,000文字）までです。

上限値以内であればau、SoftBank(Disney含む)でも表示できます。しかし、auのHDML(Handheld Device Markup Language)対応機種の場合、auのサーバ側で登録画面を変換しているため、別途制約がかかり、表示できない場合があります。

ただし、上記の制約条件は、現在ではほとんど使われていないであろう古いdocomo機種を含めた基準です。実際に運用するうえでは、iモード全機種対応なら、画像含めて30KB以内で作成することを推奨します。（100KBは超えないようにしてください。）

4

リモートフォーム機能

4-1 リモートフォーム機能の概要

リモートフォーム機能とは、本システム以外の外部のフォームから本システムの API に対してリクエストを送ることで、データベースへの登録などを行う機能です。リモートフォーム機能を使用すると、すでにお使いの Web ページのフォームを利用したまま、収集した会員の情報を本システムのデータベースに受け渡すことができます。

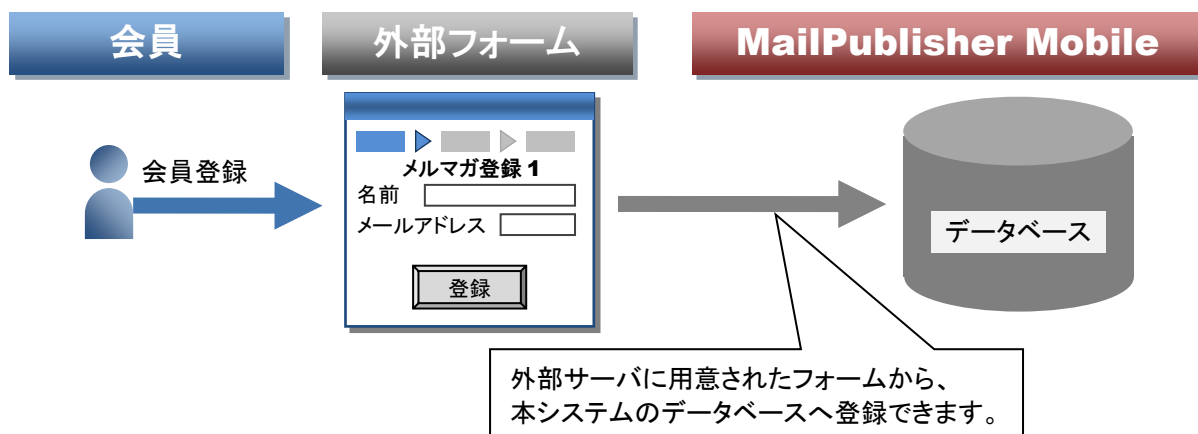
リモートフォーム機能は以下のような場合に使用します。

- すでに Web サイトを立ち上げており、運用中のフォームを使用する必要がある場合
- 本システムのデザイン機能では対応できない Web ページを作成する必要がある場合

重要

リモートフォーム機能を使用するには、外部のフォームで設けられている設問項目と同じものを本システムでも設定する必要があります。登録画面を作成し、設定が完了してから、リモートフォーム機能を使用してください。

リモートフォーム機能はオプション機能となります。ご利用には、事前のお申し込みが必要です。設定の有無は[サイト情報]より確認することができます。



4-2 URL とパラメータの送信

リモートフォーム機能を使用する場合、リクエスト先の URL を外部フォームの HTML に記述する必要があります。

HTML への記述の際は、METHOD の指定は「POST」にしてください。また、HTML の文字コードは、Shift-JIS で記述してください。Shift-JIS 以外の文字コードでは、正しくデータを受け渡せません。



注意

リモートフォーム機能用に記述した外部フォームの HTML および CSS(スタイルシート)については、サポート対象外となります。あらかじめご了承ください。

4-2-1 登録用リモートフォーム

リモートフォームから登録する場合は、「http://mpme.jp/[site ID]/r.p」に POST メソッドでリクエストしてください。また、以下のパラメータを外部フォームの HTML ソースに付加してください。

◆ 登録用外部フォームに記載するパラメーター一覧

表 4-1

外部フォームにおける name 属性	外部フォーム側から渡す value 値	備考
REQUEST_ID	呼び出し側で設定する処理の区別用コード	任意、name 属性は大文字
EMAIL	登録会員のメールアドレス	必須、name 属性は大文字
CH	登録対象とするチャンネルのチャンネル ID	必須、name 属性は大文字
S_ xxx	xxx にはフィールド ID を記載 登録する会員の属性値各種（サイト層設定分）	取得する項目分のみ必須。SJIS コード。事前にテーブル設定を行っておく必要があります。 [field_ID]部分は定義時のフィールド ID となります。 各フィールド型別のパラメータ入力例は「 4-3 リモートフォームで利用できるPOST値(65ページ) 」をご参照ください。
C _xxx	xxx にはフィールド ID を記載 登録する会員の属性値各種（チャンネル層設定分）	



参考

スマートフォン種別の自動設定

本システムでは、「docomo」「au」「SoftBank」「PC」のメールアドレスの場合、登録時・登録情報変更時に、登録に利用した端末（ユーザーエージェント）からスマートフォンかどうかを自動的に判別し、スマートフォン種別を設定します。

ただし、SoftBank 版 iPhone (i.softbank.jp) は除きます（スマートフォン種別は設定されません）。

◆ 登録用外部フォームの HTML サンプル

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//EN">
<html lang="ja">
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
  <title>登録フォーム</title>
</head>
<body>
  <form method="post" action="http://mpme.jp/site_ID/r.p">
    <input type="hidden" value="0001" name="REQUEST_ID">
    <input type="hidden" value="100" name="CH">
    <p><b>メールアドレス</b><br/><input type="text" name="EMAIL"></p>
    <p><b>氏名</b><br/><input type="text" name="s_name"></p>
    <p><b>職業</b><br/>
      <select name="s_job">
        <option value="">選んでください</option>
        <option value="会社員">会社員</option>
        <option value="自営業">自営業</option>
        <option value="主婦">主婦</option>
        <option value="学生">学生</option>
        <option value="その他">その他</option>
      </select></p>
    <input type="submit" value="登録">
  </form>
</body>
</html>
```

4-2-2 解除用リモートフォーム

リモートフォームから登録する場合は、「http://mpme.jp/[site ID]/r.p」に POST メソッドでリクエストしてください。（登録用の URL と同じです）

また、以下のパラメータを外部フォームの HTML ソースに付加してください。

◆ 退会用外部フォームに記載するパラメーター一覧

表 4-2

外部フォームにおける name 属性	外部フォーム側から渡す value 値	備考
REQUEST_ID	呼び出し側で設定する処理の区別用コード	任意、name 属性は大文字
EMAIL	登録会員のメールアドレス	必須。 name 属性は大文字
CH	登録対象とするチャンネルのチャンネル ID	必須。 name 属性は大文字
MODE	半角英字大文字「BYE」	必須。name 属性は大文字 退会モードを指定

◆ 退会用登録用外部フォームの HTML サンプル

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//EN">
<html lang="ja">
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
  <title>退会フォーム</title>
</head>
<body>
  <form method="post" action="http://mpme.jp/site_ID/r.p">
    <input type="hidden" value="0001" name="REQUEST_ID">
    <input type="hidden" value="100" name="CH">
    <p><b>メールアドレス</b><br/><input type="text" name="EMAIL"></p>
    <input type="hidden" value="BYE" name="MODE">
    <input type="submit" value="退会">
  </form>
</body>
</html>
```


4-3 リモートフォームで利用できる POST 値

リモートフォーム機能を使用する場合は、以下のパラメータを使用してフォームを作成してください。



注意

リモートフォーム機能用に記述した外部フォームの HTML および CSS(スタイルシート)については、サポート対象外となります。あらかじめご了承ください。

4-3-1 email 型

メールアドレスをポストする場合に使用します。フォームの設定によって、指定する POST 値が異なります。

表 4-3

項目	内容
name 属性	email
type 属性	text
HTML サンプル	<code><input type="text" name="email" size="20" maxlength="128" value="" /></code>

4-3-2 文字列型

文字列をポストする場合に使用します。

表 4-4

項目	内容
name 属性	s_xxx (サイト層設定の属性の場合) c_xxx (チャンネル層設定の属性の場合) (「xxx」には、属性値で指定したフィールド ID を記述)
type 属性	text
HTML サンプル	<code><input type="text" name="c_xxx" size="50" maxlength="100" istyle="1" value="" /></code>

4-3-3 数値型

数値をポストする場合に使用します。

表 4-5

項目	内容
name 属性	s_xxx（サイト層設定の属性の場合） c_xxx（チャンネル層設定の属性の場合） （「xxx」には、属性値で指定したフィールド ID を記述）
type 属性	text
HTML サンプル	<code><input type="text" name="c_xxx" size="4" maxlength="6" istyle="1" value="" /></code>

4-3-4 日付型

日付をポストする場合に使用します。

表 4-6

項目	内容
name 属性	s_xxx（サイト層設定の属性の場合） c_xxx（チャンネル層設定の属性の場合） （「xxx」には、属性値で指定したフィールド ID を記述）
type 属性	text
HTML サンプル	<code><input type="text" name="c_xxx" size="10" maxlength="10" istyle="1" value="" /></code>

4-3-5 パスワード型

パスワードをポストする場合に使用します。

表 4-7

項目	内容
name 属性	s_xxx（サイト層設定の属性の場合） c_xxx（チャンネル層設定の属性の場合） （「xxx」には、属性値で指定したフィールド ID を記述）
type 属性	password
HTML サンプル	<code><input type="password" name="c_xxx" size="10" maxlength="10" istyle="1" value="" /></code>

4-3-6 ラジオボタン型

ラジオボタンから選択した値をポストする場合に使用します。

表 4-8

項目	内容
name 属性	s_xxx (サイト層設定の属性の場合) c_xxx (チャンネル層設定の属性の場合) (「xxx」には、属性値で指定したフィールド ID を記述)
type 属性	radio
その他記述	ラジオボタンの選択肢を記述します。
HTML サンプル	<pre><input type="radio" name="c_xxx" value="1" />test1 <input type="radio" name="c_xxx" value="2" />test2 <input type="radio" name="c_xxx" value="3" />test3</pre>

4-3-7 セレクトボックス型

セレクトボックスから選択した値をポストする場合に使用します。

表 4-9

項目	内容
name 属性	s_xxx (サイト層設定の属性の場合) c_xxx (チャンネル層設定の属性の場合) (「xxx」には、属性値で指定したフィールド ID を記述)
その他記述	セレクトボックスの選択肢を記述します。
HTML サンプル	<pre><select name="c_xxx"> <option value="" selected>--Select--</option> <option value="1">test1</option> <option value="2">test2</option> <option value="3">test3</option> </select></pre>

4-3-8 チェックボックス型

チェックボックスからチェックを付けた値をポストする場合に使用します。

表 4-10

項目	内容
name 属性	s_xxx (サイト層設定の属性の場合) c_xxx (チャンネル層設定の属性の場合) (「xxx」には、属性値で指定したフィールド ID を記述)
type 属性	checkbox
HTML サンプル	<code><input type="checkbox" name="c_xxx" value="1" />test1</code>

4-3-9 隠しフィールド型

隠しフィールドを設定する場合に使用します。

表 4-11

項目	内容
name 属性	s_xxx (サイト層設定の属性の場合) c_xxx (チャンネル層設定の属性の場合) (「xxx」には、属性値で指定したフィールド ID を記述)
type 属性	hidden
HTML サンプル	<code><input type="hidden" name="c_xxx" value="" /></code>

4-3-10 シリアル型

シリアル型を設定する場合に使用します。

表 4-12

項目	内容
name 属性	s_xxx (サイト層設定の属性の場合) c_xxx (チャンネル層設定の属性の場合) (「xxx」には、属性値で指定したフィールド ID を記述)
type 属性	hidden
value 値	%%SERIAL_xxx%% (「xxx」には、シリアル型属性値で指定した項目 ID を記述)
HTML サンプル	<code><input type="hidden" name="c_xxx" value="%%SERIAL_100%%" /></code>

4-4 リクエストへのレスポンス設定

リクエストへのレスポンス設定とは、リモートフォームを使用してリクエストしたあと、処理が完了したことを知らせる画面を表示することをいいます。

本システムから、登録や退会のリクエストに対して成功または失敗に対応した、外部のページ（CGI）へのリクエストを行います。

管理画面上でのリクエストへのレスポンス設定の操作手順について、詳細は『MailPublisher Mobile Edition サイト構築マニュアル「10-1 リモートフォームを設定する」』をご参照ください。

4-4-1 登録リクエストに対するレスポンス設定

◆ 登録成功時の設定

管理画面にて、登録完了時に呼び出されるページの URL を指定します。登録が成功したことを登録者側に伝える静的な HTML ファイルでかまいません。

管理画面上で登録情報を付加するをチェックすると、フォームからリクエストによって渡された、登録内容のすべてのパラメータを、GET メソッドの形で、指定されたページを呼び出すときに付加します。戻り値を CGI など処理したい場合などに利用します。

ただし、GET メソッドなので、パラメータ全体で 512 バイトを超えてしまうと無効になってしまいます。登録する属性値が多数に上る場合にはご利用いただけませんのでご注意ください。



参考

静的な HTML とは

静的な HTML とは、サーバ上にあるファイル（HTML ファイル）を読み込むだけで、そのまま表示される一般的な Web ページをいいます。

表 4-13

name 属性	value の内容	備考
REQUEST_ID	リクエスト ID	リクエストの際に渡された REQUEST_ID と同じ値が返されます。
RESULT	OK	登録が成功したことを示します。
EMAIL	登録会員のメールアドレス	管理画面上で登録情報を付加するをチェックした場合、必須です。
s_ xxx	xxx にはフィールド ID を記載 登録する会員の属性値各種（サイト層設定分）	管理画面上で登録情報を付加するをチェックした場合、必須です。 SJIS コード。事前にテーブル設定を行っておく必要があります。[field_ID]部分は定義時のフィールド ID となります。
c _xxx	xxx にはフィールド ID を記載 登録する会員の属性値各種（チャンネル層設定分）	各フィールド型別のパラメータ入力例は「 4-3 リモートフォームで使用できる POST 値（65 ページ） 」をご参照ください。

◆ 登録エラー時の設定

登録に失敗したことを伝える静的な HTML ファイルの URL でかまいませんが、以下のようなパラメータを GET メソッドにて付加しますので、エラーメッセージの内容を登録者側に伝えたい場合には、動的な CGI や Javascript の動作するページを指定していただく必要があります。

会員側でご用意が難しい場合には、応答画面（「[3-10 応答画面（53 ページ）](#)」）の登録エラー画面の URL をご指定いただければ、エラー内容を含む表示を行います。画面のメッセージ内容はカスタマイズできますが、背景色やスタイルシート、ロゴなどの画像の設定は行えませんのでご注意ください。

登録エラー時に呼び出されるページに渡されるパラメータは次の通りです。

表 4-14

name 属性	value の内容	備考
REQUEST_ID	リクエスト ID	リクエストの際に渡された REQUEST_ID と同じ値が返されます。
RESULT	NG	登録エラーが起きたことを示します。
EMAIL	登録会員のメールアドレス	登録に失敗したメールアドレス
ERROR	エラー項目リスト	日本語（SJIS）のエラーメッセージ

4-4-2 退会リクエストに対するレスポンス設定

◆ 退会成功時の設定

登録の場合と同様に、成功し完了した時およびエラーにより失敗した時の呼び出し先 URL を指定します。

表 4-15

name 属性	value の内容	備考
REQUEST_ID	リクエスト ID	リクエストの際に渡された REQUEST_ID と同じ値が返されます。
RESULT	OK	登録が成功したことを示します。

◆ 退会エラー時の設定

退会に失敗したことを伝える静的な HTML ファイルの URL でかまいませんが、以下のようなパラメータを GET メソッドにて付加しますので、エラーメッセージの内容を登録者側に伝えたい場合には、動的な CGI や Javascript の動作するページを指定していただく必要があります。

会員側でご用意が難しい場合には、応答画面（「[3-10 応答画面（53 ページ）](#)」）の登録エラー画面の URL をご指定いただければ、エラー内容を含む表示を行います。画面のメッセージ内容はカスタマイズできますが、背景色やスタイルシート、ロゴなどの画像の設定は行えませんのでご注意ください。

登録エラー時に呼び出されるページに渡されるパラメータは次の通りです。

表 4-16

name 属性	value の内容	備考
REQUEST_ID	リクエスト ID	リクエストの際に渡された REQUEST_ID と同じ値が返されます。
RESULT	OK	退会エラーが起きたことを示します。
EMAIL	登録会員のメールアドレス	退会に失敗したメールアドレス
ERROR	エラー項目リスト	日本語（SJIS）のエラーメッセージ

4-4-3 お礼メールの利用

リモートフォーム機能を使用する場合、以下のようなトラブルを避けるために、登録完了時にお礼メールが自動送信される機能を利用することを推奨します。

お礼メールの送信設定の手順については、『MailPublisher Mobile Edition サイト構築マニュアル「7 返信メールを設定する」』をご参照ください。

◆ 第三者によるなりすまし

リモートフォーム機能では、第三者が勝手に他人のメールアドレスを登録した場合、登録された実際のメールアドレスの所有者は気付くことができません。

登録解除の場合も、第三者が勝手に他人のメールアドレスを送信した場合、実際に登録している会員は登録解除されたことに気付くことができません。

登録や登録解除の処理が完了したときに、お礼メールを送信することによって、会員自身が確認できます。これにより、不要なトラブルを避けることができます。

◆ メールアドレスの誤入力

本システムの空メール登録とは異なり、入力ミスや受信拒否設定によって無効なメールアドレスとなる可能性があります。このため、高いエラー率の配信を招く要因になります。

入力されたメールアドレスが誤っていたり、受信拒否の対象となっていた場合には、お礼メールがエラーメールとして戻り、配信状態フラグを「NG」とします。これにより、本番配信時のエラー率を下げることができます。



重要

お礼メールがエラーメールとして戻ってきた時点で、配信状態フラグが「NG」となります。登録用の外部のフォームの機能を使って、登録完了メールを送信できるようにすることをお勧めします。

5

メールの配信

5-1 メール配信の流れ

本システムでは、以下のような流れでメールの作成・配信設定を行います。

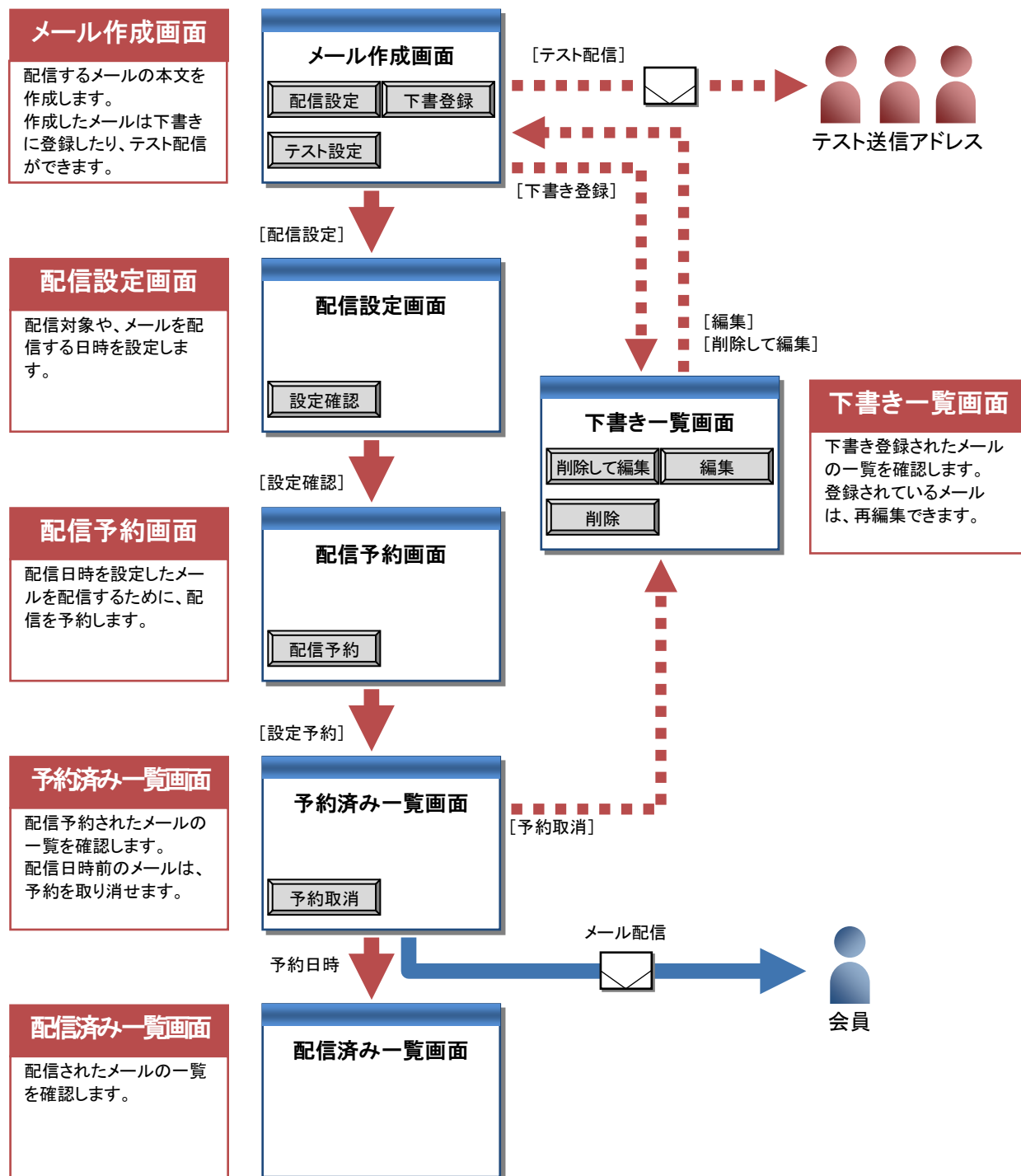


図 5-1

5-2 配信できるメールの種類

メールを配信する場合は、会員の受信環境に合わせて、メールの種類を選択します。本システムから配信できるメールの種類には、以下のものがあります。

5-2-1 TEXT メール

TEXT メールとは、「テキスト」だけで作成したメールです。パソコンや携帯端末（フィーチャーフォン／スマートフォン）でメールを受信するすべてのお客様を配信対象にできます。

5-2-2 HTML メール

HTML メールとは、メール本文に HTML 形式で記述して、文字の色付けやフォントサイズの変更、画像の埋め込み、表の使用などができるメールです。Web ページのようなメールを配信でき、フィーチャーフォンを除き、パソコンやスマートフォンでメールを受信するメール受信者を配信対象にできます。

簡易 HTML 変換機能を使用することで、TEXT 文章を HTML メールとして作成することも可能です。

詳細については『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-2-3 HTML メールを作成する」の「手順 10」の「簡易 HTML 変換機能を使用する場合」』をご参照ください。



注意

HTML メールの文字コードについて

- 本システムが配信する HTML メールの文字コードは ISO-2022-JP です。HTML ソースの「CHARSET」の指定を「ISO-2022-JP」にしてください。
- 外部エディタで作成した HTML ソースを、HTML メールの本文入力欄に貼り付ける場合、ISO-2022-JP で文字化けしないかをご確認ください。

HTML メールの画像について

- HTML メール内で画像の表示を行う場合は、img タグの src 属性で絶対パス (http://から始まる、ウェブブラウザ上で画像が表示可能となる URL) を使用してください。相対パス (/***/***.jpg のように http://から始まらないもの) やローカル PC のパス (C:¥Documents and Settings¥~) で指定した場合、配信されたメールで画像が表示されません。



注意

プレビューでは、本文に含まれる JavaScript が無効化され、flash 等のプラグインも無効になりますが、実際の配信では JavaScript は有効になります。

5-2-3 携帯(旧通常)メール

携帯メールとは、携帯端末（フィーチャーフォン／スマートフォン）向けに、テキストの他、絵文字を利用できるメールです。受信文字数に制限のある携帯端末などに配信する場合に使用します。利用できる絵文字はキャリアにより異なるため、携帯端末向けのメールはキャリアごとに作成することをお勧めします。

パソコンでメールを受信する会員にも配信できますが、絵文字は使用できません。

5-2-4 デコメール

デコメールとは、docomo・au・SoftBank（Disney 含む）の対応機種で利用可能な携帯端末向け HTML マルチパートメールです。（au ではデコレーションメール、SoftBank（Disney）ではデコレメールと呼ばれます）HTML による装飾や、マルチパートで添付した画像をインライン表示するなど、多彩な表現が可能です。

各キャリアでは、呼び方が違うだけでなく、規格も異なります。本システムでは、docomo,au,softbank の各社がそれぞれ公開している規格にそって デコメールを配信しています。

デコメールは、デコメール対応機種用の HTML パートと、画像のデータパート、デコメール非対応機種用の TEXT パートから構成されます。携帯端末宛てに送信されたデコメールは、各キャリアのサーバにより、対応機種には HTML パートとデータパートが、非対応機種には TEXT パートが送信されます。

重要

対応機種宛てに送信する場合でも、TEXT パートに入力がないとエラーになります。データ量が端末の受信可能な容量を超過したときなど、対応機種であっても TEXT パートで表示される場合があります。このため、HTML パートと TEXT パートは同一の内容にすることをお勧めします。

HTML パートで使えるタグや画像の容量制限については、以下の Web サイトをご参照ください。

- docomo 公式サイト内「デコメール」
https://www.nttdocomo.co.jp/service/developer/make/content/deco_mail/index.html

5-2-5 イベントメール

イベントメールとは、日付、登録日などの抽出条件を設定して、条件と一致した会員を対象に配信するメールです。

イベントメールの詳細は、「[5-11 イベントメールの日付条件（100 ページ）](#)」をご参照ください。

5-2-6 プロファイルメール

プロフィール収集（会員情報の追加収集や更新）を行うために配信するメールです。

プロフィールメールの詳細は、「[5-12 プロファイル収集（105 ページ）](#)」をご参照ください。



参考

SoftBank 版 iPhone (@i.softbank.jp) 向けの配信について

- 「TEXT メール」、「HTML メール」、「携帯（旧通常）メール」、「プロフィールメール」で配信する場合、SoftBank 版 iPhone のドメイン (@i.softbank.jp) を、パソコンのメールアドレスとして扱うか、携帯端末のメールアドレスとして扱うか選択できます。ただし、以下の点に注意してください。
 - 絵文字を配信する場合、受信側の iPhone のバージョンが 2.2 以降であることが必要です。
- 携帯端末のドメインとして選択した場合、絵文字配信（SoftBank 版 iPhone 対応絵文字）や携帯端末向けの夜間配信停止機能を設定できます。
- 「デコメール」で配信する場合、SoftBank 版 iPhone のドメイン (@i.softbank.jp) を配信対象（SoftBank）に含めるか含めないかを選択できます。
- SoftBank 版 iPhone の MMS 機能を用いた「@softbank.ne.jp」または「@*.vodafone.ne.jp」のドメインの場合は、SoftBank の携帯端末（フィーチャーフォン）として扱われます。この場合、携帯向けコンテンツなどのリンク先ページが表示されなかったり、デコメールが正常に表示されない場合があります。

5-3 送信者アドレスと返信先アドレス

配信したメールに会員が問い合わせなどで返信できるよう、送信者アドレス、または返信先アドレスを設定します。

メールの配信自体は本システムから行われますが、会員のメールソフトや携帯端末には、メール本文作成時に設定したメールアドレスが送信者として表示されます。また、会員が受け取ったメールに返信した場合は、本システムではなくメール本文作成時に指定した送信者または返信先アドレスに返信されます。

送信者アドレスと返信先アドレスには、別々のメールアドレスを設定することもできます。また、メール作成時に、送信者アドレスのみ設定して返信先アドレスを設定しなかった場合は、送信者アドレスと同じアドレスが返信先アドレスに自動的に設定されます。

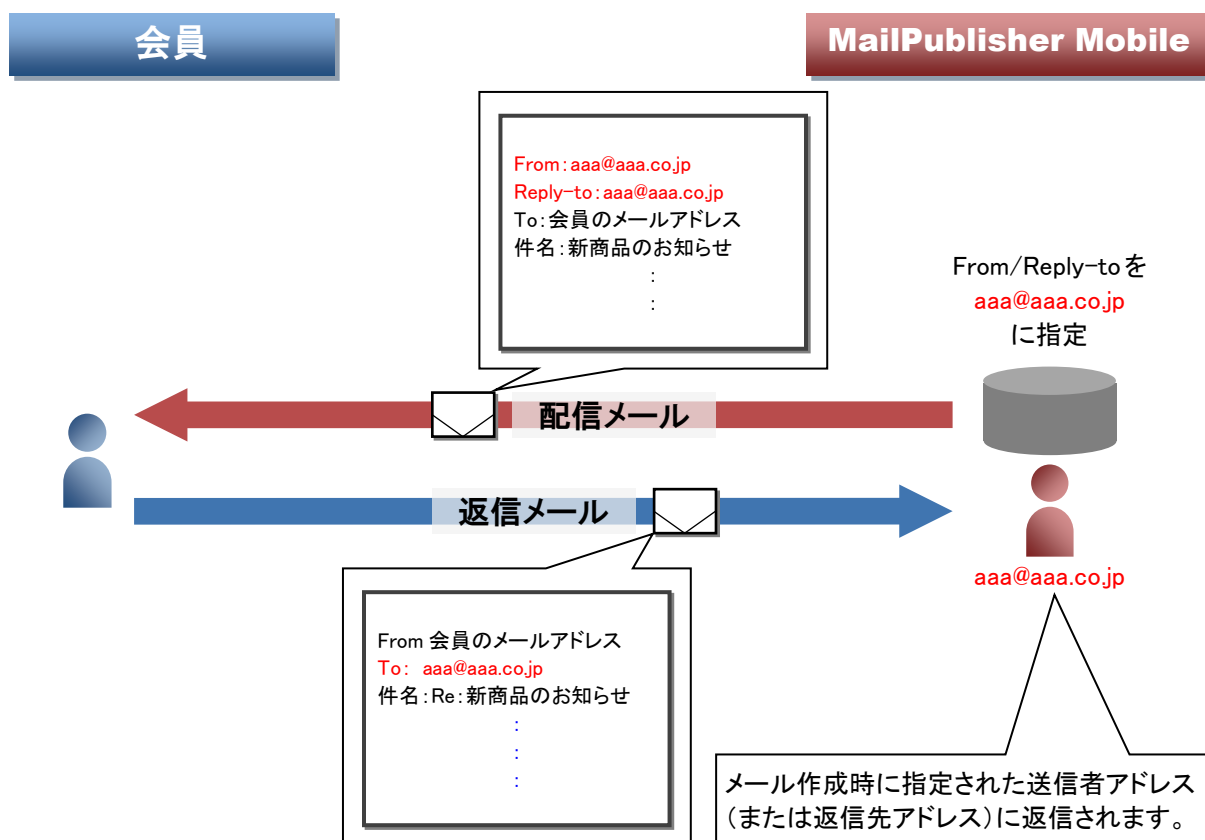


図 5-2

重要

送信者アドレスと返信先アドレスを設定するには、管理者が受信し、応答できるメールアドレスをあらかじめテンプレートに登録しておく必要があります。テンプレートについて詳細は、「[6-2-3 送信者／返信先 \(145 ページ\)](#)」をご参照ください。

5-3-1 送信者(FROM)

送信者アドレスとは、メールヘッダの「FROM」行に記載されるメールアドレスです。配信されたメールに返信すると、通常はこのメールアドレスに届きます。

送信者のメールアドレスは、テンプレートの「送信者/返信先」で登録します。詳細は「[6-2-3 送信者/返信先（145 ページ）](#)」をご参照ください。設定手順について詳細は、『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-8-3 送信者/返信先をテンプレートに登録する」』をご参照ください。

5-3-2 返信先(REPLY-TO)

返信先アドレスとは、メールヘッダの「REPLY-TO」行に記載されるメールアドレスです。返信先が設定されている場合、配信されたメールに返信すると、このメールアドレスに届きます。

たとえば、送信者アドレスは広報部門、返信先アドレスはカスタマーサービス部門に設定しておけば、会員の返信に対し、カスタマーサービス部門が直接対応できます。

返信先のメールアドレスは、テンプレートの「送信者/返信先」で登録します。詳細は「[6-2-3 送信者/返信先（145 ページ）](#)」をご参照ください。設定手順について詳細は、『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-8-3 送信者/返信先をテンプレートに登録する」』をご参照ください。

5-3-3 テスト送信アドレス

テスト送信アドレスとは、会員に実際に配信する前に、管理者に確認用として送信するためのメールアドレスです。

管理者のメールアドレスにテスト配信することで、実際に表示されるメールの内容を確認できます。

◆ 差し込み文字列を使用したメールをテスト配信する場合

差し込みプレビュー機能を利用することで、差し込み後の本文をテスト配信で確認することができます。差し込みプレビュー機能について詳細は『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-2-4 携帯（旧通常）メールを作成する」内の「差し込み文字列を使用する場合」』をご参照ください。

テスト送信アドレスの詳細は「[6-2-7 テスト送信アドレス（149 ページ）](#)」をご参照ください。設定手順について詳細は、『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-8-7 テスト送信アドレスをテンプレートに登録する」』をご参照ください。



参考

- プレビューでは、本文に含まれる JavaScript が無効化され、flash 等のプラグインも無効になりますが、実際の配信では JavaScript は有効になります。

5-4 その他のメール種別

本システムでは、作成したメールは、配信状態によって、「下書きメール」、「予約済みメール」、「配信済みメール」の3種類に分けられます。

5-4-1 下書きメール



重要

定期的な整理と削除のお願い

下書きメール・本文テンプレート・画像テンプレートの登録数上限はありませんが、登録数が増えると管理が煩雑になり、多すぎるとシステム負荷により画面表示ができなくなるなどのリスクがあります。

定期的に整理を行い、不要なものは削除して頂くようお願いいたします。

システムの高負荷を検知した場合、ご登録の連絡先宛に削除を促すメールが届きますので、必ずご対応ください。

下書きメールとは、メール作成後、配信予約をしないで、下書きメールに登録したメールです。配信予約を取り消したメールも下書きメールに自動的に登録されます。

下書きメールは、編集したり、コピーをもとに新規にメールを作成することができます。下書きメールを編集して作成したメールは、再度、下書き登録したり、配信予約することができます。

◆ 削除して編集

下書きメールを上書き編集できます。編集前の下書きメールは、下書きメール登録から削除されます。

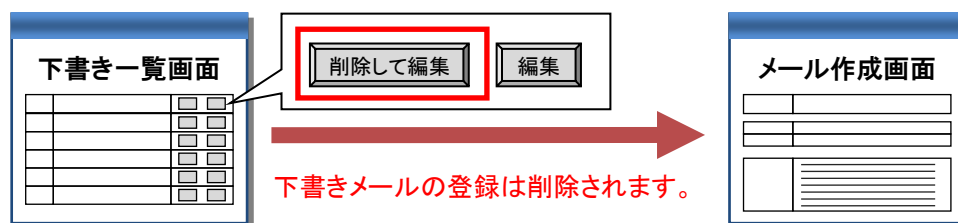


図 5-3

◆ 編集

下書きメールをコピーして新規作成できます。編集前の下書きメールの登録は維持されます。

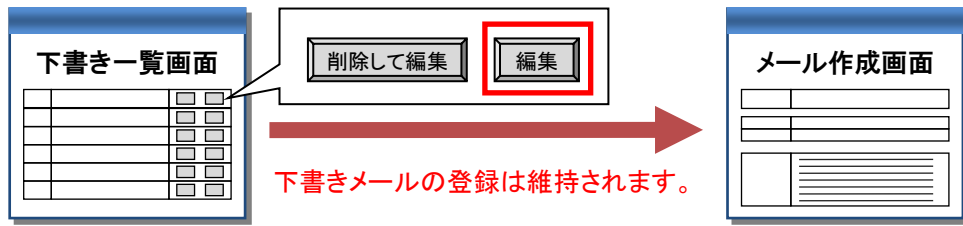


図 5-4

5-4-2 予約済みメール

予約済みメールとは、メール作成後、配信予約をしたメールです。予約日時になると自動的にメールが配信されます。

配信前の予約済みメールは、確認や配信の取り消しができます。配信対象となる宛先の条件は、「[5-5 メールの配信対象 \(82 ページ\)](#)」をご参照ください。

5-4-3 配信済みメール

配信済みメールとは、会員にすでに配信されたメールです。

配信済みメールの配信開始／終了日時、配信総数、致命的エラー数、クリックカウント、・コンバージョン、開封率（HTML メールのみ）などの配信結果を確認できます。配信結果の詳細については、「[5-6 クリックカウント \(83 ページ\)](#)」「[5-7 コンバージョン \(88 ページ\)](#)」「[5-13 配信結果 \(109 ページ\)](#)」をご参照ください。

5-4-4 記事グループ

記事グループでは、記事を紐づけて管理するための記事グループを登録できます。

配信済みメールの配信開始／終了日時、配信総数、致命的エラー数、クリックカウント、・コンバージョン、開封率（HTML メールのみ）などの配信結果を確認できます。配信結果の詳細については、「[5-6 クリックカウント \(83 ページ\)](#)」「[5-7 コンバージョン \(88 ページ\)](#)」「[5-13 配信結果 \(109 ページ\)](#)」をご参照ください。

記事を紐づけて管理するための記事グループを登録できます。

メール作成時やメール配信後に、ここで登録した記事グループを設定できるようになります。

登録した記事グループの内容を確認・編集できます。

ログインしている管理者の種類によって参照や編集ができる記事グループが変わります。

5-5 メール配信対象

作成したメールを配信するには、メールを配信する日時を設定し、配信予約します。
配信対象は、下記のとおり抽出されます。

◆ 会員の抽出

メール作成時に設定した「キャリア」の指定と、配信予約時に設定した「配信対象」と「条件」に合致した会員を配信対象として抽出します。配信予定数は、予約済みメールの一覧で確認できます。

実際の配信は、メール配信開始時の登録情報をもとに配信対象を抽出し、実行されます。以下のような場合、事前に確認していた配信予定数と実際の配信結果が異なることがあります。

- 配信予約後にチャネル一括登録・更新を実行した場合、および、チャネル一括登録・更新の実行中に配信が開始された場合
- 配信予定とされたメールアドレスの中に、過去の配信時に、「致命的エラー」に該当し配信対象外となっているアドレスが含まれる場合

致命的エラーの詳細については「[5-13-4 致命的エラー（109 ページ）](#)」をご参照ください。

◆ 不適切なメールアドレスの自動除外

配信対象として指定した配信リストや会員データ内に、ISP・ESP・キャリアが不適切と判断する可能性があるメールアドレスが含まれている場合、自動的に配信対象から除外します。

配信の到達性・安定性を高めるための機能です。

機能の詳細・対象のメールアドレス等は、下記をご覧ください。

「不適切なメールアドレスの自動除外」

<https://emberpoint.zendesk.com/hc/ja/articles/4688350992286>

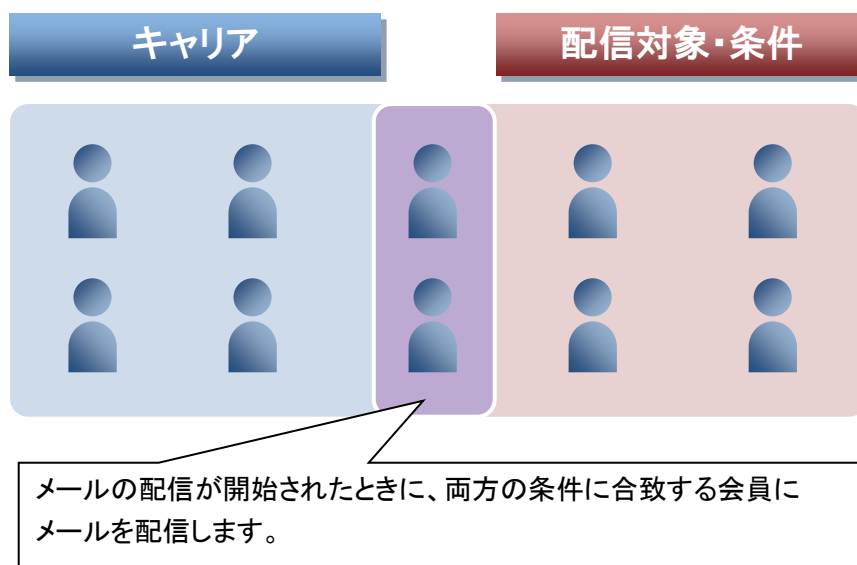


図 5-5

5-6 クリックカウント

5-6-1 クリックカウントの概要

クリックカウントとは、配信されたメールに記載されている URL がどれだけの会員にクリックされたかを集計する機能です。集計結果からメール配信の効果を測定できます。集計結果には URL をクリックした会員のメールアドレスも含まれるため、これらの会員を対象に、新たなメールを配信するなど、さらに効果的なメールマーケティングを実践できます。

本システムのクリックカウントは、以下のような流れで集計されます。

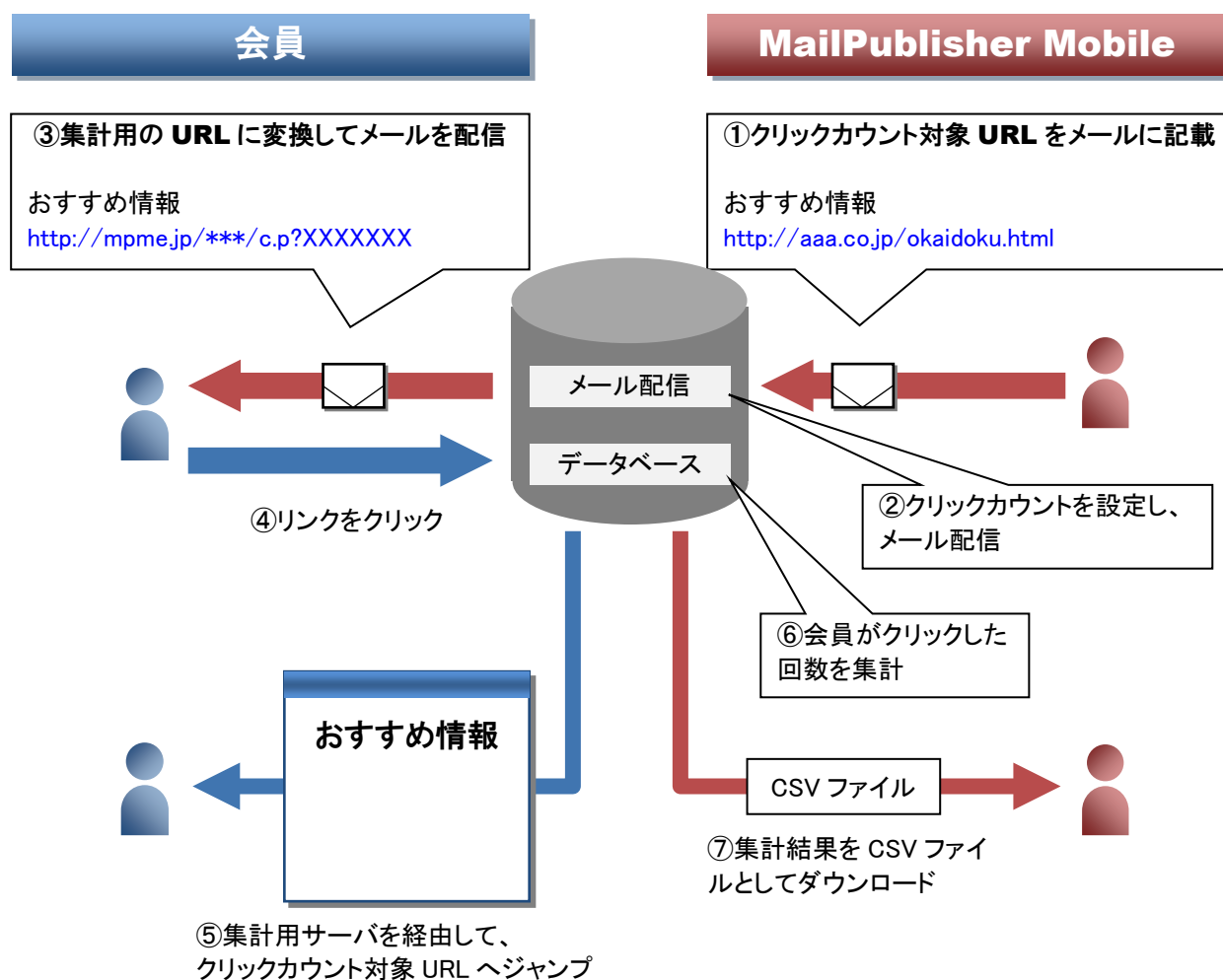


図 5-6

重要

クリックカウント一覧から取得可能な結果は、クリックカウントのみ設定した URL (コンバージョンの取得設定をしていない URL) です。コンバージョンの取得設定が行われていた場合は、クリックカウント結果もコンバージョン一覧の中に含まれます。

**重要**

クリックカウントの設定を行った URL は配信日より 180 日間、指定 URL にリダイレクトが行なわれます。181 日目以降はリダイレクトがされないため URL をクリックしてもページへアクセスできません。

5-6-2 配信される URL

配信メールにクリックカウントを設定すると、クリックカウント対象の URL を「mpme.jp」ドメインの URL に置き換えて会員にメールが配信されます。

会員が配信メールに記載された URL をクリックすると、集計用サーバを経由してから、クリックカウント対象の URL にジャンプします。

**注意**

メール作成時、「mpme.jp」ドメインのクリックカウント URL が表示されるのを避けるために以下のような記載を行うと、会員にフィッシング詐欺と誤解されたり、迷惑メールフィルターで除外されることがあります。

◆メール作成時の記述

- `<a href="http://test.co.jp">http://www.example.com</a>`

◆メール配信後、クリックカウント URL 変換後の記述

- `<a href="http://mpme.jp/*****/c.p?*****">http://www.example.com</a>`

「mpme.jp」ドメインが表示されるのを避けたい場合は、オプションの独自ドメインサービスをお申し込みいただくことで、指定ドメインをクリックカウント URL に利用できます。ただし、設定できる独自ドメインは 1 つだけです。

**注意**

リンク URL に参照表記文字列を使用しない

メール作成時、リンク URL に参照表記文字列（「"」「<」「>」「&」等）を使用しないでください。

参照表記文字列を使用したリンク URL はブラウザ上正しく表示されず、意図したランディングページに遷移できなくなります。

また、その URL にクリックカウントを設定した場合は、意図した集計もとれません。

**参考**

メール本文上のクリックカウント/コンバージョン URL を SSL 化（http→https に変更）することが可能です。

「クリックカウント/コンバージョン URL の SSL 化」はオプションです。（※1）

ユーザーポータル申請フォームよりお申込みください。

<https://emberpoint.zendesk.com/hc/ja/categories/4683091453854>

(※1) 独自ドメイン（クリックカウント）をご利用の場合は、独自ドメイン SSL オプション(有償)と合わせて適用ください。

参考：SSL 関連オプションのご紹介

<https://emberpoint.zendesk.com/hc/ja/articles/4688320986270>

<背景>

インターネット上のセキュリティ強化のため、主要ブラウザを中心に常時 SSL 化（常時 HTTPS 化）が推進されています。

非 SSL コンテンツの場合、セキュリティアラートがあがったり、挙動が制限されるケースが増えています。

参考：常時 SSL 化について <https://jprs.jp/pubcert/about/aossil/>

5-6-3 設定時の注意事項

クリックカウントを設定する場合は、以下の事項に注意してください。

◆ 設定できる URL 数

1 通のメールに対して、クリックカウント対象の URL は 3,844 個まで設定できます。3,845 個以上設定して「配信設定」をクリックすると、エラーメッセージが表示されます。

◆ 差し込み文字列

クリックカウントテンプレートに登録して、本文欄に挿入したクリックカウント差し込み文字列（例：%%linkurl_100%%）は、途中で改行や文字列を入れないでください。

◆ テスト配信

「クリックカウント」ボタンで設定したクリックカウント URL は、以下の手順で操作するとクリックカウント差し込み文字列（例：%%linkurl_100%%）に置き換わります。

- テスト配信を実行
- テスト配信後、下書き登録して再編集を実行

◆ 下書き登録

「クリックカウント」ボタンをクリックし、本文から URL を抽出して設定したクリックカウント URL は、下書き登録した場合でも保持されます。

◆ HTML メールで抽出されるリンク URL

HTML メール作成時、「クリックカウント」ボタンをクリックして抽出できるリンク URL は、<a>タグで記述されたリンクのみです。

◆ <map>タグで指定された URL の集計

<map>タグで指定された URL へのアクセス数を集計する場合は、[テンプレート] の [クリックカウント URL] でテンプレートに URL を登録し、登録後のテンプレート ID の差し込み文字列（例：%%linkurl_101%%）を URL の部分に指定してください。



注意

クリックカウント集計の制限事項

翌年 2 月以降に配信を行う記事を予約した場合、クリックカウントが集計されません。

- 例
2018 年 12 月に配信設定を行い、配信日時を「2019 年 2 月 14 日 12:00」として予約した場合、該当の記事の配信は行われますが、クリックカウント集計が行われません。

5-6-4 集計データの確認

クリックカウントで集計されるデータには、「全てのクリックカウントの集計結果」と「クリックカウントごとの集計結果」の 2 種類があります。

データを確認するには、CSV ファイルをダウンロードします。

CSV ファイルのダウンロード手順について詳細は、『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-6-6-1 クリックカウントの集計をダウンロードする」』をご参照ください。

集計データの保持期間については、「[5-14 データの保持期間（119 ページ）](#)」をご参照ください。

CSV ファイルには、以下のように記載されています。

◆ 全クリックカウントアクセス一覧

登録されているクリックカウントで集計されたすべてのデータを確認できます。

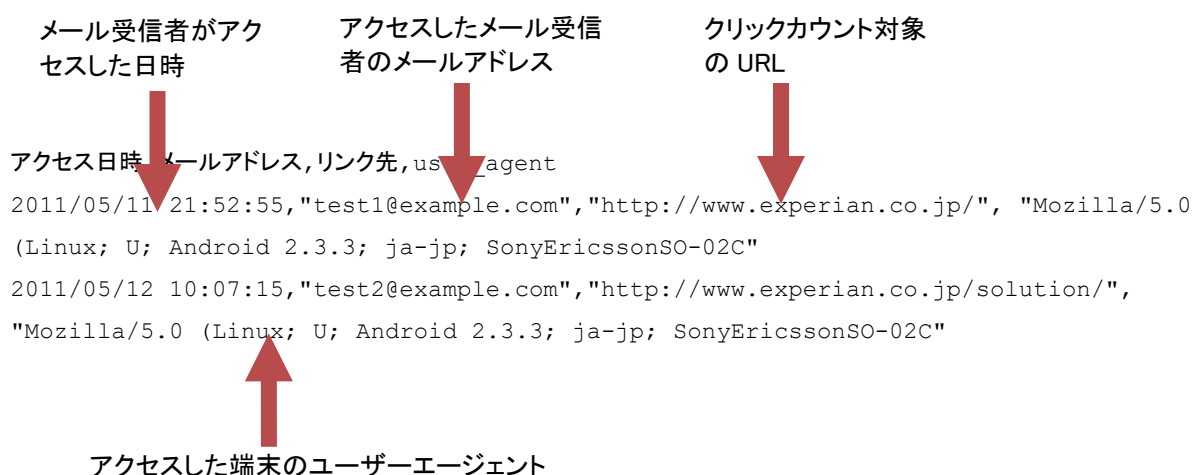


図 5-7

◆ 各クリックカウントのアクセス一覧

登録されているクリックカウントごとのデータを確認できます。

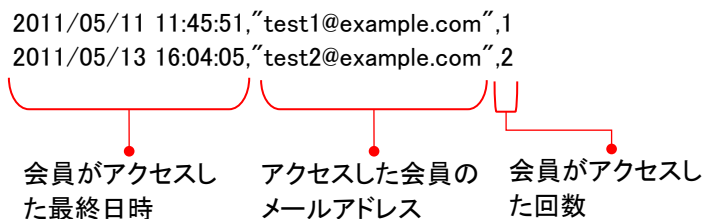


図 5-8

重要

- クリックカウント一覧から取得可能な結果は、クリックカウントのみ設定した URL (コンバージョンの取得設定をしていない URL) です。
- 以下の場合、正常なアクセスデータと区別するため、クリックカウント一覧にメールアドレスが含まれていない行が表示されることがあります。
 - テスト配信したメールのクリックカウント URL にアクセスした場合
 - 誤ったパラメータにより、存在しない配信対象からアクセスがあったように記録されていた場合

5-7 コンバージョン

5-7-1 コンバージョンの概要

コンバージョンとは、Web ページへの訪問者数に対して、その Web ページで商品の購入や会員登録した人の割合を示す指標です。

本システムでは、パソコン向けのメール配信の場合、クリックカウント機能と組み合わせることにより、会員がいつ、どこから、何を購入したかなど、メール配信から最終成果に至るまでの過程情報を取得できます。

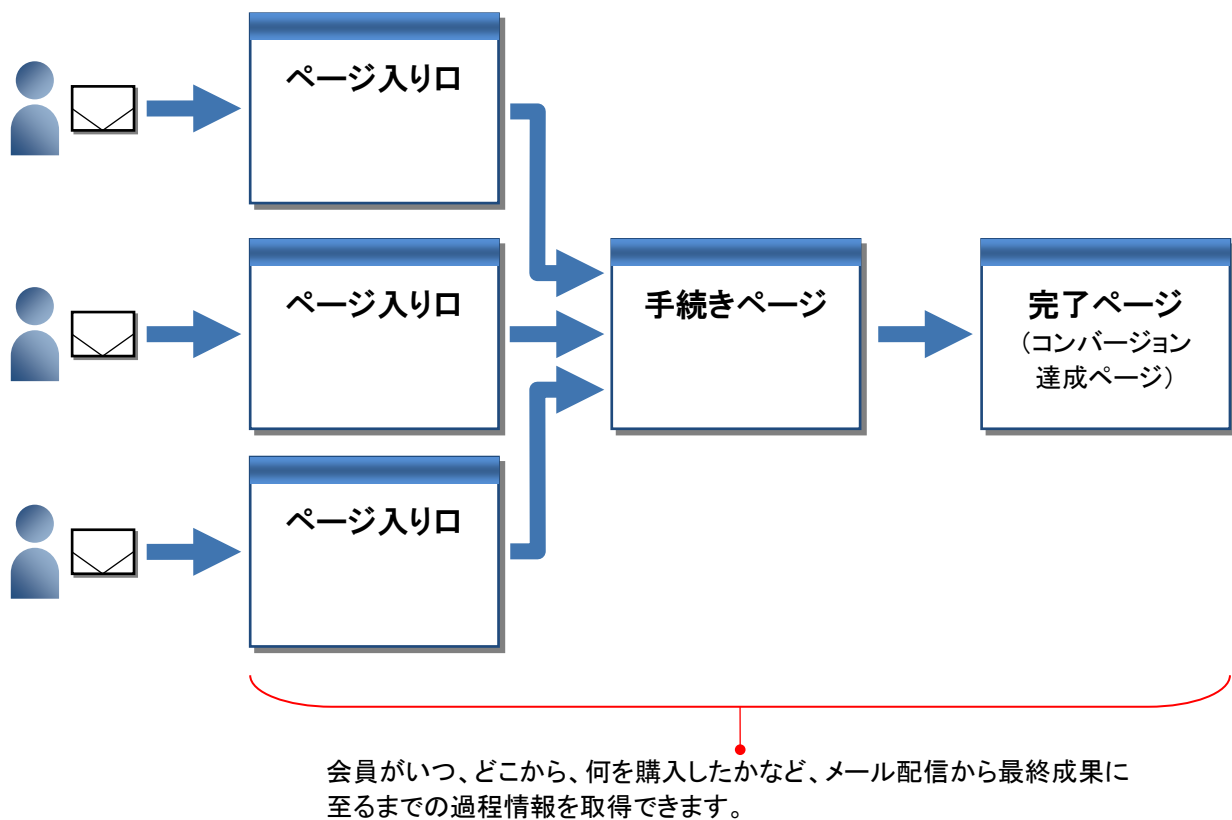


図 5-9

コンバージョンを使用するには、メール本文作成時の設定とコンバージョン達成ページでの設定の両方が必要です。詳細は『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-2-4 携帯（旧通常）メールを作成する」内の「クリックカウント、コンバージョンを使用する場合」』をご参照ください。

重要

コンバージョンは、Cookie を使用して取得します。このため、PC・スマートフォン以外の携帯端末（フィーチャーフォン）向けのメール配信では、コンバージョンを取得できません。

**注意****Google Chrome でのコンバージョン達成の集計**

Google 社のブラウザ Chrome80(2020 年 2 月リリース予定)以降でのコンバージョン達成を集計するには、以下の対応が必要です。

独自ドメイン(クリックカウント URL)をご利用の場合

1. 独自ドメインの「SSL オプション」適用をご申請ください。(変更届利用)
→ご利用の独自ドメインの SSL アクセスが可能になります。
2. コンバージョン URL の SSL 化
「クリックカウント/コンバージョン URL の SSL 化」の適用をご申請ください。(変更届利用)
→メール本文内のクリックカウント/コンバージョン URL が「https://～」になります。
3. コンバージョン達成ページのスクリプト内の URL を HTTPS 化

独自ドメイン(クリックカウント URL)を利用していない場合

1. コンバージョン URL の SSL 化
→メール本文内のクリックカウント/コンバージョン URL が「https://～」になります。
2. コンバージョン達成ページのスクリプト内の URL を HTTPS 化

<背景>

インターネット上のセキュリティ強化のため、主要ブラウザを中心に常時 SSL 化(常時 HTTPS 化)が推進されています。

非 SSL コンテンツの場合、セキュリティアラートがあがったり、上記のように挙動が制限されるケースが増えています。

参考: 常時 SSL 化について

<https://jprs.jp/pubcert/about/aossil/>

5-7-2 コンバージョン達成ページ側で必要な設定

**警告**

本スクリプトは、不特定多数のユーザーがアクセス可能な WEB ページには設定しないでください。
 メール受信者以外の大量アクセスにより本サービスに不具合が生じた場合、原因となったお客様のアクセス受付をすべて停止する場合がございますのでご注意ください。
 ※ご不明な点はサポート窓口までお問い合わせください。

**重要**

「var mp_conversion_url=」の URL 部分は、独自ドメインオプションを利用している場合は、以下のようになります。

(例) var mp_conversion_url="https://[独自ドメイン]/rw/conversion.gif";

※独自ドメインをご利用の場合は、「SSL オプション」を適用し、https アクセスを可能にしておく必要があります

- ブラウザの設定次第では、コンバージョン結果を取得できない場合やセキュリティアラートが表示される場合があります。
- URL エンコード後の「ex_item_n」の文字数と「var mp_conversion_url」部分の URL の合計は 2,000 バイトを超えないようにしてください。Internet Explorer では、2,000 バイトを超えた場合、ページの表示やコンバージョンが取得できません。

**参考**

- 「ex_item_n」には、任意の文字列（URL エンコード後の文字列）を設定できます。購入商品や金額など、複数の達成ページを定義した場合、ページ管理用の ID などに利用できます。
- 「ex_item_n」に設定した文字列は、コンバージョン結果を取得したときの item フィールドに出力されます。
- 「ex_item_n」を省略する場合はダブルクォートで囲まれた中身のみ省略してください(例: var ex_item_10="");)。行を全て省略するとスクリプトエラーが発生し正しくコンバージョン達成できない可能性があります。

**注意**

コンバージョン達成ページ内の変数(ex_item_n)に設定する文字列について

変数(ex_item_n)に設定する文字列は、必ず UTF-8 で URL エンコードしてください。

達成ページの文字コードが、EUC-JP や Shift-JIS など UTF-8 以外の場合でも、変数に設定する文字列は UTF-8 でエンコードする必要がありますのでご注意ください。

変数に設定する文字列を UTF-8 以外でエンコードした場合、コンバージョン結果 CSV ファイル内の変数の値が文字化けします。

**注意****Google Chrome でのコンバージョン達成の集計**

Google 社のブラウザ Chrome80(2020 年 2 月リリース予定)以降でのコンバージョン達成を集計するには、以下の対応が必要です。

独自ドメイン(クリックカウント URL)をご利用の場合

1. 独自ドメインの「SSL オプション」適用をご申請ください。(変更届利用)
→ご利用の独自ドメインの SSL アクセスが可能になります。
2. コンバージョン URL の SSL 化
「クリックカウント/コンバージョン URL の SSL 化」の適用をご申請ください。(変更届利用)
→メール本文内のクリックカウント/コンバージョン URL が「https://～」になります。
3. コンバージョン達成ページのスクリプト内の URL を HTTPS 化

独自ドメイン(クリックカウント URL)を利用していない場合

1. コンバージョン URL の SSL 化
→メール本文内のクリックカウント/コンバージョン URL が「https://～」になります。
2. コンバージョン達成ページのスクリプト内の URL を HTTPS 化

<背景>

インターネット上のセキュリティ強化のため、主要ブラウザを中心に常時 SSL 化(常時 HTTPS 化)が推進されています。

非 SSL コンテンツの場合、セキュリティアラートがあがったり、上記のように挙動が制限されるケースが増えています。

参考: 常時 SSL 化について

<https://jprs.jp/pubcert/about/aossil/>

◆ コンバージョン達成ページに記載するサンプルスクリプト

item1 から 5 は任意の文字列（URL エンコード後の文字列）を入れ、item6 から 10 は省略とした場合

表 5-1

サンプルスクリプト
<pre> <html> <head> <script type="text/JavaScript"> function conversion() { var url; var date_obj = new Date(); url = mp_conversion_url+"?p1="+ex_item_1+"&p2="+ex_item_2+"&p3="+ex_item_3+"&p4="+ex_item_4+"&p5="+ex_it em_5+"&p6="+ex_item_6+"&p7="+ex_item_7+"&p8="+ex_item_8+"&p9="+ex_item_9+"&p10="+ex_item_10+"&"+date_ obj.getTime(); document.write(''); } var mp_conversion_url="https://mpme.jp/[サイト ID]/rw/conversion.gif"; var ex_item_1="%E5%95%86%E5%93%81%EF%BC%91"; var ex_item_2="%E5%95%86%E5%93%81%EF%BC%92"; var ex_item_3="%E5%95%86%E5%93%81%EF%BC%93"; var ex_item_4="%E5%95%86%E5%93%81%EF%BC%94"; var ex_item_5="%E5%95%86%E5%93%81%EF%BC%95"; var ex_item_6=""; var ex_item_7=""; var ex_item_8=""; var ex_item_9=""; var ex_item_10=""; </script> </head> <body> <script type="text/javascript"> conversion(); </script> </body> </html> </pre>



参考

conversion.js は、達成ページと同じディレクトリに配置してください。

5-7-3 集計データの確認

コンバージョンで集計されるデータは、クリックカウントと同様にダウンロードできます。CSV ファイルのダウンロード手順について詳細は、『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-6-6-1 クリックカウントの集計をダウンロードする」』をご参照ください。CSV ファイルには、以下のように記載されています。

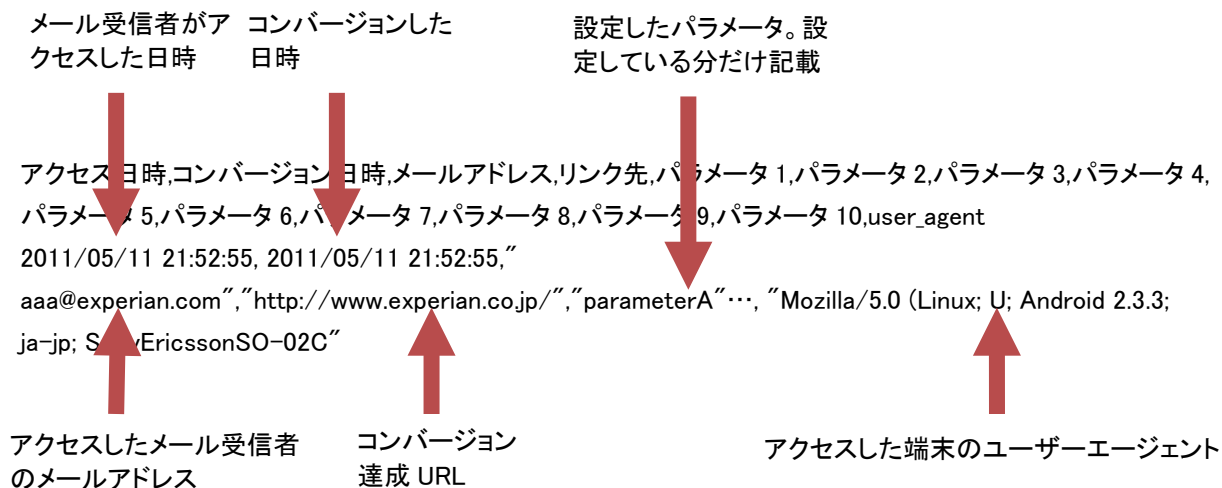


図 5-10

注意

メール受信者が利用しているブラウザのセキュリティ設定によっては、コンバージョン結果を正しく取得できない場合があります。Cookie を記録する設定を推奨するコメントをメール本文に記載することをお勧めします。

ブラウザの設定次第では、コンバージョン結果を取得できない場合やセキュリティアラートが表示される場合があります。

5-8 即時配信

即時配信とは、作成後すぐにメールを配信するオプション機能です。

通常のメール配信の場合、本システムでは予約されたメールを 10 分ごとに配信します。そのため、配信予約によるメール配信は予約した時刻より最低 10 分以上間隔が開きます。

緊急にメールを配信しなければならない場合などに即時配信を使用します。

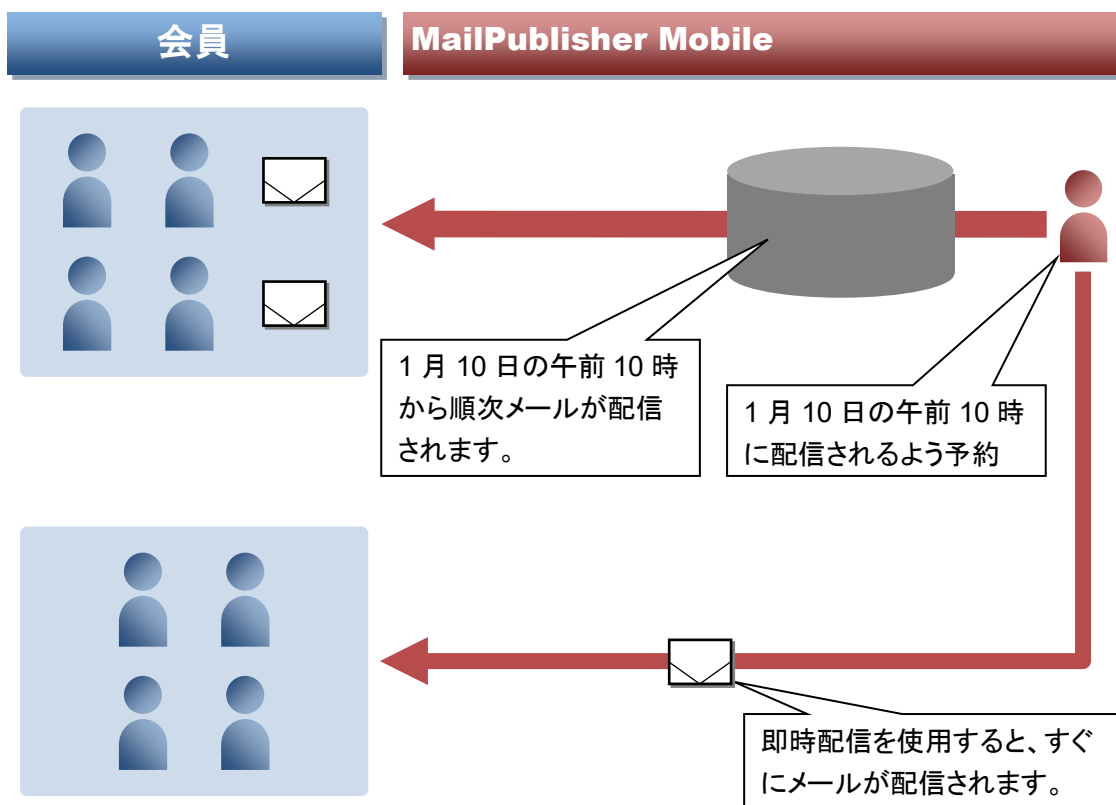


図 5-11

重要

- 即時配信を使用するには、即時配信利用のオプション申し込みが必要です。変更届または supportWEB でお申し込みください。
- 設定の有無は[サイト情報]より確認することができます。
- 即時配信は中止できません。即時配信を使用する場合は、必ずメールの内容を精査したうえで実行してください。

5-9 送信できるキャリア

5-9-1 パソコン

◆ 送信できるメール

パソコン向けには、TEXT メール、HTML メール、携帯（旧通常）メール、および、プロファイルメールを配信できます。

ただしパソコン向けに絵文字を使用したメールやデコメールは配信できません。

5-9-2 携帯端末（フィーチャーフォン）

◆ 送信できるメール

携帯端末向けには、TEXT メール、携帯（旧通常）メール、デコメール、および、プロファイルメールを配信できます。

◆ デコメール配信のときの注意

デコメールに対応していない携帯端末を利用している会員にデコメールを配信すると、メールが正常に表示されません。

5-9-3 スマートフォン（画像読み込み型）

◆ 送信できるメール

スマートフォン（画像読み込み型）向けには、TEXT メール、HTML メール、携帯（旧通常）メール、デコメールおよび、プロファイルメールを配信できます。

◆ 携帯メール、デコメール配信のときの注意点

スマートフォン端末により絵文字を使用したメールやデコメールが正しく表示されない場合がありますので、ご注意ください。

5-9-4 スマートフォン（画像添付型）

◆ 送信できるメール

スマートフォン（画像添付型）向けには、TEXT メール、携帯（旧通常）メール、デコメール、および、プロファイルメールを配信できます。HTML メールは配信できません。

◆ 携帯メール、デコメール配信のときの注意点

スマートフォン端末により絵文字を使用したメールやデコメールが正しく表示されない場合がありますので、ご注意ください。



参考

SoftBank 版 iPhone (@i.softbank.jp) 向けの配信について

- 「TEXT メール」、「HTML メール」、「携帯（旧通常）メール」、「プロフィールメール」で配信する場合、SoftBank 版 iPhone のドメイン (@i.softbank.jp) を、パソコンのメールアドレスとして扱うか、携帯端末のメールアドレスとして扱うか選択できます。ただし、以下の点に注意してください。
 - 絵文字を配信する場合、受信側の iPhone のバージョンが 2.2 以降であることが必要です。
- 携帯端末のドメインとして選択した場合、絵文字配信（SoftBank 版 iPhone 対応絵文字）や携帯端末向けの夜間配信停止機能を設定できます。
- 「デコメール」で配信する場合、SoftBank 版 iPhone のドメイン (@i.softbank.jp) を配信対象（SoftBank）に含めるか含めないかを選択できます。
- SoftBank 版 iPhone の MMS 機能を用いた「@softbank.ne.jp」または「@**.vodafone.ne.jp」のドメインの場合は、SoftBank の携帯端末（フィーチャーフォン）として扱われます。この場合、携帯向けコンテンツなどのリンク先ページが表示されなかったり、デコメールが正常に表示されない場合があります。

5-10 配信キャリアと絵文字

5-10-1 配信キャリア

以下のドメインを持つメールアドレスが「携帯」扱いとなり、これ以外のドメインは「パソコン」として扱われます。

尚、スマートフォン（画像読み込み型／画像添付型）は、配信対象に含めるかどうかを配信時に指定することができます。

表 5-2

キャリア名	ドメイン	端末種類
docomo	@docomo.ne.jp	フィーチャーフォン／スマートフォン
au（絵文字使用可）	@ezweb.ne.jp @au.com @**.au.com @**.biz.au.com	フィーチャーフォン／スマートフォン
au（絵文字使用不可）	@sky.tkk.ne.jp @**.sky.tkk.ne.jp @sky.tkc.ne.jp @**.sky.tkc.ne.jp @**.sky.dtg.ne.jp @sky.tu-ka.ne.jp @**.sky.tu-ka.ne.jp @**.ido.ne.jp @**.ezweb.ne.jp @**.biz.ezweb.ne.jp	フィーチャーフォン
SoftBank	@softbank.ne.jp @disney.ne.jp @d.vodafone.ne.jp @h.vodafone.ne.jp @t.vodafone.ne.jp @c.vodafone.ne.jp @k.vodafone.ne.jp @r.vodafone.ne.jp @n.vodafone.ne.jp @s.vodafone.ne.jp @q.vodafone.ne.jp @jp-k.ne.jp @jp-t.ne.jp @jp-q.ne.jp @jp-s.ne.jp	フィーチャーフォン／スマートフォン

キャリア名	ドメイン	端末種類
	• @jp-n.ne.jp • @jp-c.ne.jp • @jp-h.ne.jp • @jp-d.ne.jp • @jp-r.ne.jp • @email.sky.cdp.ne.jp • @email.sky.kdp.ne.jp • @email.sky.tdp.ne.jp	
その他	• @nttpnet.ne.jp • @**.nttpnet.ne.jp • @pdx.ne.jp • @**.pdx.ne.jp • @pipopa.ne.jp • @**.pipopa.ne.jp • @mozio.ne.jp • @**.mozio.ne.jp • @phone.ne.jp • @**.phone.ne.jp • @willcom.com • @emnet.ne.jp • @xxne.jp • @newad.jp • @15ne.jp	フィーチャーフォン



参考

SoftBank 版 iPhone (@i.softbank.jp) 向けの配信について

- 「TEXT メール」、「HTML メール」、「携帯（旧通常）メール」、「プロファイルメール」で配信する場合、SoftBank 版 iPhone のドメイン (@i.softbank.jp) を、パソコンのメールアドレスとして扱うか、携帯端末のメールアドレスとして扱うか選択できます。ただし、以下の点に注意してください。
 - 絵文字を配信する場合、受信側の iPhone のバージョンが 2.2 以降であることが必要です。
- 携帯端末のドメインとして選択した場合、絵文字配信 (SoftBank 版 iPhone 対応絵文字) や携帯端末向けの夜間配信停止機能を設定できます。
- 「デコメール」で配信する場合、SoftBank 版 iPhone のドメイン (@i.softbank.jp) を配信対象 (SoftBank) に含めるか含めないかを選択できます。
- SoftBank 版 iPhone の MMS 機能を用いた「@softbank.ne.jp」または「@**.vodafone.ne.jp」のドメインの場合は、SoftBank の携帯端末 (フィーチャーフォン) として扱われます。この場合、携帯向けコンテンツなどのリンク先ページが表示されなかったり、デコメールが正常に表示されない場合があります。

5-10-2 Unicode 絵文字

標準機能では、文字コード「UTF-8」を指定して Unicode 絵文字が配信できるのは、宛先が PC の場合のみです。

「携帯向け Unicode 絵文字配信」オプションをご利用頂くことで、宛先が携帯ドメインでも、Unicode 絵文字の配信が可能になります（TEXT メールのみ）。



参考

携帯向け Unicode 絵文字の配信（TEXT メール「UTF-8」指定）

- 標準機能では、[宛先]が「PC」の場合のみ、[海外配信]チェック・文字エンコーディング（UTF-8 等）指定が可能です。
- オプション「携帯向け Unicode 絵文字配信」を適用して頂くことで、携帯ドメイン宛でも[海外配信]チェック・文字エンコーディング指定が可能になります。文字コード「UTF-8」を指定することで、携帯ドメイン宛に Unicode 絵文字配信を行うことができます。（TEXT メールのみ）
- オプション「携帯向け Unicode 絵文字配信」の注意点
 - より多くの受信環境で意図したとおりに表示させるため、Unicode バージョンが低いものや環境による表示差異の少ないものを利用することをお勧めします。
 - フィーチャーフォンは、UTF-8 や Unicode 絵文字に対応していないものが多く、メールが正しく表示されない可能性が高いと推測されます。また、アドレスリスト内のフィーチャーフォンの割合等によっては、不正なメールと見なされて配信エラー増やブロック発生のリスクもあり得ますのでご注意ください。

5-11 イベントメールの日付条件

イベントメールとは、日付、登録日などの日付型の抽出条件を設定して、抽出条件と一致した会員を対象に配信するメールです。

たとえば以下のような場合に使用します。

- 誕生日などの記念日に会員へメールを配信する場合
- 誕生月が近づいてきた会員にバースデーキャンペーンなどのメールを配信する場合
- 会員更新日が近づいてきた会員に、登録更新の案内メールを配信する場合

◆ イベントメールの設定項目

イベントメールは、会員データの日付型フィールド、または登録日情報に登録されている条件が一致するメールアドレスにメールを配信します。

重要

生年月日など、チャンネルに設定した項目を抽出対象にする場合は、必ず対象のチャンネルにログインしてください。サイトにログインした場合は、サイト登録日、またはサイト更新日しか抽出対象にできません。

イベントメールの対象となる属性と配信の条件には、以下のものがあります。設定手順について詳細は、『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-3-2 イベントメール配信」』をご参照ください。

表 5-3

項目	内容
対象フィールド	対象フィールドは、メールを配信するための基準となる属性項目です。ここで選択した属性項目の年月日を基準に、イベントメールを配信する日が設定されます。 チャンネルにログインした場合 • チャンネルに設定した日付型の項目：設定日（例：誕生日） • チャンネル登録日：会員がチャンネルに登録した日 • チャンネル更新日：会員がチャンネル情報を更新した日 サイトにログインした場合 • サイト登録日：会員がサイトに登録した日 • サイト更新日：会員がサイト情報を更新した日
日付条件	対象フィールドに対して、メールを配信する条件の設定をします。 条件の組み合わせについては、「◆配信条件の組み合わせ（101 ページ）」をご参照ください。
配信時刻の目安	イベントメールを配信する時刻を設定します。配信される時刻はあくまで目安のため、設定した時刻にメール配信が行われるわけではありません。

◆ 配信条件の組み合わせ

「日付条件」で設定できる条件の組み合わせは、以下のものがあります。実際に設定する箇所を、赤字で記載しています。

表 5-4

設定	配信内容
対象フィールドの月日を [○] ヶ月 [△] 日 [前に迎えた] 会員を毎日選んで [一回のみ] 配信する	[対象フィールド] で設定されている「年月日」に対して、設定した日数（○ヶ月△日）が経過したとき、該当する会員に 1 度だけメールを配信します。 詳細は、「5-11-1 対象フィールドの年月日に対し、指定した期間 [前に迎えた] に設定した場合（102 ページ）」をご参照ください。
対象フィールドの月日を [○] ヶ月 [△] 日 [後に迎える] 会員を毎日選んで [一回のみ] 配信する	[対象フィールド] で設定されている「年月日」に対して、設定した日数（○ヶ月△日）前になったとき、該当する会員に 1 度だけメールを配信します。 詳細は、「5-11-2 対象フィールドの年月日に対し、指定した期間 [後に迎える] に設定した場合（103 ページ）」をご参照ください。
対象フィールドの月日を [○] ヶ月 [△] 日 [前に迎えた] 会員を毎日選んで [毎年] 配信する	[対象フィールド] で設定されている「月日」に対して、設定した日数（○ヶ月△日）が経過したとき、該当する会員に毎年メールを配信します。 詳細は、「5-11-1 対象フィールドの年月日に対し、指定した期間 [前に迎えた] に設定した場合（102 ページ）」をご参照ください。
対象フィールドの月日を [○] ヶ月 [△] 日 [後に迎える] 会員を毎日選んで [毎年] 配信する	[対象フィールド] で設定されている「月日」に対して、設定した日数（○ヶ月△日）前になったとき、該当する会員に毎年メールを配信します。 詳細は、「5-11-2 対象フィールドの年月日に対し、指定した期間 [後に迎える] に設定した場合（103 ページ）」をご参照ください。
毎月 1 日時点で 1 ヶ月以内に迎える会員を選んで、毎月 1 日に配信する	毎月 1 日、[対象フィールド] に当月の日付が含まれる会員にメールを配信します。 詳細は、「5-11-3 [毎月 1 日時点で 1 ヶ月以内に迎える会員を選んで、毎月 1 日に配信する] に設定した場合（104 ページ）」をご参照ください。



参考

対象フィールドに対して、当日を設定する場合は、[○] ヶ月 [○] 日と設定します。

◆ 「一回のみ」と「毎年」の違い

「一回のみ」を選択した場合は、対象フィールドの「年月日」と日付条件が一致した場合に、イベントメールが配信されます。

「毎年」を選択した場合は、対象フィールドの「月日」と日付条件が一致した場合に、イベントメールが配信されます。



注意

イベントメールの配信開始について

イベントメールは、必ず配信設定をした翌日から配信が開始されます。

設定した当日のイベントメールは、設定時刻前に予約された場合であっても配信されません。

5-11-1 対象フィールドの年月日に対し、指定した期間[前に迎えた]に設定した場合

「対象フィールド」で設定された年月日に対して、設定した日数（〇ヶ月△日）が経過したとき、該当する会員にメールを配信します。

イベントメールを以下のように予約した場合は、図のようにメールが配信されます。

表 5-5

項目	内容
対象フィールド	チャンネルに設定した日付型の項目（例：誕生日）
日付条件	対象フィールドの月日を [〇] ヶ月 [3] 日 [前に迎えた] 会員を毎日選んで [毎年] 配信する
配信時刻の目安	[9] 時 [00] 分

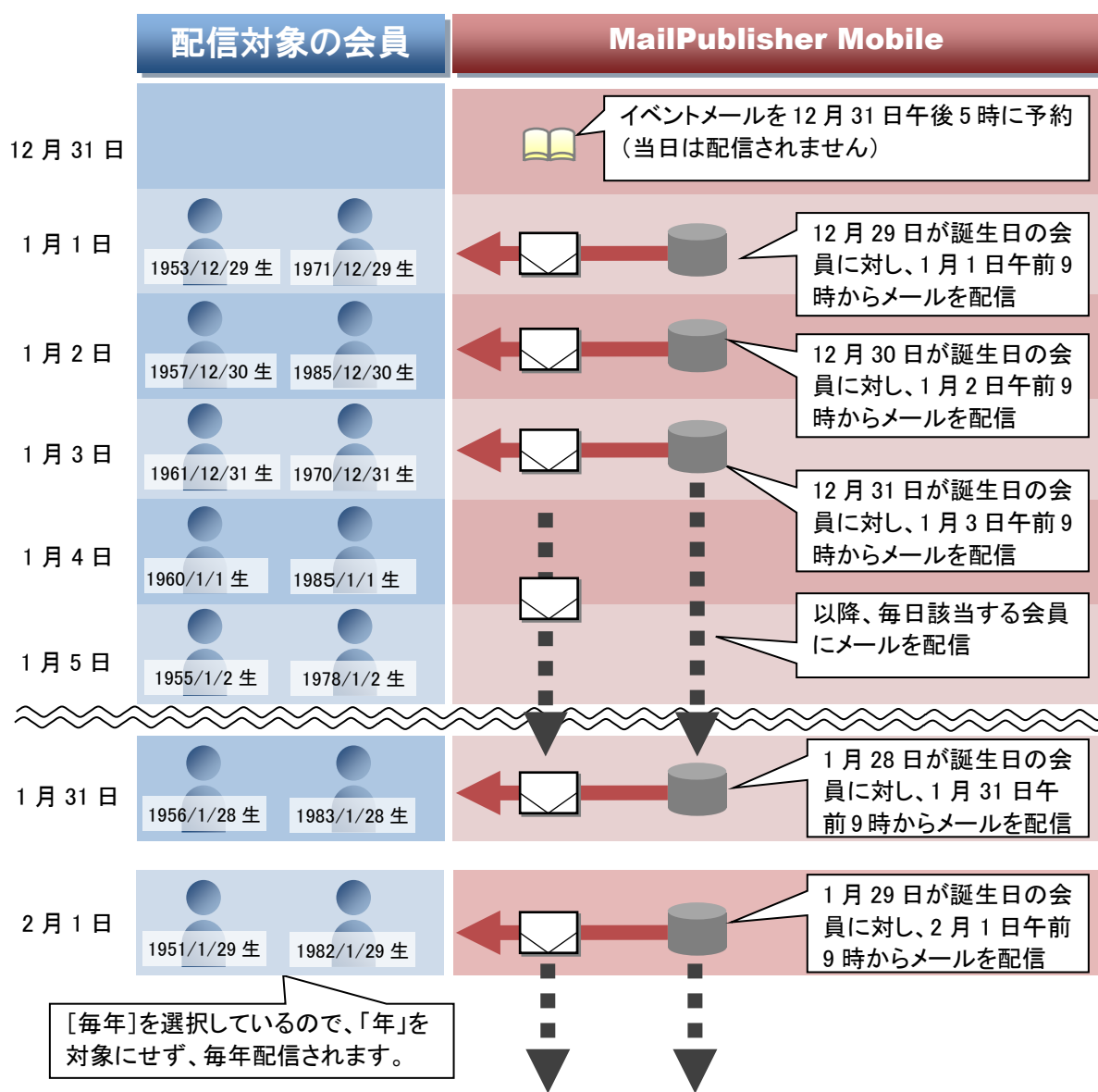


図 5-12

5-11-2 対象フィールドの年月日に対し、指定した期間[後に迎える]に設定した場合

[対象フィールド] で設定された年月日に対して、設定した日数（〇ヶ月△日）前になったとき、該当する会員にメールを配信します。

イベントメールを以下のように予約した場合は、図のようにメールが配信されます。

表 5-6

項目	内容
対象フィールド	チャンネルに設定した日付型の項目（例：誕生日）
日付条件	対象フィールドの月日を [0] ヶ月 [2] 日 [後に迎える] 会員を毎日選んで [毎年] 配信する
配信時刻の目安	[9] 時 [00] 分

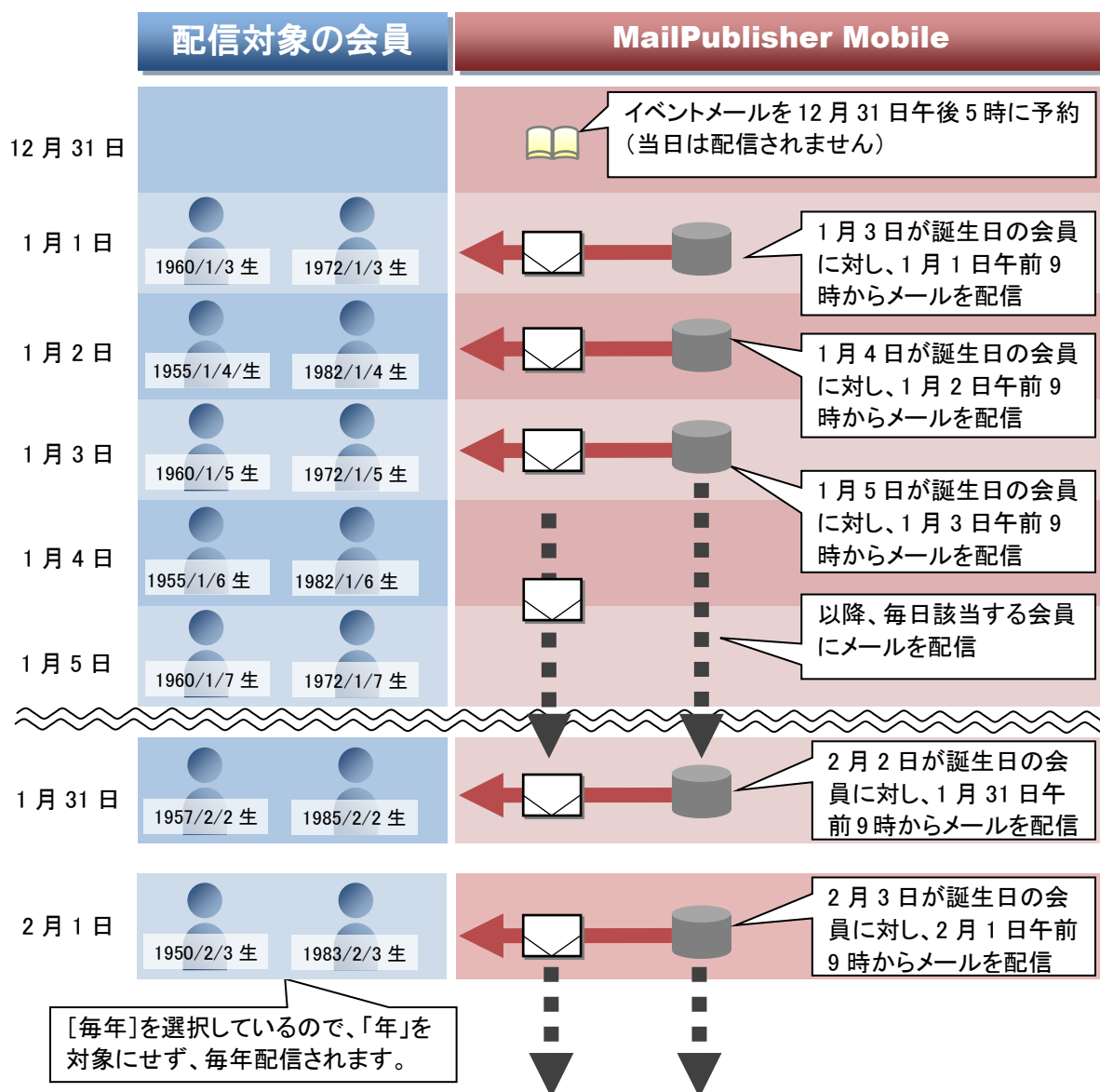


図 5-13

5-11-3 「毎月 1 日時点で 1 ヶ月以内に迎える会員を選んで、毎月 1 日に配信する」に設定した場合

毎月 1 日、〔対象フィールド〕に当月の日付が含まれる会員にメールを配信します。

イベントメールを以下のように予約した場合は、図のようにメールが配信されます。

表 5-7

項目	内容
対象フィールド	チャンネルに設定した日付型の項目（例：誕生日）
日付条件	毎月 1 日時点で 1 ヶ月以内に迎える会員を選んで、毎月 1 日に配信する
配信時刻の目安	[9] 時 [00] 分

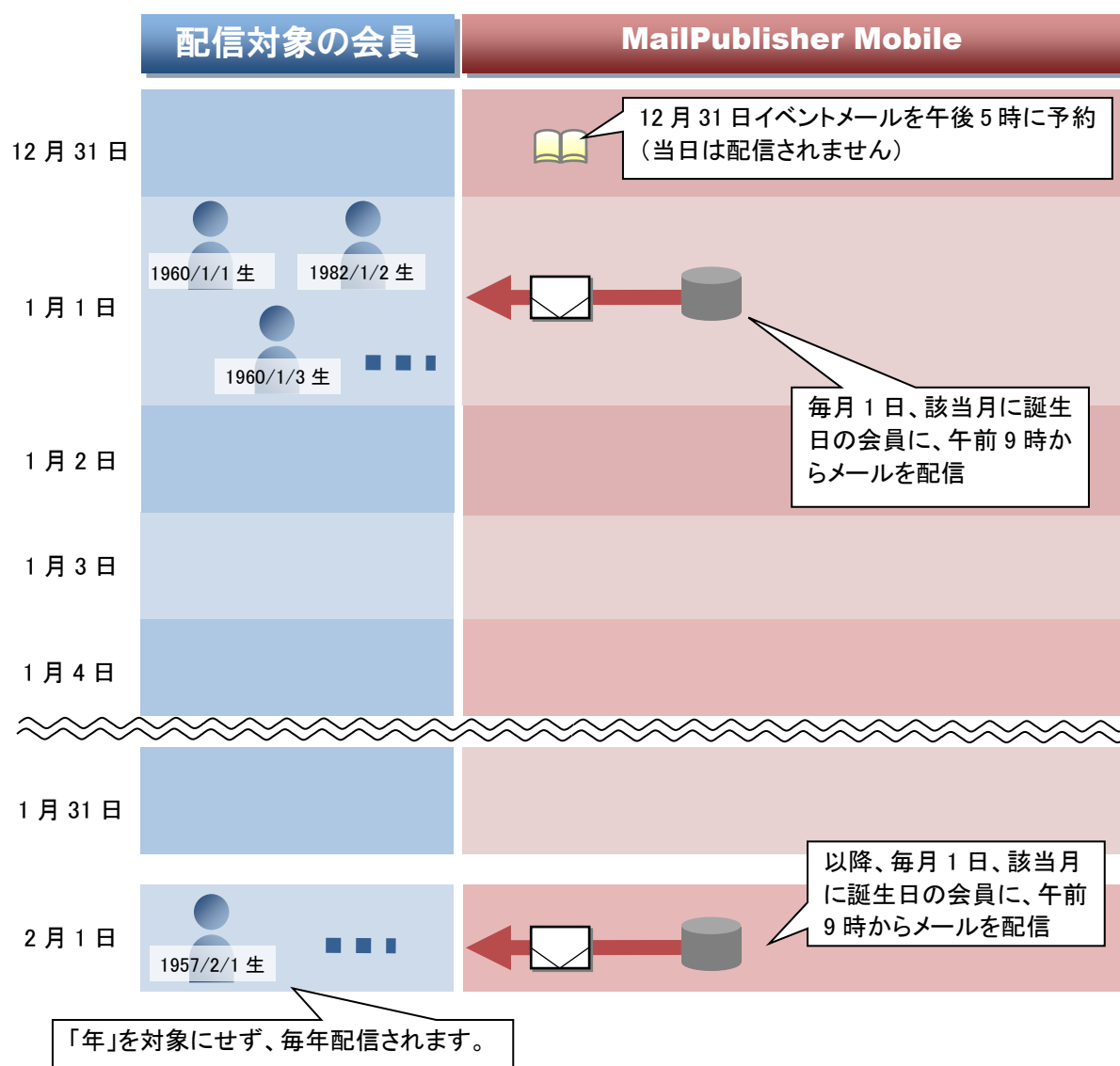


図 5-14

5-12 プロファイル収集

プロフィール収集とは、会員へ回答を促す告知メール（プロフィールメール）を配信して、会員情報の追加収集や更新を行う機能です。

たとえば以下のような場合に使用します。

- 会員登録が直接登録方式のため、会員からメールアドレスしか取得していない場合
- 間接登録方式で会員登録した会員から属性項目の追加取得を行いたい場合

プロフィールメールの配信方法について詳細は、『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-2-6 プロフィールメールを作成する」』をご参照ください。

5-12-1 プロファイル収集の流れ

プロフィール収集は、以下のような流れで行います。

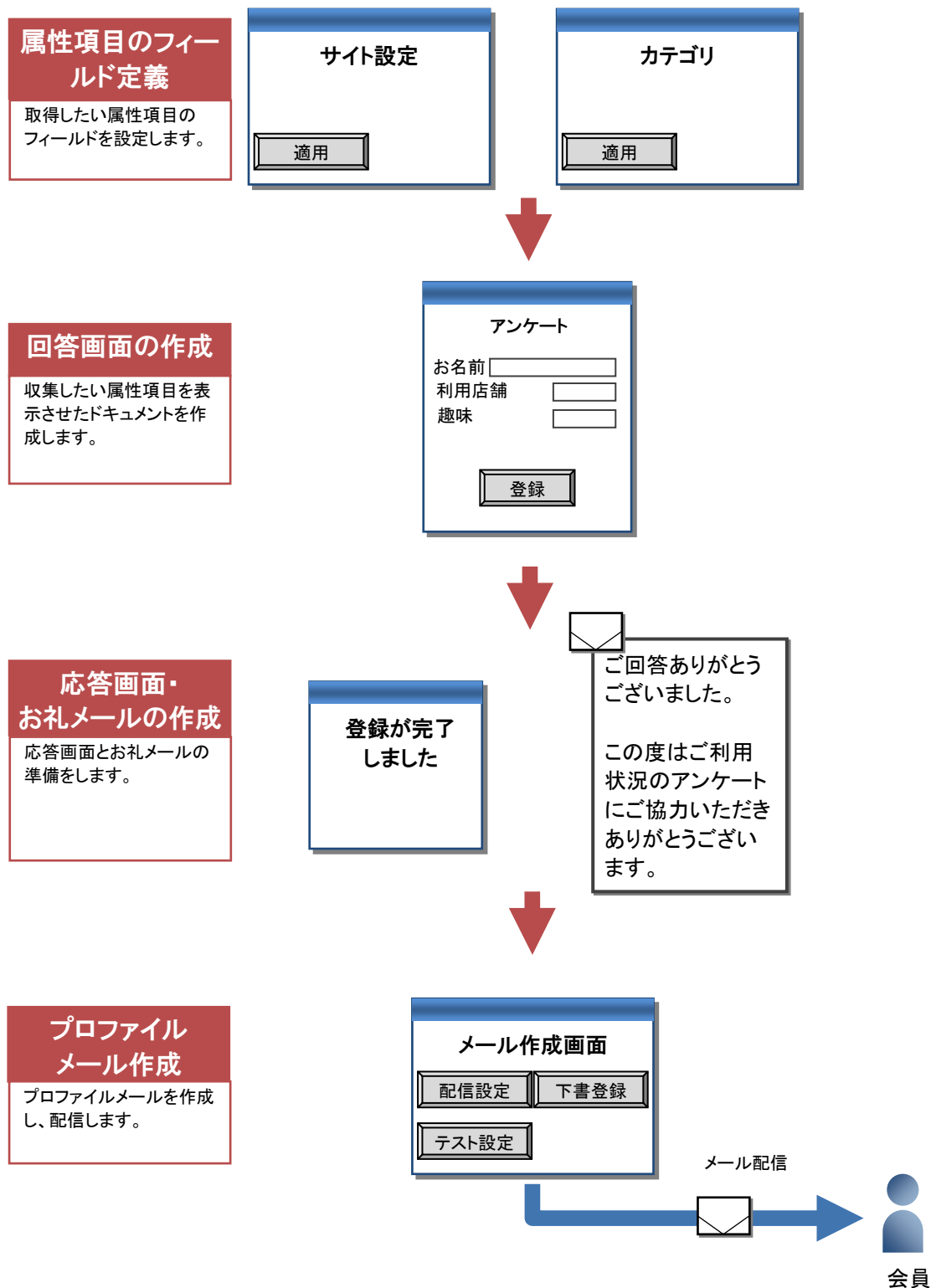


図 5-15

5-12-2 プロファイル収集の準備

プロフィール収集を行う前に、収集したい属性項目のフィールド定義や回答画面の作成、お礼メールの文面などの設定をしてください。

5-12-2-1 収集したい属性項目のフィールド定義

新規に取得したい属性項目のフィールド定義がされていない場合、テーブル定義で追加する必要があります。追加する属性項目のフィールド定義は、サイト層ないしはチャンネルのどちらかに行います。

すでに属性項目のフィールド定義を行っている場合や、取得済み属性値の更新を行いたい場合は、必要ありません。

◆ サイト層に定義する

会員が複数のチャンネルに登録していても、サイト全体で共通の属性値を取得するだけで済む場合は「サイト設定」メニューの「サイト」でテーブル定義を行います。

この場合、サイト層の管理区分（サイト、グループフォルダ、グループ）において、プロフィール収集を行うためプロフィールメールの配信が行えます。

定義を追加する方法は『MailPublisher Mobile Edition サイト構築マニュアル「5-3 サイトのテーブルを定義する」』をご参照ください。

◆ カテゴリ(チャンネル)に定義する

会員の登録しているチャンネルごとに異なる属性値を収集したい場合は、チャンネルの属するカテゴリに対して、「カテゴリ」メニューの「定義」でカテゴリ定義を行います。

特定のチャンネルだけでプロフィール収集をしたい場合も、チャンネルの属するカテゴリに対して属性項目のフィールド定義を行います。

この場合は、プロフィールメールの配信はチャンネルごとに行う必要があります。

定義を追加する方法は『MailPublisher Mobile Edition サイト構築マニュアル「5-3 サイトのテーブルを定義する」』をご参照ください。

5-12-2-2 回答画面の作成

回答画面として、収集したい属性項目を表示させたドキュメントを作成します。

サイト層においてプロフィール収集を行う場合には、サイトのドキュメントを作成します。

カテゴリ（チャンネル）でプロフィール収集を行う場合には、カテゴリ（チャンネル）のドキュメントを作成します。

新規登録用のドキュメント作成について詳細は、『MailPublisher Mobile Edition サイト構築マニュアル「6-2 カテゴリ（チャンネル）のドキュメントを作成する」』を参照ください。

5-12-2-3 応答画面とお礼メール

プロフィールメールに対する応答画面の初期設定（default）の内容を変更したい場合は、[応答管理] メニューの[応答画面]で設定を変更してください。

また、回答へのお礼メールを配信したい場合は、[応答管理] メニューの[返信メール]で、「お礼メール」として新規に作成してください。

応答画面の変更方法や、お礼メールの作成方法について詳細は『MailPublisher Mobile Edition サイト構築マニュアル「7 返信メールを設定する」』をご参照ください。

5-12-3 プロファイル収集の結果を参照する

プロフィールメールの本文中には、メールごとに異なるコードが付加された回答画面の URL が記載されます。メールを受け取った会員が URL をクリックすると、回答画面が表示されます。

会員が回答した属性項目の値は、用意した属性項目のフィールドに蓄積されるか、または上書きされます。

プロフィール収集で取得した会員データは、[会員管理] メニューの[書き出し]で、CSV ファイルに書き出すことにより、値を確認したり、修正したりできます。また、収集した値は、配信のときに条件抽出の対象としても利用できます。

[会員管理] メニューの[書き出し]で、CSV ファイルに書き出した、ファイルの詳細については「[7-4-3 ファイル形式とファイルの内容（172 ページ）](#)」をご参照ください。

5-13 配信結果

メールの配信結果は、配信済みメール一覧画面、および内容確認画面で確認できます。内容確認画面の「配信詳細」で確認できる項目について説明します。

5-13-1 配信数

指定した配信対象の条件と一致し、配信が行われたメールの総数が表示されます。複数のキャリアに配信を行った場合には、キャリアごとに配信数の内訳が表示されます。

5-13-2 配信状況

配信したメールの状況が表示されます。配信が正常に終了した場合、「配信完了」と表示されます。何らかの理由により異常終了した場合は、「異常終了」と表示されます。「異常終了」の表示が出た際には、サポートセンターまでお問い合わせください。

5-13-3 成功数(成功率)

配信したメールのうち、致命的エラーおよび致命的でないエラーとなった件数を除いた配信成功数と、配信数に対する割合が表示されます。

5-13-4 致命的エラー

相手メールサーバから致命的な配信エラーとして戻ってきたメールの総数が表示されます。

各メールごとのエラー内容は「致命的エラーリスト」をダウンロードして確認できます。

ダウンロード手順詳細は『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-6-4 エラーの集計をダウンロードする」』をご参照ください。

◆ 致命的エラーとは

致命的エラーとは、会員の環境が原因で配信できなかった配信エラーです。

致命的エラーは、会員のメールアドレス自体の原因によって配信できなかったメールのため、配信停止となります。

致命的エラーは、以下のいずれかの原因により発生します。

表 5-8

エラー内容	エラーの原因とメールアドレスの扱い
ホスト不明	メールアドレスのドメインが存在しないため、配信できなかったメールです。このエラーで配信できなかった場合、該当メールアドレスは配信状態フラグが「NG」になり、配信停止となります。 「Host Unknown」とも呼ばれます。

エラー内容	エラーの原因とメールアドレスの扱い
ユーザ不明	メールアドレスのユーザが存在しないため、配信できなかったメールです。このエラーで配信できなかった場合、該当メールアドレスは配信状態フラグが「NG」になり、配信停止となります。 「User Unknown」とも呼ばれます。
ユーザによる受信拒否	会員が「受信拒否設定」などを設定している場合、累計で3回目のエラーを受け取ると、該当メールアドレスは配信状態フラグが「NG」になり、配信停止となります。

◆ 致命的エラーCSVファイルの表示例

email,エラー理由
test1@experian.com,ホスト不明
test2@experian.com,ユーザによる受信拒否
test3@experian.com,ユーザ不明
最終更新日時 2016/07/26 14:46:11



致命的エラーに
該当した
メールアドレス



エラー内容

図 5-16



参考

「受信拒否指定」が設定されている場合について

- 「受信拒否指定」によるエラーの場合でも、キャリアによってはユーザ不明（User Unknown）と通知されることがあります。この場合は、エラーとなった時点で配信状態フラグが「NG」になり、配信停止となります。
- SoftBank（Disney を含む）は、受信拒否のメールをエラーとして返しません。そのため、実際に受信拒否によるエラーの場合でも受信拒否の判断ができないため、致命的エラーとはならず、配信状態フラグは「OK」のままとなります。
- au は、受信拒否のメールをエラーとして返すかどうかを会員が選択できます。エラーを返さない設定にされている場合、上記 SoftBank（Disney を含む）と同じく、実際に受信拒否によるエラーの場合でも受信拒否の判断ができないため、致命的エラーとはならず、配信状態フラグは「OK」のままとなります。

◆ 致命的エラーになったメールの扱い

致命的エラーは、会員のメールアドレス自体の原因によって配信できなかったメールのため、配信状態フラグが「NG」になり配信停止となります。

◆ 致命的エラーになったメールの確認

配信直後は「集計中」と表示されます。配信後約 1 時間おきに集計された件数が表示されます。件数をクリックすると、致命的エラーとなったアドレスとその理由についての CSV ファイルをダウンロードできます。

CSV ファイルのダウンロード手順詳細は、『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-6-4 エラーの集計をダウンロードする」』をご参照ください。

集計データの保持期間については、「[5-14-3 クリックカウント・コンバージョン・開封確認の保持期間（120 ページ）](#)」をご参照ください。

◆ 配信状態フラグを「OK」に変更するには

「NG」となった配信状態フラグを再度「OK」とするには、以下のいずれかの操作をしてください。

- 属性項目の「flag」を「OK」とした CSV ファイルを取り込んで更新する
- 検索・修正でメールアドレスを 1 件ずつ修正する

CSV ファイルの一括登録・更新の詳細は、「[7-2 サイト一括更新/複数チャネルの一括登録（154 ページ）](#)」「[7-3 チャネル一括登録・更新（162 ページ）](#)」をご参照ください。

一括更新の手順詳細は、『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「3-2 サイトの会員データを一括更新する」「3-3 複数のチャネルへ会員データを一括登録する」「3-4 1 つのチャネルに会員データを一括登録・更新する」』をご参照ください。

5-13-5 致命的でないエラー

相手メールサーバから致命的でない配信エラーとして戻ってきたメールの総数が表示されます。

◆ 致命的でないエラーとは

致命的でないエラーとは、会員の環境以外の原因により配信できなかった配信エラーです。致命的でないエラーは、以下のいずれかの原因により発生します。

表 5-9

エラー内容	エラーの原因とメールアドレスの扱い
サーバによる受信拒否・受信エラー	相手先のメールサーバ側で受信できず、配信できなかったメールです。
キュータイムアウト	相手先のメールサーバが混雑しているなどの理由でメールのリレーに失敗し、配信できなかったメールです。 携帯端末のメールアドレスでは 24 時間以内、パソコンのメールアドレスでは 6 時間以内にメールのリレーができなかった場合に発生します。
メールボックスフル	宛先のメールボックスに空き容量がないため、配信できなかったメールです。

エラー内容	エラーの原因とメールアドレスの扱い
その他エラー	その他の理由で配信できなかったメールです。
DNS ブラックリスト	DNS ブラックリスト（*1）に登録された結果、スパムメールと判定され、配信できなかったメールです。 通常は一定期間経過後（数時間から数日程度）に解消されますが、継続して発生する場合には、サポートセンターまでお問い合わせください。
夜間制御タイムアウト	以下 2 つの理由から配信できなかったメールです。 1. 携帯ドメイン宛メールの「夜間配信停止」オプションをお申込みで、翌朝繰越設定しなかった場合に、配信途中で配信停止時間に入ってしまう、翌朝繰越配信されずバウンスとなったメールです。 例：23:00～翌 8:00 が夜間配信停止時間で、携帯向けメールが 23:00 になっても配信中だった場合、翌朝繰越設定をしていないと、配信できなかったメールが「夜間制御タイムアウト」として出力されます。 （翌朝繰越設定していると、8:00 から配信が再開されますので、同エラーにはなりません。） 2. PC ドメイン宛メールの「夜間配信停止」オプションをお申込みで、夜間配信停止機能により翌朝繰越配信されずバウンスとなったメールです。 （PC ドメイン宛のメールは、[配信時間帯 終了時刻] を過ぎると、翌朝繰越配信されず全てバウンスとなりますのでご注意ください。）
強制停止	配信総数に対して、「ユーザ不明」などの致命的エラーの比率がおおむね 5%以上となると、携帯端末のキャリアによる受信ブロックが発動します。これを避けるための強制停止措置により、配信できなかったメールです。 強制停止された配信対象に再度配信する場合は、必ずサポート窓口までご相談ください。また、あらかじめエラー率が高いと予想される配信を行う場合も、サポート窓口までご相談ください。エラー率の高い配信メール向けに、低速で配信する「クリーニングモード」をご用意しています。クリーニングモードについて詳細は「マニュアル/各情報」メニューの FAQ をご参照ください。
転送後キュータイムアウト	配信先メールアドレスから転送された先でエラーになったものです。 配信先メールアドレスには届いているため、転送を解除したり、転送先の状況が改善されれば、次回以降配信できる可能性があります。 なお、転送後エラーになるケースとして大別すると以下の 2 パターンがあります。 1. 転送元（＝配信リストの宛先）にも受信したメールを残しながら、別のアドレスに転送した結果、エラーとなる 2. 転送元（＝配信リストの宛先）には受信したメールを一切残さずに、別のアドレスに転送した結果、エラーとなる エラーメールを受信した側（＝弊社システム）では、上記 2 パターンの判別をすることができません。 そのため、何らかのエラーが発生したことを記録しながら、お客様の判断で配信除外ができるよう、転送後エラーは「致命的でないエラー」として取り扱われます。
転送後メールボックスフル	
転送後サーバによる受信拒否・受信エラー	
転送後ホスト不明	
転送後ユーザ不明	
転送後ユーザによる受信拒否	
転送後その他エラー	

◆ 致命的でないエラーCSV ファイルの表示例

email,エラー理由
test1@experian.com,その他エラー
test2@experian.com,転送後ホスト不明
test3@experian.com,転送後メールボックスフル
test4@experian.com,転送後その他エラー
test5@experian.com,転送後ユーザによる受信拒否
test6@experian.com,転送後サーバによる受信拒否・受信エラー
test7@experian.com,転送後ユーザ不明
test8@experian.com,メールボックスフル
test9@experian.com,その他エラー
test10@experian.com,サーバによる受信拒否・受信エラー
最終更新日時: 2016/07/26 13:46:11

致命的でないエラーに
該当したメールアドレス

エラー内容

図 5-17



参考

(*1) 「DNS ブラックリスト」とは

迷惑メール判定方法のひとつです。

インターネット上には、迷惑メールを送信している可能性のある送信元サーバの IP アドレスをリスト化する「DNS ブラックリスト」というサービスが多数存在しており、各 ISP はこれらのリストを参照し、迷惑メールかどうかを判別している場合があります。

このため、DNS ブラックリストに登録されたサーバからのメールは、ISP に受け付けてもらえない状態が発生します。

弊社では、DNS ブラックリストに登録されないための活動や仕組みとして、法令や配信ガイドラインの遵守の啓蒙や、配信エラーアドレスを除外する仕組みの実装を行っております。

また、一部の DNS ブラックリストについては、弊社が所有するサーバの IP アドレスが登録されていないかどうかを日々自動監視しております。

しかしながら、DNS ブラックリストは国内外に膨大に存在しており、ブラックリストへの登録判定基準や登録解除手続き方法が不明瞭なもの、監視自体を行うことが不可能なものが数多く存在いたします。

そのため、すべての DNS ブラックリストへの登録を予防することは困難です。

お客様からのご申告や弊社システムでの検知によって、弊社が所有するサーバが DNS ブラックリストに登録されていることを確認できた場合、弊社にて DNS ブラックリストサービス運営元を特定し解除依頼等の対応を行っております。

お客様にて、配信エラーのリストに、数日間にわたり継続して DNS ブラックリストが含まれている対象を発見された場合、サポートセンターまでお知らせくださいますようお願いいたします。

◆ 致命的でないエラーになったメールの扱い

致命的でないエラーは、会員のメールアドレス以外の問題で配信ができなかったメールのため、配信ができなかった場合でも配信状態フラグは「OK」のままとなります。

◆ 致命的でないエラーになったメールの確認

配信直後は「集計中」と表示されます。配信後、約 1 時間おきに集計された件数が表示されます。件数をクリックすると、配信エラーとなったアドレスとその理由についての CSV ファイルをダウンロードできます。

CSV ファイルのダウンロード手順について詳細は、『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-6-4 エラーの集計をダウンロードする」』をご参照ください。

集計データの保持期間については、「[5-14 データの保持期間（119 ページ）](#)」をご参照ください。

5-13-6 開封確認

HTML メールでは、メールを開封したかどうかを計測できます。

（ただし、受信環境により正しく開封結果が取得できない場合があるので、目安として利用してください。）

◆ 開封確認とは

HTML メールに画像（ウェブビーコン）等を埋め込み、メール開封時のその画像へのアクセスを元に、開封したかどうかを計測します。

そのため、受信側でメールの画像を読み込まない設定をしている等の場合は、正確に計測されません。



参考

メール本文上の開封確認 Web ビーコン画像の URL を SSL 化（http→https に変更）することが可能です。

「開封確認 Web ビーコン URL の SSL 化」はオプションです。（※1）

ユーザーポータル申請フォームよりお申込みください。

<https://emberpoint.zendesk.com/hc/ja/sections/4683060640030>

（※1）独自ドメイン（クリックカウント）をご利用の場合は、独自ドメイン SSL オプション（有償）と合わせて適用ください。

参考：SSL 関連オプションのご紹介

<https://emberpoint.zendesk.com/hc/ja/articles/4688320986270>

<背景>

インターネット上のセキュリティ強化のため、主要ブラウザを中心に常時 SSL 化（常時 HTTPS 化）が推進されています。

非 SSL コンテンツの場合、セキュリティアラートがあがったり、挙動が制限されるケースが増えています。

参考：常時 SSL 化について <https://jprs.jp/pubcert/about/aossil/>

◆ 開封率の計算方法

本システムでは、基本的に「開封率＝（開封数／配信成功数）×100」で計算していますが、一部配信済みメール詳細画面で「配信成功数」ではなく「配信総数」で計算した値を表示している箇所もあります。

また、配信成功数を元にした場合、時間の経過とともにエラー数が増える（配信成功数が減る）ため、開封率も変動する可能性があります。

表 5-10

開封率が出力される 画面・CSV ファイル	開封率を 「 <u>配信成功数</u> 」を元に計算	開封率を 「 <u>配信総数</u> 」を元に計算
配信済みメール一覧画面	●	
配信済みメール詳細画面	●	●
配信結果サマリーレポート CSV ファイル	●	
開封率推移グラフ（複数記事比較）	●	
開封率推移グラフ CSV ファイル（複数記事比較）	●	

◆ 集計データの確認

開封確認の集計データを確認するには、csv ファイルをダウンロードします。

csv ファイルのダウンロード手順について詳細は『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-6-5-1 開封数集計をダウンロードする」』をご参照ください。

集計データの保持期間については、「[5-14-3 クリックカウント・コンバージョン・開封確認の保持期間（120 ページ）](#)」をご参照ください。

csv ファイルには、以下のように記載されています。

```
2013/02/11 21:52:55,"test1@example.com","Mozilla/5.0 (Linux; U; Android 2.3.3; ja-jp; SonyEricssonSO-02C"
2013/02/12 10:07:15,"test2@example.com","Mozilla/5.0 (Linux; U; Android 2.3.3; ja-jp; SonyEricssonSO-02C"
```

↑ ↑ ↑

メール受信者がメール メール開封をしたメール メール開封をした端末
を開封した日時 受信者アドレス のユーザーエージェント

図 5-18

**注意**

同じメールアドレスで複数回開封した場合、初回開封時の情報のみ集計結果ファイルに出力されます。

**注意****Google Chrome での開封確認の集計**

独自ドメイン(クリックカウント URL)をご利用で、Google 社のブラウザ Chrome81 (2020 年 3 月リリース予定)以降での開封確認を集計するには、以下の対応が必要です。

- 独自ドメインの「SSL オプション」適用をご申請ください。(変更届利用)
→ご利用の独自ドメインの SSL アクセスが可能になることで、開封確認集計用の画像(ウェブビーコン)へのアクセスが検知できるようになります。

<背景>

インターネット上のセキュリティ強化のため、主要ブラウザを中心に常時 SSL 化(常時 HTTPS 化)が推進されています。

非 SSL コンテンツの場合、セキュリティアラートがあがったり、上記のように挙動が制限されるケースが増えています。

参考: 常時 SSL 化について

<https://jprs.jp/pubcert/about/aossil/>

**注意****iPhone iOS 15 による開封確認**

iOS 15 にアップデートした iPhone のメールアプリでメールが受信された場合、開封確認機能について、以下の影響が発生する可能性があります。

- 開封確認の件数がカウントできない場合あり
- 開封確認経由のデバイス判定の精度低下または誤判定

詳細は、下記をご参照ください。

▼iPhone iOS 15 リリースに伴う MailPublisher/FormFactory サービス影響および対応

<https://emberpoint.zendesk.com/hc/ja/articles/4688173030302>

5-13-7 ワンクリック購読解除

5-13-7-1 配信除外数

ワンクリック購読解除により、メール配信時に除外された購読解除アドレスの件数が表示されます。

ワンクリック購読解除の詳細は「[5-17 ワンクリック購読解除（131 ページ）](#)」をご参照ください。

5-13-7-2 購読解除数

メール配信後に受信者によりワンクリック購読解除された件数が表示されます。

対象のメールアドレス等は「購読解除アドレスリスト」をダウンロードして確認できます。

ダウンロード手順は『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-6-9 ワンクリック購読解除結果をダウンロードする」』をご参照ください。

ワンクリック購読解除の詳細は「[5-17 ワンクリック購読解除（131 ページ）](#)」をご参照ください。

◆ 購読解除アドレス CSV ファイル仕様

表 5-11

設定	内容
ファイル名	unsubscribe-{サービスドメイン}-{サイト ID}-{記事 ID}.csv 例：unsubscribe-mpse.jp-site01-2024100124.csv
ファイル形式	CSV
文字エンコーディング	UTF-8
改行コード	CRLF

◆ 購読解除アドレス CSV 出力項目

表 5-12

項目	ヘッダー名	備考
購読解除 ID	unsubscribe_id	
購読解除日時	unsubscribe_date	
From メールアドレス	from_address	
受信者メールアドレス	to_address	

<ファイルサンプル>

```
unsubscribe_id,unsubscribe_date,from_address,to_address  
e1506fd5-9e7b-434f-bd42-4f8fa224d001,2023/12/22
```

```
18:33:00,from-a@example.com,to-001@example.net  
ffc1c0e6-5d7f-4c27-8977-83da17e5d002,2023/12/23  
18:33:00,from-a@example.com,to-002@example.net  
519e2a1f-61a7-3c99-1070-dad10919d003,2023/12/24  
18:33:00,from-a@example.com,to-003@example.net  
e1506fd5-9e7b-434f-bd42-4f8fa224d001,2023/12/25  
18:33:00,from-b@example.com,to-004@example.net  
ffc1c0e6-5d7f-4c27-8977-83da17e5d002,2023/12/26  
18:33:00,from-b@example.com,to-005@example.net  
519e2a1f-61a7-3c99-1070-dad10919d003,2023/12/27  
18:33:00,from-b@example.com,to-006@example.net
```

◆ 購読解除アドレスから削除(自動除外停止)するには

ワンクリック購読解除を行って購読解除アドレスとして登録された受信者が再度購読を開始する場合等には、購読解除アドレスから削除する必要があります。

左メニュー「[会員管理](#)」>「[購読解除アドレス管理](#)」で、該当するメールアドレスを個別に解除してください。

詳細は、「[7-14 購読解除アドレス管理（189 ページ）](#)」や『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「[3-10 購読解除アドレスを管理する](#)」』をご参照ください。

5-14 データの保持期間

以下のデータは、一定期間経過すると自動的に削除されます。データが削除されると参照できなくなります。そのため、必要なデータについては期間内に保存してください。

- 致命的エラー
 - エラー件数
 - エラーリストの内容
- 致命的でないエラー
 - エラー件数
 - エラーリストの内容
- クリックカウント・コンバージョン・開封確認
 - アクセス件数
 - アクセス内容
- 操作ログ
 - ログ内容
- 一括更新・一括登録・一括削除・書き出しの結果
 - 結果内容

5-14-1 致命的エラーの保持期間

致命的エラーの件数とエラーリストの内容は、配信済みメール一覧画面、および内容確認画面で確認できます。

致命的エラーはメールが配信されてから 90 日間保持されます。

表 5-13

期間	エラー件数	エラーリストの内容
メール配信日から 90 日以内	正しく表示	正しい内容を取得可能
メール配信日から 91 日以降	正しく表示	取得不可

5-14-2 致命的でないエラーの保持期間

致命的でないエラーの件数およびエラーリストの内容は、配信済みメールの内容確認画面で確認できます。

致命的でないエラーはメールが配信されてから 90 日間保持されます。91 日目以降、件数は 0 件と表示され、エラーリストの取得ができなくなります。

表 5-14

期間	エラー件数	エラーリストの内容
メール配信日から 90 日以内	正しく表示	正しい内容を取得可能
メール配信日から 91 日以降	0 件と表示	取得不可

5-14-3 クリックカウント・コンバージョン・開封確認の保持期間

クリックカウント・コンバージョン・開封確認の件数およびアクセス内容は、配信済みメールの内容確認画面で確認できます。

これらは配信日時から 30 日間集計を行い、90 日間集計結果が保持されます。91 日目以降、集計結果自体が表示されなくなり、結果の取得ができなくなります。

表 5-15

期間	クリックカウント件数	アクセス内容
メール配信日から 30 日以内	その時点の集計結果を表示	その時点のアクセス内容を取得可能
メール配信日から 31 日～90 日以内	配信日から 30 日間の集計結果を表示	配信日時から 30 日間のアクセス内容を取得可能
メール配信日から 91 日以降以降	クリックカウント詳細自体が非表示	取得不可

5-14-1 ワンクリック購読解除の保持期間

ワンクリック購読解除の件数は、配信済みメール内容確認画面で確認できます。

現在は購読解除数の保持期間に制限はありませんが、将来的にはご利用状況に合わせて期限を設けます。

前述の致命的エラーやクリックカウント等と同様に適時データを取得して頂くことをお勧めします。

5-14-2 操作ログの保持期間

操作ログは、操作ログ閲覧画面で確認できます。

操作ログは、約 1 ヶ月分を確認できますが、それ以前のものは確認できなくなります。

表 5-16

期間	操作ログの内容
約 1 ヶ月	正しく表示

期間	操作ログの内容
約 1 ヶ月以前	取得不可

5-14-3 一括更新・一括登録・一括削除・書き出し結果の保持期間

一括更新結果はサイト一括更新画面、一括登録結果は複数チャネル一括登録画面またはチャネル一括登録・更新画面、一括削除結果は一括削除画面、書き出し結果は書き出し画面でダウンロードできます。

一括更新・一括登録・一括削除の結果は、アップロード後に実行した日から 90 日間、書き出しの結果は実行日から 90 日間データが保持され、91 日目以降は結果が取得できなくなります。

表 5-17

処理	期間	結果内容
一括更新・一括登録・一括削除	アップロード後に実行した日から 90 日以内	取得可能
	アップロード後に実行した日から 91 日以降	取得不可
書き出し	実行日から 90 日以内	取得可能
	実行日から 91 日以降	取得不可

5-15 文字化け

文字化けは、会員が使用しているメールソフトで対応できない文字列がメール本文に含まれている場合や、文字コードが適切でない場合などに発生します。

携帯端末のメール機能は、各キャリアが独自拡張しているためインターネットメールの規格外の仕様を含んでいます。このため、携帯端末では、パソコンのメールソフトと同様の処理ができず、予期せぬ文字化けが発生する可能性があります。

発生ケースを含め、現在までに確認されている文字化けが発生した場合の切り分け方法と原因について説明します。



参考

メール作成時の機種依存文字チェック

本システムでは、メール作成時に機種依存文字をチェックしています。

（プレビュー・テスト配信・下書き登録・配信設定ボタン押下時に検出されます。）

標準機能では、〔宛先〕で選択したキャリアに合わせて機種依存文字チェックを行います。

オプション「機種依存文字チェック」で「一律チェック」を適用して頂くことで、キャリアに関わらず一律で機種依存文字チェックが可能になります。

5-15-1 文字化け原因の分析に必要な情報

弊社サポートセンターにお問い合わせいただく場合は、会員から以下の情報を収集してください。

◆ 携帯端末

表 5-18

確認内容	内容
キャリア名	携帯端末のキャリア名を確認してください。
機種名	携帯キャリアごとに、以下の機種名を確認してください。 docomo：「メーカー記号」＋「型番の形式」 au：「タイプ」「型番」「メーカー記号」 SoftBank（Disney 含む）：「型番」＋「メーカー記号」 Vodafone：V「型番」「メーカー記号」 J-Phone：J-「型番」「メーカー記号」 その他：「型番」
記事 ID	文字化けの発生した配信済みメールの記事 ID、配信対象のキャリア、文面を確認してください。

5-15-2 キャリア別文字化けの主要原因

5-15-2-1 全キャリア・パソコン共通

◆ 「῜」のような文字列が混ざっている

「῜」などの文字列は、絵文字参照表記です。絵文字に対応しているキャリアの場合は、対象文字列を絵文字に変換して配信されます。

このため、絵文字を使用したメールの本文テキストを、絵文字に対応していないキャリアまたはメールソフトで開封した場合に文字化けが発生します。

本システムで本文テキストを編集した場合、絵文字を使用できる配信対象から絵文字を使用できない配信対象に切り替えると、警告メッセージを表示して本文テキスト欄はクリアされます。しかし、外部のエディタで本文テキストを編集しているような場合は、クリアされたあとに絵文字参照表記を含む本文を貼り付けてしまうと、文字化けが起こるおそれがあります。

◆ 半角カナが文字化けする

半角カナ文字を含む本文テキストを、すべてのキャリアを対象に配信した場合、携帯端末の機種やメールソフトの種類によっては文字化けが発生する可能性があります。

すべてのキャリアを対象にした配信の場合、半角カナは使用しないことを推奨いたします。もし、半角カナを使用する場合は、絵文字対応可能な各キャリアを配信対象として指定してください。

SoftBank（Disney 含む）の 3G 機の場合、本文に半角カナが含まれていると、文字化けが発生することがあります。

5-15-2-2 docomo

◆ 絵文字が「・」や「■」や空白になる

表示される絵文字と文字化けしている絵文字が混ざっているような場合は、本文テキストに拡張絵文字が挿入されている可能性があります。古い docomo 端末は、拡張絵文字には対応していないため、拡張絵文字を削除してください。

拡張絵文字については、「[5-10 配信キャリアと絵文字（97 ページ）](#)」をご参照ください。

5-15-2-3 au

◆ 文章全体が「=86=7C」と意味不明になる

C メールや sky メール転送の可能性があります。au には C メールという受信料無料のショートメールサービスがあります。このサービスと ezweb のメール転送機能を組み合わせて、携帯端末の自分の C メールアドレス宛てに転送する設定をされている場合には、ezweb の転送サービスで文字コードが変換されてしまうため、このような文字化けメールとして届く場合があります。

本システムでは、登録されているメールアドレスの端末で表示される形式で配信を行いますので、転送によって生じるこのような文字化けには対応できませんので、あらかじめご了承ください。

5-15-2-4 SoftBank(Disney 含む)

◆ 絵文字が「・」や空白になる

以下の機種では、絵文字入りメールに対応していないため絵文字が表示できません。

- 東芝の非パケット機（J-T0*、V30*T、V40*T）
- シャープの非パケット（J-SH09 以前の機種）
- NEC の非パケット機（J-N05）

5-16 送信ドメイン認証

インターネットでメール送信に使用されるプロトコルである SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) は、差出人のメールアドレス (From アドレス) を自由に設定することが可能です。このため、送信元を偽った「なりすましメール」を簡単に送ることができてしまい、これが迷惑メールに利用されてきました。

「送信ドメイン認証」は、電子メールの送信元ドメインが詐称されていないかを検査するための仕組みです。正規のドメインの所有者からのメールを識別し、なりすましメール被害のリスクを低減することができます。

識別の方式により、大きく分けて3種類あります。

- SPF (エスピーエフ)
- DKIM (ディーキム)
- DMARC (ディーマーク)

当社では、お客様のなりすましメール被害リスクの低減と迷惑メール抑止効果の観点から、「送信ドメイン認証」への対応を強く推奨しております。



参考

Google 社の Gmail「メール送信者ガイドライン」では、メール送信者が遵守すべき要件のひとつとして送信ドメイン認証が挙げられており、SPF・DKIM・DMARC 対応が求められています。

▼Google 社 Gmail「メール送信者ガイドライン」

<https://support.google.com/mail/answer/81126>

送信ドメイン認証に関連する、本システムの機能を説明します。

5-16-1 SPF 検証結果表示機能

メール作成の際に、送信者 (From) に入力されたアドレスのドメインに紐づく SPF 設定の検証を行った結果を表示します。

◆ SPF とは

携帯各社や各 ISP では、迷惑メール対策の一環として、From アドレス（のドメイン）と送信サーバ（弊社サーバ）の紐づけをチェックしています。紐づけが確認できない場合、不正なサーバから送るなりすましメールと判定され、受信拒否や迷惑メール扱いで受信者に届かないケースが増えています。

◆ SPF への対応方法

DNS に SPF レコード設定を行うことで、From アドレス（のドメイン）と送信サーバ（弊社サーバ）の紐づけを行い、なりすましメール判定のリスクを減らします。

設定方法は、画面左の [マニュアル/各情報] → [マニュアル/お役立ち情報] より下記資料をダウンロードしてご確認ください。

「なりすましメール対策へのご対応(SPF レコード設定)のお願い」

◆ 認証状況の確認方法について

認証状況については

『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-2-2 TEXT メールを作成する 手順 5」』をご参照ください。



注意

本機能で表示される SPF 検証結果は、タイミングや配信時の状況により実際の結果と異なる場合があります。目安としてご利用ください。

5-16-2 DKIM 検証結果表示機能

メール作成の際に、送信者 (From) に入力されたアドレスのドメインに紐づく DKIM 署名設定の検証を行った結果を表示します。

◆ DKIM とは

From アドレスのドメインとメールの電子署名から、受信側でメールの正当性を判定する仕組みで、「送信ドメイン認証」のひとつです。

DKIM に対応するには、そのドメインが登録された DNS に予め署名の公開鍵 (DKIM レコード) を設定した上で、メールに DKIM の電子署名を付加して送信します。一方、DKIM に対応したメール受信サーバは、メールの受信時に、DNS に対して署名の公開鍵を問い合わせ、DKIM 電子署名と公開鍵を照合し、認証を行います。

◆ DKIM 作成者署名と第三者署名

DKIM は 2 種類あります。メール作成者（From アドレスのドメイン管理者）自身の署名である「作成者署名」と、そうではない第三者の署名である「第三者署名」です。

当社では、お客様のなりすましメール被害リスクの低減と迷惑メール抑止効果の観点から、「DKIM 作成者署名」への対応を強く推奨しています。

◆ DKIM 作成者署名への対応方法

管理画面から DKIM 作成者署名適用申請ができます。（※）

操作方法については『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-12 送信ドメイン認証（DKIM/DMARC）を管理する」』をご参照ください。

（※）「DKIM 署名オプション」が適用されている場合のみ

◆ 検証結果の確認方法について

検証状況については『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-2-2 TEXT メールを作成する 手順 5」』をご参照ください。

5-16-3 DMARC レコード設定状況および DMARC 認証結果表示機能

メール作成の際に、DNS 上の DMARC レコードの設定状況と、DMARC 認証の検証結果を確認することが可能です。

確認の手順や検証結果の詳細については

『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-2-2 TEXT メールを作成する 手順 5」』をご参照ください。



注意

本機能で表示される DMARC 認証結果は、タイミングや DNS 設定内容により、実際の受信側 ISP で認証される結果と異なる場合があります。目安としてご利用ください。

◆ DMARC とは

送信元を詐称した迷惑メール（なりすましメール）への対策に有効な「送信ドメイン認証」技術のひとつです。

SPF と DKIM の認証結果を利用して、なりすましメールを受信側がどう扱うべきかのポリシーを、ドメイン管理者が宣言するための仕組みです。レポート機能があり、ドメイン管理者などがなりすましメールの発生状況を把握することもできます。

また、From アドレスを偽装して自身のドメインで送信されるなりすましメールを受信側でどのように処理するかを、詳細に制御することができます。

送信元ドメイン管理者は、SPF と DKIM の認証に失敗したメールの処理方法を DMARC ポリシーとして宣言します。

1. そのまま通す（none）
2. 隔離する（quarantine）
3. 受信拒否する（reject）

◆ DMARC 対応方法

「送信ドメイン認証（DKIM 署名/DMARC）管理機能」で、DKIM 作成者署名を登録する際に、ダウンロードした DMARC レコードを DNS に設定することで、DMARC 対応を行うことができます。操作方法については『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-12-3 DKIM 作成者署名の更新および適用申請手順」』の、DMARC レコードダウンロードの手順をご参照ください。



注意

DMARC 対応の注意点

- DMARC を正しく運用するため、DKIM 署名は作成者署名を適用してください。
- メーリングリストアドレスが宛先に含まれる場合、メーリングリストサーバの仕様により、メーリングリストで展開された宛先に送信されるメールの SPF ないし DKIM の認証に失敗する可能性があります。DMARC を導入して、ポリシーを「通す(none)」にしている間は配信に影響はありませんが、「隔離(quarantine)」や「拒否(reject)」に変える際には、レポートを確認して受信状況を確認しながら進める必要があります。
 - － （例）DMARC は、SPF や DKIM の結果を元に認証します。例えば、メーリングリストサーバで件名が書き換えられるとメールの内容が変わったことで SPF ないし DKIM の認証に失敗するなどのケースが考えられます。
- MailPublisher/FormFactory 以外のシステムで、当該ドメインを From にしてメール配信を行っている場合は、そのシステムの配信についても DKIM 作成者署名に対応してください。
 - － DMARC ポリシーはドメインごとに 1 つです。
 - － MailPublisher/FormFactory からの配信分については、当社の DKIM 署名オプションに対応していれば DMARC が Pass します。
同じドメインを From にした、それ以外のシステムからの配信については、DKIM 作成者署名がないと、SPF ないし DKIM の認証に失敗する可能性があります。
 - － DMARC を導入して、ポリシーを「そのまま通す(none)」にしている間は配信に影響はありません。
「隔離する(quarantine)」や「拒否する(reject)」に変えると、SPF ないし DKIM の認証に失敗するものは迷惑メール判定されますので、その前までに DKIM 作成者署名対応が必要です。

◆ DMARC 認証後の DMARC レポート

DMARC レポートは、受信側 ISP が DMARC に対応している場合、送信者が DNS の DMARC レコードに自身のメールアドレスを設定することで、xml ファイル形式（メールに添付されている）で受信することができます。

レポート内容には、SPF・DKIM 判定結果、SPF・DKIM アラインメント結果、全メール数、Pass した数、等が含まれ、SPF・DKIM 未対応のメールや偽装の疑いのあるメールの状況を確認することができます。

**参考**

管理画面で出力される DMARC レコードでは、DMARC レポートの受信先（rua）として当社のメールアドレスを設定しています。

DMARC 推進のため、DMARC レポートを当社で参照させて頂き、ポリシーを「拒否する（reject）」に変更するまで必要に応じてサポートを行います。

自身にて DMARC レポートを受信する場合は、DMARC 設定用情報内の rua の設定値に「mailto:[自身のメールアドレス]」を追加してください。

5-16-4 送信ドメイン認証(DKIM 署名/DMARC)管理機能

管理画面上でお客様ご自身で DKIM 署名を管理し、DKIM/DMARC レコードの取得や DKIM 作成者署名適用申請を行うことができます。

◆ DKIM 署名状態の確認

送信者(From)として利用可能なドメインについて、一覧で DKIM 署名の状態（作成者署名 or 第三者署名、署名の鍵長、申請状況、最終更新日時）を確認することができます。

操作方法については『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-12-1 DKIM 署名設定状況を確認する」』をご参照ください。

◆ DKIM 第三者署名を作成者署名に切り替える

DKIM 第三者署名状態のドメインについて、作成者署名に切り替えることができます。（DNS 設定に必要な情報（DKIM レコード/DMARC レコード）の取得、作成者署名の適用申請が可能です）

操作方法については『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-12-3 DKIM 作成者署名の設定および適用申請手順」』をご参照ください。

◆ DKIM 作成者署名を更新する

DKIM 作成者署名は、セキュリティの観点から、1 年以内の更新が推奨されています。

DKIM 作成者署名状態のドメインについて、更新を行うことができます。（新たにセレクト登録し、DNS 設定に必要な情報（DKIM レコード/DMARC レコード）の取得、新たな作成者署名の適用申請が可能です）

操作方法については『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-12-3 DKIM 作成者署名の更新および適用申請手順」』をご参照ください。

5-16-5 DMARC 対応

上記送信ドメイン認証(DKIM 署名/DMARC)管理機能を利用して DKIM 作成者署名を適用する際に、DMARC 対応を行うことができます。

◆ DMARC とは

送信元を詐称した迷惑メール（なりすましメール）への対策に有効な「送信ドメイン認証」技術のひとつです。

SPF と DKIM の認証結果を利用して、なりすましメールを受信側がどう扱うべきかのポリシーを、ドメイン管理者が宣言するための仕組みです。レポート機能があり、ドメイン管理者などがなりすましメールの発生状況を把握することもできます。

また、From アドレスを偽装して自身のドメインで送信されるなりすましメールを受信側でどのように処理するかを、詳細に制御することができます。

送信元ドメイン管理者は、SPF と DKIM の認証に失敗したメールの処理方法を DMARC ポリシーとして宣言します。

4. そのまま通す (none)
5. 隔離する (quarantine)
6. 受信拒否する (reject)

◆ 対応方法

「送信ドメイン認証（DKIM 署名/DMARC）管理機能」で、DKIM 作成者署名を登録する際に、ダウンロードした DMARC レコードを DNS に設定することで、DMARC 対応を行うことができます。

操作方法については『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-12-3 DKIM 作成者署名の更新および適用申請手順」』の、DMARC レコードダウンロードの手順をご参照ください。



注意

DMARC 対応の注意点

- DMARC を正しく運用するため、DKIM 署名は作成者署名を適用してください。
- メーリングリストアドレスが宛先に含まれる場合、メーリングリストサーバの仕様により、メーリングリストで展開された宛先に送信されるメールの SPF ないし DKIM の認証に失敗する可能性があります。DMARC を導入して、ポリシーを「通す(none)」にしている間は配信に影響はありませんが、「隔離(quarantine)」や「拒否(reject)」に変える際には、レポートを確認して受信状況を確認しながら進める必要があります
 - － （例）DMARC は、SPF や DKIM の結果を元に認証します。例えば、メーリングリストサーバで件名が書き換えられるとメールの内容が変わったことで SPF ないし DKIM の認証に失敗するなどのケースが考えられます。
- MailPublisher/FormFactory 以外のシステムで、当該ドメインを From にしてメール配信を行っている場合は、そのシステムの配信についても DKIM 作成者署名に対応してください。
 - － DMARC ポリシーはドメインごとに 1 つです。
 - － MailPublisher/FormFactory からの配信分については、当社の DKIM 署名オプションに対応していれば DMARC が Pass します。
同じドメインを From にした、それ以外のシステムからの配信については、DKIM 作成者署名がないと、SPF ないし DKIM の認証に失敗する可能性があります。
 - － DMARC を導入して、ポリシーを「そのまま通す(none)」にしている間は配信に影響はありません。
「隔離する(quarantine)」や「拒否する(reject)」に変えると、SPF ないし DKIM の認証に失敗するものは迷惑メール判定されますので、その前までに DKIM 作成者署名対応が必要です。

◆ 検証結果の確認方法について

各メール作成画面で、DNS 上の DMARC レコードの設定状況と、DMARC 認証の検証結果を確認することが可能です。



参考

管理画面で出力される DMARC レコードでは、DMARC レポートの受信先（rua）として当社のメールアドレスを設定しています。（※）

rua には複数アドレスを設定することが可能ですので、定期的なレポートの確認のご予定がございましたら、DMARC 設定用情報内の rua の設定値に「mailto:[自身のメールアドレス]」を追加してください

DMARC レポートは、受信側 ISP が DMARC に対応している場合、送信者が DNS の DMARC レコードに自身のメールアドレスを設定することで入手可能です。

※DMARC 推進のため、DMARC レポートを当社で参照させていただきますが DMARC レポートの提供は承っておりません。
DMARC レポートの解析・サポートをご希望の際は、弊社パートナー企業のサービスをご提案させていただきますので、ご希望があればお申し付けください。

5-17 ワンクリック購読解除

ISP より、メール送信者に対して、受信者がメール配信を容易に解除できるようにすることが求められています。

Google 社の Gmail では 2024 年 2 月から「ワンクリックでの登録解除」が義務付けられています（条件等の詳細は下記「参考」欄参照）。



参考

Google 社 Gmail「メール送信者ガイドライン」

<https://support.google.com/mail/answer/81126>

Google 社 Gmail「メール送信者ガイドライン」より、本機能に関連する箇所を抜粋します。（2024 年 1 月 18 日現在）

- 「2024 年 2 月から「Gmail アカウントに 1 日あたり 5,000 件以上のメールを送信する送信者に対し、1. 送信メールを認証すること、2. 未承諾のメールまたは迷惑メールを送信しないようにすること、3. 受信者がメールの配信登録を容易に解除できるようにすること、の 3 つが義務付けられます。」
- 「受信者がメールの配信登録を簡単に解除できる方法を常に用意してください。ユーザーがメールの受信を停止できるようにすることで、開封率、クリック率、送信効率を上げることができます。ワンクリックでの登録解除に対応すると、ユーザーはメールの受信停止を簡単に行えるようになります。1 日に 5,000 件を超えるマーケティング目的のメールや配信登録されたメールを送信する場合は、ワンクリックでの登録解除に対応する必要があります。」

ワンクリック購読解除の全体イメージ

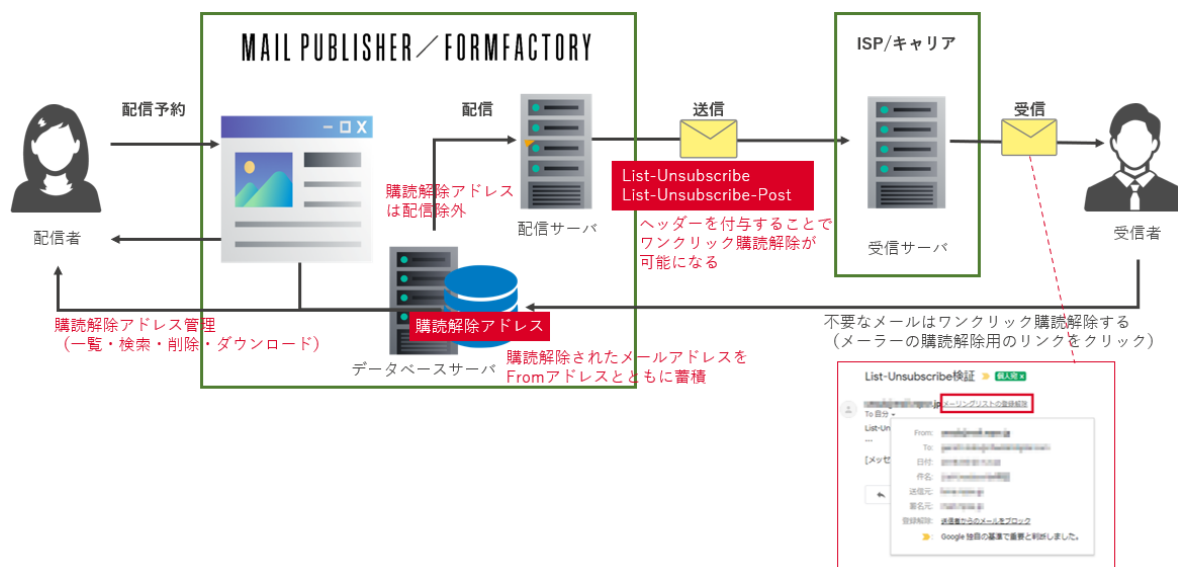


図 5-19

「ワンクリック購読解除」には下記が必要です。

- 購読解除対象者/送信メール特定のための購読解除用 URL の準備
- List-Unsubscribe ヘッダへの購読解除 URL の設定
- List-Unsubscribe-Post ヘッダの付与
- 購読解除アドレスの速やかな除外

これらを実現するための機能は以下のとおりです。

5-17-1 ワンクリック購読解除用ヘッダ情報(List-Unsubscribe・List-Unsubscribe-Post)の自動設定

メール配信時に、List-Unsubscribe 設定をしていない記事に対して必要なヘッダを自動設定することができます（メール配信時に自動設定するか否かを選択）。

この自動設定機能を利用することにより、メールにワンクリック購読解除に必要な「List-Unsubscribe」「List-Unsubscribe-Post」ヘッダが付与され、メール受信者はワンクリックでの購読解除が可能になります。

また、「List-Unsubscribe」ヘッダに自動設定されるワンクリック購読解除 URL は、メール本文への差し込みも可能です。

メール本文の同 URL を表示したい場所に文字列「%%__unsub_url__%%」を記載すると、下記パターンで生成された URL が差し込まれます。

手順は『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-2-2TEXT メールを作成する 手順 5」』をご参照ください。

▼差し込まれる URL のイメージ

`https://siteid.ets.mpme.jp/us/ZfxjbG2apnpP*****/cOcea1e/1/ZyoR33ptReT1*****/eyJhIjojMjAy*****`

URL クリック時に表示される画面イメージ

購読解除フォーム [確認]

"info@[redacted].com"からの同様のメールを受け取らないようにする場合は

[こちらをクリックして購読解除](#)

図 4-20

注意

購読解除 URL が差し込まれる条件

下記の両方の条件を満たす場合に、「%%_unsubscribe_url_%%」箇所に本サービスで生成・付与される購読解除用 URL が差し込まれます。

それ以外の場合は「%%_unsubscribe_url_%%」の文字列がそのまま表示されてしまうのでご注意ください。

- [登録解除先(List-Unsubscribe)]欄が未指定またはメールアドレス指定
- [ワンクリック購読解除を自動設定する]にチェック

注意

独自の購読解除 URL を運用している場合の本文差し込み

独自の購読解除 URL をご利用の場合は、その運用に合わせて本文への記載をご検討ください。

独自の購読解除 URL を本文に記載する場合は、URL クリック後に確認画面を表示するなどワンクリックのみで購読解除されないような実装をお勧めします。

(メール受信時のセキュリティソフト等による URL チェックで、受信者が意図しないクリック挙動が発生する可能性があります)

参考

「List-Unsubscribe」「List-Unsubscribe-Post」ヘッダとは

- List-Unsubscribe (リストアンサブスクライブ)

List-Unsubscribe は、メールのヘッダに設定可能な項目の一つであり、メール送信者が受信者に配信解除方法を知らせるためのものです。このヘッダを設定する事で、サポートしているメーラー上に「登録解除」や「配信解除」といったボタンやリンクが表示され、メール受信者が購読解除要求を簡単に行うことができますようになります。Gmail 等の ISP で、ヘッダに List-Unsubscribe メールアドレスまたは URL を明記してメールに付加して送信することが推奨されており、これを実施することで配信到達率の維持や低下防止が見込めます。

<設定可能な値>

List-Unsubscribe はメールアドレスまたは URL の指定が可能です。

1. メールアドレス

受信者がメーラー上の配信解除のボタンやリンクをクリックすると、配信解除要求メールが指定メールアドレス宛に送信されます。

ヘッダ表記形式は「List-Unsubscribe: <mailto:{メールアドレス}>」です。

2. URL

受信者がメーラー上の配信解除のボタンやリンクをクリックすると、配信解除要求メールが指定メールアドレス宛に送信されます。

ヘッダ表記形式は「List-Unsubscribe: <mailto:{メールアドレス}>」です。

遷移先にマルウェアが仕込まれている可能性があることから、URL は無視する仕様になっているメーラーがあります (Hotmail など)。

- List-Unsubscribe-Post (リスト-アンサブスクライブ-ポスト)

List-Unsubscribe-Post は、List-Unsubscribe ヘッダと組み合わせて使用します。

List-Unsubscribe-Post は、List-Unsubscribe ヘッダで指定した URL に対してそのリクエストをどのように処理するか (HTTPS POST アクション) を指定するヘッダで、設定することで受信者は、ボタンやリンクをワンクリックするだけで購読を解除できるようになります。

メール送信者は、受け付けた解除リクエストをサーバで処理する実装が必要です。

<設定可能な値>

List-Unsubscribe-Post に指定できる値は「One-Click」のみのため、ヘッダ表記形式は「List-Unsubscribe=One-Click」で固定です。

5-17-2 ワンクリック購読解除した対象者の自動除外

受信者がワンクリック購読解除すると、そのメールアドレスが From アドレスとともに購読解除アドレスとして蓄積され、次回以降の同一 From アドレスでの配信対象から自動的に除外されます。

購読解除情報に登録されたメールアドレスは、次回以降の配信で自動的に除外されます。

ただし以下の条件を全て満たす必要があります。

- 同じサイトからの配信である
- ワンクリック購読解除されたヘッダー From アドレスからの配信である
- 「ワンクリック購読解除を自動設定する」を指定した配信である

**注意****複数サービスや複数サイト ID を利用した配信運用**

購読解除アドレスはサイトごとに蓄積され、配信対象の除外もサイト単位で行われます。

他環境(他サービス、他サイトID)から同じFromアドレスでメール配信を行う場合は、蓄積された購読解除アドレスを定期的にエクスポートし、他サービス・他サイト用のメールアドレスリストからも除外して購読解除を行ってください。

**参考****From アドレス運用のベストプラクティス**

本サービスでは、ワンクリック購読解除した受信者のメールアドレスは From アドレス単位で蓄積され、配信除外も From アドレス単位で行われます。

複数の From アドレスで広告メールを配信している場合、受信者からのある 1 つの From アドレスに対する購読解除リクエストは該当 From アドレスのみが対象で、他の From アドレスからのメールは配信が継続されます。

受信者から見た場合、貴社からのメールを購読解除したはずなのに止まっていないと見える可能性があり、心証を損ねたり迷惑メールボタンを押されたりするリスクが考えられます。

参考として、Google 社 Gmail「メール送信者ガイドライン」の「送信に関するおすすめの方法」に準じた From アドレスの運用をご検討ください。

▼Google 社 Gmail「メール送信者ガイドライン」
<https://support.google.com/mail/answer/81126>

**参考****自動除外対象アドレスの会員データへの反映**

本サービスでは、ワンクリック購読解除した受信者のメールアドレスは From アドレス単位で自動的に配信除外することが可能です。

ただし、受信者の方は当該メールの購読解除の意思表示を行ったので、この自動除外機能を利用するのではなく、お客様が管理するメール会員データから除外されるのが本来の形です。

購読解除アドレスを会員データに反映(除外)する運用をご検討ください。

5-17-3 購読解除アドレスの管理

受信者によりワンクリック購読解除されたアドレス情報を管理する機能です。

購読解除アドレスの一覧参照・検索・削除・ダウンロードが可能です。

機能詳細は「[7-14 購読解除アドレス管理 \(189 ページ\)](#)」をご参照ください。

手順は『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「3-10 購読解除アドレスを管理する」』をご参照ください。

5-17-4 独自購読解除 URL へのパラメータ差込



注意

本機能は、お客様独自の購読解除 URL をお持ちで、すでに「登録解除先(List-Unsubscribe)」を利用した購読解除の仕組みを運用中または運用予定のお客様向けです

- 本サービスの機能(上記「ワンクリック購読解除用ヘッダ情報」「ワンクリック購読解除した対象者の自動除外」「購読解除情報管理」)を使わずに、お客様独自の購読解除 URL や配信除外の仕組みを利用します。
- お客様独自の購読解除 URL へのアクセスによる購読解除アドレスの管理及び配信対象からの除外は、お客様にてご運用頂く必要があります。

独自購読解除 URL へのパラメータ差込によるワンクリック購読解除の全体イメージ

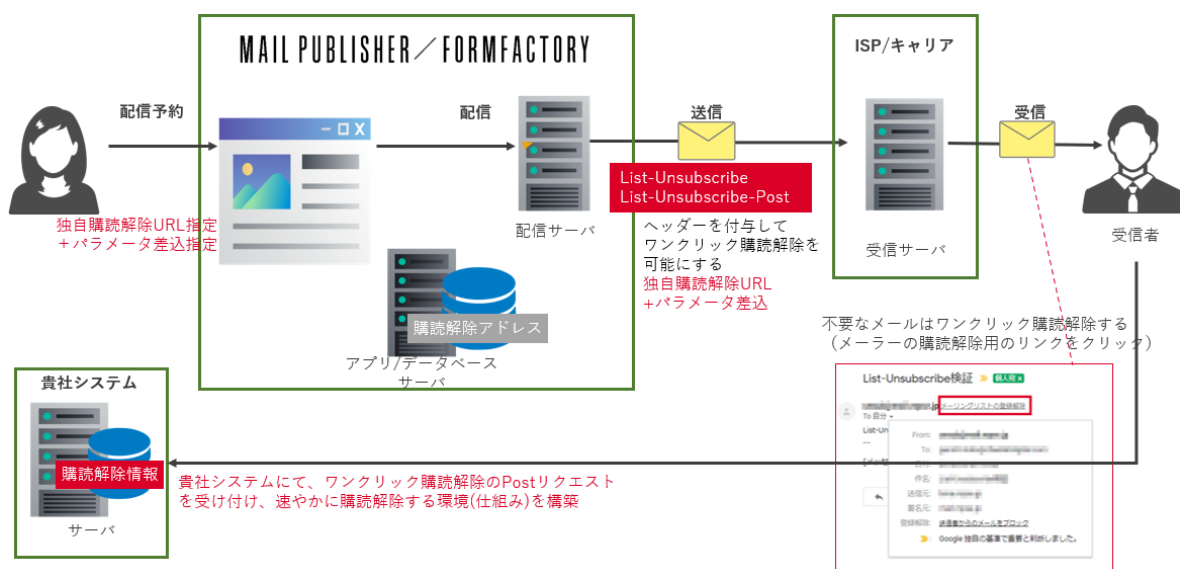


図 5-21

◆ 独自購読解除 URL へのパラメータ差込

List-Unsubscribe に指定した独自の購読解除 URL に、会員データの項目をパラメータとして差し込むことができます。

これにより、お客様指定の URL にパラメータを含む購読解除情報を連携することができます。

<実施に必要な設定>

下記のすべての設定が必要です。

- メール作成時に List-Unsubscribe 欄に独自の購読解除 URL を指定し、その URL には会員データから任意の項目のパラメータ差し込み文字列（「%%xxxxx%%」形式）を含める。
例：https://example.com/unsubscribe?id=%%c_member_id%%
 - 購読解除 URL は 512 文字まで
 - パラメータ差込文字列が複数、または会員データ項目以外が指定された場合はエラー
- 「ワンクリック購読解除を自動設定する」にて配信

5-18 フィードバックループ(FBL)

5-18-1 フィードバックループ(FBL)とは

フィードバックループ（以下「FBL」）は、受信者からのクレームが多い（迷惑メールとみなされている）メール配信を特定することができる仕組みです。

Google 社 Gmail よりメール送信者に対して FBL の利用がアナウンスされています。

参考：Google 社 Gmail ヘルプ「フィードバックループ」
<https://support.google.com/a/answer/6254652?hl=ja>

本サービスでは、配信するメールにこの Gmail の FBL を利用するために必要な「Feedback-ID」ヘッダを付加しています。STARTTLS（スタートティーエルエス）により、メールセキュリティレベルが強化されます。

これにより、本サービスから配信したメールについて、Google 社 Gmail の「Postmaster Tools」>「FBL ダッシュボード」に情報が反映され、受信者による迷惑メール判定状況を把握することができます。



参考

Postmaster Tools とは

Google 社が提供する分析ツールで、メール送信者がメールのパフォーマンスを分析し、メールが迷惑メール扱いされることを防ぐのに役立ちます。配信エラー、スパムレポート、フィードバックループなど、メールに関するデータや診断情報が参照可能です。

参考：Google 社 Gmail ヘルプ「Postmaster Tools で送信メールを監視する」

https://support.google.com/a/topic/6259779?hl=ja&ref_topic=7279058&sjid=17597024325641718733-AP

5-18-2 Postmaster Tools「FBL ダッシュボード」利用イメージ

Postmaster Tools の「FBL ダッシュボード」で平均迷惑メール率をチェックし、高いものについては配信ツールやキャンペーン等を絞り込み、原因の特定とガイドラインに沿った改善を実施します。

参考：Google 社 Gmail ヘルプ

「フィードバック ループ」

<https://support.google.com/a/answer/6254652?hl=ja>

「メール送信者のガイドライン」

<https://support.google.com/a/answer/81126?sjid=3249359334686398357-AP>

◆ 本サービスでの「FBL ダッシュボード」利用イメージ

▼ケース1. 本サービス以外のメール配信ツールを併用している場合

1. 平均迷惑メール率が高いデータの識別子から配信ツールを特定する。
(例：MailPublisher Mobile Edition 共用環境の場合
「:2024100000.843ec30:site_id_mpme.jp:epmpme」の太字箇所が配信ツールが MailPublisher Mobile Edition であると判別可能)
2. 本サービスの配信であることがわかったら、掘り下げて、特定のサイトまたは一部のメールのみで迷惑メール率を引き上げていないか確認する。
→ケース2、ケース3へ

▼ケース2. 本サービスでメール配信し、複数サイトご利用の場合

1. 平均迷惑メール率が高いデータの識別子から配信サイトを特定する。
(例：MailPublisher Mobile Edition 共用環境の場合
「:2024100000.843ec30:site_id_ mpme.jp:epmpme」の太字箇所がサイト ID が判別可能)
2. 掘り下げて、該当サイトの一部の配信メールのみが迷惑メール率を引き上げていないか確認する。
→ケース3へ

※特定の記事を示す識別子が表示されない場合は、記事単位の配信ボリューム自体が少ないか、該当サイトの配信全体として迷惑メールと判断されているケースが多いと考えられる。

▼ケース3. 本サービスの1サイトのみでメール配信している場合

1. 平均迷惑メール率が高いデータの識別子から配信メールを特定する。
(例：MailPublisher Mobile Edition 共用環境の場合
「:2024100000.843ec30:site_id_ mpme.jp:epmpme」の太字箇所が記事 ID が判別可能)
2. その他の配信メールとの差異が迷惑メールと判断されやすいと考えられるため、コンテンツの内容や配信タイミング等の見直しを図る。

5-19 メールセキュリティ

5-19-1 STARTTLS

STARTTLS（スタートティーエルエス）により、メールセキュリティレベルが強化されます。

◆ STARTTLS(スタートティーエルエス)とは

メール送信における STARTTLS とは、主に送信メールサーバーから受信メールサーバーまでの通信を暗号化（SSL/TLS 暗号化）する通信方式です。

通信の暗号化のためには、送信側・受信側とも STARTTLS に対応している必要があります。

現在、Gmail や iCloud メールなどのメールサービスが STARTTLS に対応しています。

送信側である MailPublisher/FormFactory が STARTTLS に対応することで、STARTTLS に対応しているメールサービスとの通信が暗号化されることになります。

◆ STARTTLS のメリット

- メールセキュリティレベルの強化
メールの内容にはお客様の名前、購入商品といった個人情報が含まれておりますが、通信内容を暗号化することによって通信経路上での窃視・改竄からそれらを保護します。
- 警告が表示されない
Google 社が提供する Gmail では、暗号化されていないメールに警告メッセージが表示されますが、STARTTLS 適用により警告が表示されなくなります。

◆ STARTTLS の対応状況

STARTTLS に対応している主な受信側メールサービスは以下のとおりです。

MailPublisher/FormFactory からこれらのメールサービスに配信するメールは暗号化されています。

- gmail.com
- icloud.com
- hotmail.com
- hotmail.co.jp
- me.com
- outlook.jp
- 他



注意

STARTTLS 対応状況

- MailPublisher/FormFactory からの一部のメールサービス・ドメイン宛の配信は、STARTTLS 未対応です。配信状況や受信側メールサービスの対応状況に応じて対応していきます。
- MailPublisher/FormFactory からの G Suite の企業ドメイン宛の配信は、STARTTLS 未対応のため、Gmail のメールアプリで受信しても暗号化されていません。

6

テンプレート

6-1 テンプレートとは

テンプレートとは、定型の文章やタイトルを登録しておく機能です。登録したテンプレートを組み合わせるだけで、簡単にメールを作成できます。

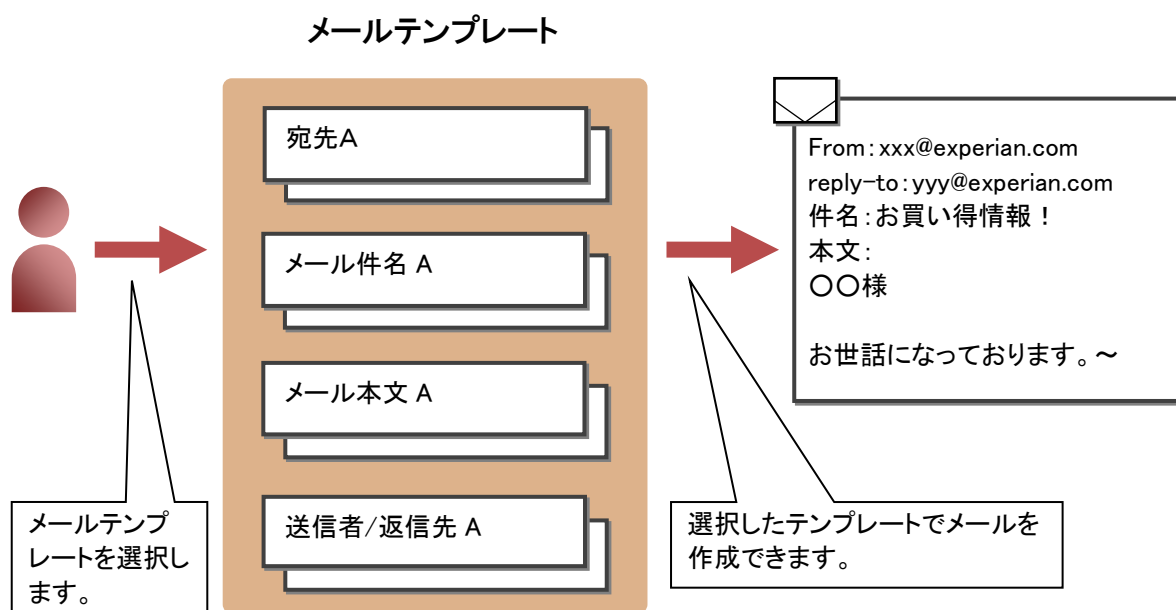


図 6-1

6-2 テンプレートの種類

テンプレートには以下のものがあります。テンプレートの作成・修正手順について詳細は、『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-8 テンプレートを登録する」』をご参照ください。

6-2-1 宛先

テンプレートとして利用する宛先を管理します。よく使用するメール種別、キャリア、ドメインを宛先情報として登録します。

メール作成時に呼び出すテンプレートの登録・編集と、新規メール作成時の初期表示の設定が、メール種別ごとに設定できます。

メール種別ごとに登録した宛先は、各種メール作成時に、宛先テンプレートとして呼び出して使用することができます。

宛先テンプレートを、管理するグループ層やチャンネル層と共有する場合には、「下位層に対し参照を許す」のチェックボックスにチェックを付けます。各管理区分で変えたい場合には、それぞれのグループ層やチャンネル層でテンプレートを設定します。

「新規メール作成時の初期表示」は、サイト共通で、新規メール作成画面を開いた際に反映されます。



参考

「新規メール作成時の初期表示」と下書きメール「宛先」欄のロック

標準機能では、下書きメールの「宛先」欄は常時編集可能です。

オプション「下書きメール「宛先」欄ロック」を利用して頂くことで、下書き編集時に宛先欄がロックされた状態になります。画面上のボタン押下によりロック解除も可能です。これにより誤操作を防止することができます。

宛先テンプレートの「新規メール作成時の初期表示」とオプション「下書きメール「宛先」欄ロック」を併用することで、誤設定や誤操作の防止効果が上がります。



注意

「新規メール作成時の初期表示」を設定できるのは、サイト管理者のみです。

グループフォルダ管理者・グループ管理者・チャンネル管理者では「新規メール作成時の初期表示」の設定はできません。(画面が表示されません)

表 6-1

メール種別	キャリア	ドメイン
TEXT メール	PC	PC ドメイン - PC 端末(含める/含めない) - スマートフォン端末(含める/含めない) iPhone(i.softbank.jp) - PC に含める/携帯に含める
	携帯ドメイン	携帯ドメイン - フィーチャーフォン(含める/含めない) - 画像読み込み型スマートフォン(含める/含めない) - 画像添付型スマートフォン(含める/含めない) iPhone(i.softbank.jp) - PC に含める/携帯に含める
HTML メール	PC	PC ドメイン - PC 端末(含める/含めない) - スマートフォン端末(含める/含めない) 携帯ドメイン - 画像読み込み型スマートフォン(含める/含めない) iPhone(i.softbank.jp) - 含める/含めない
携帯メール	絵文字配信 - docomo - au - SoftBank(Disney 含む)	携帯ドメイン - フィーチャーフォン(含める/含めない) - 画像読み込み型スマートフォン(含める/含めない) - 画像添付型スマートフォン(含める/含めない) iPhone(i.softbank.jp) - PC に含める/携帯に含める
	絵文字無し配信 - docomo - au - SoftBank(Disney 含む) - au 絵文字非対応 - 携帯以外モバイル(PHS 等) - PC	PC ドメイン(※) - PC 端末(含める/含めない) - スマートフォン端末(含める/含めない) 携帯ドメイン - フィーチャーフォン(含める/含めない) - 画像読み込み型スマートフォン(含める/含めない) - 画像添付型スマートフォン(含める/含めない) iPhone(i.softbank.jp) - PC に含める/Softbank に含める
デコメール	docomo au SoftBank(Disney 含む)	携帯ドメイン - フィーチャーフォン(含める/含めない) - 画像読み込み型スマートフォン(含める/含めない) - 画像添付型スマートフォン(含める/含めない) iPhone(i.softbank.jp) - Softbank に含める/Softbank に含めない

(※) PC ドメインはキャリアで PC を選択したときのみ有効になります。

6-2-2 本文

 重要

定期的な整理と削除のお願い

下書きメール・本文テンプレート・画像テンプレートの登録数上限はありませんが、登録数が増えると管理が煩雑になり、多すぎるとシステム負荷により画面表示ができなくなるなどのリスクがあります。

定期的に整理を行い、不要なものは削除して頂くようお願いいたします。

システムの高負荷を検知した場合、ご登録の連絡先宛に削除を促すメールが届きますので、必ずご対応ください。

配信するメール本文のテンプレートです。よく使用するメール本文を定型化して登録します。メール本文のテンプレートは、配信する内容を目的別やキャリアごとに分ける場合に使用します。

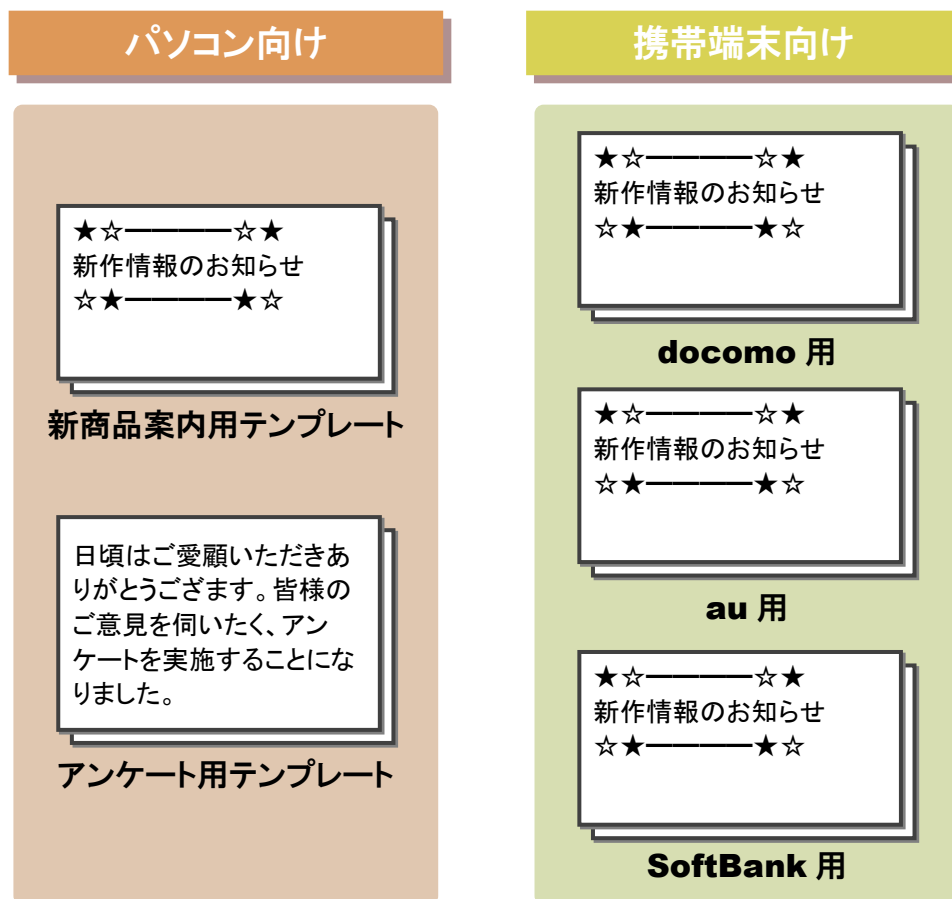


図 6-2

◆ 絵文字について

テンプレート作成時、[キャリア] で絵文字対応のキャリアを選択すると、メール本文のテンプレートに絵文字を入力することができます。メール本文のテンプレートに絵文字を入力したあと、[キャリア] を変更すると、本文に入力された絵文字はクリアされます。

また、作成したテンプレートは、メール作成時にほかのキャリアを選択した場合、使用できません。

使用できる絵文字については、『MailPublisher Mobile Edition 資料集「絵文字参照表記一覧」』をご参照ください。

6-2-3 送信者／返信先

メールの差出人とする送信者（FROM）と返信先（REPLY-TO）のテンプレートです。メール作成時の送信者と返信先は、テンプレートに設定しているメールアドレスを指定する必要があります。

送信者（FROM）と返信先（REPLY-TO）についての詳細は、「[5-3 送信者アドレスと返信先アドレス（77 ページ）](#)」をご参照ください。

送信者/返信先テンプレートで、[表示先] に「送信者（From）」を指定したメールアドレスが 1 件の場合、メール作成画面の「送信者(From)」欄に自動的に設定されます。2 件以上の場合、メール作成画面の「送信者(From)」欄で選択できるようになります。

また、返信先（Reply-To）も同様で、[表示先] に「返信先（Reply-To）」を指定したメールアドレスが 1 件の場合、メール作成画面の「返信先（Reply-To）」欄に自動的に設定されます。2 件以上の場合、メール作成画面の「返信先（Reply-To）」欄で選択できるようになります。

管理するグループ層やチャンネル層と送信者/返信先のメールアドレスを共有とする場合には、メールアドレスを 1 つのみ設定し、「下位層に参照を許す」のチェックボックスにチェックを付けます。各管理区分で変えたい場合には、それぞれのグループ層やチャンネル層でテンプレートを設定します。

◆ 送信者/返信先テンプレートの「表示先」指定

送信者/返信先テンプレートでは、メールアドレスの「表示先」を以下の中から選択することができます。

- 送信者(From)・・・メール作成画面で[送信者(From)] 欄に表示されます。複数ある場合はプルダウンリストから選択できるようになります。
- 返信先(Reply-To)・・・メール作成画面で[返信先(Reply-To)] 欄に表示されます。複数ある場合はプルダウンリストから選択できるようになります。
- 両方に表示する・・・メール作成画面で[送信者(From)] 欄・[返信先(Reply-To)] 欄の両方に表示されます。複数ある場合はプルダウンリストから選択できるようになります。
- 両方に表示しない・・・メール作成画面に表示しません。例えば、利用しなくなったメールアドレスに設定することで、メール作成画面での誤選択を回避できます。

◆ 使用できるドメインについて

申請されたドメイン以外のドメインは、「送信者/返信先」に登録できません。これは、申請されたドメインのみ設定を許可することにより、迷惑メールとなることを避けるためです。

使用するドメインを追加・変更・削除する場合は、変更届による申請が必要となります。

6-2-4 件名

配信するメールの件名のテンプレートです。よく使用する件名を登録します。件名のテンプレートは、配信する件名を、目的別やキャリアごとに分ける場合に使用します。

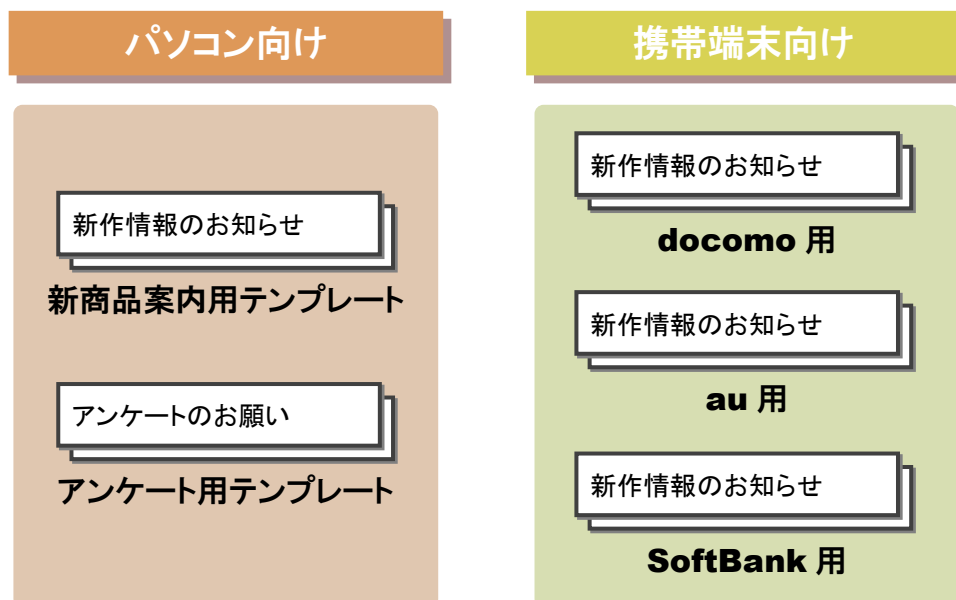


図 6-3

◆ 絵文字について

テンプレート作成時、[キャリア] で絵文字対応のキャリアを選択すると、件名に絵文字を入力することができます。件名のテンプレートに絵文字を入力したあと、[キャリア] を変更すると、件名に入力された絵文字はクリアされます。

また、作成したテンプレートは、メール作成時にほかのキャリアを選択した場合、使用できません。

使用できる絵文字については、『MailPublisher Mobile Edition 資料集「絵文字参照表記一覧」』をご参照ください。

◆ 件名に設定できる文字数について

件名のテンプレートで設定できる文字数は、制限されていません。しかし、長い件名のテンプレートを携帯端末向けに使用すると、配信予約操作のときにエラーとなる場合があります。

また、件名のテンプレートに差し込み文字列を使用する場合、内容によっては各キャリアの上限値を超えてしまう場合があります。各携帯キャリアで送信できる件名の最大文字数は以下のとおりです。

- docomo：半角 30 文字以内
- au：半角 100 文字以内
- SoftBank（Disney 含む）：半角 40 文字以内

6-2-5 デコメール画像

 重要**定期的な整理と削除のお願い**

下書きメール・本文テンプレート・画像テンプレートの登録数上限はありませんが、登録数が増えると管理が煩雑になり、多すぎるとシステム負荷により画面表示ができなくなるなどのリスクがあります。

定期的に整理を行い、不要なものは削除して頂くようお願いいたします。

システムの高負荷を検知した場合、ご登録の連絡先宛に削除を促すメールが届きますので、必ずご対応ください。

デコメールを配信するときに使用するデコメールの画像を登録できます。

◆ 登録できる画像サイズについて

登録できる画像のファイルサイズは90キロバイトまでです。登録できるファイル形式は、以下のとおりです。

- JPEG（プログレッシブ JPEG 画像、JPEG 2000 画像を除く）
- GIF（アニメーション GIF を含む）
- SWF（SWC 形式は使用できません。またキャリア・機種ごとに対応状況が異なるため、Flash Lite 3.0 の使用をお勧めします。）

◆ デコメールの使用について

デコメールは、バージョンによってインライン画像の最大数と、使用できる最大ファイルサイズが異なります。

表 6-2

バージョン	インライン画像の最大数	最大ファイルサイズ
Version1.0	10 個	10,000 バイト
Version2.0	10 個	10,000 バイト
Version3.0	20 個	100 キロバイト
Version4.0	20 個	100 キロバイト



参考

上記は、docomo デコメールの仕様です。詳細は以下 URL をご参考ください。

- docomo デコメールについて
https://www.nttdocomo.co.jp/service/developer/make/content/deco_mail/
- au のデコレーションメールや SoftBank のデコレメールの仕様については、以下の URL を参考にしてください。
- au のデコレーションメールについて
<http://www.au.kddi.com/ezfactory/tec/spec/decorations/soujushin.html>
- SoftBank のデコレメールについて
http://creation.mb.softbank.jp/mc/tech/tech_mail/mail_decore.html

6-2-6 クリックカウント URL

よく使用するクリックカウント URL を登録できます。クリックカウントについては、「[5-6 クリックカウント（83 ページ）](#)」をご参照ください。

◆ デコメールに挿入した場合

クリックカウント URL をデコメールに挿入した場合、HTML パートのメール本文に表示されるリンク文字列は、テンプレート作成時に [タイトル] で設定した文字列になります。

たとえば、タイトルに「URL1」と設定した場合、携帯（旧通常）メールとデコメールでの表示の違いは以下のとおりです。

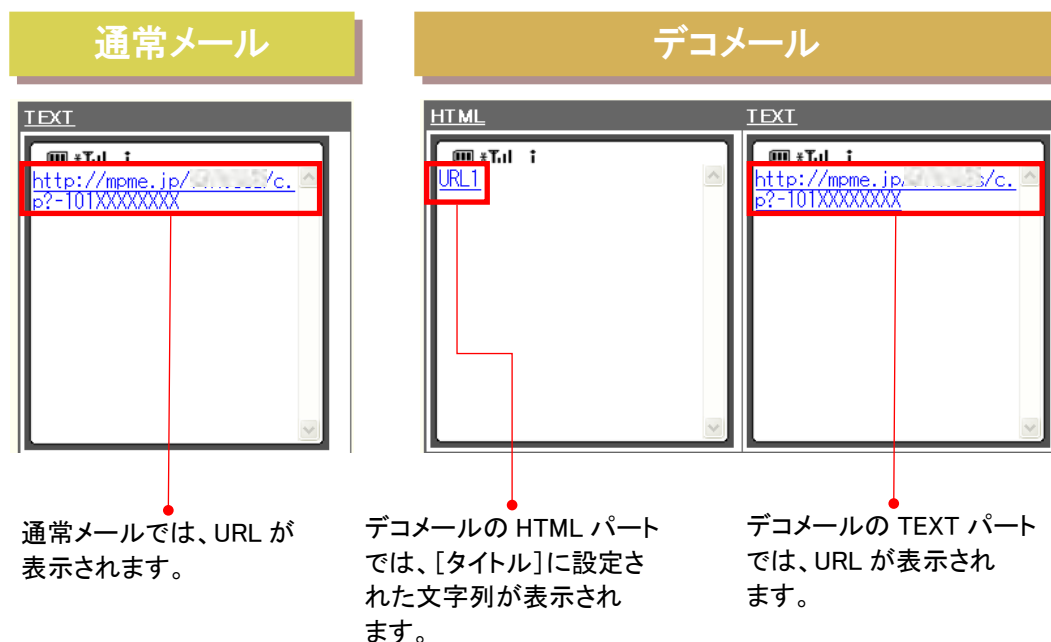


図 6-4

6-2-7 テスト送信アドレス

よく利用するテスト送信アドレスをテンプレートに登録します。会員にメールを配信する前にテスト送信を行うことにより、実際に表示されるメールの内容を確認できます。



参考

1 つのテスト送信宛先に、最大 30 個までメールアドレスを登録することができます。

6-2-8 会員検索/抽出条件

よく利用する会員検索の抽出条件をテンプレートに登録します。以下のような場合に、会員検索/抽出条件のテンプレートを使用できます。

- メール作成の配信設定
- 差し込みプレビューの配信設定
- 書き出し
- 検索・修正

配信対象については、「[5-5 メールの配信対象（82 ページ）](#)」をご参照ください。

6-2-9 配信解除表示

特定電子メールの送信の適正化などに関する法律（特定電子メール法）にもとづいた、メールマガジンの配信解除先の記載など、メール本文に必要な記載を登録できます。登録された内容は、メールを作成するときに、メール本文に自動的に挿入されます。

特定電子メール法で規定されている、記載すべき代表的な項目に、以下のようなものがあります。

- 送信者の氏名または名称
- 受信拒否の通知を受け取るための送信者の電子メールアドレスなど
- そのほか総務省令で定める事項



参考

弊社では「個人情報の取扱い指針」や、特電法を考慮した適正な運用のための「メール配信ガイドライン」などもご用意しております。ログイン後の画面でダウンロードしていただくか、サポート窓口までお問い合わせください。

◆ 配信解除表示のテンプレートを削除するには

本文欄の中身を空にして、[適用] をクリックします。

6-2-10 登録解除先(List-Unsubscribe ヘッダ)

よく利用する登録解除先をテンプレートに登録します。

◆ 登録解除先(List-Unsubscribe ヘッダ)とは

メール送信者が受信者に配信解除方法を知らせるためのものです。

Gmail 等の ISP で、このヘッダに配信解除方法（メールアドレスや URL）を明記してメールに付加することが推奨されており、これを実施することで配信到達率の向上が見込めます。

近年、配信到達性を向上させるために ISP の配信ガイドラインに準拠する必要性が高まっています。



参考

Google 社の Gmail「メール送信者ガイドライン」では、メール送信者が遵守すべき要件のひとつとして「ワンクリックでの購読解除」が挙げられており、List-Unsubscribe ヘッダへの購読解除 URL の設定と List-Unsubscribe-Post ヘッダの付与が求められています。

▼Google 社 Gmail「メール送信者ガイドライン」

<https://support.google.com/mail/answer/81126>

詳細は「[5-17 ワンクリック購読解除（131 ページ）](#)」をご参照ください。

本システムでは、メール作成時に「登録解除先」として付加することができます。

詳細は『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-2-2 TEXT メールを作成する」』をご参照ください。



参考

メールアドレスや URL にパラメータを付加した場合、そのままヘッダに反映されますが、受信後の挙動は受信 ISP やキャリアの仕様に準じますので、意図したとおりに動作しない可能性があります。

◆ 登録解除先(List-Unsubscribe ヘッダ)の形式

- メールアドレスの場合
List-Unsubscribe: <mailto:{メールアドレス}>
- URL の場合
List-Unsubscribe: <{URL}>

◆ 登録解除先(List-Unsubscribe ヘッダ)を付加した場合の挙動

登録解除先(List-Unsubscribe ヘッダ)を設定してメールを配信した場合、受信側のメーラー上に、ワンクリックで配信解除を行うことができるボタンやリンクが表示される等の挙動が確認されています。

受信後の挙動は、ISPやキャリアの仕様に準じますので、詳しくは、各社の List-unsubscribe 機能や配信解除表示等の案内をご参照ください。

◆ ワンクリック購読解除のための登録解除先(List-Unsubscribe ヘッダ)の自動設定

ワンクリック購読解除を行うには「List-Unsubscribe」「List-Unsubscribe-Post」の2つのヘッダの設定が必要です。

本システムでは、設定が不足している記事に対して必要なヘッダを自動設定することができます。

この自動設定機能を利用することにより、メールにワンクリック購読解除に必要な「List-Unsubscribe」「List-Unsubscribe-Post」ヘッダが付与され、メール受信者はワンクリックでの購読解除が可能になります。

機能の詳細は「[5-17 ワンクリック購読解除（131 ページ）](#)」をご参照ください。

6-2-11 配信通知設定

配信通知を受け取りたいメールアドレスをテンプレート登録します。

担当者など任意のメールアドレスを登録することで、配信開始の通知をメールで受け取ることができます。メールアドレスは最大 30 件まで登録することができます。

詳細は『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2-8-10 配信通知設定をテンプレートに登録する」』をご参照ください。

◆ 配信開始の通知メール



図 6-5

送信者 (From) : notice@mpub.jp

件名: 配信を開始しました[サイト ID: ****][記事 ID: 20*****]

本文: 配信を開始しました

サイト ID：****
記事 ID：20*****
件名：*****
配信予約日時：yyyy/mm/dd hh:mm:ss
配信開始日時：yyyy/mm/dd hh:mm:ss

**注意****配信開始通知メールの変更**

配信開始の通知メールはシステム側で自動作成した内容になります。お客様側で変更することはできません。

また、送信専用アドレスから配信されているため、ご返信を頂いても回答できません。

**重要****配信開始通知メールの送信者(From)アドレス**

配信開始通知メールの送信者(From)アドレスは、「notice@mpub.jp」となります。予め受信可能なアドレスとして登録を行ってください。

7

会員管理

7-1 会員データの活用方法

CSV ファイルを使って、サイトやチャネルの一括登録や更新を行ったり、本システムに登録されている会員データを書き出したりできます。

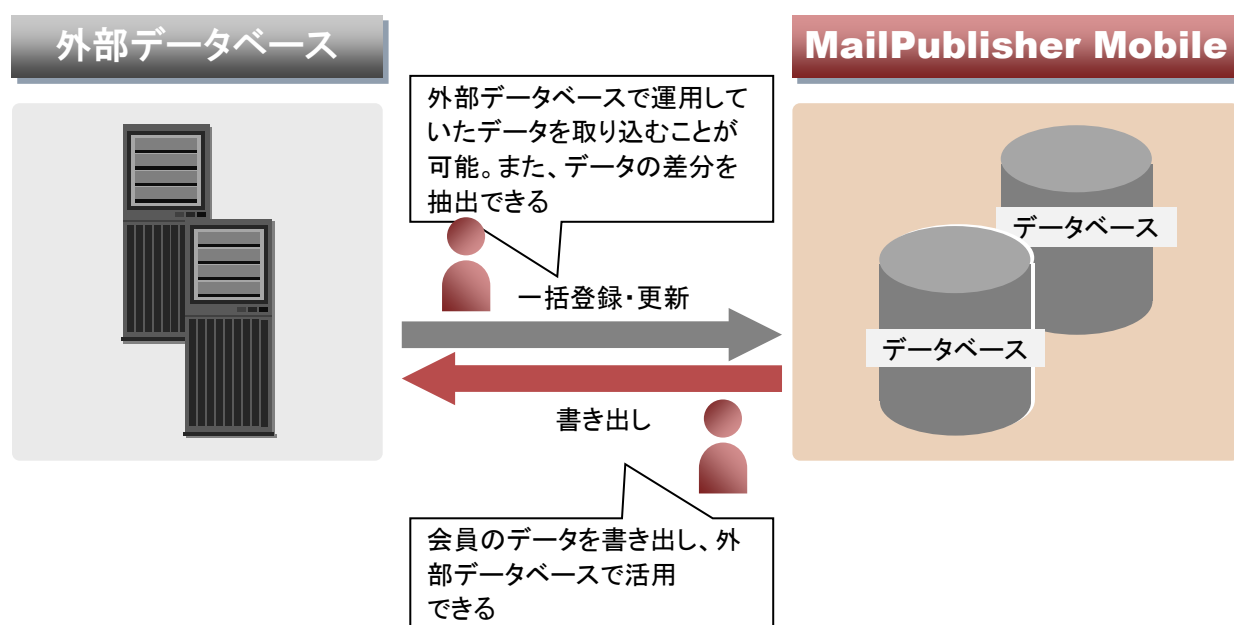


図 7-1

本システムを使用することで、以下のような運用が可能となります。

- 外部データベースで管理している会員データを、本システムのデータベースに取り込み可能
- 本システムで蓄積した会員データを書き出して、外部データベースで活用可能

一括登録・更新の詳細は、「[7-2 サイト一括更新/複数チャネルの一括登録（154 ページ）](#)」「[7-3 チャネル一括登録・更新（162 ページ）](#)」、書き出しの詳細は、「[7-4 書き出し（169 ページ）](#)」をご参照ください。

7-2 サイト一括更新/複数チャネルの一括登録

7-2-1 サイト一括更新/複数チャネルの一括登録の概要

本システムのサイト層から、サイトやチャネルに登録されている会員データを、所定の CSV ファイルを使用して一括で更新、および新規登録できます。

サイト層から一括登録・更新を行うには、以下の 2 種類の方法があります。

- サイト一括更新**
 サイト層が管理する会員データの更新を行います。チャネルごとに管理している会員データは更新されません。
 登録されていないメールアドレスはエラー扱いとなり、新規会員の追加登録はできません。新たに登録したい場合は、会員が所属しているチャネルに対して、チャネル一括登録・更新を行ってください。会員の登録メールアドレスを更新・変更したい場合には、検索・更新メニューを利用してください。
- 複数チャネルの一括登録**
 サイト層が管理するチャネルの会員データを登録、更新します。

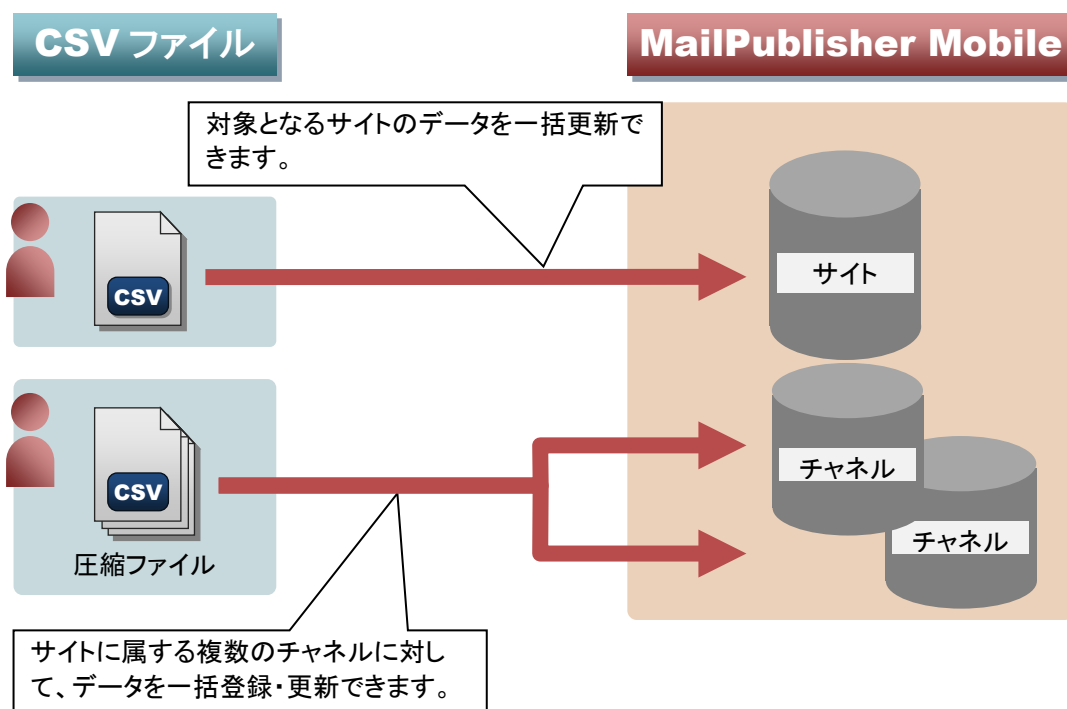


図 7-2

7-2-2 サイト層からの一括登録・更新時に登録・更新されるデータ

サイト層からの一括登録・更新では、メールアドレスを利用してデータの照合を行い、データの新規登録や更新をします。データを一括登録・更新するサイト、またはチャネルを選択し、そのサイトやチャ

ネルに登録されている会員の属性項目データの更新、およびそのチャンネルへの新規登録を一括して実行します。

CSV ファイルを使ってサイト層から一括登録・更新をすると、以下のようになります。

- 「サイト一括更新」の場合、登録されていないメールアドレスはエラー扱いとなり、新規会員の追加登録はできません。
- 「複数チャンネル一括登録」の場合、チャンネルに登録されていないメールアドレスは、新規登録されます。
- 属性値が記載されており、該当の属性項目がある場合は更新されます。
- 属性値が空欄の箇所は、無視されます。



参考

既存の項目の内容をクリアする方法

既存の属性項目の内容をクリアするには、属性値を記載して値を空でインポートします。ただし、スマートフォン種別のみ、値を空でインポートしても既存の値が残ります。スマートフォン種別の内容をクリアするには、値を“0”にしてインポートしてください。



参考

スマートフォン種別の自動設定

本システムでは、「docomo」「au」「SoftBank」「PC」のメールアドレスの場合、登録時・登録情報変更時に、登録に利用した端末（ユーザーエージェント）からスマートフォンかどうかを自動的に判別し、スマートフォン種別を設定します。

ただし、SoftBank 版 iPhone (i.softbank.jp) は除きます（スマートフォン種別は設定されません）。

◆ サイト層からの一括登録・更新時の制約条件のチェック

サイト層からの一括登録・更新時の制約条件のチェックは、以下のようになります。

表 7-1

取り込み方法	チェック条件
サイトの一括更新	• 数値型や日付型のフィールドに対して、テキストのデータが指定されている場合は、更新時にエラーとなります。 • 必須・最大文字数・英数字のみ・ユニーク制約といったフィールドに対し、設定されている制約条件はチェックしません。そのため、誤ったデータが登録されていても、そのまま更新されます。登録前に、必ず CSV ファイルの内容を確認してください。
複数チャンネル一括登録	• 数値型や日付型の項目に対して、テキストのデータが指定されている場合は、一括登録・更新時にエラーとなります。 • チャンネルに必須入力・必須選択の属性項目が設定されており、CSV ファイルの該当項目に値が定義されていない場合、エラーとなります。 • 最大文字数・英数字のみの制約条件はチェックします。

取り込み方法	チェック条件
	- ユニーク制約といった項目に対し、設定されている制約条件はチェックしません。 - CSV ファイルに設定されたチャンネルが、対象サイトに存在しない場合、エラーとなります。 - 複数回答チャンネルの場合、回答済みの会員が存在する場合は、既存の会員情報が上書き更新されます。

7-2-3 サイト層からの一括登録・更新用のファイル形式

サイト層からの一括登録・更新を行うには、登録・更新するためのメールアドレスと、そのメールアドレスの利用者が持つ属性値を記載した CSV ファイルを用意します。一括登録・更新対象のサイトやチャンネルから、事前に書き出した CSV ファイルを使用することをお勧めします。複数チャンネルに対して一括で登録する場合は、対象のチャンネル情報（チャンネル ID）の項目も CSV ファイルに記載します。

用意する一括登録・更新用ファイルは、登録・更新の方法によって異なります。

◆ サイトの一括更新をする場合

移行するデータを CSV 形式のファイルで用意します。アップロードする CSV ファイルは、以下のようになっている必要があります。

表 7-2

項目	内容
文字コード	Windows Shift_JIS（シフト JIS）
ファイルサイズ	10 メガバイト以内
1 行目の表記	項目ラベルを記載します。項目ラベルは、チャンネルの属性項目に該当します。書き出し機能によって作成された CSV ファイルの 1 行目の表記に準じた項目ラベルを記載してください。 - email：メールアドレスの項目ラベル名（必須） - create_date：サイト層への登録日の項目ラベル名 - update_date：サイト層への更新日の項目ラベル名 - flag：配信状態フラグの項目ラベル名 - s_xxx：属性値の項目ラベル名（「xxx」には、チャンネル作成時に定義されたフィールド ID を記載してください。フィールド ID が「name」の場合、「s_name」と記載します。） - user_agent：ユーザーエージェント（任意） - smart_phone_type：スマートフォン種別（任意）
2 行目以降の表記	項目ラベルに対応したデータを記載してください。 データは、登録または更新が必要な箇所のみ記載してください。必要のない箇所は、空欄としてください。 また、指定項目は以下のように記載してください。 - email：「ユーザー部」@「ドメイン部」 - flag：OK または NG - create_date：YYYY/MM/DD hh:mm:ss

項目	内容
	• update_date : YYYY/MM/DD hh:mm:ss • その他属性値 : 属性値に合わせた記載 • user_agent : ユーザーエージェントの文字列 • smart_phone_type : "0", "1", "2", "3"

◆ 複数のチャンネルを一括登録する場合

各チャンネルに該当する CSV ファイルを作成し、1 つに圧縮したファイルを用意します。使用できる圧縮形式は、「zip」、「tar.gz」です。

各チャンネルに対応した CSV ファイルは、以下のように作成されている必要があります。

表 7-3

項目	内容
文字コード	Windows Shift_JIS (シフト JIS)
ファイルサイズ	10 メガバイト以内
1 行目のヘッダサイズ	10 キロバイト (10,240 バイト) 以内
1 行目の表記	項目ラベルを記載します。項目ラベルは、チャンネルの属性項目に該当します。項目ラベルは、「channel」、「email」、「その他属性値」の順で記載してください。また、空の項目は作成しないでください。 チャンネルに定義されていない属性項目は無視されます。 書き出し機能によって作成された CSV ファイルの 1 行目の表記に準じた項目ラベルを記載してください。 • channel : チャンネル ID (必須) • email : メールアドレスの項目ラベル名 (必須) • create_date : チャンネルの登録日の項目ラベル名 • update_date : チャンネルの更新日の項目ラベル名 • flag : 配信状態フラグの項目ラベル名 • s_xxx : サイト定義属性値の項目ラベル名 (「xxx」には、チャンネル作成時に定義された項目 ID を記載してください。項目 ID が「name」の場合、「s_name」と記載します。) • c_xxx : チャンネル属性値の項目ラベル名 (「xxx」には、チャンネル作成時に定義された項目 ID を記載してください。項目 ID が「name」の場合、「c_name」と記載します。) • user_agent : ユーザーエージェント (任意) • smart_phone_type : スマートフォン種別 (任意)
2 行目以降の表記	項目ラベルに対応したデータを記載してください。 データは、登録または更新が必要な箇所のみ記載してください。必要のない箇所は、空欄としてください。 チャンネルに定義されている属性項目に対して、CSV ファイルにデータの入力がない場合、チャンネルには空の値が登録されます。 また、指定項目は以下のように記載してください。

項目	内容
	- form：チャンネル ID - email：「ユーザー部」@「ドメイン部」 - flag：OK または NG - create_date：YYYY/MM/DD hh:mm:ss - update_date：YYYY/MM/DD hh:mm:ss - その他属性値：属性値に合わせた記載 - user_agent：ユーザーエージェントの文字列 - smart_phone_type："0","1","2","3"



参考

ユーザーエージェントとスマートフォン種別について

■スマートフォンを自動判別させる場合はユーザーエージェントを設定

本システムでは、メールアドレスのドメイン部とユーザーエージェントからスマートフォン種別を自動判別するため、CSV ファイルに“user_agent”を設定してください。

- 自動判別の結果は、会員検索や書き出しで確認できます。（「[7-5 データの検索・修正（174 ページ）](#)」または「[7-4 書き出し（169 ページ）](#)」）

■スマートフォンを判別済みの場合はスマートフォン種別を設定

既にスマートフォンが判別できている場合は、直接スマートフォン種別“smart_phone_type”を設定します。

CSV ファイルにスマートフォン種別“smart_phone_type”が含まれる場合、同項目に指定されている値が優先され、ユーザーエージェント“user_agent”が設定されていても無視されます。



参考

メールアドレスとスマートフォン種別の組合せ

- メールアドレスのドメインと[スマートフォン種別]は下記組合せのみ可能です。（下記以外はエラーになります。）

メールアドレスのドメイン	スマートフォン種別
docomo au（絵文字使用可） SoftBank	“1”（携帯ドメイン 画像読み込み型スマートフォン） “2”（携帯ドメイン 画像添付型スマートフォン） “0”（スマートフォン種別をクリアする） （空白）
PC	“3”（PC ドメイン スマートフォン端末） “0”（スマートフォン種別をクリアする） （空白）
i.softbank.jp au（絵文字不可） その他携帯	“0”（スマートフォン種別をクリアする） （空白）

- 具体的なドメインは、「[5-10-1 配信キャリア（97 ページ）](#)」 配信キャリアをご参照ください。

**参考****【スマートフォン種別】設定時の挙動**

各【スマートフォン種別】を設定した場合のインポート結果は下記のとおりです。

設定した【スマートフォン種別】	インポート結果
“1”（携帯ドメイン 画像読み込み型スマートフォン） “2”（携帯ドメイン 画像添付型スマートフォン） “3”（PC ドメイン スマートフォン端末）	選択したスマートフォン種別が設定されます。（ユーザーエージェントは無視されます。）
“0”	スマートフォン種別がクリアされ空白になります。
（空白）	登録済みのスマートフォン種別の値が保持されます。

**注意**

スマートフォン種別を「i.softbank.jp」・その他携帯のメールアドレスに設定するとインポート対象外になります

スマートフォン種別は、docomo/au/SoftBank/PC のメールアドレスに対してのみ設定します。

SoftBank 版 iPhone (i.softbank.jp) やその他携帯には、スマートフォン種別は設定できません。（もし設定した場合、アドレスエラーになり、インポート対象から除外されます。）

7-2-4 CSV ファイル作成時の注意事項

CSV ファイルを作成するときは、以下の点に注意してください。

◆ 項目ラベルの作成

項目ラベルは、書き出しを使用して作成された CSV ファイルの 1 行目をご参照ください。書き出しの詳細は、「[7-4 書き出し（169 ページ）](#)」をご参照ください。書き出しの手順について詳細は、『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「3-6 登録されている会員データを抽出する（書き出し）」』をご参照ください。

◆ CSV ファイルの編集

書き出しを使用して作成された CSV ファイルは、Excel を使って編集することができます。CSV ファイルの書式で、項目値に含まれる改行とダブルクォーテーションマーク（"）はそれぞれ、Excel に読み込んだ場合の列・行の表示に対応しています。

◆ 登録日と更新日の更新

チャネルへの登録日・更新日に対応した項目ラベルは、登録日が「create_date」、更新日が「update_date」です。登録日・更新日の項目ラベルを指定して上書きした場合に、それぞれの日付を更新できます。一括登録・更新した場合、更新日情報自身は、更新日以外の属性項目が更新されても変更されません。

サイトの登録日・更新日は、サイト層からの一括登録・更新では更新できません。サイトの登録日・更新日を修正するには、サイト管理者としてログインし、該当データを検索・修正してください。登録日・更新日の更新のタイミングに関する詳細は「[7-10 登録日・更新日の更新タイミング（184 ページ）](#)」をご参照ください。検索・修正の詳細は、「[7-5 データの検索・修正（174 ページ）](#)」をご参照ください。

7-2-5 サイト層からの一括登録・更新時のエラーメッセージ

サイト層からの一括登録・更新をしたときにエラーが発生した場合、エラーリストおよびエラー結果（エラー確認）が記載された CSV ファイルをそれぞれダウンロードできます。

- エラーリストの CSV にはエラーが発生したメールアドレスが記載されます。
CSV ファイルのフォーマットはアップロード時と同様です。
アップロード CSV の詳細については『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「3-1 登録・更新・削除用のファイルを作成する」』をご参照ください。
- エラー結果（エラー確認）の CSV ファイルには、以下のようなエラーメッセージが記載されます。

● エラー確認リスト CSV ファイルの表示例

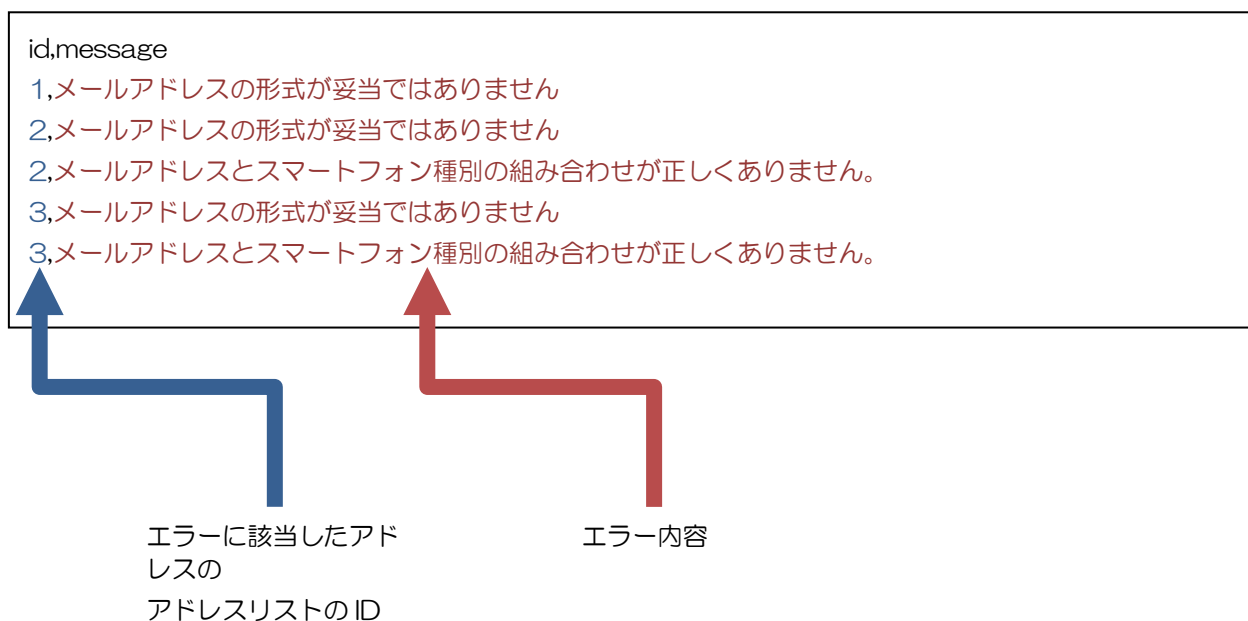


図 7-3

表 7-4

エラーメッセージ	内容
メールアドレスの形式が妥当ではありません。	メールアドレスに、使用禁止の文字が含まれています。メールアドレスを確認し、再度実行してください。
許可されていないドメインからの登録	メールアドレスが、メーリングリストなどの登録不可のドメインが含まれています。メールアドレスを確認し、再度実行

エラーメッセージ	内容
	してください。
更新操作を行えませんでした*1	記載されたメールアドレスが登録されていません。メールアドレスを確認し、再度実行してください。
サイト情報の形式が正しくありませんでした	サイトで定義されている項目と、更新用のファイルのデータが合っていません。アップロードした CSV ファイルを確認してください。
チャンネル情報の形式が正しくありませんでした*2	カテゴリで定義されている項目と、更新用のファイルのデータが合っていません。アップロードした CSV ファイルを確認してください。
スマートフォン種別には整数値を指定する必要があります。	スマートフォン種別に整数値以外が指定されている場合です。
スマートフォン種別には有効値を指定する必要があります	スマートフォン種別に“0”、“1”、“2”、“3”以外が指定されている場合です。
メールアドレスとスマートフォン種別の組み合わせが正しくありません。	指定可能なキャリア（docomo・au・SoftBank・PC）以外のメールアドレスが指定されている状態かつスマートフォン種別が指定されていた場合や、スマートフォン種別に“0”、“1”、“2”、“3”以外が指定されている場合です。
許可されていないドメインからの登録	メールサービスが終了したプロバイダー等のメールアドレスが含まれていた場合、無効なアドレスとして扱います。 弊社にて、サービスの終了が確認できた対象を適宜反映しますが、必ずしもすべてのサービス状況を即時反映できるものではありません。 2013 年 11 月 20 日に以下ドメインを含むメールアドレスの無効化対応を行いました。 - 対象サービス livedoor メールサービス - 対象ドメイン @livedoor.com @*.livedoor.com

*1：サイト一括登録を行った場合のみ

*2：複数チャンネル一括更新を行った場合のみ



参考

エラーが発生しても、発生した行以外のデータは一括登録・更新されます。

7-3 チャンネル一括登録・更新

7-3-1 チャンネル一括登録・更新の概要

チャンネル一括登録・更新とは、対象とするチャンネルを 1 つ選び、そのチャンネルに登録されている会員の属性項目データの更新、およびそのチャンネルへの新規会員登録を、所定の CSV ファイルを使用して一括で更新、および新規登録できる機能です。

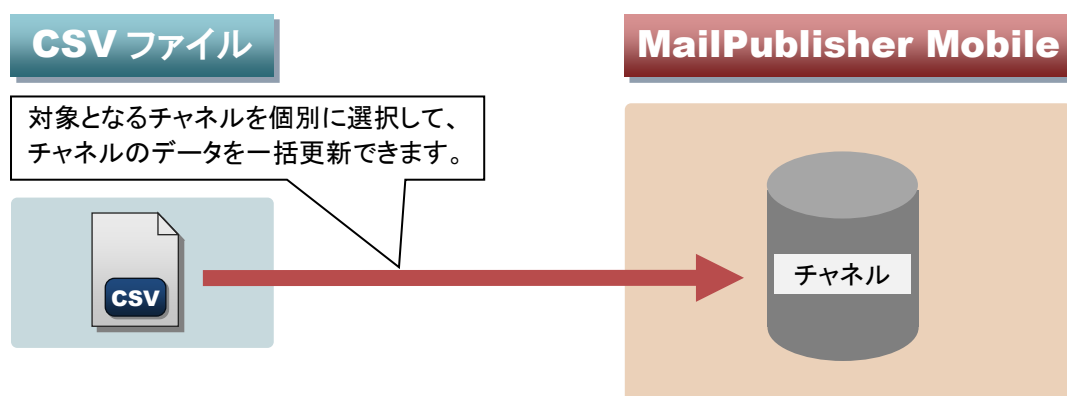


図 7-4

7-3-2 チャンネル一括登録・更新時に登録・更新されるデータ

チャンネル一括登録・更新では、メールアドレスを利用してデータの照合を行い、データの新規登録や更新をします。チャンネル一括登録・更新チャンネルを選択し、そのチャンネルに登録されている会員の属性項目データの更新、およびそのチャンネルへの新規登録を一括して実行します。

CSV ファイルを使ってチャンネル一括登録・更新を行うと、以下のようになります。

- チャンネルに登録されていないメールアドレスは、新規登録されます。
- 属性値が記載されており、該当の属性項目がある場合は更新されます。
- 属性値が空欄の箇所は、無視されます。

◆ チャンネル一括登録・更新時の制約条件のチェック

チャンネル一括登録・更新時の制約条件のチェックは、以下のようになります。

表 7-5

取り込み方法	チェック条件
チャンネル一括登録・更新	• 数値型や日付型の項目に対して、テキストのデータが指定されている場合は、チャンネル一括登録・更新時にエラーとなります。 • 必須・最大文字数・英数字のみ・ユニーク制約といった項目に対し、設定されている制約条件はチェックしません。そのため、誤ったデータが登録されていても、そのままチャンネル一括登録・更新されます。登録前に、必ず CSV ファイルの内容を確認してください。

7-3-3 チャンネル一括登録・更新用のファイル形式

チャンネル一括登録・更新をするには、登録・更新するためのメールアドレスと、そのメールアドレスの利用者が持つ属性値を記載した CSV ファイルを用意します。チャンネル一括登録・更新対象のチャンネルから、事前に関し出した CSV ファイルを使用することをお勧めします。複数チャンネルに対して一括で登録する場合は、対象のチャンネル情報（チャンネル ID）の項目も CSV ファイルに記載します。

◆ 1つのチャンネルを登録・更新する場合/差分メールアドレスを抽出する場合

移行するデータを CSV 形式のファイルで用意します。チャンネル一括登録・更新する CSV ファイルは、以下のように作成されている必要があります。

表 7-6

項目	内容
文字コード	Windows Shift_JIS（シフト JIS）
ファイルサイズ	10 メガバイト以内
1 行目の表記	項目ラベルを記載します。項目ラベルは、チャンネルの属性項目に該当します。書き出し機能によって作成された CSV ファイルの 1 行目の表記に準じた項目ラベルを記載してください。 - email：メールアドレスの項目ラベル名（必須） - create_date：チャンネルの登録日の項目ラベル名 - update_date：チャンネルの更新日の項目ラベル名 - flag：配信状態フラグの項目ラベル名 - c_xxx：属性値の項目ラベル名（「xxx」には、カテゴリ作成時に定義された項目 ID を記載してください。項目 ID が「name」の場合、「c_name」と記載します。） - user_agent：ユーザーエージェント（任意） - smart_phone_type：スマートフォン種別（任意）
2 行目以降の表記	項目ラベルに対応したデータを記載してください。 データは、登録または更新が必要な箇所のみ記載してください。必要のない箇所は、空欄としてください。 また、指定項目は以下のように記載してください。 - email：「ユーザー部」@「ドメイン部」 - flag：OK または NG - create_date：YYYY/MM/DD hh:mm:ss - update_date：YYYY/MM/DD hh:mm:ss - その他属性値：属性値に合わせた記載 - user_agent：ユーザーエージェントの文字列 - smart_phone_type："0", "1", "2", "3"



参考

ユーザーエージェントとスマートフォン種別について

■スマートフォンを自動判別させる場合はユーザーエージェントを設定

本システムでは、メールアドレスのドメイン部とユーザーエージェントからスマートフォン種別を自動判別するため、CSV ファイルに“user_agent”を設定してください。

- 自動判別の結果は、会員検索や書き出しで確認できます。（「[7-5 データの検索・修正（174 ページ）](#)」または「[7-4 書き出し（169 ページ）](#)」）

■スマートフォンを判別済みの場合はスマートフォン種別を設定

既にスマートフォンが判別できている場合は、直接スマートフォン種別“smart_phone_type”を設定します。

CSV ファイルにスマートフォン種別“smart_phone_type”が含まれる場合、同項目に指定されている値が優先され、ユーザーエージェント“user_agent”が設定されていても無視されます。



参考

メールアドレスとスマートフォン種別の組合せ

- メールアドレスのドメインと[スマートフォン種別]は下記組合せのみ可能です。（下記以外はエラーになります。）

メールアドレスのドメイン	スマートフォン種別
docomo au（絵文字使用可） SoftBank	“1”（携帯ドメイン 画像読み込み型スマートフォン） “2”（携帯ドメイン 画像添付型スマートフォン） “0”（スマートフォン種別をクリアする） （空白）
PC	“3”（PC ドメイン スマートフォン端末） “0”（スマートフォン種別をクリアする） （空白）
i.softbank.jp au（絵文字不可） その他携帯	“0”（スマートフォン種別をクリアする） （空白）

- 具体的なドメインは、「[5-10-1 配信キャリア（97 ページ）](#)」 配信キャリアをご参照ください。



参考

【スマートフォン種別】設定時の挙動

各【スマートフォン種別】を設定した場合の一括登録結果は下記のとおりです。

設定した【スマートフォン種別】	一括登録結果
“1”（携帯ドメイン 画像読み込み型スマートフォン） “2”（携帯ドメイン 画像添付型スマートフォン） “3”（PC ドメイン スマートフォン端末）	選択したスマートフォン種別が設定されます。 （ユーザーエージェントは無視されます。）
“0”	スマートフォン種別がクリアされ空白になります。
（空白）	登録済みのスマートフォン種別の値が保持されます。



注意

スマートフォン種別を「i.softbank.jp」・その他携帯のメールアドレスに設定するとインポート対象外になります

スマートフォン種別は、docomo/au/SoftBank/PC のメールアドレスに対してのみ設定します。

SoftBank 版 iPhone (i.softbank.jp) やその他携帯には、スマートフォン種別は設定できません。（もし設定した場合、アドレスエラーになり、インポート対象から除外されます。）

7-3-4 CSV ファイル作成時の注意事項

CSV ファイルを作成するときは、以下の点に注意してください。

◆ 項目ラベルの作成

項目ラベルは、書き出しを使用して作成された CSV ファイルの 1 行目をご参照ください。書き出しの詳細は、「[7-4 書き出し（169 ページ）](#)」をご参照ください。書き出しの手順について詳細は、『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「3-6 登録されている会員データを抽出する（書き出し）」』をご参照ください。

◆ CSV ファイルの編集

書き出しを使用して作成された CSV ファイルは、Excel を使って編集することができます。CSV ファイルの書式で、項目値に含まれる改行とクォーテーションマーク（”）はそれぞれ、Excel に読み込んだ場合の列・行の表示に対応しています。

◆ 登録日と更新日の更新

チャンネルへの登録日・更新日に対応した項目ラベルは、登録日が「create_date」、更新日が「update_date」です。登録日・更新日の項目ラベルを指定して上書きした場合に、それぞれの日付を更新できます。書き出した場合、更新日情報自身は、更新日以外の属性項目が更新されても変更されません。

サイトの登録日・更新日は、チャンネル一括登録・更新では更新できません。サイトの登録日・更新日を変更するには、サイト管理者としてログインし、該当データを検索・修正してください。登録日・更新日の更新のタイミングに関する詳細は「[7-10 登録日・更新日の更新タイミング（184 ページ）](#)」をご参照ください。検索・修正の詳細は、「[7-5 データの検索・修正（174 ページ）](#)」をご参照ください。

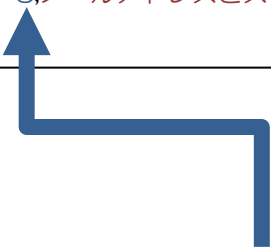
7-3-5 チャンネル一括登録・更新時のエラーメッセージ

チャンネル一括登録・更新を行ったときにエラーが発生した場合、エラーリストおよびエラー結果が記載された CSV ファイルをそれぞれダウンロードできます。

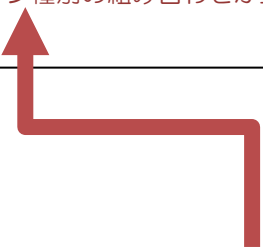
- エラーリストの CSV にはエラーが発生したメールアドレスが記載されます。
CSV ファイルのフォーマットはアップロード時と同様です。
アップロード CSV の詳細については『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「3-1 登録・更新・削除用のファイルを作成する」』をご参照ください。
- エラー結果（エラー確認）の CSV ファイルには、以下のようなエラーメッセージが記載されます。

● エラー確認リスト CSV ファイルの表示例

id,message	
1,	メールアドレスの形式が妥当ではありません
2,	メールアドレスの形式が妥当ではありません
2,	メールアドレスとスマートフォン種別の組み合わせが正しくありません。
3,	メールアドレスの形式が妥当ではありません
3,	メールアドレスとスマートフォン種別の組み合わせが正しくありません。



エラーに該当したアドレスの
アドレスリストの ID



エラー内容

図 7-5

表 7-7

エラーメッセージ	内容
メールアドレスの形式が妥当ではありません。	メールアドレスに、使用禁止の文字が含まれています。メールアドレスを確認し、再度実行してください。
許可されていないドメインからの登録	メールアドレスが、メーリングリストなどの登録不可のドメインが含まれています。メールアドレスを確認し、再度実行してください。
サイト情報の形式が正しくありませんでした	サイトで定義されている項目と、更新用のファイルのデータが合っていません。アップロードした CSV ファイルを確認してください。
チャンネル情報の形式が正しくありませんでした	カテゴリで定義されている項目と、更新用のファイルのデータが合っていません。アップロードした CSV ファイルを確認してください。
スマートフォン種別には整数値を指定する必要があります。	スマートフォン種別に整数値以外が指定されている場合です。
スマートフォン種別には有効値を指定する必要があります	スマートフォン種別に“0”、“1”、“2”、“3”以外が指定されている場合です。
メールアドレスとスマートフォン種別の組み合わせが正しくありません。	指定可能なキャリア（docomo・au・SoftBank・PC）以外のメールアドレスが指定されている状態でかつスマートフォン種別が指定されていた場合です。



参考

エラーが発生しても、発生した行以外のデータは一括登録・更新されます。

7-3-6 外部データベースとの連携

外部データベースで会員の情報を管理しており、そのデータをメール配信のたびに本システムに持ち込んで配信する、という運用の場合、以下のいずれかの方法によって外部のデータと本システムのデータの同期を取る必要があります。

- 追加するデータの差分リストと、削除するデータの差分リストをそれぞれ用意し、本システムに追加分のデータを取り込み、削除分のリストを取り込んで一括削除

しかし、双方のデータの差分リストをメール配信ごとに作成するには、大変な時間と手間がかかります。また、チャンネルを空にして改めて外部のデータを取り込んだ場合、本システムで管理していたメールアドレスに対する配信エラー履歴の情報が失われます。このため、メール配信ごとに、変更や受信拒否などで無効となるメールアドレスが増加し、致命的エラー率が高くなります。

さらに、携帯端末のキャリアによっては、受信拒否や該当しないメールアドレスへの配信が続くと、そのキャリアへの配信全体をブロックする処置が実行されることがあります。この処置が実行されると、同じキャリアを利用して正常に受信できる会員への配信もブロックされてしまいます。

◆ 差分メールアドレス抽出機能を使用する

本システムの差分メールアドレス抽出機能を使用すれば、外部データベースが管理する会員のメールアドレス情報と本システムのメールアドレス情報を簡単に同期させることができます。

差分メールアドレス抽出機能を使用した場合、以下のような運用上のメリットがあります。

- 外部データベースのメールアドレスと本システムに登録されているメールアドレスの差分を簡単に抽出できる
- 抽出されたメールアドレスを配信停止対象にしたり、データベースから削除できる
- 本システムの配信エラー履歴が残るので、配信エラーを抑えられる

差分メールアドレス抽出機能を使用したチャンネル一括登録・更新手順の詳細は、『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「3-4-3 差分メールアドレスを抽出する」』をご参照ください。

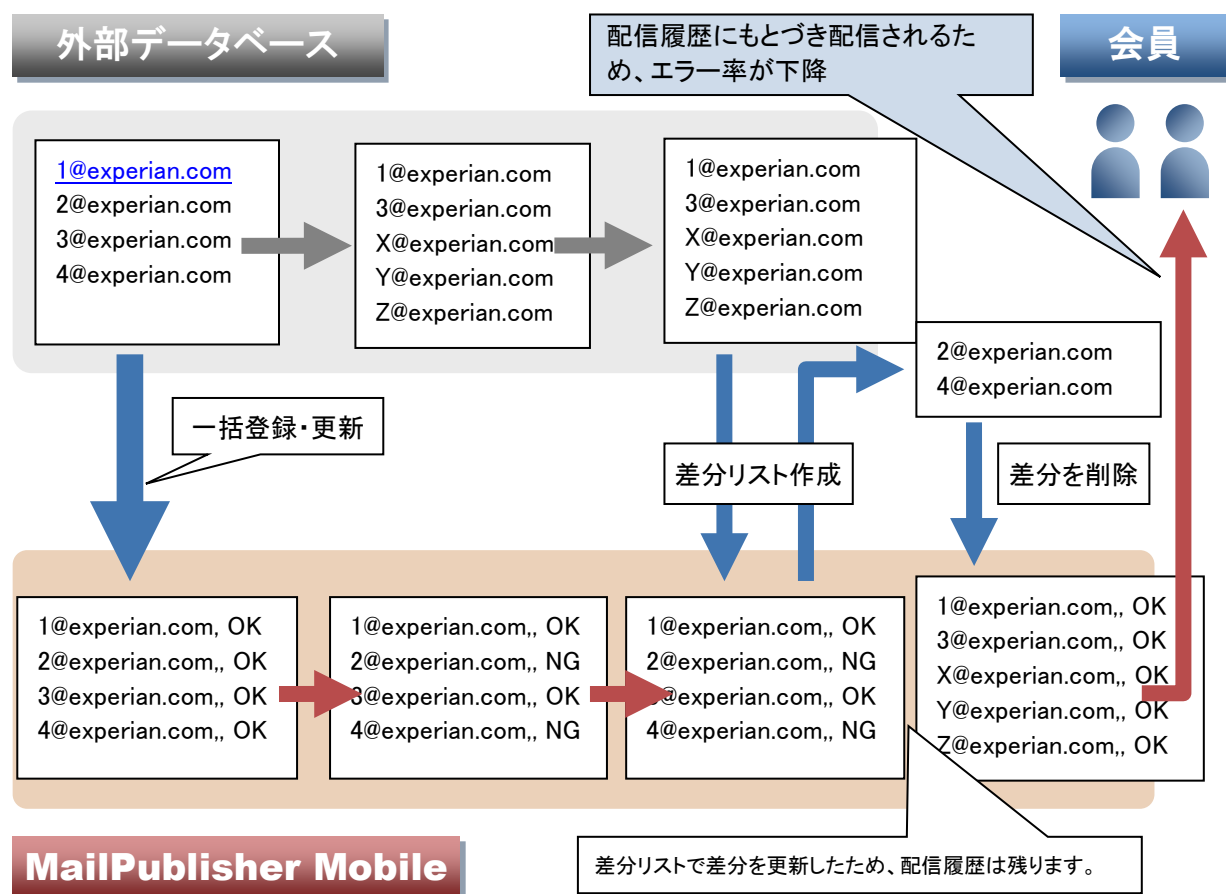


図 7-6

⚠ 注意

差分メールアドレス抽出機能を使用せず、チャンネルを空にして改めて外部のデータを取り込んだ場合、本システムで管理していたメールアドレスに対する配信エラー履歴の情報が失われます。このため、メール配信ごとに、変更や受信拒否などで無効となるメールアドレスが増加し、致命的エラー率が高くなります。

さらに、携帯端末のキャリアによっては、受信拒否や該当しないメールアドレスへの配信が続くと、そのキャリアへの配信全体をブロックする処置が実行されることがあります。この処置が実行されると、同じキャリアを利用して正常に受信できる会員への配信もブロックされてしまいます。

7-4 書き出し

7-4-1 書き出しの概要

書き出しとは、サイト全体、またはチャンネルごとのデータベース 1 つを対象として、登録されているデータを CSV ファイルに出力する機能です。本システムで登録されている会員のアドレスや属性値の一覧を、ほかのシステムで利用する場合などに使用します。

書き出しをするときに抽出条件を選択できるので、指定した属性値のみ書き出しを実行できます。

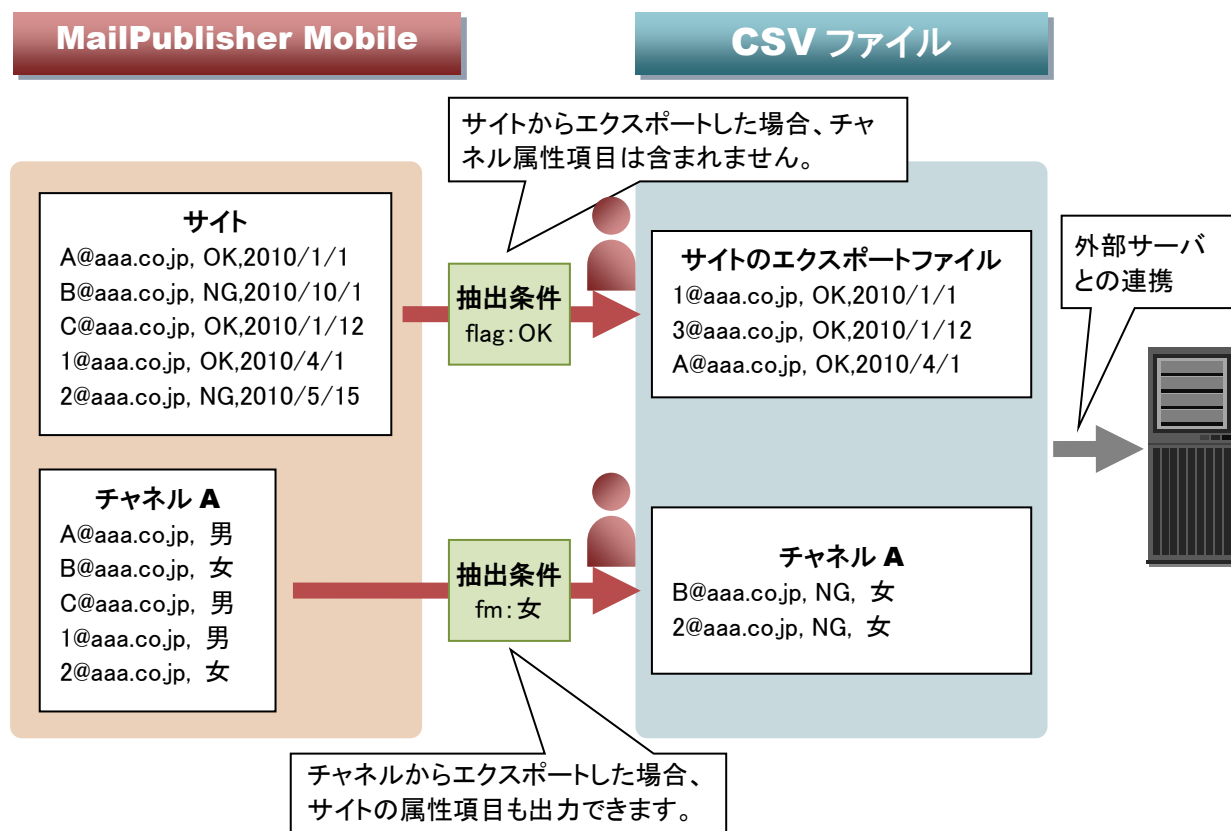


図 7-7

ログインしている管理区分により、以下のように書き出しを実行できる対象が異なります。

表 7-8

管理区分	内容
サイト管理者	サイトまたはチャンネルの書き出しを実行できます。チャンネルは、サイトに所属するすべてのチャンネルが対象となります。 グループ単位での書き出しは実行できません。
グループフォルダ管理者	グループフォルダに所属するチャンネルの書き出しを実行できます。 グループ単位での書き出しは実行できません。
グループ管理者	グループに所属するチャンネルの書き出しを実行できます。 グループ単位での書き出しは実行できません。
チャンネル管理者	所属するチャンネルのデータベースに登録されているデータの書き出しのみ実行できます。

7-4-2 抽出条件

サイトから書き出しを実行した場合は、サイトの属性項目が対象となります。チャンネルから書き出しを実行した場合は、チャンネルで定義された属性項目とサイトの属性項目が対象となります。

◆ 複数の抽出条件を設定した場合

抽出条件設定で、複数の抽出条件を選択した場合、AND の条件で検索が実行されます。たとえば、配信状態フラグを [OK]、性別を [男性]、年代を [20 代] と選択した場合、「20 代の男性で、メールが配信できる状態」の会員が抽出されます。

◆ 同一の属性項目で、複数の条件を選択した場合

チェックボックスなど、同一の属性項目で複数の項目を選択できる場合、OR の条件で検索が実行されます。たとえば、10 代、20 代、30 代、40 代、50 代、60 代以上の選択肢があり、「10 代」と「20 代」を選択した場合、「10 代または 20 代」の会員が抽出されます。

同一の属性項目で複数の項目を選択するには、[Ctrl] キーを押しながら、項目を選択します。

◆ 配信状態フラグで条件を指定する場合

配信状態フラグ検索する場合は、フラグの状態を [OK] または [NG] から選択します。

配信状態フラグの詳細は、「[7-9 配信状態フラグ \(182 ページ\)](#)」についてをご参照ください。

◆ スマートフォン種別で条件を指定する場合

スマートフォン種別を出力するかしないか、または、種別（携帯ドメイン 画像読み込み型／携帯ドメイン 画像添付型／PC ドメイン スマートフォン端末）を絞り込みます。

スマートフォン種別を出力する際に、同種別が空（スマートフォンではない扱い）の会員データを抽出する場合は、下記のような設定をします。

スマートフォン種別

☐ 出力しない
 ☐ 出力する
 ☒
 携帯ドメイン 画像読み込み型スマートフォン
 携帯ドメイン 画像添付型スマートフォン
 PCドメイン スマートフォン端末

図 7-8

◆ テキスト型属性項目で条件を指定する場合

テキスト型属性項目で、完全一致の条件で検索する場合は、完全一致する文字列を入力します。部分一致の条件で検索する場合は、指定文字（ワイルドカード）を使用して文字列を入力します。

指定文字の詳細は、「◆ 抽出条件に用いる指定文字（171 ページ）」をご参照ください。

◆ 数値型属性項目で条件を指定する場合

数値型属性項目で、完全一致の条件で検索する場合は、完全一致する数値を入力します。範囲指定して検索する場合は、最小値と最大値を入力します。

◆ 日付型属性項目で条件を指定する場合

日付型属性項目で検索する場合は、検索する期間を入力します。月日は必須入力ですが、年は省略できます。

◆ ユーザーエージェントで条件を指定する場合

ユーザーエージェントで、完全一致の条件で検索する場合は、完全一致する文字列を入力します。部分一致の条件で検索する場合は、指定文字（ワイルドカード）を使用して文字列を入力します。

指定文字の詳細は、「◆ 抽出条件に用いる指定文字（171 ページ）」をご参照ください。

◆ 抽出条件に用いる指定文字

テキストタイプの属性項目を抽出する場合、完全一致または、部分一致条件を入力して抽出条件を指定します。このとき、指定文字（ワイルドカード）として半角記号のアスタリスク「*」と半角記号のクエスチョンマーク「?」を使用できます。指定文字は、以下のように使用できます。

表 7-9

指定文字	内容
*	任意の複数文字を代用します。 （例） 「*川」は最後に「川」が付く場合、「川*」だと最初に「川」がつく場合、「*川*」は最初・最後含め途中に「川」が含まれる場合を、検索します。 「*川」の検索結果 → 川、吉川、利根川、四万十川 「川*」の検索結果 → 川、川田、川下り、川で泳ぐ 「*川*」の検索結果 → 川、吉川、利根川、四万十川、川田、川下り、川で泳ぐ、河川流域
?	任意の 1 文字を代用します。文字数がわかっているときに便利です。

指定文字	内容
	(例) 「?川」の検索結果 → 吉川 「川?」の検索結果 → 川田 「??川」の検索結果 → 利根川 「川??」の検索結果 → 川下り

重要

指定文字を用いた検索条件を設定すると、実行速度が遅くなる場合があります。

参考

- 検索時、全角と半角は別の文字として扱われます。
- 大文字と小文字も別の文字として扱われます。
- 空白は 1 文字として扱われます。

7-4-3 ファイル形式とファイルの内容

書き出しを実行すると、CSV 形式のファイルが出力されます。CSV ファイルは、1 行目に項目ラベルが記載されています。2 行目以降は、項目ラベルに対して対応するデータが記載されます。

下図は、CSV ファイルを Excel で開いた場合の例です。

email	flag	smart_phone_type	s_name	c_string	create_date	update_date	user_agent
example111@ezweb.ne.jp	OK	1	エイケア	太郎	2012/2/21 11:39	2012/2/21 11:39	Mozilla/5.0 (Linux; U; Android 2.3.3; ja-jp; IS1
example222@ezweb.ne.jp	OK	1	エイケア	花子	2012/2/21 11:58	2012/2/21 11:58	Mozilla/5.0 (iPhone; CPU iPhone OS 5.0 like
example333@i.softbank.jp	OK		エイケア	次郎	2012/2/21 11:59	2012/2/21 11:59	Mozilla/5.0 (iPhone; U; CPU iPhone OS 4.0 li
example444@softbank.ne.jp	OK		エイケア	空代	2012/2/21 12:00	2012/2/21 12:00	Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows C
example555@docomo.ne.jp	OK	2	エイケア	三郎	2012/2/21 12:01	2012/2/21 12:01	Mozilla/5.0 (Linux; U; Android 2.3.2; ja-jp; Sor
example666@docomo.ne.jp	OK	2	エイケア	虹之介	2012/2/21 12:03	2012/2/21 12:03	Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows C

項目ラベル

会員データ

図 7-9

書き出しの対象を、[サイト]とした場合とチャンネルを対象とした場合、出力される内容が異なります。

◆ サイトの場合

サイトからの書き出しの場合、標準では以下の項目が出力されます。サイトから書き出しを実行した場合、チャンネルの属性値は含まれません。

抽出条件設定画面で、[出力しない]を選択した項目は出力されません。

表 7-10

項目	内容
email	サイト管理項目で管理されているメールアドレス
flag	サイトでの配信状態フラグ
smart_phone_type	スマートフォン種別 “1”…携帯ドメイン 画像読み込み型スマートフォン “2”…携帯ドメイン 画像添付型スマートフォン “3”…PC ドメイン スマートフォン端末空…スマートフォン以外（フィーチャーフォン・PC 等）
s_xxx	サイトに登録されている属性項目のフィールド ID（「xxx」には、チャンネル作成時に定義した項目 ID が出力されます。フィールド ID が「name」の場合、「s_name」と出力されます。）
create_date	サイト登録日
update_date	サイト更新日
user_agent	ユーザーエージェント

◆ チャンネルの場合

チャンネルからの書き出しの場合、標準では以下の項目が出力されます。

抽出条件設定画面で、［出力しない］を選択した項目は出力されません。

表 7-11

項目	内容
email	チャンネル管理項目で管理されているメールアドレス
flag	チャンネルでの配信状態フラグ
smart_phone_type	スマートフォン種別 “1”…携帯ドメイン 画像読み込み型スマートフォン “2”…携帯ドメイン 画像添付型スマートフォン “3”…PC ドメイン スマートフォン端末 空…スマートフォン以外（フィーチャーフォン・PC 等）
c_xxx	チャンネル（カテゴリ）の属性項目のフィールド ID（「xxx」には、チャンネル作成時に定義された項目 ID が出力されます。フィールド ID が「name」の場合、「c_name」と出力されます。）
create_date	チャンネル登録日
update_date	チャンネル更新日
user_agent	登録時のユーザーエージェント

7-5 データの検索・修正

データの検索・修正は、以下のような流れで操作します。

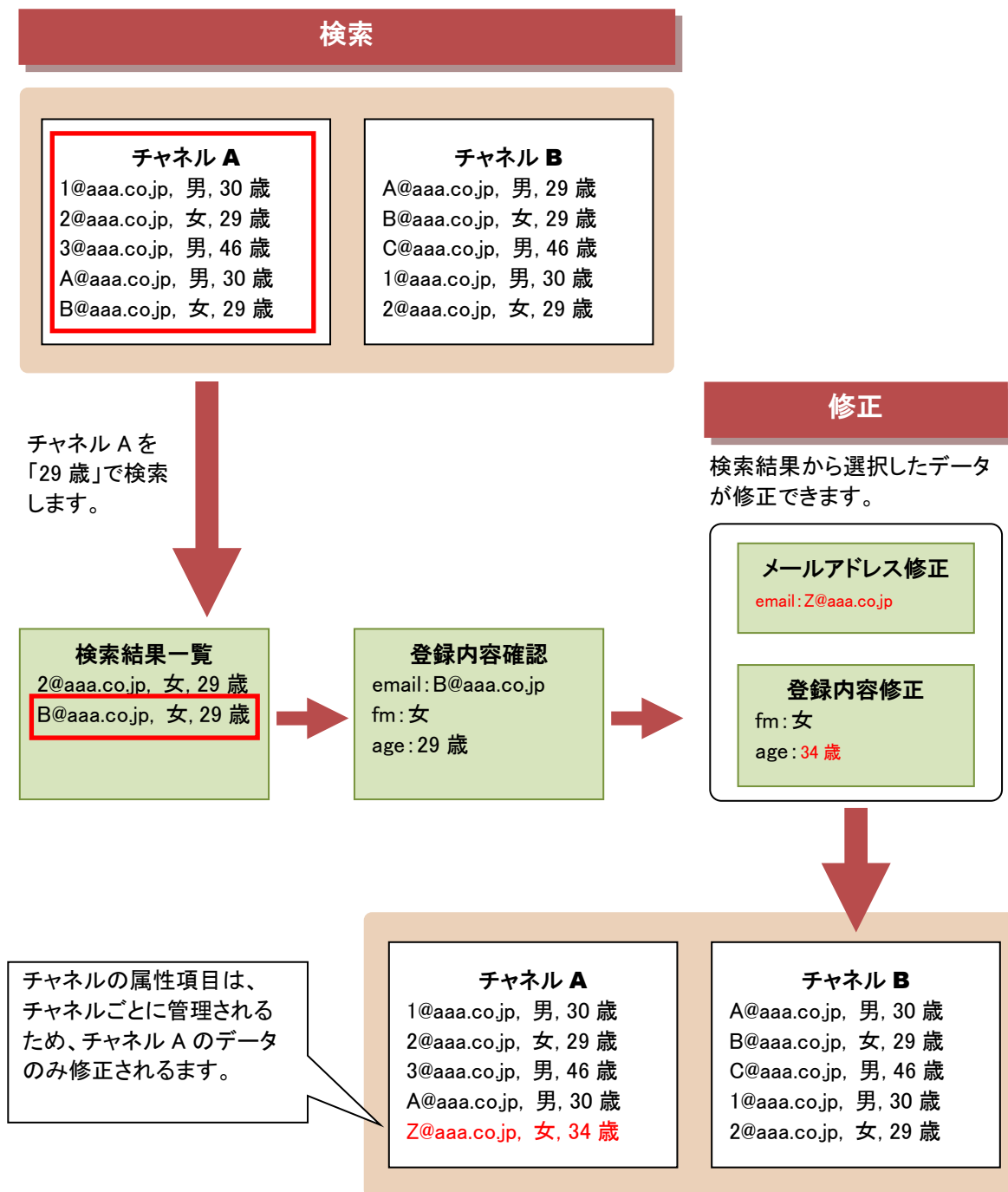


図 7-10

7-5-1 検索の概要

検索は、サイト全体、またはチャンネルの 1 つを対象として、登録されているメールアドレス・属性値などの検索条件を指定して実行します。修正は、検索結果から修正する会員を選択し、必要な属性項目を修正します。手順について詳細は、『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「3-7 登録されている会員データを検索・修正する」』をご参照ください。

検索・修正はサイト管理者のみ行えます。それ以外の管理者でログインしている場合は、メニューに表示されません。

◆ 検索条件

サイトから検索を行う場合は、サイトに設定された属性項目が対象となります。チャンネルを指定して検索を行う場合は、チャンネルの属するカテゴリで定義された属性項目と、参照が許可されているサイト層の項目が対象となります。検索条件の詳細は「[7-4-2 抽出条件（170 ページ）](#)」をご参照ください。

7-5-2 修正の概要

修正は、検索した結果から修正する登録情報を選択し、必要な属性項目を修正します。データの修正手順の詳細は、『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「3-7 登録されている会員データを検索・修正する」』をご参照ください。

◆ サイトを検索対象としたデータの修正

サイトを検索対象として検索したデータの場合、サイトに設定された属性項目が修正の対象となります。そのため、チャンネルに登録されているチャンネル属性項目は修正できません。

◆ チャンネルを検索対象としたデータの修正

チャンネルを検索対象として検索したデータの場合、チャンネルの属するカテゴリで定義された属性項目と、参照が許可されているサイト層の項目が修正の対象となります。

項目名	項目内容	
メールアドレス	example111@ezweb.ne.jp	
会員コード	1000034	
スマートフォン種別	画像読み込み型 ▼	
氏名	エイケア	文字列型
サイト登録日	2012-02-21 11:50	日付型
サイト更新日	2012-02-21 11:50	日付型
ユーザーエージェント	Mozilla/5.0 (Linux; U; Android 2	
登録 キャンセル		

サイトを検索対象としたデータの修正は、サイトに紐付く属性項目のみ修正できます。

項目名	項目内容	
メールアドレス	example111@ezweb.ne.jp	
会員コード	1000034	
スマートフォン種別	画像読み込み型 ▼	
氏名	エイケア	文字列型
名前	太郎	文字列型
チャンネル登録日	2012-02-21 11:39	日付型
チャンネル更新日	2012-02-21 11:39	日付型
ユーザーエージェント	Mozilla/5.0 (Linux; U; Android 2	
登録 キャンセル		

チャンネルを検索対象としたデータの修正は、チャンネルに紐付く属性項目と、参照が許可されているサイト層の項目を修正できます。

図 7-11



注意

スマートフォン種別はサイトが有効

スマートフォン種別は、同じメールアドレスの会員で、サイトとチャンネルにそれぞれ存在しますが、メール配信時にスマートフォンの判別に使用するの「サイトのスマートフォン種別」です。

通常はサイトとチャンネルは同じスマートフォン種別が登録されますが、チャンネルだけ情報を修正したり、同じメールアドレスで複数チャンネルに登録した場合など、異なってしまう場合があります。

その場合でも、前述のとおり、有効になるのは「サイトのスマートフォン種別」なので、画面から同項目の修正を行う際は、まずサイトの値を変更し、備忘のためにチャンネルの値も変えておく運用をお勧めします。

7-5-3 メールアドレスの変更

登録されているメールアドレスを変更する場合、以下の点に注意してください。

◆ メールアドレスがすでにサイトに登録されている場合

データベースのメールアドレスを修正するとき、修正後のメールアドレスがサイトに登録されている場合は修正できません。エラーメッセージとともに、登録されているチャンネルが表示されます。

7-6 メールアドレスの制限

7-6-1 登録可能なメールアドレス

本システムに登録できるメールアドレスは、以下のような条件を満たしている必要があります。

7-6-1-1 メールアドレスのフォーマット

- [ユーザー部]@[ドメイン部] で構成される文字列である。
- [ユーザー部]と[ドメイン部]の区切りを「@」とし、区切り文字「@」は一つしか存在しない。
- 下記の文字を使用していない。
「(」、「)」、「<」、「>」、「[」、「]」、「~」、「,」、「:」、「:」、「:」、バックスラッシュ(\\)
- 空白文字（半角スペース、タブ文字、改行、制御文字）を使用していない。
- 全角文字（マルチバイト文字）を使用していない。

7-6-1-2 ユーザー部

- 文字数は 1 文字以上 64 文字以下である。
- 下記の文字のみ使用している。（これらの文字列は連続してもよい）
半角英数字、「-」（ハイフン）、「.」（ドット）、「_」（アンダーバー）、「/」、「?」、「!」、「%」、「&」、「~」、「#」、「\$」、「'」、「*」、「=」、「+」、「^」、「`」、「{」、「}」、「|」、「|」

7-6-1-3 ドメイン部

- 文字数は 3 文字以上 64 文字以下である。
- 下記の文字のみ使用している。（「.」（ドット）を除くこれらの文字列は連続してもよい）
半角英数字、「-」（ハイフン）、「.」（ドット）、「_」（アンダーバー）
- 「.」（ドット）で始まっていない。
- 「.」（ドット）が連続していない。
- 「.」（ドット）で終わっていない。
- 「-」（ハイフン）で始まっていない。
- 弊社サービス関連のドメイン（mpse.jp、mpme.jp、fofa.jp 等）以外である。



参考

メールアドレスは、半角英字の大文字と小文字は区別せず、同じ文字列として扱われます。

7-7 管理画面からの会員登録

会員がチャンネルから登録できないなどの場合、管理画面から直接会員登録ができます。会員登録の操作手順の詳細は、『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「3-8 チャンネルに会員データを新規登録する」』をご参照ください。

7-7-1 登録できる対象

ログインしている管理区分により、以下のように登録できるチャンネルが異なります。

表 7-12

管理区分	内容
サイト管理者	サイトに所属するすべてのチャンネルに登録できます。
グループフォルダ管理者	該当グループフォルダに所属しているチャンネルに登録できます。
グループ管理者	該当グループに所属しているチャンネルに登録できます。
チャンネル管理者	管理しているチャンネルのメールアドレスを集計対象とします。

7-7-2 会員登録時の注意事項

◆ 登録チャンネルに同じメールアドレスの会員情報が登録されている場合

「指定のメールアドレスはすでに登録済みです」と表示され、登録できません。

◆ 登録先チャンネル以外のチャンネルに、すでに同じメールアドレスの会員情報が登録されていた場合

登録先チャンネル以外のメールアドレスも、登録可能なシステム管理項目が上書きされます。

◆ 文字コードについて

会員の情報が記載されたほかのチャンネルからコピー＆ペーストなどをして登録したとき、Shift-JIS 以外の文字列が含まれていた場合、文字化けの原因となることがあります。必ず、文字コードが Shift-JISであることを確認してください。

7-8 一括削除

7-8-1 一括削除の概要

一括削除とは、サイトまたは1つのチャンネルを対象として、削除するメールアドレスを記載したファイルをアップロードすることにより、該当の登録情報を削除する機能です。



警告

一括削除で削除したデータは、元に戻すことができません。書き出し機能を使用してバックアップを取り、一括削除を実行する前に、必ず削除しても問題ないデータか確認してください。

◆ サイトを対象とした一括削除

サイトを対象とした一括削除では、サイト上にあるチャンネルをすべて検索し、該当するメールアドレスのデータを削除します。

サイトを対象とした一括削除

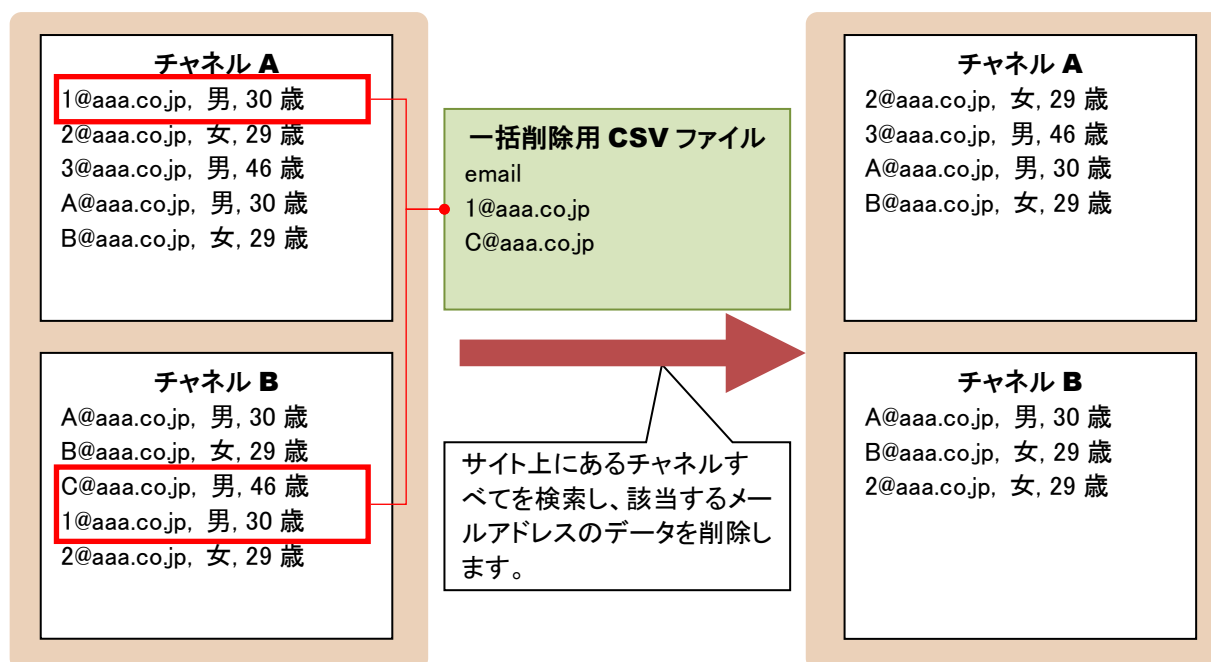


図 7-12

◆ チャンネルを対象とした一括削除

チャンネルを対象とした一括削除では、指定されたチャンネルから、該当するメールアドレスのデータを削除します。

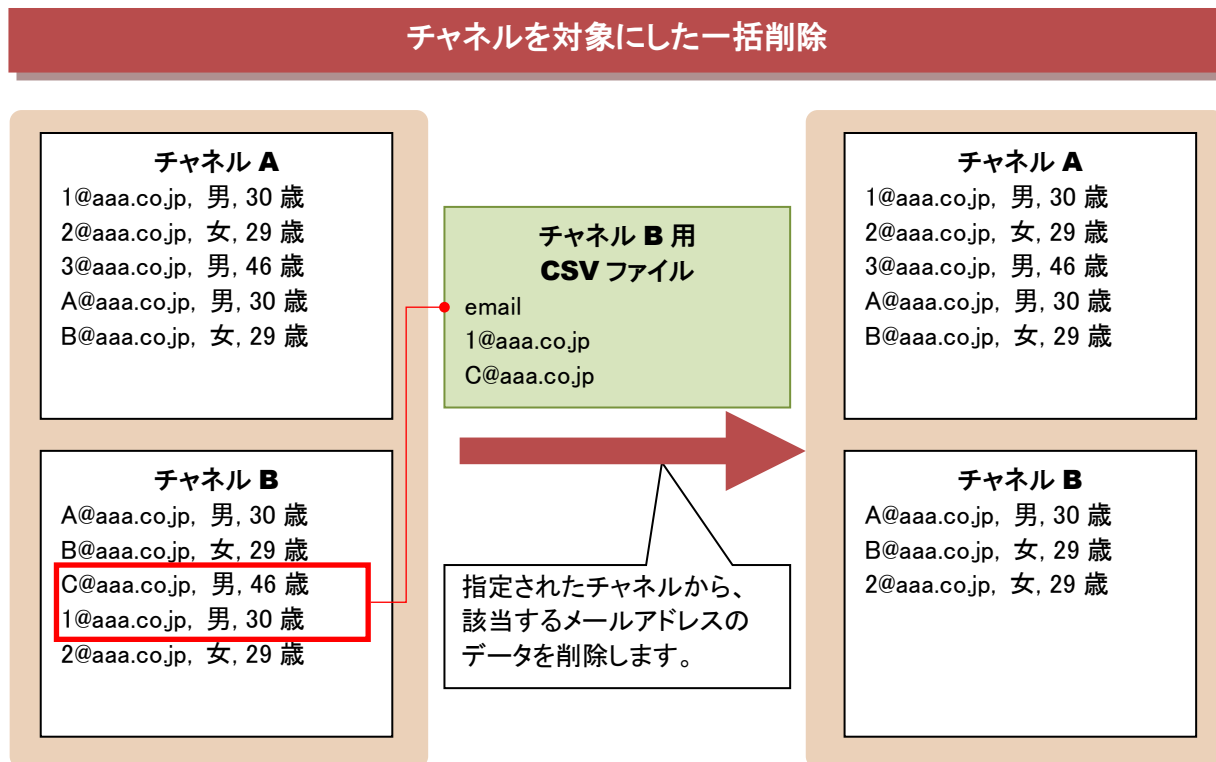


図 7-13

7-8-2 削除用ファイルのファイル形式

一括削除するには、以下のようにファイルが作成されている必要があります。

表 7-13

項目	内容
文字コード	Windows Shift_JIS (シフト JIS)
ファイルサイズ	10 メガバイト以内
1 行目の表記	項目ラベルを記載します。必要なラベルは、「email」のみです。これ以外のラベルが記載されていても、無視されます。
2 行目以降の表記	「email」の列に、削除するメールアドレスを記載します。これ以外の属性値が記載されていても、無視されます。

7-8-3 一括削除時のエラー

一括削除したときにエラーが発生した場合、エラーリストおよびエラー理由が記載された CSV ファイルをそれぞれダウンロードできます。

- エラーリストの CSV にはエラーが発生したメールアドレスが記載されます。
CSV ファイルのフォーマットはアップロード時と同様です。
アップロード CSV の詳細については『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル
「3-1 登録・更新・削除用のファイルを作成する」』をご参照ください。
- エラー結果（エラー確認）の CSV ファイルには、以下のようなエラーメッセージが記載されます。

● エラー確認リスト CSV ファイルの表示例

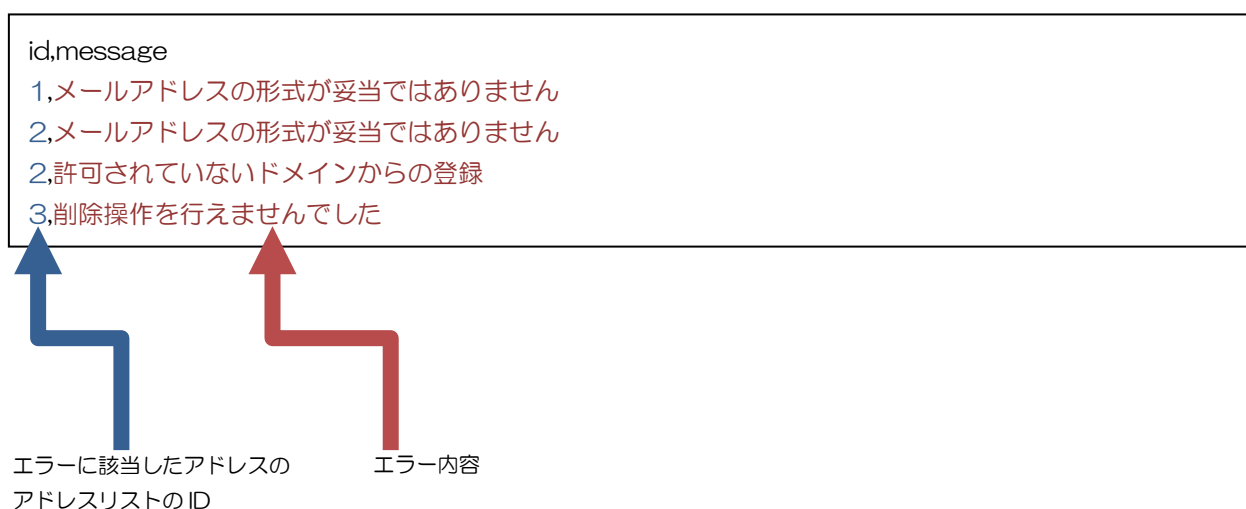


図 7-14

表 7-14

エラーメッセージ	内容
メールアドレスの形式が妥当ではありません。	メールアドレスに、使用禁止の文字が含まれています。メールアドレスを確認し、再度実行してください。
許可されていないドメインからの登録	メールアドレスが、メーリングリストなどの登録不可のドメインが含まれています。メールアドレスを確認し、再度実行してください。
削除操作を行えませんでした	記載されたメールアドレスが登録されていません。メールアドレスを確認し、再度実行してください。



参考

エラーが発生しても、発生した行以外のデータは削除されます。
エラー理由 CSV ファイルを参考にして、エラーリストファイルを修正すれば、再度削除用の CSV ファイルとして使用することができます。

7-9 配信状態フラグ

7-9-1 配信状態フラグとは

配信状態フラグとは、登録されているメールアドレスに対してメールを配信するかどうかを判断するフラグのことをいいます。

メールを配信したときに、致命的エラーとして返ってきた回数が一定回数を超えると、該当のメールアドレスの配信状態フラグが「NG」に変わり、配信停止となります。配信停止になると、次回からメールの配信対象から除外されます。致命的エラーの詳細は、「[5-13-4 致命的エラー（109 ページ）](#)」をご参照ください。



参考

携帯端末キャリアの迷惑メール対策について

携帯端末キャリアは、昨今の迷惑メールの増加に対して、受信拒否や該当しないメールアドレスへの配信が続くと、そのキャリアへの配信全体をブロックする処置が実行されることがあります。この処置が実行されると、同じキャリアを利用して正常に受信できる会員への配信もブロックされてしまいます。

このため、本システムでは配信状態を確認し、配信停止対象のメールアドレスをチェックするシステムになっています。

7-9-2 配信状態フラグの管理

配信状態フラグは、サイトとそれぞれのチャンネルごとに管理できますが、通常の運用ではサイトとそれぞれのチャンネルに登録されている同一のメールアドレスは、すべて連動して「OK」あるいは「NG」となります。

たとえば、あるチャンネルで配信したメールが致命的エラーとして返ってきた場合、該当チャンネルに登録されているメールアドレスの配信状態フラグは「NG」となり、同一のアドレスが登録されているほかのチャンネルのメールアドレスも、配信状態フラグは「NG」となります。

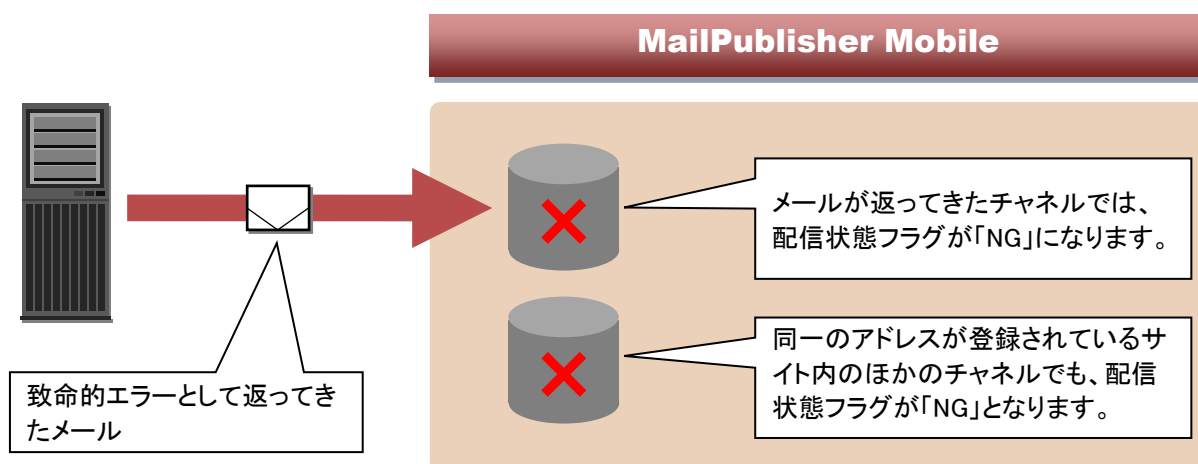


図 7-15

7-9-3 配信状態フラグの変更

配信状態フラグが「NG」となっているメールアドレスのフラグを「OK」に変更するには、以下のよう
な方法があります。

◆ CSV ファイルを一括更新

配信状態フラグを変更する CSV ファイルを作成し、一括更新することで複数のメールアドレスの配信
状態フラグを変更できます。

CSV ファイルは、項目ラベル（1 行目）に「flag」を記述し、メールアドレスに対応する「flag」列
の値を「OK」として作成してください。作成した CSV ファイルで一括更新すると、配信状態フラグ
が変更できます。一括更新の詳細は、「[7-2 サイト一括更新/複数チャネルの一括登録（154 ページ）](#)」
をご参照ください。

◆ メールアドレス修正画面で 1 つのアドレスごとに変更

検索・修正で変更したいアドレスについて検索を行ったあと、メールアドレス修正画面で、配信状態フ
ラグを変更できます。データの検索・修正の詳細は、「[7-5 データの検索・修正（174 ページ）](#)」を
ご参照ください。

7-10 登録日・更新日の更新タイミング

本システムでは、登録されたメールアドレスに対して、サイトおよびチャネルそれぞれの日付型項目が用意されています。

- サイトの登録日・更新日（サイト属性項目）
- チャネルの登録日・更新日（チャネル属性項目）

それぞれの登録日・更新日は、チャネルへの登録や更新、プロフィールメールの回答などにより自動的に変更されます。また、チャネルの登録日・更新日は、一括更新などを実行したときに、任意の値に上書きできます。書き出しを実行するときは、書き出し対象や抽出条件にできます。

7-10-1 CSV ファイルの項目ラベル

一括更新や書き出しをするときに使用する CSV ファイルで、サイトやチャネルの登録日・更新日を表す項目ラベルは、登録日が「create_date」、更新日が「update_date」です。

チャネル一括登録・更新をするときに、「create_date」および「update_date」を指定した場合、チャネルの登録日・更新日が対象となります。サイトの登録日・更新日は、一括更新では更新できません。一括登録・更新用のデータにサイト項目が含まれていた場合には、サイトの更新日は自動的に更新されます。

7-10-2 更新タイミング

サイト、およびチャネルの登録日と更新日が登録・更新されるタイミングは、以下のとおりです。

（○：登録・更新される、×：登録・更新されない）

表 7-15

項目	サイト		チャネル	
	登録日	更新日	登録日	更新日
サイトへの初めての登録	○	○	○	○
チャネルへの追加登録	×	サイト項目が登録項目に含まれていたら○	同一チャネルのみ○	同一チャネルのみ○
サイト層からのプロフィールメールへの回答	×	回答があれば○、回答されなければ×	×	×
チャネルからのプロフィールメールへの回答	×	サイト属性項目の回答があれば○、回答されなければ×	×	回答があれば○、回答されなければ×

項目	サイト		チャンネル	
サイト一括更新	更新データに指定があれば、指定した日付で○	更新データに指定があれば、指定した日付で○（ほかの属性値の変更があっても日付の指定がなければ×）	×	×
チャンネル一括登録・更新の更新分	×	×	更新データに指定があれば、指定した日付で○	日更新データに指定があれば、指定した日付で○（ほかの属性値の変更があっても日付の指定がなければ×）
チャンネル一括登録更新の登録分	○	○	○	○
サイトを対象にした検索・修正における修正	日付の修正値が設定されれば○	日付の修正値が設定されれば○（ほかの属性値の変更があっても修正値の指定がなければ×）	×	×
チャンネルを対象にした検索・修正における修正	×	×	日付の修正値が設定されれば○	日付の修正値が設定されれば○（ほかの属性値の変更があっても修正値の指定がなければ×）
外部フォームからの登録（アドレスが新規登録となる場合）	○	○	○	○
外部フォームからの登録（アドレスが追加登録となる場合）	×	サイト項目が登録項目に含まれていたら○	同一チャンネルのみ○	同一チャンネルのみ○

7-11 スマートフォン種別

スマートフォン種別とは、docomo, au, SoftBank のドメインを持つ携帯端末の中でスマートフォンかどうか、また、その種類を識別する項目で、ユーザーエージェントを元に自動的に設定されます。

スマートフォン種別の具体的な値は下記の通りです。

表 7-16

値	説明
携帯ドメイン 画像読み込み型 (一括登録・書き出し用のファイル上は"1")	携帯ドメインのメールアドレスで、メール本文の画像表示方法が、インターネット経由でサーバから読み込むタイプのスマートフォンです。 画像入りのメールは「HTML メール」が適しており、「デコメール」も可能ですが一部正しく表示されない可能性があります。
携帯ドメイン 画像添付型 (一括登録・書き出し用のファイル上は"2")	携帯ドメインのメールアドレスで、メール本文の画像がメールに添付されているタイプのスマートフォンです。 画像入りのメールは「デコメール」が適しており、「HTML メール」は正しく表示されない可能性が高いです。
PC ドメイン スマートフォン端末 (一括登録・書き出し用のファイル上は"3")	PC ドメインのメールアドレスをスマートフォンで利用している端末です。 (例：Gmail や Yahoo!メールをスマートフォンで参照)
ブランク	フィーチャーフォンとして識別されています。 ※docomo, au, SoftBank・PC ドメイン以外の、SoftBank 版 iPhone (i.softbank.jp)・au (絵文字不可)・その他携帯も、ブランクが設定されます。

スマートフォン種別はユーザーエージェントから自動設定されますが、ファイルの一括登録の他、管理画面からの検索・修正やデータ登録で直接指定することもできます。

→『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「3 会員データを管理する」』参照

メール作成時に「宛先」欄で「画像読み込み型スマートフォン」「画像添付型スマートフォン」「PC ドメイン スマートフォン端末」等を配信対象として選択すると、この「スマートフォン種別」を元に送り分けされます。

→『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「2 メールを配信する」』参照



注意

スマートフォン種別はサイトが有効

スマートフォン種別は、同じメールアドレスの会員で、サイトとチャンネルにそれぞれ存在しますが、メール配信時にスマートフォンの判別に使用するの「サイトのスマートフォン種別」です。

通常はサイトとチャンネルは同じスマートフォン種別が登録されますが、チャンネルだけ情報を修正したり、同じメールアドレスで複数チャンネルに登録した場合など、異なってしまう場合があります。

その場合でも、前述のとおり、有効になるのは「サイトのスマートフォン種別」なので、画面から同項目の修正を行う際は、まずサイトの値を変更し、備忘のためにチャンネルの値も変えておく運用をお勧めします。

7-12 ユーザーエージェント

ユーザーエージェントとは、利用者がデータを利用するときに使用する携帯端末やパソコンのブラウザの種類、形式などを示す情報です。おもに会員の属性分布の測定などに使用します。

会員が情報を登録すると、ユーザーエージェントはシステム管理項目として自動的に登録されます。

また、空メールによって登録された場合は、メールアドレスとユーザーエージェント情報が紐付けて管理されます。

本システムでは、スマートフォン種別を判別する際に参照しています。



参考

スマートフォンのユーザーエージェント

別紙資料「スマートフォン機種一覧」をご参照ください。

スマートフォンの機種毎のユーザーエージェント・解像度・OS等を記載しています。

フィーチャーフォンやPCの代表的なユーザーエージェントの記述例は、以下のとおりです。

表 7-17

機種・ブラウザ	記述例
docomo	- 機種名 ユーザーエージェント (例) D501i docomo/1.0/D501i - 機種名 キャッシュサイズ標準の場合 キャッシュサイズ拡張 (例) D502i docomo/1.0/D502i docomo/1.0/D502i/c10
au	- KDDI-機種名 UP.Browser/バージョン (GUI) サーバ名 (例) KDDI-HI31 UP.Browser/6.2.0.5 (GUI) MMP/2.0 - UP.Browser/バージョン-機種名 サーバ名 (例) UP. Browser/3.01-HI02 UP.Link/3.2.1.2
SoftBank	(例) SoftBank/2.0/004SH/SHJ001 Widgets/Widgets/2.0 (例) Mozilla/5.0 (iPhone; U; CPU iPhone OS 2_1 like Mac OS X; ja-jp) AppleWebKit/525.18.1 (KHTML, like Gecko) Version/3.1.1 Mobile/5F136 Safari/525.20
Internet Explorer	- バージョン 6 (例) Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.1; SV1) - バージョン 7 (例) Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 7.0; Windows NT 5.1; SV1; .NET CLR 1.1.4322; .NET CLR 2.0.50727; InfoPath.1) - バージョン 8 (例) Mozilla/4.0 (compatible; GoogleToolbar 5.0.2124.2070; Windows 6.0; MSIE 8.0.6001.18241)
Firefox	Firefox 3.0 (例) Mozilla/5.0 (Windows; U; Windows NT 5.1; ja; rv:1.9.0.6) Gecko/2009011913 Firefox/3.0.6

7-13 仮登録管理

間接登録方式で空メールによる登録・退会の申し込みが行われた場合、そのメールアドレスは一時的に仮登録・仮退会状態となり、本システムが同じアドレスからの空メール受信に対して応答しない状態となります。この状態は本登録・退会処理が行われない限り 24 時間継続します。たとえば、会員が何らかの理由で、空メールに対する返信メールを削除してしまった場合、その会員は 24 時間の間、登録操作が行えない状態となります。

本システムの仮登録管理画面では、このような仮登録・仮退会状態にあるメールアドレスの一覧を表示して、仮登録・仮退会状態の解除操作が行えます。また、プロフィールメールに対する未回答者の一覧と、回答可能状態の解除を行えます。

会員からのご要望があった場合など、必要に応じて仮登録を解除することができます。

⚠ 注意

仮登録は第三者によるいたずらやウイルスによる意図しないメールの送信などを防ぐために行われる処理であり、解除を行う場合には十分な注意が必要です。

📄 参考

仮登録期間が 24 時間なのは、以下のような理由によります。

- 複数のメールに対して複数の返信を受け付けることにより、誤操作や混乱を起こさないため。
- 第三者によるいたずらやウイルスのために、意図しないメールの送信を防ぐため。

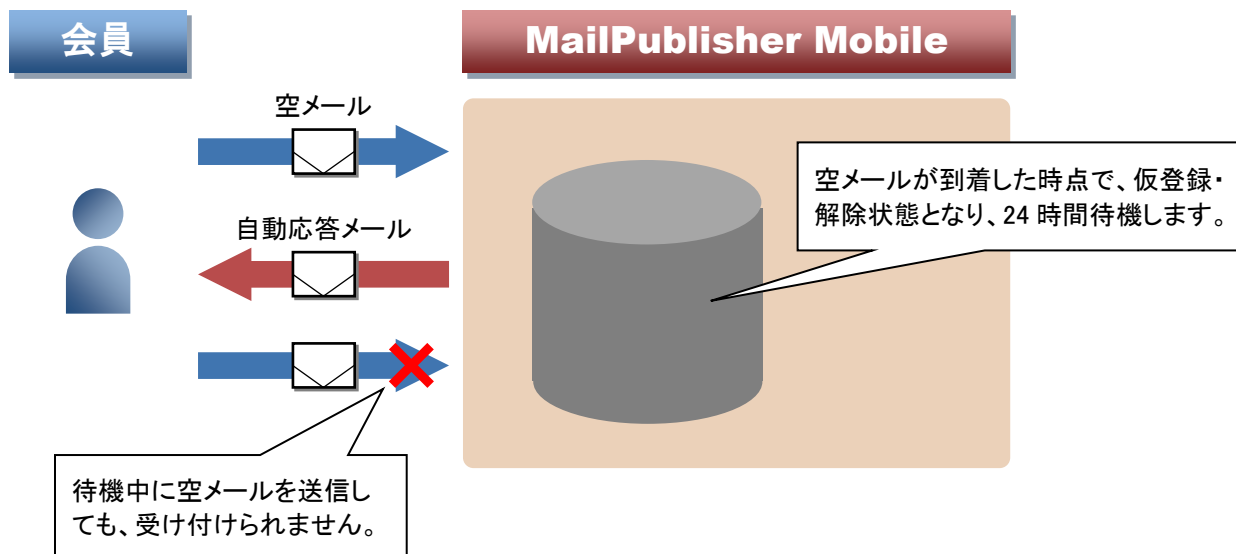


図 7-16

7-14 購読解除アドレス管理

本サービスでは、メール受信者がメーラーで「ワンクリック購読解除」すると、そのメールアドレスが From アドレスとともに購読解除情報として蓄積されます。

購読解除アドレスとして蓄積された受信者のメールアドレスは、次回以降の同一 From アドレスからの配信時に自動的に配信から除外されます。

（自動除外するには、「ワンクリック購読解除を自動設定する」にチェックして配信します）

購読解除情報は、一覧表示や検索・削除・ダウンロードが可能です。

手順は『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「3-10 購読解除アドレスを管理する」』をご参照ください。

「ワンクリック購読解除」については「5-17 ワンクリック購読解除（131 ページ）」をご参照ください。

7-14-1 購読解除アドレスの一覧表示・検索

購読解除アドレスを一覧で参照できます。

「From アドレス」「メールアドレス（To アドレス）」で検索できます。

◆ 一覧表示項目

- From アドレス
- メールアドレス（To アドレス）
- 記事 ID
- 購読解除日時



注意

購読解除アドレスデータ

- 購読解除アドレスは、受信者による「ワンクリック購読解除」リクエストごとにデータ登録されます。
- 同じ受信者が複数回（異なる記事間・同一記事内どちらも含む）購読解除リクエストを行った場合、リクエスト回数分のデータが登録されます。受信者メールアドレスや記事ごとの集約はありません。
- 一覧表示されるのは管理者自身の管理対象とその配下で発生した購読解除アドレスです。管理者の詳細については「2-1 管理者と管理対象（25 ページ）」をご参照ください。
- 購読解除アドレスデータはサイト単位で保持され、他のサイトには共有できません。

**注意****複数サービスや複数サイト ID を利用した配信運用**

購読解除アドレスはサイトごとに蓄積され、配信対象の除外もサイト単位で行われます。

他環境(他サービス、他サイトID)から同じFromアドレスでメール配信を行う場合は、蓄積された購読解除アドレスを定期的にエクスポートし、他サービス・他サイト用のメールアドレスリストからも除外して購読解除を行ってください。

**参考****From アドレス運用のベストプラクティス**

本システムでは、ワンクリック購読解除した受信者のメールアドレスは From アドレス単位で蓄積され、配信除外も From アドレス単位で行われます。

複数の From アドレスで広告メールを配信している場合、受信者からのある 1 つの From アドレスに対する購読解除リクエストは該当 From アドレスのみが対象で、他の From アドレスからのメールは配信が継続されます。

受信者から見た場合、貴社からのメールを購読解除したはずなのに止まっていないと見える可能性があり、心証を損ねたり迷惑メールボタンを押されたりするリスクが考えられます。

参考として、Google 社 Gmail「メール送信者ガイドライン」の「送信に関するおすすめの方法」に準じた From アドレスの運用をご検討ください。

▼Google 社 Gmail「メール送信者ガイドライン」

<https://support.google.com/mail/answer/81126>

7-14-2 購読解除アドレスの削除(自動除外の停止)

購読解除アドレス一覧内で選択したデータを削除できます。

受信者が購読を再開する場合等には、購読解除アドレスから削除することで再びメール配信対象にすることができます(自動除外されなくなります)。

選択したデータと同じ「From アドレス」+「メールアドレス(To アドレス)」の組み合わせを持つ購読解除データがすべて削除されます。その際、異なる階層や管理対象の記事で発生した購読解除アドレスも削除対象になります。

**参考****「異なる階層や管理対象の記事で発生した購読解除アドレスも削除対象になる」とは**

例：ある受信者がチャンネル 1、チャンネル 2 およびサイト層の配信で購読解除した場合

チャンネル 1 の管理者が購読解除一覧を閲覧すると、チャンネル 1 の配信で購読解除したデータ(1 件のみ)が表示されます。

この購読解除データを削除すると、チャンネル 2 とサイト層の配信で購読解除された分の購読解除情報も削除されます。

(From アドレスと To アドレスの組み合わせはすべて同じとします)

7-14-3 購読解除アドレスのダウンロード

サイト内全件の購読解除アドレスをダウンロードできます。

記事毎の購読解除アドレスのダウンロードは「[5-13-7 ワンクリック購読解除（116 ページ）](#)」をご参照ください。

7-14-3-1 ダウンロードファイル仕様

表 7-18

設定	内容
ファイル名	unsubscribe-{サービスドメイン}-{サイト ID}.csv 例：unsubscribe-mpse.jp-site01.csv
ファイル形式	CSV
文字エンコーディング	UTF-8
改行コード	CRLF

7-14-3-2 ダウンロードファイル出力項目

購読解除アドレス画面からダウンロードします。

表 7-19

項目	ヘッダー名	備考
購読解除 ID	unsubscribe_id	
購読解除日時	unsubscribe_date	
From メールアドレス	from_address	
受信者メールアドレス	to_address	
記事 ID	article_id	

<ファイルサンプル>

```
unsubscribe_id,unsubscribe_date,from_address,to_address,article_id
7f8c06a8-4ebb-a932-8958-a79aed590bb0,2023/12/27
```

18:33:00,from-b@example.com,to-006@example.net,2023100124
494fe569-2147-ecb0-fba7-20ead03dc0e7,2023/12/26
18:33:00,from-b@example.com,to-005@example.net,2023100124
e5c3040c-d339-c710-44bf-41be661a6dbc,2023/12/25
18:33:00,from-a@example.com,to-004@example.net,2023100123
519e2a1f-61a7-3c99-1070-dad109193b2e,2023/12/24
18:33:00,from-a@example.com,to-003@example.net,2023100123
ffc1c0e6-5d7f-4c27-8977-83da17e5c8c5,2023/12/23
18:33:00,from-a@example.com,to-002@example.net,2023100123
e1506fd5-9e7b-434f-bd42-4f8fa224b599,2023/12/22
18:33:00,from-a@example.com,to-001@example.net,2023100123

8-1 レポートについて

ログインしている管理対象（サイト、グループフォルダ、グループ、チャンネル）における、会員の登録状況、登録・退会による会員の増減、メール配信数、クリックカウントの集計などを確認できます。レポートを分析することでサイト運営の指標にできます。

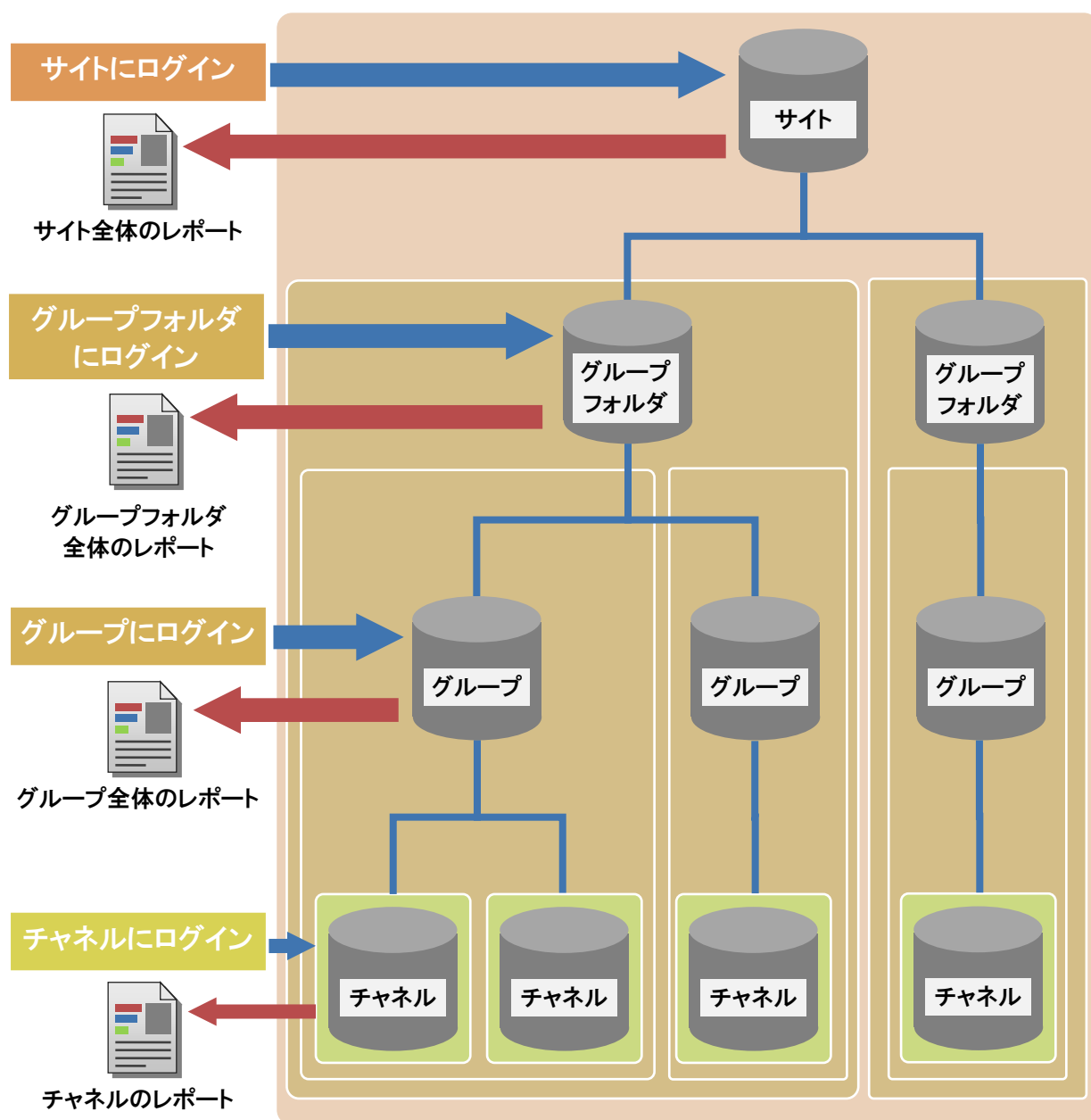


図 8-1

8-2 ユニークアドレス数

チャンネルのデータベースに登録されているユニークメールアドレス数を確認できます。

ユニークアドレス数とは、管理対象内のチャンネルに登録されているメールアドレスから、重複しているメールアドレスを除いて集計した数です。同じメールアドレスが2つ以上のチャンネルに登録されていても、1つのメールアドレスとして数えます。異なる会員の総数を把握するときの参考値として利用できます。

8-2-1 集計対象

現在ログインしている管理対象（サイト、グループフォルダ、グループ、チャンネル）により、集計対象が異なります。集計対象の違いは、以下のとおりです。

表 8-1

ログイン先	集計対象
サイト	サイトの全チャンネルのメールアドレスを集計対象とします。 同一メールアドレスが複数チャンネルに登録されている場合は、1つのメールアドレスとして集計します。
グループフォルダ	ログインしているグループフォルダに所属しているチャンネルのメールアドレスを集計対象とします。 同一メールアドレスが複数チャンネルに登録されている場合は、1つのメールアドレスとして集計します。
グループ	ログインしているグループに所属しているチャンネルのメールアドレスを集計対象とします。 同一メールアドレスが複数チャンネルに登録されている場合は、1つのメールアドレスとして集計します。
チャンネル	チャンネルのデータベースに登録されているユニークメールアドレス数を、サイト層やグループ層で確認できます（チャンネル層ではメニューに表示されません）。

8-2-2 確認できる集計結果

確認できる集計結果は、以下の4種類があります。

表 8-2

切り替えメニュー	集計期間	確認できる内容
概況	現時点	ユニークアドレス数・有効会員数・総フォーム数を確認でき、キャリア別内訳も把握できます。
日別推移 *	前日から過去7日	日付別のユニークアドレス数の増減をグラフで確認できます。

切り替えメニュー	集計期間	確認できる内容
週間推移*	前日から過去 5 週間	週別のユニークアドレス数の増減をグラフで確認できます。
月間推移*	前日から過去 12 ヶ月	月別のユニークアドレス数の増減をグラフで確認できます。

*：サイトにログインしている場合に表示されます。

8-2-3 レポートの見方

◆ 概況

概況では、以下の集計結果が一覧表で表示されます。

表 8-3

レポート名	内容
(概況)	
ユニークアドレス数	集計対象フォームのユニークアドレス数が表示されます。
有効会員数	ユニークアドレス数のうち、配信状態フラグが「OK」であるアドレス数が表示されます。 配信状態フラグの詳細は、「 7-9 配信状態フラグ (182 ページ) 」をご参照ください。
総フォーム数	集計対象フォーム数の合計が表示されます。
(詳細内訳)	
docomo	有効会員数のうち、[docomo]に該当する会員の合計とフィーチャーフォン・スマートフォン内訳のユニークアドレス数が表示されます。
au	有効会員数のうち、[au]に該当する会員の合計とフィーチャーフォン・スマートフォン内訳のユニークアドレス数が表示されます。
au 絵文字非対応	有効会員数のうち、[au 絵文字非対応]に該当する会員の合計ユニークアドレス数が表示されます。
SoftBank (Disney 含む)	有効会員数のうち、[SoftBank (Disney 含む)]に該当する会員の合計とフィーチャーフォン・スマートフォン内訳のユニークアドレス数が表示されます。
iPhone (i.softbank.jp)	有効会員数のうち、SoftBank 版 iPhone のドメイン (@i.softbank.jp) を持つユニークアドレス数が表示されます。
携帯以外モバイル (PHS など)	有効会員数のうち、配信キャリアの区分が携帯端末以外のモバイル (PHS など) 端末であるユニークアドレス数が表示されます。
PC	有効会員数のうち、配信キャリアの区分がパソコンであるユニークアドレス数が表示されます。

◆ 日別推移、週間推移、月間推移

各レポートは 1 日 1 回、夜間に集計されます。そのため、1 日の間に同じチャンネルに登録して、退会したアドレス数はカウントされません。ただし、一括登録、一括削除による同日中の増減はカウントされます。

日付別レポート、週間レポート、月間レポートでは、集計結果がグラフで以下のように表示されます。また、データを CSV ファイルにエクスポートすることもできます。

詳細は『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「4-2 日別・週間・月間の会員数推移を確認する」』をご参照ください。

表 8-4

項目	内容
総数（黄緑）	集計単位最終日のユニークアドレス数が数字とグラフで表示されます。
登録数（青）	集計単位期間中に空メールと外部フォームの両方から登録されたユニークアドレス数の合計が、数字とグラフで表示されます。
退会数（赤）	集計単位期間中に空メールと外部フォームの両方から退会されたユニークアドレス数の合計が、数字とグラフで表示されます。
一括登録（緑）	集計単位期間中に一括登録機能で登録されたユニークアドレス数の合計が、数字とグラフで表示されます。
一括退会（茶）	集計単位期間中に一括削除機能で削除されたユニークアドレス数の合計が、数字とグラフで表示されます。



参考

- 1 日の間に一括登録し、一括削除し、再び一括登録し、最後の一括削除した場合には、その日のユニーク一括登録数は「2」、ユニーク一括削除数も「2」となります。
- サイトでの表示の場合、すでに別のチャンネルに登録されていたアドレスが登録された場合や、チャンネルから退会したアドレスが別のチャンネルに登録されたままになっている場合は、カウント対象となりません。

8-3 延べアドレス数

チャンネルに登録されている延べアドレス数を確認できます。

延べアドレス数とは、管理対象内のチャンネルに登録されているメールアドレスを、チャンネル単位で足した総メールアドレス数です。同じメールアドレスが2つ以上のチャンネルに登録されている場合、それぞれを1つとして数えます。会員の延べ人数を把握するときの参考値として利用できます。

8-3-1 集計対象

現在ログインしている管理対象（サイト、グループフォルダ、グループ、チャンネル）により、集計対象が異なります。集計対象の違いは、以下のとおりです。

表 8-5

ログイン先	集計対象
サイト	サイトの全チャンネルのメールアドレスを集計対象とします。 同一メールアドレスが複数チャンネルに登録されていても、合算して集計します。グループごとでは集計しません。
グループフォルダ	ログインしているグループフォルダに所属しているチャンネルのメールアドレスを集計対象とします。 同一メールアドレスが複数チャンネルに登録されていても、合算して集計します。
グループ	ログインしているグループに所属しているチャンネルのメールアドレスを集計対象とします。 同一メールアドレスが複数チャンネルに登録されていても、合算して集計します。
チャンネル	ログインしているチャンネルのメールアドレスを集計対象とします。

8-3-2 確認できる集計結果

確認できる集計結果は、以下の4種類があります。

表 8-6

切り替えメニュー	集計期間	確認できる内容
概況	現時点	延べアドレス数・有効会員数・総フォーム数を確認でき、キャリア別内訳も把握できます。
日別推移	前日から過去7日	日付別の延べアドレス数の増減をグラフで確認できます。
週間推移	前日から過去5週間	週別の延べアドレス数の増減をグラフで確認できます。
月間推移	前日から過去12ヶ月	月別の延べアドレス数の増減をグラフで確認できます。

8-3-3 レポートの見方

◆ 概況

概況では、以下の集計結果が一覧表で表示されます。

表 8-7

レポート名	内容
(概況)	
延べアドレス数	集計対象フォームの延べアドレス数が表示されます。
有効会員数	延べアドレス数のうち、配信状態フラグが「OK」であるアドレス数が表示されます。 配信状態フラグの詳細は、「 7-9 配信状態フラグ (182 ページ) 」をご参照ください。
総フォーム数	集計対象フォーム数の合計が表示されます。
(詳細内訳)	
docomo	有効会員数のうち、[docomo]に該当する会員の合計とフィーチャーフォン・スマートフォン内訳の延べアドレス数が表示されます。
au	有効会員数のうち、[au]に該当する会員の合計とフィーチャーフォン・スマートフォン内訳の延べアドレス数が表示されます。
au 絵文字非対応	有効会員数のうち、[au 絵文字非対応]に該当する会員の合計延べアドレス数が表示されます。
SoftBank (Disney 含む)	有効会員数のうち、[SoftBank (Disney 含む)]に該当する会員の合計とフィーチャーフォン・スマートフォン内訳の延べアドレス数が表示されます。
iPhone (i.softbank.jp)	有効会員数のうち、SoftBank 版 iPhone のドメイン (@i.softbank.jp) を持つ延べアドレス数が表示されます。
携帯以外モバイル (PHS など)	有効会員数のうち、配信キャリアの区分が携帯端末以外のモバイル (PHS など) 端末である延べアドレス数が表示されます。
PC	有効会員数のうち、配信キャリアの区分がパソコンである延べアドレス数が表示されます。

◆ 日別推移、週間推移、月間推移

各レポートは 1 日 1 回集計されます。そのため、1 日の間に同じチャンネルに登録、退会したアドレス数はカウントされません。ただし、一括登録、一括削除による同日中の増減はカウントされます。

日付別レポート、週間レポート、月間レポートでは、集計結果がグラフで以下のように表示されます。また、データを CSV ファイルにエクスポートすることもできます。

詳細は『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「4-2 日別・週間・月間の会員数推移を確認する」』をご参照ください。

表 8-8

項目	内容
総数（黄緑）	集計単位最終日の延べアドレス数が数字とグラフで表示されます。
登録数（青）	集計単位期間中に空メールと外部フォームの両方から登録された延べアドレス数の合計が、数字とグラフで表示されます。
退会数（赤）	集計単位期間中に空メールと外部フォームの両方から退会された延べアドレス数の合計が、数字とグラフで表示されます。
一括登録（緑）	集計単位期間中に一括登録機能で登録された延べアドレス数の合計が、数字とグラフで表示されます。
一括退会（茶）	集計単位期間中に一括削除機能で削除された延べアドレス数の合計が、数字とグラフで表示されます。



参考

- 1日の間に一括登録し、一括削除し、再び一括登録し、最後の一括削除した場合には、その日の延べ一括登録数は「2」、延べ一括削除数も「2」となります。
- サイトでの表示の場合、すでに別のチャンネルに登録されていたアドレスが登録された場合や、チャンネルから退会したアドレスが別のチャンネルに登録が残ったままになっている場合は、カウント対象となりません。

8-4 チャンネル

チャンネルの公開状態、グループ名、総会員数、登録日を確認できます。

また、複数のチャンネルを選択して会員数推移を比較することができます。

8-4-1 集計対象

現在ログインしている管理対象（サイト、グループフォルダ、グループ、チャンネル）により、集計対象が異なります。集計対象の違いは、以下のとおりです。

表 8-9

ログイン先	集計対象
サイト	サイトの全チャンネルの概況を確認できます。 [フィルタ設定] でカテゴリやグループを選択すると、カテゴリやグループに所属するチャンネルを絞り込めます。
グループフォルダ	ログインしているグループフォルダに所属しているチャンネルの概況を確認できます。
グループ	ログインしているグループに所属しているチャンネルの概況を確認できます。
チャンネル	ログインしているチャンネルの概況のみ確認できます。

8-4-2 レポートの見方

チャンネルのレポートは、以下のように表示されます。

表 8-10

項目	内容
状態	チャンネルの公開状態が表示されます。 青・・・チャンネルが公開中の状態です。 黄・・・チャンネルが非公開の状態です。
コード	チャンネルコードが表示されます。
名称	チャンネルに設定した名称が表示されます。
カテゴリ名	チャンネルが所属するカテゴリが表示されます。
グループ名	チャンネルが所属するグループが表示されます。
総会員数	前日深夜に集計された登録会員数の合計が表示されます。 () 内の数字は、前々日の集計と比較した増減数です。
登録日	チャンネルが作成された日付が表示されます。
更新日	チャンネルの最終更新日が表示されます。

8-4-3 会員数推移の比較

一覧の中から複数のチャンネルを選択し、会員数増減の時系列推移をグラフで比較することができます。
また、データを CSV ファイルにエクスポートすることも可能です。

詳細は、『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「4-3 チャンネルの情報（会員数等）を確認する」』をご参照ください。

時系列は、以下の 3 種類があります。

表 8-11

切り替えメニュー	集計期間	確認できる内容
日別推移 *	前日から過去 7 日	日付別の会員数の増減をグラフで確認できます。
週間推移 *	前日から過去 5 週間	週別の会員数の増減をグラフで確認できます。
月間推移 *	前日から過去 12 ヶ月	月別の会員数の増減をグラフで確認できます。

8-5 配信数

集計期間を設定して、メールの配信数を確認できます。また、メール配信数は、CSV 形式でダウンロードできます。

8-5-1 集計対象

現在ログインしている管理対象（サイト、グループフォルダ、グループ、チャンネル）により、集計対象が異なります。集計対象の違いは、以下のとおりです。

表 8-12

ログイン先	集計対象
サイト	サイトの全チャンネルの配信数を確認できます。 [フィルタ設定] でカテゴリやグループを選択すると、カテゴリやグループに所属するチャンネルを絞り込めます。
グループフォルダ	ログインしているグループフォルダに所属しているチャンネルの配信数を確認できます。 [フィルタ設定] でカテゴリやグループを選択すると、カテゴリやグループに所属するチャンネルを絞り込めます。
グループ	ログインしているグループに所属しているチャンネルの配信数を確認できます。 [フィルタ設定] でカテゴリやグループを選択すると、カテゴリやグループに所属するチャンネルを絞り込めます。
チャンネル	ログインしているチャンネルの配信数のみ確認できます。

8-5-2 集計期間

集計する期間を指定すると、その期間の配信数を確認できます。集計期間は、前日までの期日を指定してください。

8-5-3 レポートの見方

配信数のレポートは、以下のように表示されます。

表 8-13

項目	内容
集計期間合計配信数	集計期間内の合計配信数が表示されます。
対象	集計対象が表示されます。

項目	内容
状態	[対象] が [チャンネル] の場合、チャンネルの公開状態が表示されます。 青・・・チャンネルが公開中の状態です。 黄・・・チャンネルが非公開の状態です。
コード	チャンネルコードが表示されます。
カテゴリ名	チャンネルが所属するカテゴリが表示されます。
グループ名	チャンネルが所属するグループが表示されます。
名称	管理区分の名称が表示されます。
集計期間内配信数	集計期間内の配信数が、表示されます。 • [対象] が [サイト] の場合、サイト層から配信されたメール数の合計が表示されます。 • [対象] が [グループフォルダ] の場合、該当のグループフォルダ層から配信されたメール数の合計が表示されます。 • [対象] が [グループ] の場合、該当のグループ層から配信されたメール数の合計が表示されます。 • [対象] が [チャンネル] の場合、該当のチャンネルで配信されたメール数の合計が表示されます。
[ダウンロード]	集計期間内の配信数の CSV ファイルをダウンロードできます。 CSV ファイルのダウンロード方法についての詳細は『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「4-5 メールの配信数を確認する」』をご参照ください。

8-6 クリックカウント

配信メールを作成した際に設定したクリックカウントの集計を、URL 別、記事（配信済みメール）別に確認できます。また、集計結果は CSV 形式でダウンロードできます。クリックカウントの詳細は、「[5-6 クリックカウント（83 ページ）](#)」をご参照ください。

8-6-1 集計対象

現在ログインしている管理対象（サイト、グループフォルダ、グループ、チャンネル）により、集計対象が異なります。集計対象の違いは、以下のとおりです。

表 8-14

ログイン先	集計対象
サイト	サイトの全チャンネルに設定されているクリックカウントを確認できます。
グループフォルダ	ログインしているグループフォルダに所属しているチャンネルに設定されているクリックカウントを確認できます。
グループ	ログインしているグループに所属しているチャンネルに設定されているクリックカウントを確認できます。
チャンネル	ログインしているチャンネルに設定されているクリックカウントのみ確認できます。

8-6-2 集計期間と URL 指定

集計する期間を指定すると、その期間のクリックカウントを確認できます。集計期間は、前日までの日を指定してください。また、集計できる期間は、現在から 90 日前までです。

URL を指定すると、指定した URL のクリックカウントだけ集計できます。

8-6-3 確認できる集計結果

確認できる集計結果は、以下のとおりです。

表 8-15

切り替えメニュー	内容
URL 別クリックカウント集計結果	URL 別に集計期間内のクリックカウントの集計結果を確認できます。
記事別クリックカウント集計結果	記事（配信済みメール）別に集計期間内のクリックカウントの集計結果を確認できます。
クリックカウント集計結果ダウンロード	書き出しを実行した URL 別クリックカウント集計結果、日別クリックカウント集計結果を、それぞれ CSV 形式でダウンロードできます。

◆ URL 別クリックカウント集計結果 CSV ファイルの表示例

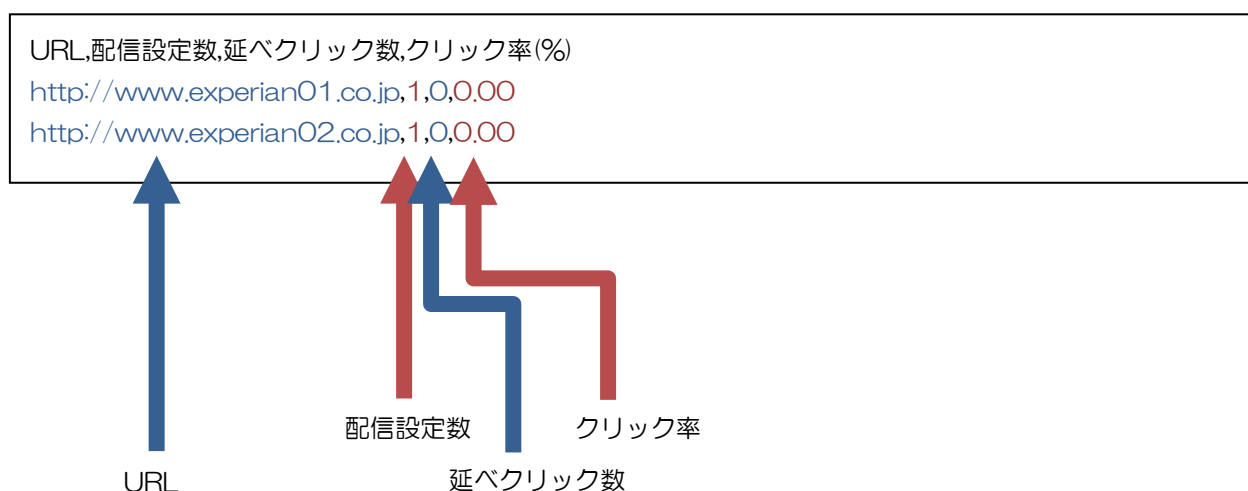


図 8-2

◆ 日別クリックカウント集計結果 CSV ファイルの表示例

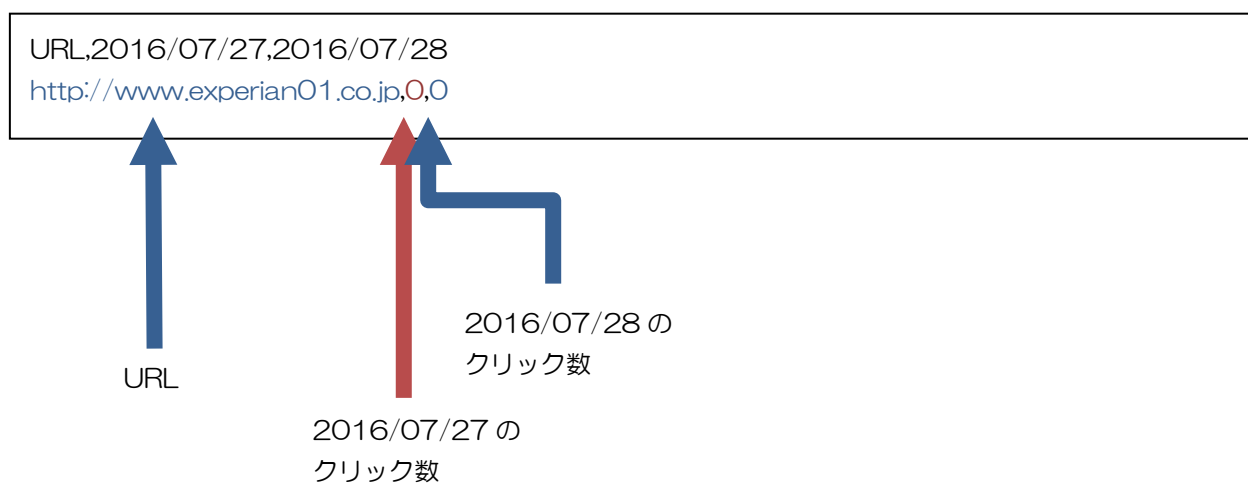


図 8-3

9

サイト情報

9-1 サイト情報について

本システムでは、現在のサイト設定や契約情報の一部を管理画面上で照会することができます。

照会方法の手順は『MailPublisher Mobile Edition 操作手順マニュアル「7-4 サイト設定・契約情報の照会」』をご参照ください。

9-2 サイト情報で照会できる項目

「サイト情報」画面や「便利機能」画面で照会ができるサイトの設定情報は、下記の資料をご参照ください。

設定変更可否と設定変更方法も掲載されているので、合わせてご活用ください。

▼MailPublisher Mobile Edition マニュアル・資料

<https://emberpoint.zendesk.com/hc/ja/sections/4663627691422>

「オプション機能」タブ内

「オプション一覧（兼サイト情報詳細一覧）」



参考

サイト情報 変更方法

- ユーザーポータルサイト
管理画面左メニュー「マニュアル・FAQ ユーザーポータル」バナー、または、
<https://emberpoint.zendesk.com/hc/ja> よりアクセスします。
FAQ やマニュアル参照のほか、各種変更申請を行うことができます。
詳しくは、[ユーザーポータルの使い方](#)をご覧ください。
- サービス変更届、オプション申込書
管理画面左メニュー「マニュアル/各情報」 - 「マニュアル/お役立ち情報」 - 【変更届】
または【オプション申込書】よりダウンロードできます。
必要事項を入力、押印、PDF 化のうえサポートセンターへご返送ください。
- 営業担当へ問い合わせ
各営業担当者へ直接お問い合わせください。担当者が不明の場合はサポートセンター宛に
お問い合わせください。

 重要**サイト情報へのサイト設定・契約情報データの反映**

サイト設定・契約情報データの反映は、日次(深夜時間帯のバッチ処理)で行われます。

そのため、すでに設定変更が完了した場合であっても、管理画面上への反映は遅れて表示されます。

当日のサイト変更状況は、サポートセンターからの完了通知をご確認ください。

 参考**その他のサイト情報項目**

一覧表示に含まれていないその他のサイト情報やオプション機能の設定状況は、サポートセンターまたは担当営業へお問い合わせください。

10

メールに関する基礎情報

10-1 パソコン向け

パソコン向けで利用できるメールアドレス、メールの件名、メールの本文は、以下のとおりです。

表 10-1

項目	内容
メールアドレス	「ユーザー部」@「ドメイン部」
件名 (Subject)	文字数 半角 256 文字 (256 バイト) 以内ですが、全角 70 文字程度を上限とすることを推奨します。 半角カナ 受信側で文字化けを起こす可能性があるため、できるだけ使用しないでください。 絵文字 パソコン向けのメールの場合、絵文字やデコメールは利用できません。
本文	文字数 設定できる文字数に制限はありません。 ただし、受信する会員の読みやすさを考慮して、メール本文を作成することを推奨します。 半角カナ 受信側で全角に変換したり、文字化けを起こすメールソフトがあるため、できるだけ使用しないでください。 絵文字 パソコン向けのメールの場合、絵文字やデコメールは利用できません。 Windows SJIS 拡張漢字 Windows SJIS 拡張漢字 (ハシゴ高など) は受信する会員の環境によっては文字化けを起こす可能性があるため、使用しないでください。

10-2 docomo

docomo で使用できるメールアドレス、メールの件名、メールの本文は、以下のとおりです。

表 10-2

項目	内容
メールアドレス	「ユーザー部」@docomo.ne.jp
件名 (Subject)	文字数 半角 30 文字以内 半角カナ 受信側で文字化けを起こす可能性があるため、できるだけ使用しないでください。
本文	文字数 FOMA 機 (900 シリーズ、700 シリーズなど) : 全角 5,000 文字以内。5,000 文字を超える部分は、切り捨てられます。 1 行の長さ RFC2821 では、1 行の長さは改行コード (CRLF) を含めて 1,000 バイトと規定されています。 改行せず 1,000 バイトを超えると docomo の場合、配信エラーとなります。 本文を作成される際には、1,000 バイト (改行を除くと 998 バイト) 以下で適宜改行するようにしてください。 デコメール 画像込みで最大 100 キロバイト以内です。本文に入力できる文字数は、画像や本文装飾により減少します。受信する携帯電話の機種によって上限が異なります (10 キロバイト上限の機種も有ります)。上限を超えるメールを受信した場合、TEXT パートが表示されます。 半角カナ 使用できます。 Windows SJIS 拡張漢字 使用できません。

10-3 au

au で使用できるメールアドレス、メールの件名、メールの本文は、以下のとおりです。

表 10-3

項目	内容
メールアドレス	「ユーザー部」@ezweb.ne.jp 「ユーザー部」@「サブドメイン」.ezweb.ne.jp 「ユーザー部」@au.com 「ユーザー部」@「サブドメイン」.au.com
件名 (Subject)	文字数 半角 100 文字以内 半角カナ 受信側で文字化けを起こす可能性があるため、できるだけ使用しないでください。
本文	文字数 全角 5,000 文字以内 半角カナ 使用できません。 Windows SJIS 拡張漢字 使用できません。

10-4 SoftBank(Disney 含む)

SoftBank（Disney 含む）で使用できるメールアドレス、メールの件名、メールの本文は、以下のとおりです。

表 10-4

項目	内容
メールアドレス	「ユーザー部」@softbank.ne.jp 「ユーザー部」@disney.ne.jp 「ユーザー部」@「サブドメイン」.vodafone.ne.jp （サブドメインには、契約地域を表す 9 種類（「d」、「h」、「t」、「c」、「k」、「r」、「n」、「s」、「q」）のいずれかが入ります）
件名（Subject）	文字数 E メールサービスの最大文字数は、本文容量と合算されます。そのため、半角 40 文字以上であっても表示されますが、一部機種では全角 13 文字（半角 40 文字）以上は切り捨てられます。 半角カナ 受信側で文字化けを起こす可能性があるため、できるだけ使用しないでください。
本文	文字数 ロングメール契約：全角 3,000 文字以内 Vodafone live!契約：全角 6,000 文字以内の機種が存在します。 契約は、メールアドレスで区別できないため、全角 3,000 文字以内で配信することを推奨します。 無料受信になる文字数は、全角 192 文字以内です。しかし、機種や件名、送信アドレスの長さなどにより異なり、文字数が半分程度になる場合もありますので注意してください。 半角カナ 使用できません。 Windows SJIS 拡張漢字 使用できません。



注意

- メールアドレスの抽出で、「disney.ne.jp」のみの抽出はできません。
- SoftBank 宛てから「disney.ne.jp」だけを除外することはできません。
- 絵文字は、SoftBank の絵文字を表示するときに端末側で変換されるため、Disney 専用の絵文字パレットは表示されません。

10-5 SoftBank 版 iPhone(@i.softbank.jp)向け

SoftBank 版 iPhone (@i.softbank.jp) 向けで利用できるメールアドレス、メールの件名、メールの本文は、以下のとおりです。

表 10-5

項目	内容
メールアドレス	「ユーザー部」@i.softbank.jp
件名 (Subject)	文字数 半角 256 文字以内ですが、実用上、全角 70 文字程度を上限としてください。 半角カナ 受信側で文字化けを起こす可能性があるため、できるだけ使用しないでください。
本文	文字数 設定できる文字数に制限はありません。 ただし、受信する会員の環境に応じて、文字数を抑えることを推奨します。 半角カナ 受信側で全角に変換したり、文字化けを起こすメールソフトがあるため、できるだけ使用しないでください。 Windows SJIS 拡張漢字 Windows SJIS 拡張漢字（ハシゴ高など）は受信する会員の環境によっては文字化けを起こす可能性があるため、使用しないでください。
サイズ	1 メガバイト（ヘッダを含む）

10-6 WILLCOM 向けの制限事項

WILLCOM 向けに配信する場合、メールの件名と本文について、以下の点に注意してください。

- 件名に半角カナを使用すると配信できません。
- 本文に半角カナを使用すると、受信側で文字化け起こす可能性があるため、できるだけ使用しないでください。

10-7 携帯キャリアとされるドメイン

以下のドメインを持つアドレスを送信者（FROM）アドレスに使用して、インターネットを通じて携帯端末向けにメール配信した場合、携帯からの発信を偽装した迷惑メールと判断され、携帯端末のキャリアからブロックされるおそれがあります。このため、以下のドメインを持つアドレスは送信者（FROM）/返信先（REPLY-TO）アドレスには使用できません。

表 10-6

キャリア名	ドメイン
docomo	• @docomo.ne.jp
au（絵文字使用可）	• @ezweb.ne.jp • @au.com • @**.au.com • @**.biz.au.com
au（絵文字使用不可）	• @sky.tkk.ne.jp • @**.sky.tkk.ne.jp • @sky.tkc.ne.jp • @**.sky.tkc.ne.jp • @**.sky.dtg.ne.jp • @sky.tu-ka.ne.jp • @**.sky.tu-ka.ne.jp • @**.ido.ne.jp • @**.ezweb.ne.jp • @**.biz.ezweb.ne.jp
SoftBank	• @softbank.ne.jp • @disney.ne.jp • @d.vodafone.ne.jp • @h.vodafone.ne.jp • @t.vodafone.ne.jp • @c.vodafone.ne.jp • @k.vodafone.ne.jp • @r.vodafone.ne.jp • @n.vodafone.ne.jp • @s.vodafone.ne.jp • @q.vodafone.ne.jp • @jp-k.ne.jp • @jp-t.ne.jp • @jp-q.ne.jp • @jp-s.ne.jp • @jp-n.ne.jp • @jp-c.ne.jp • @jp-h.ne.jp • @jp-d.ne.jp • @jp-r.ne.jp

キャリア名	ドメイン
	• @email.sky.cdp.ne.jp • @email.sky.kdp.ne.jp • @email.sky.tdp.ne.jp
その他	• @nttpnet.ne.jp • @**.nttpnet.ne.jp • @pdx.ne.jp • @**.pdx.ne.jp • @pipopa.ne.jp • @**.pipopa.ne.jp • @mozio.ne.jp • @**.mozio.ne.jp • @phone.ne.jp • @**.phone.ne.jp • @willcom.com • @emnet.ne.jp • @xxne.jp • @newad.jp • @15ne.jp

用語集

D

DKIM 検証結果

メール作成の際に、送信者 (From) に入力されたアドレスのドメインと、実際の送信元 (送信サーバ情報) に相違がないか、メールの電子署名と DNS に登録された公開鍵 (DKIM レコード) を利用して検証を行った結果を表示します。

DKIM に対応するには、そのドメインが登録された DNS に予め署名の公開鍵 (DKIM レコード) を設定した上で、メールに DKIM の電子署名を付加して送信します。一方、DKIM に対応したメール受信サーバは、メールの受信時に、DNS に対して署名の公開鍵を問い合わせ、DKIM 電子署名と公開鍵を照合し、認証を行います。

DMARC

送信元を詐称した迷惑メール (なりすましメール) への対策に有効な「送信ドメイン認証」技術のひとつです。SPF と DKIM の認証結果を利用して、なりすましメールを受信側がどう扱うべきかのポリシーを、ドメイン管理者が宣言するための仕組みです。

レポート機能があり、ドメイン管理者などがなりすましメールの発生状況を把握することもできます。

S

SPF 検証結果

メール作成の際に、送信者 (From) に入力されたアドレスのドメインと、実際の送信元 (送信サーバ情報) に相違がないか検証を行った結果を表示します。

検証結果が NG の場合、なりすましメールの判定を受け、受信拒否や迷惑メール扱いで受信者に正しくメールが届かないことがあります。

あ

アクセス IP 制限設定

システムへのログインを許可する IP アドレスを指定することです。契約時にオプション機能として申し込む必要があります。設定した場合、指定した IP アドレス以外からシステムにログインすることができなくなります。

設定の有無や IP アドレスの詳細は〔サイト情報〕より確認することができます。

一括削除

サイトまたは 1 つのチャンネルを対象として、削除するメールアドレスを記載したファイルをアップロードすることにより、該当の登録情報を削除する機能です。

一括登録

1 つまたは複数のチャンネルを対象として、登録するメールアドレスを記載したファイルをアップロードすることにより、該当のデータを登録する機能です。

イベントメール

日付、登録日などの抽出条件を設定して、条件と一致した会員を対象に定期的に配信するメールです。

インポート

外部のデータを取り込んでデータベースに登録したり、データベースを更新したりする機能です。

エクスポート(書き出し)

サイト全体、またはチャンネルを対象として、登録されているデータを CSV 形式で出力する機能です。

絵文字

携帯端末で文字の代用として利用する、アイコン化された絵です。

エラーアドレス

配信エラーとなったメールのアドレスです。エラーアドレスとエラーとなった理由を CSV 形式のファイルでダウンロードできます。

エラーリスト

処理の実行後にエラーが発生したデータの一覧です。CSV 形式でダウンロードできます。

お礼メール

会員が登録を完了したときや退会したときに、お礼を伝えるために配信するメールです。

外部フォーム機能を使用している場合、お礼メールを配信することで「第三者によるなりすまし」や「メールアドレスの誤入力」を防ぐことができます。

オプトアウト(配信解除)

配信を解除することです。

「広告または宣伝を目的としたメール」の場合、送信者や連絡先、配信解除（オプトアウト）方法に関する記述について、特定電子メール法にもとづいた表示義務があります。

か

隠しフィールド

チャネル上では入力欄を表示させず、登録されたデータに、あらかじめ指定した値を自動的に付与する機能です。

カテゴリ

グループやグループフォルダを横断して、チャンネルを束ねることのできる管理区分です。カテゴリでは、会員の情報を収集するためのテーブル定義を行います。

カテゴリはサイト内に最低 1 つは設定する必要があります。ただし、カテゴリには管理者は設定できません。

空メール

件名や本文に何も入力しないで送信するメールです。

仮認証状態

会員が登録情報を空メールから変更するとき、空メールを受け付けた時点から、確認メールに記載された URL にアクセスするまでの間、パスワードの認証を省略して、認証に成功した状態を一時的に維持する機能です。

管理構造

本システムでは、サイト、グループフォルダ、グループ、チャンネルという階層的な複数の管理区分でデータの管理を行います。

記事グループ

配信済みメール記事をグルーピングして管理することができる機能です。メール作成時、またはメール配信後に記事グループに属させることができ、記事グループで絞込みができます。また、最大 10 階層下までサブグループ設定ができます。

キャリア

メールを配信するパソコンや携帯端末の総称です。

クリックカウント

配信されたメールに記載されている URL がどれだけの会員にクリックされたかを集計する機能です。集計結果からメール配信の効果を測定できます。集計結果には URL をクリックした会員のメールアドレスも含まれるため、これらの会員を対象に、新たなメールを配信するなど、さらに効果的なメールマーケティングを実践できます。

グループ

1 つ以上のチャンネルを管理する管理区分です。グループはサイト内に最低 1 つは設定する必要があります。

管理下のチャンネルに登録されているすべての会員を配信対象にできます。グループ管理者は、グループに所属するチャンネルを操作できます。

グループフォルダ

1 つ以上のグループを管理対象とする管理区分です。管理下のグループに登録されているすべてのチャンネルが配信の対象となります。

グループフォルダの作成は必須ではありません。関連するグループをまとめて管理する場合に設定してください。

携帯キャリア

携帯端末や PHS 端末の回線事業者の総称です。

権限(ロール)

管理者に付与する機能や操作の実行許可です。

誤操作による必要な項目の削除や会員データの抹消など、致命的なダメージを避けるため、管理者またはオペレーターの職制やスキルに応じた「権限(ロール)」を設定して、使用できる機能を制限します。

公開

作成した Web サーバ上のチャンネルを、会員が利用できる状態にすることです。

コンバージョン

Web ページへの訪問者数に対して、その Web ページで商品の購入や会員登録した人の割合を示す指標です。

パソコン向けのメール配信の場合、クリックカウント機能と組み合わせることにより、会員がいつ、どこから、何を購入したかなど、メール配信から最終成果に至るまでの過程情報を取得できます。

さ

サイト

サイトは管理区分を統括する最上位に位置します。すべてのチャンネルが管理対象で、各チャンネルに登録されているすべての会員を配信対象にできます。

差し込み文字列

登録されている項目の情報をメール本文や件名などに挿入するための指定文字列です。

URL などの情報が、会員ごとに異なるメール本文を作成する場合、該当箇所に差し込み文字列を挿入しておくことで、会員に応じた文章に変換されて、メールが配信されます。

差し込み文字列は「%%s_<フィールド ID>%%」または「%%c_<フィールド ID>%%」などで表記されます。

差分メールアドレス抽出機能

チャンネルには登録されているが、インポートや一括更新に利用するファイルには存在しないメールアドレスを差分として抽出する機能です。

下書きメール

メール作成後、配信予約をしないで、下書きメールに登録したメールです。配信予約を取り消したメールも下書きメールに自動的に下書きメールとして登録されます。

下書きメールを編集、またはコピーして新規にメールを作成できます。下書きメールを編集して作成したメールは、再度、下書き登録したり、配信予約したりすることができます。

受信拒否設定

指定したメールアドレスやドメインからのメール受信だけを許可したり、拒否したりする機能です。迷惑メールの対策として携帯キャリアごとに行っています。

シリアル型

会員の登録が完了した時点で、会員の情報に会員番号などの通し番号を自動的に付与する機能です。会員が登録を行ったときに、指定した値から始まる通し番号を付与します。

成功率

配信したメールのうち、致命的エラーおよび致命的でないエラーとなった件数を除き、配信に成功したメール数の割合です。

操作ログ

メールアドレスをはじめとする個人情報へのアクセス情報の一覧です。また、アクセス情報以外の操作項目についての操作履歴も記載されます。

送信者アドレス

メールヘッダの「FROM」行に記載されるメールアドレスです。

即時配信

作成後すぐにメールを配信する機能です。契約時にオプション機能として申し込む必要があります。設定の有無は[サイト情報]より確認することができます。

属性項目

会員情報に設定する項目です。

た

退会メール

空メールによる退会を受け付ける場合に退会入力画面の URL を記載するメールです。空メールによる退会を受け付けるときに作成します。

致命的エラー

会員のメールアドレスや受信設定が原因で配信できなかった配信エラーです。致命的エラーになったメールアドレスは、エラー回数に応じて配信フラグが「NG」となり、

致命的でないエラー

会員のメールアドレスや受信設定以外の原因により配信できなかった配信エラーです。致命的でないエラーになったメールアドレスは配信フラグが「OK」のままなので、配信が行えます。

チャンネル

サイトの最下位に位置する管理区分です。チャンネルはサイト内に最低 1 つは設定する必要があります。

会員の情報は、チャンネル経由で登録されます。登録された会員の情報は、チャンネルのデータベースに蓄積されると同時に、サイトのデータベースにも蓄積されます。1 人の会員が複数のチャンネルに所属することもできます。

抽出条件

メール配信やデータの管理などで登録会員を検索するときに、抽出理由として使う属性項目の設定値です。

重複アドレス

システム内に登録されている、2 つ以上の同一メールアドレスのことです。

通知メール

登録したときやエラーが起きたときに、会員や管理者宛てに自動で送信されるメールです。

定義付け

属性項目やテーブル定義の型を設定することです。

デコメール

docomo・au・SoftBank（Disney 含む）の対応端末で利用可能なデコメール（携帯端末向け HTML マルチパートメール）を配信します。

デコメール対応機種用の HTML パートと、画像のデータパート、デコメール非対応機種用の TEXT パートから構成されます。HTML による装飾や、マルチパートで添付した画像をインライン表示するなど、多彩な表現が可能です。携帯端末宛てに送信されたデコメールは、各キャリアのサーバにより、対応機種には HTML パートとデータパートが、非対応機種には TEXT パートが送信されます。

au ではデコレーションメール、SoftBank（Disney 含む）ではデコレメールと呼ばれていますが、各キャリアで規格が異なります。本システムでは、docomo,au,softbank の各社がそれぞれ公開している規格にそって デコメールを配信しています。

テスト送信

会員に実際に配信する前に、管理者に確認用としてメールを送信することです。管理者のメールアドレスにテスト送信することで、メールの内容を確認できます。

ただし、システムで自動設定する各種項目やパラメータなどが、本番配信と異なる場合がありますので、正確な配信内容は、テスト用の配信リストを用いた本番配信で確認することをお勧めします。

テンプレート

テンプレートとは、定型の文章やタイトルを登録しておく機能です。

トークンコード

トークンコードとは、セキュリティを保持するために設定されるログイン ID、パスワードと同様にログイン時の必須要素の 1 つです。

初回登録時及びパスワードが変更されたタイミングで発行され任意の文字列ではなく、システム側でランダムな数値（6 桁）が発行されます。有効期限は、パスワードと同じタイミング（最大で 90 日）です。

登録

会員がチャネルを使って、システムに情報を送信することです。

登録解除

会員がチャネルを使って、システムから退会することです。

ドキュメント

サイトやカテゴリのテーブル定義の設定を使用して作成する、会員が回答するための画面のことです。作成時に、定義された属性項目フィールドをどの順番で表示するかを定義します。

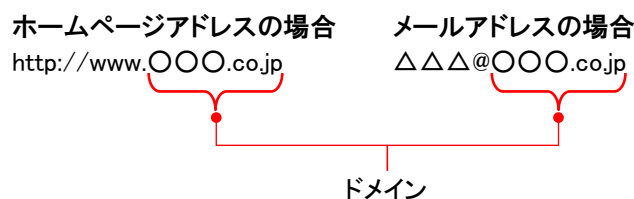
独自ドメイン

弊社のドメインが表示されるのを避けたい場合に、任意のドメイン名を指定できます。契約時に独自ドメインサービス機能の申し込みが必要です。

設定の有無は[サイト情報]より確認することができます。

ドメイン

ネットワーク上に接続されているコンピュータを識別する名称です。ドメインは、ホームページアドレスやメールアドレスの中に含まれます。



トランザクションコード

システム内で実行可能なプロセスを呼び出すためのコードです。

は

配信エラー

配信されずに戻ってきたメールのことです。配信できなかった理由によって「致命的エラー」と「致命的でないエラー」に分かれます。

配信キャリア

配信対象となるドメインを持つパソコンや携帯端末のことです。

配信結果

配信済みメール一覧画面、および内容確認画面で確認できる「配信数」や「配信状況」、「成功数」などのことです。

配信済みメール

会員にすでに配信されたメールです。

配信状態フラグ

登録されているメールアドレスに対してメールを配信するかどうかを判断するフラグのことです。

メールを配信したときに、致命的エラーとして返ってきた回数が一定回数を超えると、該当のメールアドレスの配信状態フラグが「NG」に変わり、配信停止となります。配信停止になると、次回からメールの配信対象から除外されます

配信対象

メール作成時に設定した「キャリア」と、配信予約時に設定した「配信対象」や「条件」に合致した、実際にメールが配信される会員のことです。

パスワードポリシー

セキュリティを保持するための、パスワードに関する基本的なルールです。パスワードポリシーを変更することはできません。

フィールド型

サイトやカテゴリのテーブル定義をするときに設定する入力方法や入力形式のことです。

プロフィールメール

プロフィール収集を行うために配信するメールです。プロフィール収集とは、会員へ回答を促す告知メール（プロフィールメール）を配信して、会員情報の追加収集や更新を行う機能です

返信先アドレス

メールヘッダの「REPLY-TO」行に記載されるメールアドレスです。返信先が設定されている場合、配信されたメールに返信すると、このメールアドレスに届きます。

ま

マルチパート HTML

携帯端末向けのメールを作成する場合、HTML 形式のデータだけでなく、同時にテキスト形式でのデータも作成しておくことです。

会員の受信環境によって、HTML メールを受信、閲覧ができない場合などに、利用します。

や

夜間配信停止機能

メール配信を夜間に停止するオプション機能です（停止する時間帯は指定可能）。

携帯ドメイン宛メール配信と、PC ドメイン宛メール配信の夜間配信停止オプションが存在します。

本オプション機能は申請の必要があります。設定の有無や停止時間帯は「サイト情報」より確認することができます。

ユーザーエージェント

利用者がデータを利用するときに使用する携帯端末やパソコンのブラウザの種類、形式などを示す情報です。会員の属性分布の測定などに使用します。

また、空メールによって登録された場合は、メールアドレスとユーザーエージェント情報が紐付けて管理されます。

ユニークアドレス

サイトやグループ、グループフォルダなど、各管理区分内に登録されているアドレスで、重複分を除いたメールアドレスです。管理区分における純粋な会員数を集計するために用います。

ユニーク制約

入力された内容に対し、ほかの会員のデータとの重複を不許可にする設定です。ユニーク制約を設定すると、同項目がほかの会員のデータと重複している場合にエラーが表示され、登録されません。

翌朝繰越配信

夜間配信停止機能を使用し、携帯ドメイン宛メールの配信を停止した場合に、翌朝に繰り越して配信する機能です。

契約時にオプション機能として「夜間配信停止」を設定した場合に利用できます。

PC ドメイン宛のメールは、[配信時間帯 終了時刻] を過ぎると、翌朝繰越配信されず全てバウンスとなりますのでご注意ください。

「夜間配信停止」オプション設定の有無や停止時間帯は[サイト情報]より確認することができます。

予約済みメール

メール作成後、配信予約をしたメールです。予約日時になるとメールが配信されます。

ら

リモートフォーム機能

外部のフォームからシステムの API に対してリクエストを送ることで、データベースへの登録などを行う機能です。契約時にオプションとして申し込む必要があります。

設定の有無は[サイト情報]より確認することができます。

すでにお使いの Web ページのフォームを利用したまま、収集した会員の情報をシステムのデータベースに受け渡す場合や、システムの持つデザイン機能では対応できない Web ページを作成する場合に使用します。

レポート

ログインしている管理対象における、会員の登録状況、登録・退会による会員の増減、メール配信数、クリックカウントなどの集計結果です。

索引

あ

一括削除	179
ファイル形式	180
イベントメール	75
日付条件	100
インポート	154
エラーメッセージ	160
ファイル形式	156
文字化け	122
応答画面	53

か

会員データの検索	175
会員データの修正	175
外部データベースとの連携	167
書き出し	169
ファイル形式	172
隠しフィールド	48
カテゴリ	42
仮登録管理	188
管理構造	25
管理者権限	27
キャリア	95
QR コード	57
クリックカウント	83
保持期間	120
レポート	204
グループ	38
グループフォルダ	38
検索	175
コンバージョン	88

さ

サイト	37
構成	37
差し込み文字列	41
差分メールアドレス抽出機能	167
下書きメール	79

シリアル型	47
条件	175
操作ログの保持期間	120
送信者アドレス	77
即時配信	94

た

抽出条件	170
致命的エラー	109
保持期間	119
致命的でないエラー	111
保持期間	119
チャンネル	55
テーブル定義	42
テンプレート	141
データベース	39
動作環境	22
ドキュメント	49

な

成り代わり	34
-------------	----

は

配信エラー	109
配信キャリア	95
配信状態フラグ	182
配信済みメール	81
パスワード	30
再設定	31
パスワードポリシー	30
フィールド型	45
プロファイルメール	76
プロファイル収集	105
返信先アドレス	78
返信メール	52

ま

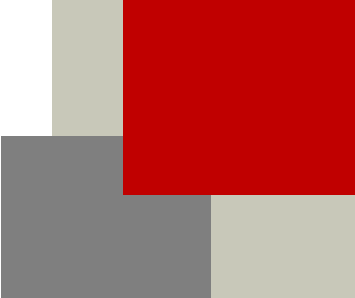
メール配信	73
配信結果	109
配信対象	82
文字化け	122

や

ユニークアドレス	194
ユーザーエージェント	186
予約済みメール	81

ら

リモートフォーム	61
レポート	193
ロール	27



機能説明マニュアル